WS023T TOSHIBA Leading Innovation >>>

取扱説明書

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

WS023T
取扱説明書

製造元：株式会社東芝　モバイルコミュニケーション社
〒105-8001　東京都港区芝浦1－1－1
http://www.toshiba.co.jp/

2008.12　第2.1版

はじめに

このたびは、「WS023T」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

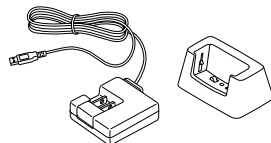
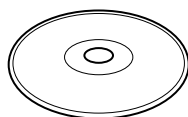
ご使用の前に必ず本書をお読みになり、正しくお取り扱いください。また、本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。

ご注意

・本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどにお気づきの場合はご連絡ください。
・本文中は「microSD™カード」を「microSDカード」と記載しています。
・乱丁、落丁はお取り替えいたします。

WS023T

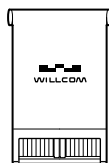
セットの確認

本体・付属品

本体　電池パック　電池カバー　ACアダプタ　卓上ホルダー

CD-ROM

マイクロUSBケーブル

取扱説明書（CD-ROM内に収録）
クイックマニュアル（保証書）

W-SIM（ウィルコムシム）

「WS023T」単体の製品と、W-SIM（ウィルコムシム）が同梱されている製品があります。

W-SIM

ご注意

- W-SIMは、W-SIMの取扱説明書とともに、専用箱に入っています。
- W-SIMの取り扱いについては、W-SIMの箱に入っている取扱説明書をご覧ください。
- 「WS023T」単体のみをご購入の場合、W-SIMは同梱されていません。

目　次

お使いになる前に

電　話

文字入力

アドレス帳

メール

Web

カメラ

データフォルダ

音・表示・照明の設定

アラーム・スケジュール

セキュリティ

その他の機能

ウィルコムの各種サービス

付　録

安全上のご注意

「安全上のご注意」では、本機をご使用になる人や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。
お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

記載内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を以下のように説明しています。

次の表示の区分は、表示内容を守らず誤った使用をした場合に生じる危機や損害の程度を説明しています。

⚠危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷＊[1]を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷＊[1]を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害＊[2]を負うことが想定されるか、または物的損害＊[3]の発生が想定されること”を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

次の表示区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。		
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	ぬれた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	火気禁止	火気に近づけてはいけないことを示す記号です。
指示	強制（必ず実行していただくこと）を示します。	プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

免責事項について

・地震・雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意・過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・本製品の故障・修理・その他取扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・お客さまご自身で登録された情報内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどをして保管してくださるようお願いいたします。

共通（電話機本体・電池パック・ACアダプタ・イヤホンマイク）

必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

指 示

専用の周辺機器をご使用ください。
発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

・電池パック（BTW023T）
・ＡＣアダプタ（ACW023T）
・卓上ホルダー（CGW023T）

火気禁止

高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）での使用や放置はしないでください。
発火・破裂・故障・火災の原因となります。

火気禁止

電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。
発火・破裂・故障・火災の原因となります。

火気禁止

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
発火・破裂・火災の原因となります。

禁 止

充電端子やその他接続端子をショートさせないでください。また、充電端子やその他接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入れたりしないようにしてください。
火災や故障の原因になる場合があります。

禁 止

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に電話機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。
ガスに引火するおそれがあり、火災の原因となります。

禁 止

ACアダプタをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。
火災・感電・傷害・故障の原因となります。

禁 止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。
レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指 示

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

指 示

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。
落雷・感電のおそれがあります。

分解禁止

分解や改造・お客様による修理をしないでください。
故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより電話機・車両などに不具合が生じても弊社では一切の責任を負いかねます。PHSの改造は電波法違反になります。

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

水などの液体をかけたり、風呂場など湿気の多い場所での使用、またはぬれた手での使用は絶対しないでください。

感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。（雨天・降雪中・海岸・水辺などでの使用は特にご注意ください。また、身につけている場合は汗による湿気にもご注意ください。）万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は保証外となり、修理できません。

禁　止

充電端子やその他接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。

感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁　止

落下などによって破損し、電話機本体の内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。

感電したり、破損部でけがをしたりすることがあります。ウィルコムサービスセンターもしくは東芝ＰＨＳカスタマーデスクまでご連絡ください。

禁　止

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁　止

直射日光のあたる場所や高温になるところ（自動車内など）、極端に低温になるところ、湿気やほこりの多いところに保管しないでください。

発熱・発火・変形・故障する原因となります。

禁　止

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。

落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。

禁　止

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。

誤って飲み込んで窒息するなど、傷害の原因となる場合があります。

指　示

使用中に煙が出たり、異臭や異音、過剰な発熱などの異常が起きたときはすぐに使用をやめてください。

充電中であれば、充電用機器のACアダプタをコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、ウィルコムサービスセンターもしくは東芝ＰＨＳカスタマーデスクまでご連絡ください。また、落下したり、水などにぬれたりして破損した場合もそのまま使用せず、ウィルコムサービスセンターもしくは東芝ＰＨＳカスタマーデスクまでご連絡ください。

禁　止

外部から電源が供給されている状態の電話機本体・電池パック・ACアダプタに長時間、触れないでください。

低温やけどの原因となる場合があります。

禁　止

電池パックのフタを外したまま使用しないでください。

禁　止

コンセントや配線機器の定格を超える使いかたはしないでください。

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁　止

金属製のストラップを使用されている場合は、充電の際に電池パックの端子や卓上ホルダーの端子、特にコンセントなどに触れないように十分注意してください。

感電・発火・傷害・故障の原因となります。

禁　止

外部接続端子やメモリカードスロット、イヤホンマイク端子に液体・金属片・燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災・感電・故障の原因となります。外部接続端子やイヤホンマイク端子を使用しないときは、ほこりなどが入らないようにキャップをはめてください。また、メモリカードスロットのキャップも開けたままにしないでください。

禁　止

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。

故障・内部データの消失の原因となります。

指　示

外部接続端子やイヤホンマイク端子などに外部機器やイヤホンマイクなどを接続するときは、各端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。

破損・故障の原因となります。

電話機本体について

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁　止

自動車、オートバイ、自転車運転中にPHSを使用しないでください。

交通事故の原因となります。
自動車、オートバイ、自転車運転中のＰＨＳの使用も法律などで罰せられる場合があります。

指　示

航空機内でのPHSの使用は法律で禁止されています。電源をお切りください。

指　示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器のお近くでPHSを使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことを守ってください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、PHSを植込み型心臓ペースメーカーなどの装着部から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、PHSの電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - ・手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはPHSを持ち込まないでください。
   - ・病棟内では、PHSの電源をお切りください。
   - ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合はPHSの電源をお切りください。
   - ・医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

指　示

高精度な電子機器の近くでは電話機本体の電源をお切りください。

電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知機・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

指　示

ごくまれに強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていたりすると、一時的に筋肉の痙攣や意識の喪失などの症状を起こす方がいます。

こうした経験のある方は、事前に医師と相談してください。

禁　止

通話・メール・インターネット・撮影・ゲーム・音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。

転倒・交通事故の原因となります。

禁　止

ハンドストラップやイヤホンのコードなどを持って振りまわさないでください。

けがなどの事故や破損の原因となります。

禁　止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指　示

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁　止

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたり、はさんだりしないでください。

記録内容が消失される場合があります。

指　示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。

長時間使用した場合やお客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。本製品には、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しています。

●電話機本体

使用箇所	使用材料	表面処理
外装ケース（ディスプレイパネル側）	PC樹脂	UV硬化塗装処理 シルク印刷
外装ケース（ヒンジ取り付け側）		
外装ケース（10キー取り付け側）		
外装ケース（バッテリー取り付け側）		
外装ケース（電池蓋）		
ファンクションキー		
10キー		
外装ケース（リアケースインナー）	PC樹脂	－
ヒンジ	ステンレス	UV硬化塗装処理
ヒンジストッパー	ポリエステル系エラストマー樹脂	－
ねじ隠しシートL・R	PETシート	－
赤外線ポートレンズ	アクリル樹脂	－
ねじ	鉄	三価クロメートメッキ
マクロ撮影切り替えスイッチ	POM樹脂	－
キーロックスイッチ		
充電端子	りん青銅	ニッケルメッキ

指　示

通常はイヤホンマイク端子のキャップ・外部接続端子のキャップ・メモリカードスロットのキャップを閉めた状態で使用してください。

キャップを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。

指　示

スライド開閉時に髪の毛や指、充電コード、ハンドストラップなどをはさみ込まないようご注意ください。

はさみ込んだ状態で無理に外そうとしたり、スライドさせたりすると、傷害や破損の原因になります。

指　示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定にご注意ください。

驚いたりして、心臓に影響を与えるおそれがあります。

指　示

レシーバー、スピーカー部の吸着物にご注意ください。レシーバー、スピーカー部には磁石を使用しているため、画びょうやピン、カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。

ご使用の際、レシーバー、スピーカー部に異物がないか確かめてください。

禁　止

microSDカードを挿入するときや取り出すときに、急に指を離すとカードが飛び出すことがあります。

顔などを近づけないでください。特に小さなお子様には触らせないでください。けがの原因となります。

指　示

microSDカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、引き抜いたり、電話機の電源を切ったりしないでください。

データの消失・故障の原因となります。

電池パックについて

電池パックはリチウムイオン電池です。

誤った取扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあり危険です。
必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

禁　止

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。

発火や破損の原因となります。

指　示

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子が触れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

禁　止

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしないでください。

電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。

禁　止

電池パックをぬらさないでください。

電池パックに水、海水、ペットの尿などの液体が入ると発熱・破損・発火・感電・故障の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外してウィルコムサービスセンターもしくは東芝ＰＨＳカスタマーデスクまでご連絡ください。また、ぬれた電池パックは充電しないでください。

指　示

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。

また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。

機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

禁　止

破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。

液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

充電機器について

誤った取扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。
必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁　止

指定以外の電源電圧では使用しないでください。

発火、火災や感電などの原因となります。ACアダプタはAC100Vに対応しております。日本国内でご使用になる場合は、家庭用AC100Vでお使いください。また、海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。

指　示

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。

禁　止

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。

感電・ショート・火災の原因となります。

禁　止

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。

落雷による感電などの原因となります。

指　示

ACアダプタのプラグにほこりが付着しているときは、コンセントから抜き、ふき取ってください。

そのまま放置すると、火災の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。

指　示

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。

交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

水ぬれ禁止

水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。

発熱・火災・感電、回路のショートによる故障などの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。

禁　止

卓上ホルダーを車内で使用しないでください。

落下・運転の妨げにより事故の原因となります。卓上ホルダーは室内の安定した場所での使用を前提としています。

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災・故障の原因となります。

注意

誤った取扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。
必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指　示

充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。

火災・故障の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

ACアダプタのプラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。

感電・故障の原因となります。

禁　止

電話機本体から電池パックを外した状態で、ACアダプタを差したまま放置しないでください。

発火・感電の原因となります。

イヤホンマイクについて

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁　止

自動車や自転車などの運転中や歩きながらのゲームや音楽再生などには使用しないでください。

事故の原因となります。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指　示

ゲームや音楽再生などをする場合は、適度な音量に調節してください。

音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴の原因となります。適度な音量であっても、長時間の使用によっては、難聴になるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

指　示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。

長時間使用した場合やお客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じるおそれがあります。

知っておいてください

本機の電池パックを取り付ける部分には、リセットボタンがあります。リセットボタンは、正常に電源を切ることができなくなったときなど、特別な場合に使用するボタンです。誤ってリセットボタンを押すと、データの一部が破損したり消去されることがありますので、ご注意ください。

取扱い上のお願い

共通（電話機本体・電池パック・充電用機器・イヤホンマイク）

無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンなどの中で重いものの下になったりしないようにしてください。特に開いた状態でカバンの中に入れないでください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。（周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）

ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。

電源端子・充電端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となることがあります。また、このとき強い力を加えて電源端子を変形させないでください。

汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。

一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、離れてご使用ください。

通話中や充電中など、温かくなることがありますが異常ではありません。

電池パックを取り外す時は、電話機の電源を切ってください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。

電話機本体に電池パックを取付ける際は、コードの向きを確認し正しい向きで行ってください。誤って取り付けると、破損・故障の原因となります。うまく取り付けられない場合は、無理に取り付けず、取扱説明書（P.36）を確認してから取付けなおしてください。

電話機本体に充電用機器を接続する際は、充電機器のコネクタの形状を確認し正しい向きで行ってください。誤って接続すると、破損・故障の原因となります。うまく接続できない場合は、無理に接続せず、取扱説明書（P.38）を確認してから接続しなおしてください。

電話機本体について

電話機本体（電池パックを取り外した背面）に貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様の電話機が電波法および電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、はがさないでください。

電話機に登録されたアドレス帳・データフォルダ・Eメール・ライトメールなどの内容は、事故や故障・修理、その他取扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電話機に保存されたメールやダウンロードしたデータ（有料・無料は問わない）などは、機種変更・故障修理などによる電話機の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。

電話機で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在することがあります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

強く押す・たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷や破損の原因となります。

公共の場所でご使用の際には、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。

電話機本体を開くときやご使用中は、スライド部に無理な力が加わらないようにしてください。振り回したりそらしたりして電話機本体に無理な力が加わると故障や破損の原因となります。

長時間同じ画像を表示させているとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止と消費電力節約のため、節電画面の設定を短い時間にすることをおすすめします。

ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼らないでください。電話機本体を閉じたときキーなどが押されるなどして誤動作したり、閉じた状態でのキー操作ができなくなることがあります。また、電話機が損傷するおそれがあります。

寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合には、電話機内部に水滴がつくことがあります（結露といいます）。また、エアコンの吹き出し口などに置くと、急激な温度変化により結露する場合があります。結露が発生すると内部が腐食し、故障の原因になりますのでご注意ください。

microSDカードを安全に正しくご使用していただくために、使用される前にmicroSDカードの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。

電池パックについて

夏期、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池寿命も短くなります。できるだけ常温でご利用ください。

長期間ご使用にならない場合には、電話機本体から取り外して高温多湿を避けて保管してください。

電池パックには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の新しい電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった電池パックの回収にご協力ください。お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

電池パックを取り外すときは、後方の両側面をつまんで本体から取り出してください。無理な力を加えたりすると、傷害、故障、破損の原因になります。

ACアダプタについて

ご使用にならないときは、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

ACアダプタの電源コードをアダプタ本体や卓上ホルダーに巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

ACアダプタのプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

W-SIM（ウィルコムシム）について

正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとW-SIM（ウィルコムシム）を利用することができません。
本体にW-SIMを取り付けたり取り外したりするときは、必ず電源を切ってください。マイクロUSBケーブルを接続している場合は、ケーブルを本体から外してください。本体の動作中にW-SIMの取り付け、取り外しを行うと、故障や動作不良の原因となります。

電池残量が少ない状態でのW-SIMの取り付け、取り外しをしないでください。故障や動作不良の原因となります。

端子面に触れたり、水にぬらしたり、汚したりしないでください。

曲げたり、折ったりしないでください。

長時間お使いになったあと、取り外したW-SIM（ウィルコムシム）が温かくなっている場合がありますが故障ではありません。

静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込むと窒息、けがの原因となります。

腐食性の薬品の近くや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障、内部データの消失の原因となります。

充電用機器について

ご使用にならないときは、充電用機器の電源プラグをコンセントから外してください。

充電中に周囲の温度が高すぎたり低すぎたりすると、保護機能がはたらいて充電が停止し、フル充電できないことがあります。周囲の温度が5 ℃〜35 ℃の場所にしばらく置くと、充電を再開します。

WS023T本体の充電端子、卓上ホルダーの充電端子はときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となることがあります。

ご使用中のデータについて

WS023Tに保存したデータ、アドレス帳、W-SIM（ウィルコムシム）に保存したアドレス帳はパソコンや他のメディアにバックアップしてください。
W-SIM（ウィルコムシム）の破損などにより、保存したデータが消失したことによる損害について、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

著作権等の設定されたデータは、WS023T本体から外への移動ができない場合があります。

暗証番号について

［お買い上げ時］
■1234

暗証番号を必ずご確認ください。お買い上げ時には「1234」が設定されています。お客様が必要に応じて暗証番号を変更することができます（→P.214）。
暗証番号は秘密保持および、誤操作防止のために使用される大切な番号です。番号をお忘れにならないようご注意ください。万一お忘れになった場合は、本機とウィルコムの申込書の控え、または契約内容確認書類と身分証明書（顔写真の入ったもの）をご持参のうえ、ウィルコムサービスセンター、東芝PHSカスタマーデスクまでご連絡いただくこととなりますのでご注意ください。（預かり修理・有償）

暗証番号				

暗証番号は、暗証番号変更、リモートロック、キーロック、着信拒否、シークレットモード、発信先限定、W-SIM設定、一括消去／リセット、全件削除、文字入力の学習内容リセット、定型文リセットの機能をご利用いただく際に必要となります。

携帯電話・PHS端末のリサイクルについて

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、ご不要になった電話機・電池・充電用機器を、ブランド・メーカーを問わずモバイル・リサイクル・ネットワークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

回収した電話機・電池パック・充電用機器はリサイクルするためご返却できません。
プライバシー保護のため、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

カメラについて

カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。

電話機の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。

大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているかをご確認ください。

他人の容貌などをみだりに撮影・公表することは、その人の肖像権などの侵害となるおそれがありますのでご注意ください。

カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。なお、実演、興行および展示物などには、個人として楽しむための撮影自体が制限されている場合がありますのでご注意ください。

著作権について

音楽・映像・コンピュータ・プログラム・データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）・改変・複製物の譲渡・ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の目的となっている画像を転送することはできません。

肖像権などについて

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、だれにでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

本書の読みかた

本書では、操作手順の記載を簡略化して表記しています。操作手順については、あらかじめ「機能の呼び出しかた」（➞P.43）でご確認ください。

特記事項

●本書ではお買い上げ時の状態を基準に説明しています。お客様が設定を変更されたことにより、動作が本書の操作手順と異なる場合があります。

●誤った操作を行った場合や、他機能の設定により操作に制限がある場合などは、その都度画面にメッセージが表示されます。メッセージが表示されたときは、内容をよくお読みになり、該当する機能の説明を参照してください。

●本書中に記載されているディスプレイ画面は一例です。実際の画面とは表示が異なる場合もあります。

お使いになる前に

こんなことができます

Eメール　P.102

インターネットを経由して、全角20,000文字までのEメールを受信できます。また、全角20,000文字までのEメールを送信できます。装飾メール（デコラティブメール）の送受信もできます。

ライトメール　P.103

ライトメール対応電話機から、全角で61文字（半角で122文字）までのライトメールの受信ができ、逆に本機から全角で45文字（半角で90文字）までのライトメールの送信ができます。さらに、対応機種どうしでアニメ絵文字を使ったライトメールを送受信できます。

Webブラウザ・RSSリーダー　P.134

携帯電話対応サイトだけでなく、パソコン向けのWebページも表示することができます。タブ機能を利用すれば、複数のWebページを開いて切替表示ができます。
RSSリーダーでWebページの新着情報を知ることができます。

ガジェット・アクセサリ　P.198

待受画面に表示する壁紙やカレンダー、ウィルコム ガジェットなどを多彩なメニューから選んで待受画面をカスタマイズできます。

Java™アプリ　P.248

ゲームなどのアプリケーションを楽しむことができます。

カメラ　P.162

200万画素カメラを搭載し、連続撮影やセルフタイマーを使っての撮影、接写など、さまざまな方法で撮影を楽しむことができます。

2次元コードリーダー　P.175

カメラで2次元コード（QRコード™）を読み取り、読み取った情報を利用することができます。

microSDカード　P.178

カメラで撮影した画像、受信メールの添付、赤外線通信、Webからのダウンロードで入手した画像やサウンドのファイルをmicroSDカードに保存できます。

赤外線通信　P.244

赤外線通信機能を搭載した電話機やパソコンなどとの間で、アドレス帳や画像、サウンドなどのデータをやり取りできます。

パーソナルメニュー　P.232

よく使う機能は、パーソナルメニューに登録すると簡単な操作で呼び出せます。

キーロック　P.216

キーロックを設定することで他の人に無断で使われることを防止できます。
キーロック機能には、「サイドロック」「開閉ロック」「オートロック」があります。

リモートロック　P.218

本機を紛失したときなどに、遠隔操作で機能のロックやデータの消去ができます。

プロフィール　P.50

自分の電話番号やメールアドレスを確認できます。

クイックサイレント　P.55

電話がかかってきたとき、応答する前に着信音や、バイブを止めることができます。

アンテナサーチ　P.57

電波の強い基地局を探して切り替えるアンテナサーチ機能が使えます。

小声通話　P.57

小声で話しても相手に聞こえるように、送話音量を大きくできます。

ダイヤルメモ　P.57

通話中に電話番号をメモし、あとから簡単な操作でかけることができます。

通話中音声メモ　P.58

通話中に相手の声を約15秒まで録音できます。

発信履歴・着信履歴　P.59

かけた電話番号やかかってきた電話番号を、最新の20件まで表示して電話をかけられます。発信履歴・着信履歴からアドレス帳へ登録することもできます。

マナーモード　P.61

標準のマナーモードのほかに、音、バイブ、留守番電話応答、画面ライトなどの設定をカスタマイズして利用できます。また、曜日や時刻を指定してマナーモードを自動的に起動できます。

留守番電話　P.64

留守番電話の応答を設定し、相手の声を約15秒まで留守音声メモに録音できます。応答メッセージの種類も選べます。

安全運転モード　P.66

車の運転中にかかってきた電話に対して、電話に出られないことを知らせます。応答メッセージの種類や留守番電話による録音を設定できます。

アドレス帳　P.84

本体のメモリに保存されるアドレス帳と、W-SIMのアドレス帳の2つが使用できます。電話番号、メールアドレス、名前のほかに、住所、生年月日、URLなどの項目が登録できます。

データフォルダ　P.178

カメラで撮影した画像、受信メールの添付、赤外線通信、Webページからのダウンロードで入手した画像やサウンドのファイルを、データフォルダに分類して保存できます。

着信音設定　P.190

電話の着信音、Eメール受信音、ライトメール受信音を別々のメロディや音量、バイブで細かく設定できます。

効果音・保留音設定　P.192

効果音を鳴らさないようにしたり、保留音のメロディを設定できます。

アラーム　P.204

アラームを20件まで登録できます。時刻だけでなく曜日、繰り返し、アラーム音などの細かな設定ができ、利用目的に合わせて切り替えられます。

スケジュール　P.206

カレンダーを表示して、スケジュール管理ができます。スケジュールにアラームを設定することもできます。また、休日、祝日、誕生日などを記念日として設定できます。

着信拒否　P.222

電話番号の指定、発信者番号の非通知、アドレス帳への未登録などで着信拒否する相手を設定できます。

タイマー　P.233

60分までの時間をダイヤルキーで設定して、タイマーとして利用できます。

パソコンとの接続　P.237

マイクロUSBケーブルでパソコンと接続し、本機とパソコンとの間でデータのやりとりができます。また、パソコンから充電することもできます。

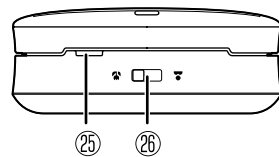
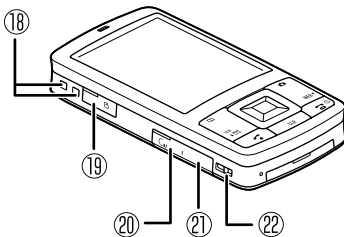
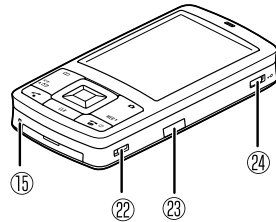
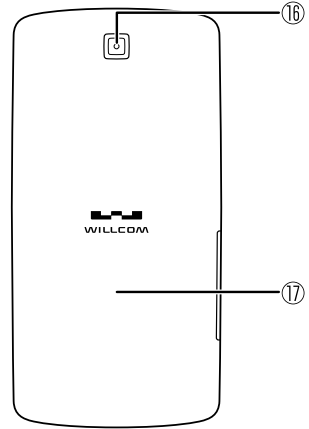
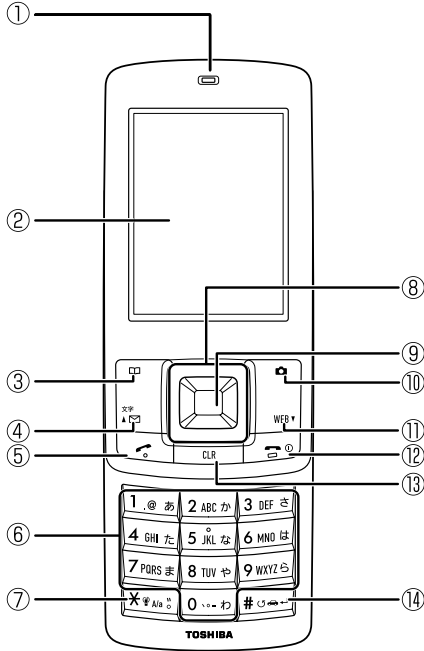
位置情報の通知機能　P.239

位置情報サービスに対応しています。ウィルコム位置検索サービスおよび位置情報サービス提供会社にお申し込みになると、位置情報通知を利用した機能をご利用になれます。

国際ローミング　P.256

日本国内でお使いの本機を、台湾やタイ、ベトナムなどでも使うことができます（別途お申し込み必要）。

各部の名前と機能

本体

①受話口（レシーバー）

②ディスプレイ（→P.32）

③左ソフトキー／アドレス帳

画面下左に表示される機能の実行、アドレス帳の利用に使います。

④メール・文字キー

待受画面ではメールの利用に、文字入力時には入力モード切り替えに使います。また、表示項目が2ページ以上にわたる画面では、前ページの表示に使います。

⑤通話キー

電話をかけるときや受けるときに使います。

⑥ダイヤルキー

電話番号をダイヤルするときや文字を入力するときに使います。

⑦＊キー／マナーモード

文字の入力、文字の大文字／小文字切り替えやマナーモードを設定するときに使います。

⑧カーソルキー

カーソルの移動、画面のスクロールなどに使います。

・左キー／着信履歴：カーソルの左移動、着信履歴の表示に使います。
・上キー／ウィルコム ガジェット：カーソルの上移動、待受画面のウィルコム ガジェットを操作するときに使います。
・右キー／発信履歴：カーソルの右移動、発信履歴の表示に使います。
・下キー／パーソナル：カーソルの下移動、パーソナルメニューの利用に使います。

⑨センターキー／イルミネーション

画面下中央に表示される機能の実行に使います。着信／不在着信時、メール受信時、アラーム起動時などに点滅します。充電中は赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。

⑩右ソフトキー／カメラ

画面下右に表示される機能の実行、カメラの利用に使います。

⑪Webキー

待受画面ではインターネットの利用に使います。表示項目が2ページ以上にわたる画面では、次ページの表示に使います。

⑫終話・電源キー

電源の入／切、通話の終了、操作の中止に使います。

⑬クリアキー／Java™アプリ

文字の消去、画面に戻るときやJava™アプリ一覧の表示に使います。

⑭＃キー／安全運転モード

安全運転モードの設定や文字入力時の改行、割り当て文字の逆順表示に使います。

⑮送話口（マイク）

⑯レンズ部(カメラ)（→P.162）

⑰電池カバー／W-SIMカバー

電池パックの取り付けや、W-SIMの取り付け、取り外しをするときにこのカバーを開きます。

⑱ストラップ取り付け穴

⑲microSDカード挿入口（microSDカードスロット）

microSDカードの取り付け、取り外しをするときに開きます。

⑳イヤホン端子

㉑マイクロUSB端子

付属のACアダプタを使っての充電や、マイクロUSBケーブルでパソコンに接続するときに使います。

㉒充電端子

㉓赤外線ポート

赤外線通信でデータを送受信するときに使います。

㉔サイドロックスイッチ

サイドロックの設定／解除を行います。

㉕スピーカー

着信音はここから鳴ります。

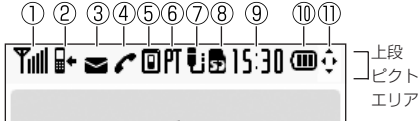
㉖マクロスイッチ

接写モードの利用に使います（→P.164）

補　足

●待受画面でキーを押して操作できる機能について

待受画面でキーを押して操作できる機能については「かんたん機能ガイド」（→P.269）をご参照ください。

ディスプレイ

待受画面（上部）

待受画面（下部）

①電波の状態

：電波の受信レベル表示、バーの数が多いほど電波状態が良好

：電波の届かない場所にいるとき

：W-SIMが装着されていないとき

②未確認の着信やアラーム（数字は件数）

：不在着信があるとき

：未応答のデータ着信があるとき

：未対応の着信があるとき

：留守番電話センターに録音されたメッセージがあるとき

：未確認のアラームがあるとき

：未確認のスケジュールアラームがあるとき

：未確認のタイマーがあるとき

：未確認の留守音声メモがあるとき

：未確認の音声メモがあるとき

：未確認の通話中音声メモがあるとき

③メール

：未読のEメールがあるとき

：未読のライトメールがあるとき

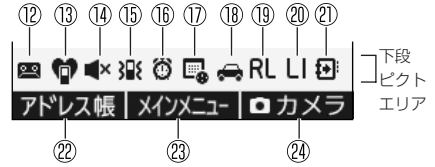
：未読のライトメールとEメールがあるとき

：受信していないメールがセンターにあるとき

④通話／インターネット接続／タイマー

：電話の呼び出し中、通話中

：インターネットに接続中は点灯、データの送受信中は点滅

：SSL通信で接続中は点灯、データの送受信中は点滅

：タイマー動作中

：Java™アプリが動作中

：Java™アプリが待機中

：RSSコンテンツがあるとき／自動更新されたRSSチャンネルがあるとき

⑤表示モード

：デスクトップモードでWebページを表示しているとき

：ケータイモードでWebページを表示しているとき

：Smart-FitモードでWebページを表示しているとき

：Webページ内にサウンドファイルがあるとき

⑥データ通信

PT：パケット通信中

：32kPIAFS通信中

：64kPIAFSベストエフォート通信中

：64kPIAFSギャランティ通信中

FC：パケットとPIAFSを切り替えて通信中

：料金分計サービスを利用中

：無線停止を設定しているとき（→P.242）

⑦USB接続

：マイクロUSBケーブルでパソコンまたはACアダプタと接続中

⑧microSDカード

：microSDカードを装着中

：microSDカード内のデータを閲覧中

⑨ピクト日付表示（→P.195）

15:00：時計のみ

01/01 15:00：日付と時刻（お買い上げ時）

⑩電池の状態

：電池残量の表示（→P.40）

：充電中

⑪移動可能な方向

：上下左右に移動可能なときの例

：上下にのみ移動可能なときの例

⑫留守番電話

：留守番電話設定中（→P.64）

⑬マナーモード

：マナーモード中（自動起動設定中は ）（→P.63）

⑭着信音

：着信音が「OFF」のとき

⑮バイブ

：バイブが設定されているとき

⑯アラーム

：アラームが設定されているとき

⑰スケジュールアラーム

：スケジュールアラームが設定されているとき

⑱安全運転モード

：安全運転モード中のとき

⑲リモートロック／ローミングモード

RL：W-SIMがリモートロックされているとき（→P.218）

Rm 台湾
Rm タイ ：ローミングモード中のとき
Rm ベトナム （→P.256）

⑳位置情報

LI：位置情報通知を設定しているとき（→P.239）

㉑W-SIMのアドレス帳更新

：W-SIMのアドレス帳の変更をW-SIMに転送していないとき（→P.98）

㉒左ソフトキー表示（→P.44）

㉓センターキー表示（→P.44）

㉔右ソフトキー表示（→P.44）

メモ

■お知らせ表示について

着信やメール受信があると、お知らせが表示されます。

お知らせ表示画面
（ガジェット・アクセサリを時計（24H）に設定してある場合）

お知らせ表示を選択すると、内容を確認できます。

CLR または を押すと、通常の待受画面に戻ります。

もう一度、未確認のお知らせを表示するには、 を押します。

お知らせの種類

着信件数：電話に出なかったとき（→P.59）

新着メール：メールを受信したとき（→P.114）

センターメールあり：センターに受信していないメールがあるとき（→P.116）

留守音声メモ：留守音声メモが録音されたとき（→P.65）

センター留守電あり：留守番電話サービスのメッセージが録音されたとき（→P.253）

未確認アラームあり：アラームの停止操作を行わなかったとき（→P.206）

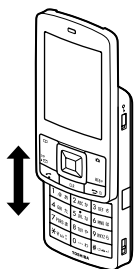
未確認スケジュールあり：スケジュールアラームの停止操作を行わなかったとき（→P.208）

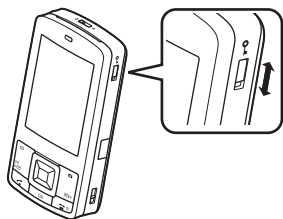
購読ニュース更新あり：チャンネルに登録したページが更新されているとき（→P.144）

ご注意

- ガジェット・アクセサリが「ガジェット」または「待受Java™アプリ」の場合、お知らせは表示されません（→P.198）。
- 表示できるお知らせの件数は、各項目につき99件までです。100件以降の件数は表示されません。お知らせの確認操作をすると件数はリセットされ、次の新着から表示されるようになります。

本体を開く／閉じる

本体を開くときは、ディスプレイのある本体前面部を上方向にスライドさせます。
閉じるときは、下方向にゆっくりとスライドさせます。

サイドロックの設定／解除

サイドロックスイッチを「ON」にすることで、キー操作をロックすることができます。
サイドロックは設定しておくことをおすすめします。

補　足

●サイドロックを解除する場合は

サイドロックスイッチを「OFF」にします。

●サイドロック中でもできる本機の操作について

次の操作のみできます。

・ かかってきた電話を受ける
・ 電話を切る
・ アラームを停止する
・ 画面ライトの点灯

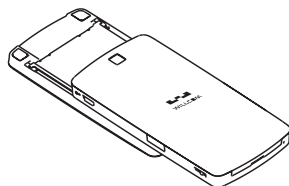
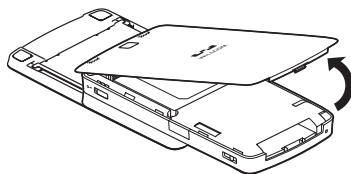
●待受以外の画面ではサイドロックがかかりません

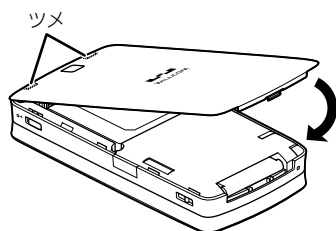
W-SIMを取り付ける

WS023Tをご利用になるには、W-SIMを取り付ける必要があります。

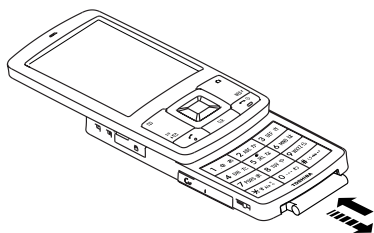
W-SIM（ウィルコムシム）は、PHS無線通信技術（アンテナおよび無線機）が搭載された多機能通信モジュールで、電話番号やW-SIMのアドレス帳などのお客様のデータも保管されています。

本体にW-SIMを取り付けたり取り外したりするときは、必ず電源を切ってください。ACアダプタやマイクロUSBケーブルを接続している場合は、本体から取り外してください。

1 **本体をスライドして開いた状態にする**

2 **矢印の方向に持ち上げて外す**

3 W-SIMを挿入し、指先でW-SIMを押し込み、さらに「パチッ」と音がするまでつめ先で押し込む

4 電池カバーを閉じる

電池カバー上部のツメを本体の穴に差し込みながら矢印の方向に閉じ、「カチッ」と音がするまで押し込む

補　足

●W-SIMを取り外すときは

①電池カバーをはずし、W-SIMを軽く押し込む

②少し飛び出したW-SIMを、まっすぐに引き出す

ご注意

●電池カバーを外すときは、必ず本体をスライドして開いた状態ではずしてください。閉じたまま電池カバーを外すと破損するおそれがあります。

●W-SIMを取り付けるときは、差し込み口が狭くなっているため必要以上に強く押し込まないでください。指先のけがや本体を破損するおそれがあります。

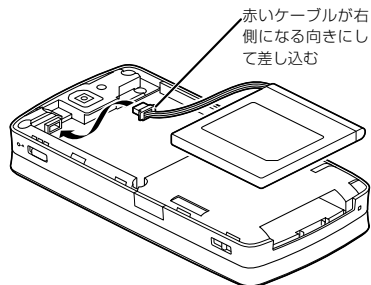
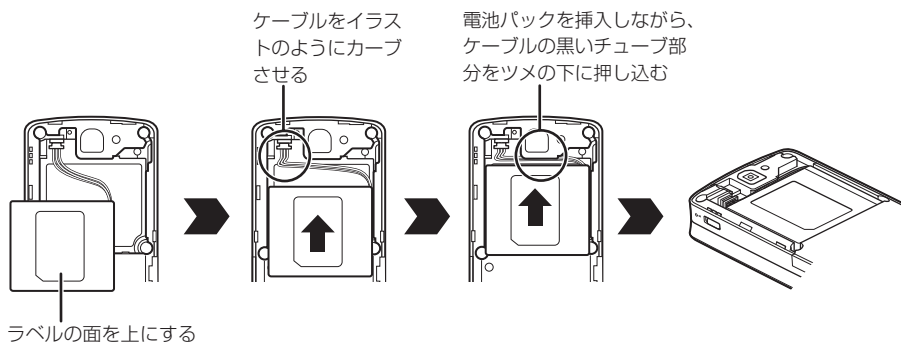
●W-SIMを取り外すとき、W-SIMが勢いよく飛び出してくることがありますのでご注意ください。

●W-SIM付近を指や金属などで触れたり覆ったりしないでください。また、シールなども貼らないでください。電波感度が弱まることがあります。

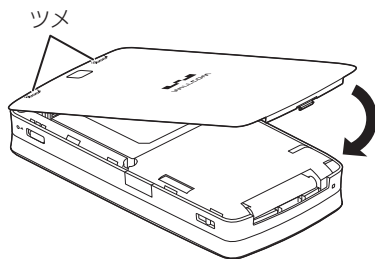
電池パックを取り付ける

お買い上げ時には電池パックは取り付けられていません。次の説明を見ながら、正しく取り付けてください。

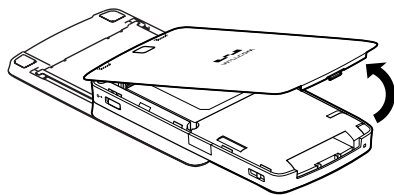
●電池カバーのはずし方（→P.37）

1 電池パックのコネクタを本体のコネクタに差し込む

2 電池パックのラベルの面を上にして、下記のように電池パックを本体に収める

3 電池カバーをイラストのように本体に乗せて閉じる

電池カバー上部のツメを本体の穴に差し込みながら矢印の方向に閉じ、「カチッ」と音がするまで押し込む。

補　足

●電池パックを取り外すときは

新しい電池パックに交換するときなど、電池パックを取り外す必要がある場合は、次のようにします。

① 電源が入っているときは、[電源キー]を2秒以上押して電源を切る
② 本体をスライドして開いた状態にする
③ 矢印の方向に持ち上げて外す

④ 電池パック後方の両側面を指でつまんで、本体から電池パックを取り出す
⑤ 電池パックのコネクタを本体のコネクタから抜く

ご注意

●電池カバーを外すときは、必ず本体をスライドして開いた状態ではずしてください。閉じたまま電池カバーを外すと破損するおそれがあります。

●電池パックを取り外すと、日付・時刻設定が「2008／01／01 00：00」（お買い上げ時の設定）に戻ります。

●電池の消耗や故障・誤動作などでデータが変化または消失した場合の損害および損失利益につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。大切な情報は、事前にメモに控えたり、外部の記録媒体等にデータを移しておいてください。

●電池パックは、ケーブルを本体のツメの下に格納して確実に取り付けてください。ケーブルが浮き上がった状態で無理に電池カバーを取り付けると、電池カバーが閉まらず、故障の原因となります。

●取り付けや取り外しの際に、電池パックに無理な力を加えたり、無理に押し込んだりしないでください。傷害、故障、破損の原因になります。

●必要があるとき以外は、電池パックを取り外さないでください。

メ　モ

■使用済みの電池パックについて

電池パックには、リチウムイオン電池を使用しています。環境保護のため、交換して不要となった電池パックは、お近くのウィルコムプラザ、ウィルコムカウンター、またはモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちください。その際、ショートによる液漏れ、発熱、発火のおそれがあるため、必ずコネクタ部にテープを貼るなどの絶縁処理を行ってください。

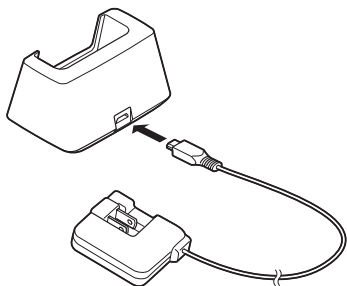
充電する

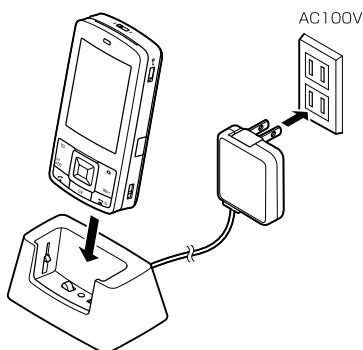
お買い上げ時、電池パックは十分に充電されていません。初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

充電は、本機の電源を入れていても切っていてもできます。

卓上ホルダーを使って充電する

電池パックを取り付けた本機を、卓上ホルダーに置いて充電します。

1 卓上ホルダーにACアダプタのコネクタを差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、電源コンセント（AC100V～240V）に差し込む

3 本機を卓上ホルダーに置く

補　足

●**充電中／充電完了を確認するには**

充電中はイルミネーションが点灯し、充電が完了すると消灯します。また、電源が入っているときは、充電中の待受画面に が表示され、充電が完了すると に変わります。

ご注意

●卓上ホルダーを使用して充電する場合は、必ず付属のACアダプタACW023Tをご使用ください。

●卓上ホルダーを使用して充電する場合は、必ず本体を閉じて置いてください。破損するおそれがあります。

●充電端子が汚れていると、接触不良の原因となり、正しく充電できません。本機や卓上ホルダーの充電端子は、ときどき乾いた綿棒などで掃除してください。

●卓上ホルダーの充電端子を掃除するときは、充電端子を変形させないようご注意ください。

●充電中は、本機や卓上ホルダーの一部が多少熱くなりますが、充電によるもので、支障はありません。

マイクロUSBケーブルで充電する

本機をマイクロUSBケーブルでパソコンと接続することにより、充電することができます。マイクロUSBケーブルは、USB1.1以上の認定品をご使用ください。

1 本機のマイクロUSB端子キャップを開き、マイクロUSBケーブルの接続コネクタを差し込む

2 マイクロUSBケーブルのUSBコネクタを、電源の入ったパソコンのUSBポートに差し込む

補　足

●USB充電の設定を変更するには

充電速度を高速または低速に設定できます。パソコンと接続しても充電が行われないようにすることもできます（→P.238）。

●充電時間の目安は

	充電時間	
ACアダプタ	USB充電の設定に従う	
卓上ホルダー	3時間以上	
USB充電	「高速」設定時	3時間以上
	「低速」設定時	9時間30分以上

ご注意

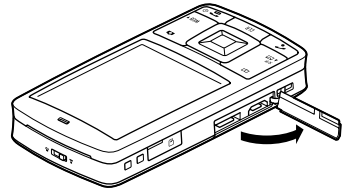
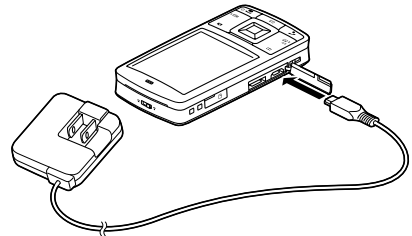
●マイクロUSB端子キャップを開いたり閉じたりする際に、無理な力を加えたり引っ張ったりしないでください。キャップやゴムを変形させるおそれがあります。

●パソコンのUSBポートから充電しているときは、パソコンのUSBポート給電能力によっては、「高速」に設定していても低速相当の充電時間となります。

●マイクロUSB端子にコネクタを差し込む際に無理な力を加えたり、ひねったりしないでください。ケガや破損のおそれがあります。

ACアダプタを使って充電する

ACアダプタを使って本機を充電します。

1 本機のマイクロUSB端子キャップの溝に、爪などを差し込んでキャップを開く

2 ACアダプタのコネクタを、マイクロUSB端子に差し込む

3 ACアダプタの電源プラグを起こし、電源コンセント（AC100V～240V）に差し込む

補　足

●充電中／充電完了を確認するには

充電中はイルミネーションが点灯し、充電が完了すると消灯します。また、電源が入っているときは、充電中の待受画面に が表示され、充電が完了すると に変わります。

ご注意

●ACアダプタを使用しての充電は、USB充電の設定に従います。

●充電中は、本機やACアダプタの一部が多少熱くなりますが、充電によるもので、支障はありません。

●マイクロUSB端子キャップを開いたり閉じたりする際に、無理な力を加えたり引っ張ったりしないでください。キャップやゴムを変形させるおそれがあります。

●マイクロUSB端子キャップを閉じるときは、キャップのツメが「パチッ」と音がするまで、本体に押し込んでください。また無理に押し込んで、キャップのツメを変形させないようにご注意ください。

●マイクロUSB端子にコネクタを差し込む際に無理な力を加えたり、ひねったりしないでください。ケガや破損のおそれがあります。

電池残量の確認

電池残量は、ディスプレイに表示される電池アイコンで確認できます（表示は目安です）。

：十分にあります。

：少なくなっています（半分以下）。

：あまりありません。充電してください。

：残量がありません。充電してください。

補　足

●**電池がなくなると**

が表示され、「ピピピピ」という音（充電警告音）が鳴ります。約1分後には電源が切れます。通話中の場合は、通話が切れ、約1分後に電源が切れます。

●**電池の使用可能時間の目安は**

連続待受時間（電源を入れたまま、画面を消灯してキー操作や通話、通信を行わずに待受状態を続けられる時間）は、約550時間です。

連続通話時間（電波の状態が良いところで移動せずに通話を続けられる時間）は、約5.5時間です。

ご注意

●充電警告のメッセージが表示された場合は、W-SIMの抜き差しをしないでください。

●連続待受時間は、電波が正常に受信できる状態で移動せずに算出した平均的な数値です。電波の届きにくい場所や圏外表示の状態では、使用できる時間が半分以下になることがあります。

●ディスプレイの照明が点灯している状態でのご使用が多い場合、連続待受時間や連続通話時間が短くなります。

●電池パックには寿命があり、充電を繰り返すうちに利用可能時間が徐々に短くなります。最初に比べて利用可能時間が半分程度になってきたら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。なお、電池パックの寿命は、使用状態によって異なります。

●電池残量の表示はおよその目安です。 が表示されてから充電警告音が鳴るまでに時間がかかる場合があります。

microSDカードを取り付ける／取り外す

microSDカード（市販品）を本機に装着すると、記録容量が増え、画像、録音データなどをより大量に保存できます。使用できるmicroSDカードのサイズは64Mバイト～2Gバイトです。
当社基準において動作確認したmicroSDカードは、東芝製、Panasonic製、SanDisk製です。

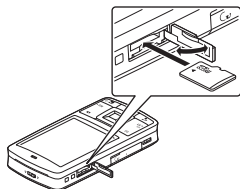
補　足

●microSDカードを初めて使用する場合は、初期化を行ってください。（→P.188）

ご注意

●microSDカードの取り付け／取り外しは、必ず本機の電源を切った状態で行ってください。

microSDカードを取り付ける

1 本機のmicroSDカード挿入口のキャップを開ける

2 挿入口にmicroSDカードのラベルが上になるようにして差し込む

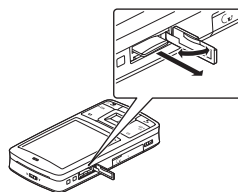
カチッと音がするところまで差し込みます。

3 microSDカード挿入口のキャップを閉じる

補　足

●microSDカードは正しい向きになっていることを確認してから差し込んでください。
●microSDカードが正常に差し込まれると、待受画面に「SD」が表示されます。

microSDカードを取り外す

1 本機のmicroSDカード挿入口のキャップを開ける

2 microSDカードを抜き取る

microSDカードを押して指を離すとmicroSDカードが少し出てくるので、ゆっくり引き抜きます。

3 microSDカード挿入口のキャップを閉める

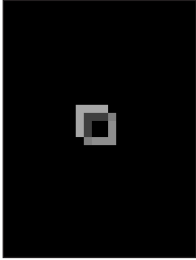
ご注意

●microSDカードを取り出すときは無理に引き抜かないでください。
●microSDカードへアクセスしているときは、microSDカードを引き抜いたり、電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を2秒以上押す

↓

W-SIMを装着している場合は「データ転送中」画面が表示されます。

↓

待受画面
(ガジェット・アクセサリを時計(24H)に設定してある場合)

補　足

●**PINロックを設定している場合は**
電源を入れるたびにPIN番号を入力する必要があります（→P.226）。

●**待受画面の表示について**
お買い上げ時は、「ガジェット」が設定されています（→P.198）。

電源を切る

1 を2秒以上押す

補　足

● **が表示されている場合は**
W-SIMのアドレス帳に変更を加えたあとは、電源を切るときにW-SIMのアドレス帳の更新が自動で行われます。

機能の呼び出しかた

各機能の説明では、機能の呼び出しかたを簡略化して表記していますので、この「機能の呼び出しかた」をご覧になってからお読みください。本書では「待受画面」からの操作手順として説明いたします。

キー操作の基本

基本1：操作を開始する

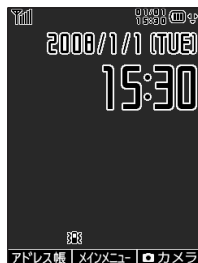
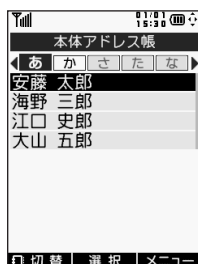
待受画面を表示し、キーを押して目的の操作を開始します。

〈例〉メインメニューの表示

待受画面
（ガジェット・アクセサリを時計（24H）に設定してある場合）

↓ ■（メインメニュー）

メインメニュー画面

〈例〉アドレス帳の表示

待受画面
（ガジェット・アクセサリを時計（24H）に設定してある場合）

↓ ⌐（アドレス帳）

本体のアドレス帳一覧画面

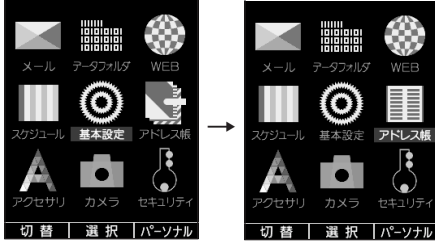
補　足

●待受画面からの簡単操作について

待受画面からキーを押して、さまざまな機能を簡単に呼び出すことができます。「かんたん機能ガイド」（→P.269）をご参照ください。

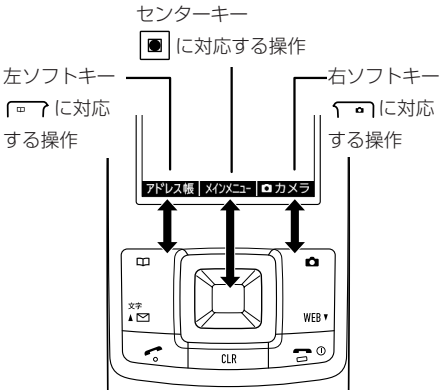
基本2：操作対象や操作位置を指定する

カーソル（■や囲み枠）が表示されているときは、カーソルキー（、、、）で操作対象や操作位置にカーソルを移動させます。

を押してカーソルを右に移動

基本3：センターキーまたはソフトキーを押して操作を決定する

現在表示中の画面に対して行える操作が画面下に3つまで表示されます。これらの表示は、それぞれセンターキーと左右のソフトキーに対応しており、各キーを押すことで操作を決定できます。

センターキー
に対応する操作

左ソフトキー
に対応する操作

右ソフトキー
に対応する操作

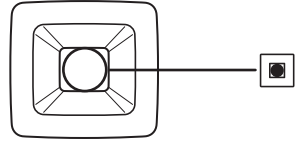
操作説明の中でセンターキーやソフトキーを押すところでは、そのキーに対応する画面表示を（　）の中に表記しています。

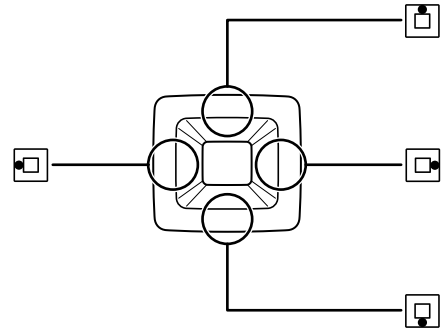
〈例〉上記の画面のとき、を押す操作を表記する場合

（アドレス帳）を押す

メ モ

■センターキーの表記について

センターキーについては、本書中で次のように表記しています。

■カーソルキーの表記について

カーソルの移動、画面のスクロールで使用するカーソルキーは、本書中で次のように表記しています。

カーソルの移動方向やスクロール方向により、次のように表記しているところもあります。

：または　を押す

：または　を押す

：、、、のいずれかを押す

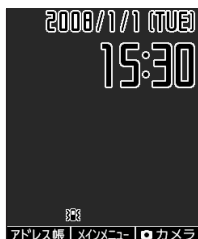
メニューから選択する

待受画面で●（メインメニュー）を押すと、メインメニュー画面が表示されます。メインメニューから分類されている項目を順番に選択していくことにより、目的の機能を呼び出すことができます。

操作説明の中では、メニュー操作を次のように表記しています。
特に説明のない場合は、待受画面から操作を開始します。

●（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「2 表示設定」→「4 ピクト日付表示」の順に選択する

実際の操作は、次のとおりです。

1 待受画面を表示し、●（メインメニュー）を押す

待受画面
（ガジェット・アクセサリを時計(24H)に設定してある場合）

↓ ●（メインメニュー）を押す

メインメニュー画面

2 「基本設定」が反転表示されていることを確認し、●（選択）を押す

メインメニュー画面

↓ ●（選択）を押す

基本設定画面

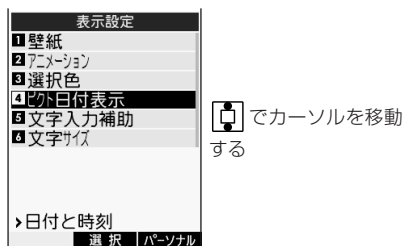
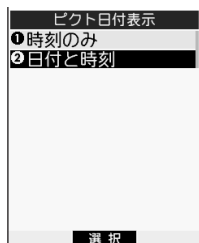
3 ◇を押して「2 表示設定」にカーソルを移動し、●（選択）を押す

◇でカーソルを移動する

基本設定画面

↓ ●（選択）を押す

表示設定画面

4 3と同じ要領で、さらに「4 ピクト日付表示」を選択する

でカーソルを移動する

表示設定画面

↓ （選択）を押す

ピクト日付表示設定画面

5 設定を変更する場合は でカーソルを移動し、（選択）を押す

6 設定操作が終了したら、 を押して待受画面に戻る

補 足

●メインメニュー画面のデザインを変更する場合は

メインメニュー画面で （切替）を押す

●メニュー操作を中止するには

を押します。待受画面に戻ります。

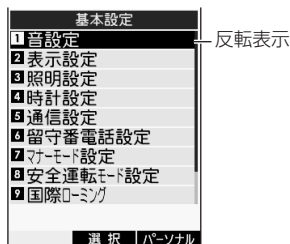
●1つ前のメニューに戻るには

を押します。

●「選択する」あるいは「設定を選択する」と表記されているときは

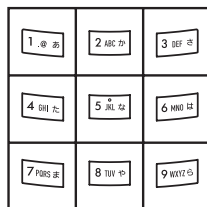
操作2～3のように項目にカーソルを移動して （選択）を押します。

●「反転表示する」と表記されているときは

項目にカーソルを移動して表示が反転された状態にします。

●ダイヤルキーで選択する方法について

1～9、0、*、#で表された設定項目は、ダイヤルキーを押して選択することもできます。

●メインメニュー画面での選択方法について

メインメニューの他の項目を選択する場合には、 でカーソルを移動して目的の項目を選択します。メインメニューは対応するダイヤルキーを押して項目を選択することもできます。

メインメニュー画面

メ　モ

■メインメニューの項目について

メインメニューは次の項目で分類されています。項目番号をダイヤルキーで押しても、メインメニューの項目を選択できます。

メインメニュー項目	項目番号	内　容
「メール」	1	Eメールやライトメールの送受信ができます。
「データフォルダ」	2	画像やサウンドなどのファイルをフォルダで分類して保存できます。
「WEB」	3	インターネットに接続してWebページを閲覧できます。
「スケジュール」	4	スケジュール管理ができます。
「基本設定」	5	ご利用スタイルに合わせて、いろいろな設定ができます。
「アドレス帳」	6	本体のアドレス帳、W-SIMのアドレス帳の2種類のアドレス帳で電話番号やメールアドレスの管理ができます。
「アクセサリ」	7	ガジェット・アクセサリ、電卓、タイマー、赤外線通信、メモメニュー、Java™アプリ、アラーム、USB充電などの便利な機能を使えます。
「カメラ」	8	カメラ、2次元コードリーダーが利用できます。
「セキュリティ」	9	暗証番号の管理、リモートロックなど、本機のセキュリティを高める設定ができます。

■反転表示の色について

反転表示する色は「選択色」（→P.195）の設定で変更することができます。

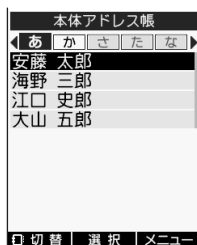
操作中のメニューを使う

右ソフトキー（ ）の画面表示が「メニュー」のときは、操作中のメニューが利用できます。

操作説明の中では、操作中のメニューを使う操作を次のように表記しています。
（ここではアドレス帳一覧を表示中に行う場合の操作を、例として挙げています。）

（メニュー）を押し、アドレス帳一覧のメニューから「3検索」を選択する

実際の操作は次のとおりです。

1 （メニュー）を押す

アドレス帳一覧

↓

アドレス帳一覧のメニュー

2 を押して「3検索」を反転表示し、（選択）を押す

補　足

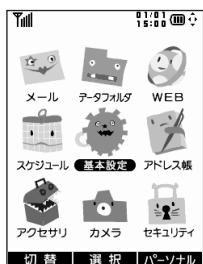
●ダイヤルキーでメニューを選択する場合は

ダイヤルキーでメニューを選択する場合は、3 を押します。

メインメニューについて

待受画面で ◙ を押すとメインメニューが表示されます。メインメニューから項目を選択することで目的の機能を呼び出すことができます。
メインメニューは を押してデザインを切り替えることができます。

1 **待受画面を表示し、◙（メインメニュー）を押す**

2 **（切替）を押してデザインを切り替える**

暗証番号について

セキュリティ機能を使用するときは、暗証番号の入力が必要です。暗証番号には、次の3種類があります。どちらの番号も、お買い上げ時に設定されている番号から変更することができます（→P.214、215）。お客様の個人情報やデータを保護するために変更されることをおすすめします。

■暗証番号
プライバシー保護やデータ消去防止のために使用する、数字4桁の番号です。お買い上げ時は「1234」が設定されています。暗証番号の入力が必要な機能は次のとおりです。

・暗証番号変更
・キーロック
・リモートロック
・着信拒否
・シークレットモード
・発信先限定
・W-SIM設定（PINロック）
・一括消去/リセット

また、上記以外でもアドレス帳やメール、発信履歴・着信履歴などの保存データを全件消去するときや、文字入力の学習内容リセット、定型文リセット等では、暗証番号の入力が必要です。

■W-SIM暗証番号
リモートロックや位置情報通知の設定を行うために必要な数字4桁の番号です。お買い上げ時は「0000」が設定されています（→P.214）。

■管理者パスワード
管理者ロックの設定を行うために必要な数字4桁の番号です。お買い上げ時は「0000」が設定されています（→P.215）。

発信者番号通知の設定

電話をかけるときに電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。

[お買い上げ時]
■通知する

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「❺通信設定」→「❹発信者番号通知」の順に選択する

2 設定を選択する

ご注意

●メールまたはWebの利用時は、発信者番号通知が「通知しない」に設定されていても、接続先に番号が通知されます。

時計の設定

日付・時刻を正しく表示したり記録したりするために、時計を設定します。

日付と時刻を設定する

お使いになる前に日付と時刻を設定してください。日時設定をしないと、ご利用になれない機能もあります。

[お買い上げ時]
■2008／01／01 00：00

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「❹時計設定」→「❶日時設定」の順に選択する

2 数字キーを押して日付と時刻を入力する

入力位置を移動するには
◙を押す

入力位置の数字を増減するには
◙を押す

3 ◙（確定）を押す

時計の自動補正を設定する

自動的に日付・時刻が補正される機能を利用できます。

［お買い上げ時］
■自動補正する

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「❹時計設定」→「❷自動日時補正」の順に選択する

2 設定を選択する

メ モ

■「自動補正する」に設定していると

パケット通信時にネットワークから自動的に時刻情報を受信して、日時を補正します。補正は、ネットワークに接続した時点で本機の日時が30秒以上ずれていた場合にのみ行われます。

ご注意

●音声通話、ライトメール送受信では、日時補正機能が作動しません。

●本機の時計をずらしてご利用になる場合は、「自動補正しない」に設定してください。

プロフィールの設定

お客様の電話番号、メールアドレスを表示できます。プロフィールには、名前を登録できます。

プロフィールを表示する

1 ◙（メインメニュー）を押し、0を押す

プロフィール画面

2 お客様の電話番号、メールアドレスを確認する

プロフィールを編集する

1 ◙（メインメニュー）を押し、0 を押す

2 ◙（編集）を押す

3 名前を入力し、◙（確定）を押す

4 ◫（登録）を押す

補　足

●**通話中にプロフィールを表示するには**
◙ を押し、 0 を押します。
通話中に名前の編集はできません。

●**プロフィールを赤外線通信で送受信するには**
（→P.245、246）

●**メニューからプロフィールを表示するには**
◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「0 プロフィール」の順に選択します。

ご注意

●プロフィールのメールアドレスは、オンラインサインアップ後に表示されます。

●プロフィールの電話番号、メールアドレスは編集できません。

電　話

電話をかける

1 **電話番号を市外局番から入力する**

2 **電話番号を確認し［発信］を押す**

3 **通話が終わったら［終話］を押す**

電話

補　足

●電話番号を押し間違えたときは

［CLR］を押すと直前の番号が消去されます。
［CLR］を1秒以上押すとすべての番号が消去されます。

●ポーズを入力するには

ポーズを入れたいところで［P］（P）を押します。

●オフフック発信をするには

［発信］を押してから電話番号を入力しても、電話をかけられます。

●ダイヤルメモで電話をかけるには

① 発信履歴または着信履歴を表示する
発信履歴を表示する場合は
［□●］を押す
着信履歴を表示する場合は
［●□］を押す

② ［□●］または［●□］を押し、ダイヤルメモを表示する

③ ［発信］を押す

ダイヤルメモは次の操作でメニューから選択することもできます。

［◙］（メインメニュー）→「アクセサリ」→「5 メモメニュー」→「5 ダイヤルメモ」の順に選択します。

●本体のアドレス帳のメモリ番号（0〜99）を利用して電話をかけるには（スピードダイヤル）

メモリ番号（0〜99）を入力して［発信］を押すと、通常使用する電話番号に電話をかけられます。
メモリ番号については「アドレス帳について」（→P.84）をご参照ください。

メ　モ

■引用発信について

［発信］を押してから［メニュー］（メニュー）を押すと、メニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
アドレス帳引用	アドレス帳を呼び出します。
発信履歴	発信履歴を呼び出します。
着信履歴	着信履歴を呼び出します。
ダイヤルメモ	ダイヤルメモを呼び出します。
分計発信*	料金分計サービスを利用して電話をかけます（→P.254）。

＊ ［発信］＋電話番号入力後に選択可能

■電話番号入力中のメニューについて

電話番号入力中に［メニュー］（メニュー）を押すと、メニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
発信	入力した番号に電話をかけます。
184発信／186発信	相手に電話番号を通知するかどうかを指定します。
分計発信／分計184発信／分計186発信	料金分計サービスを利用して電話をかけます（→P.254）。
ライトメール作成	ライトメールの作成画面が表示されます（→P.112）。
アドレス帳登録	電話番号をアドレス帳に登録します（→P.85）。

通知／非通知を指定して電話をかける

電話番号を通知しない場合は「184」を、電話番号を通知する場合は「186」を電話番号の前に付加してかけます。

1 1 8 4 +電話番号（非通知）
または
1 8 6 ＋電話番号（通知）
を入力する

2 を押す

補　足

●電話番号を先に入力した場合は
（メニュー）を押し、メニューから「184発信」または「186発信」を選択しても通知／非通知を指定できます。

●管理者ロックが設定されている場合は
管理者ロック（→P.215）でアドレス帳操作を「制限する」に設定している場合は、相手が電話番号を通知していても、アドレス帳に登録された名前は表示されません。

メ　モ

■電話をかけてきた相手の表示について

相手が電話番号を通知して電話をかけてきた場合は、着信中に電話番号が表示されます。アドレス帳に登録されている相手の場合は、登録されている名前が表示されます。相手が電話番号を通知してこない場合は、非通知の理由（「ユーザ非通知」／「公衆電話発信」／「通知不可能」）が表示されます。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら を押す

2 通話が終わったら を押す

電話に出る前に着信音を止める

電話がかかってきたとき、電話に出る前に着信音やバイブを止めることができます（クイックサイレント）。

1 電話がかかってきたら または CLR を押す

着信音だけを止めたい場合は
CLR を押す

着信音とバイブを止めたい場合は
を押す

2 電話に出られるようになったら を押す

着信中に留守応答する

かかってきた電話に出られないとき、留守設定をしていないときでも、留守応答することができます。

1 電話がかかってきたら、（留守メモ）を押す

2 応答方法の設定に従って、相手に留守応答メッセージが通知される

補　足

●着信中の留守応答方法は
留守番電話設定の「応答方法」（→P.64）に従います。

エニーキーアンサーを設定する

エニーキーアンサーは、[通話キー]だけでなくダイヤルキー（[1]～[9]、[0]）、[*]、[#]、[■]を押しても電話に出られる機能です。

［お買い上げ時］
■応答する

1 **[■]（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「5 通信設定」→「6 エニーキーアンサー」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

通話中の操作

通話中画面ではメニューから次の操作ができます。

通話中画面

■通話中のメモメニューについて

通話中に[メモメニューキー]（メモメニュー）を押すと、次の操作ができます。

メニュー	内　容
通話中音声メモ録音	通話中の相手の声を録音します（→P.58）。
音声メモ再生／消去	音声メモを再生または消去します（→P.58）。
メモ帳	メモ帳一覧を表示します（→P.236）。
ダイヤルメモ	通話中に電話番号をメモして保存します（→P.57）。

■通話中のメニューについて

通話中に[メニューキー]（メニュー）を押すと、次の操作ができます。

メニュー	内　容
アドレス帳検索	本体またはW-SIMのアドレス帳を呼び出します。
発信履歴／着信履歴	発信履歴、着信履歴を呼び出します（→P.59）。
アンテナサーチ	電波の強い基地局を検索します（→P.57）。
小声通話	小声で話しても相手に聞こえるようにします（→P.57）。
ダイヤルメモ表示	ダイヤルメモを表示します（→P.57）。
保留	通話を保留します（→P.57）。

電波の強い基地局をサーチする

通話中の電波状態が良くないときに、電波の強い基地局を検索して切り替えることができます（アンテナサーチ）。アンテナサーチ中は通話できません。

1 通話中に［●］（確定）を1秒以上押す

補　足

●**待受中にアンテナサーチするには**
待受中も［●］（確定）を1秒以上押すと、アンテナサーチができます。

●**通話中のアンテナサーチについて**
1回の通話中には、3回までアンテナサーチを実行できます。

ご注意

●アンテナサーチを行っても、環境により電波状態が変わらない場合もあります。

受話音量を調節する

相手の声の音量を5段階で調節できます。

1 通話中に受話音量を調節する

相手の声を大きくする場合は

［▲］を押す

相手の声を小さくする場合は

［▼］を押す

小声で話しても相手に聞こえるようにする

小さな声で話しても相手に聞こえるように、送話音量を一時的に大きくします（小声通話）。

1 通話中に［WEB］を1秒以上押す

2 小声通話を解除するには［WEB］を1秒以上押す

補　足

●**イヤホンマイク(市販品)装着時の設定について**
本機能の設定は、イヤホンマイク(市販品)の装着時にも有効です。

通話を保留する

1 通話中に［文字］を押す

2 通話に戻るときは［文字］を押す

補　足

●**メニューから保留を解除する方法について**
保留中に［メニュー］(メニュー)を押し、「7 保留解除」を選択します。

通話中に電話番号をメモする

通話中に電話番号などの32桁までの数字をメモして保存できます（ダイヤルメモ）。保存できるダイヤルメモは1件で、新たに保存すると前の内容は消去されます。

1 通話中に［メモ］（メモメニュー）を押し、「5 ダイヤルメモ」を選択する

2 電話番号を入力し、［●］（確定）を押す

補　足

●**ダイヤルメモで電話をかけるには**（→P.54）

通話中にダイヤルメモを表示する

通話中にダイヤルメモの内容を表示したり、PB信号として送出することができます。

1 ［メニュー］（メニュー）を押し、「6 ダイヤルメモ表示」を選択する

2 ダイヤルメモが表示される

通話中画面に戻る場合

［CLR］を2回押す

PB信号を送出する場合

［●］（選択）を押す

通話中の相手の声を録音する

通話中の相手の声を約15秒間録音できます（通話中音声メモ）。録音できるのは留守音声メモ、音声メモと合わせて3件までです。

1 通話中に［メモ］を1秒以上押す

2 録音する

15秒経過すると

自動的に録音が終了する

15秒より前に録音を終了する場合は

［●］（停止）を押す

音声メモを再生する

1 ［●］（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「5 メモメニュー」→「3 音声メモ再生／消去」の順に選択する

2 通話中音声メモを反転表示し、［●］（再生）を押す

補 足

- **通話中音声メモについて**
  通話中音声メモには、音声メモの一覧画面で 通話メモ が表示されます。

- **再生中にイヤホンマイク（市販品）を装着した場合は**
  再生中にイヤホンマイク（市販品）を装着した場合、イヤホンから音声メモを聞くことができます。

音声メモを消去する

1 ［●］（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「5 メモメニュー」→「3 音声メモ再生／消去」の順に選択する

2 消去する音声メモを反転表示し、［メモ］（消去）を押す

3 「はい」を選択する

通話中の着信を設定する

通話中や、パケット通信中（メール送受信中を除く）にかかってきた電話などの着信を画面で通知するかどうかを設定できます。

[お買い上げ時]
■着信する

1 ［●］（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「5 通信設定」→「5 通信中着信」の順に選択する

2 通話中の着信を設定する

着信を画面で通知する場合は

「着信する」を選択する

着信を画面で通知しない場合は

「着信しない」を選択する

補 足

- **通話中に着信があると**
  通信中着信設定を「着信する」に設定している場合、通話中に電話がかかってくると通知音が鳴り、画面に着信があったことや着信の種類を知らせるメッセージが表示されます。たとえば、通話中に電話がかかってきたときは「着信がありました」と表示されます。

- **パケット通信中に着信があると**（→P.243）

ご注意

- 通信中着信設定を「着信する」に設定していても、ライトメールの受信は通知されません。着信履歴にも記録されません。
- 通信中着信設定を「着信しない」に設定しているときの通話中の着信は、着信履歴に記録されません。
- お使いのW-SIMのバージョンによって、動作が異なる場合があります。通信中着信機能に対応していないW-SIMの場合、通信中着信設定の設定操作をすると、「W-SIMへの登録に失敗しました」と表示されます。

発信履歴・着信履歴

電話をかけた相手は発信履歴に、かかってきた相手は着信履歴に記録されます。電源OFFや圏外時の着信は、着信履歴で確認できません。

不在着信を確認する

応答しなかった着信があると、 と「着信件数　XX件」のお知らせが表示されます。

1「着信件数　XX件」を選択する

お知らせ表示画面
（ガジェット・アクセサリを時計（24H）に設定してある場合）

2 着信履歴を確認する

着信履歴画面

着信種別

不在：不在着信

拒否：着信拒否

留守メモ：留守音声メモが録音された着信

応答：応答着信

未対応：未対応着信

ワン切り：ワン切り着信

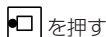
発信履歴・着信履歴から電話をかける

1 発信履歴または着信履歴を表示する

発信履歴を表示する場合は

を押す

着信履歴を表示する場合は

を押す

2 電話番号または名前を反転表示し、 を押す

発信履歴画面

補　足

●表示を切り替えるには

を押すと、発信履歴、着信履歴、ダイヤルメモの表示を切り替えられます。

●発信履歴・着信履歴に表示される内容は

最新の20件が表示されます。アドレス帳に登録されている相手の場合は、登録されている名前が表示されます。

●留守音声メモを聞くには

留守メモの着信履歴を反転表示し、 （再生）を押します。
ただし、留守音声メモが消去されている場合は再生できません（→P.58）。

ご注意

●ガジェット・アクセサリが「ガジェット」または「待受Java™アプリ」の場合、お知らせは表示されません（→P.198）。

メ モ

■発信履歴・着信履歴の詳細画面について

発信履歴・着信履歴の一覧から電話番号または名前を選択すると、詳細を確認できます。詳細画面で [通話キー] を押すと電話をかけることができます。

発信履歴詳細画面の例

着信履歴詳細画面の例

■発信履歴・着信履歴のメニューについて

発信履歴・着信履歴表示中に [キー]（メニュー）を押すと、メニューから次の操作ができます。

メニュー	内 容
発信	履歴から電話をかけます。
アドレス帳登録	履歴の電話番号をアドレス帳に登録します（→P.88）。
消去 （1件消去）	履歴を消去します。一覧の場合、1件消去、選択消去、全件消去を選択できます（→P.60）。詳細画面表示中は、表示している履歴を1件消去します。
発信先限定登録	履歴の電話番号を発信先限定の番号に登録します（→P.225）。
着信拒否番号登録	履歴の電話番号を着信拒否の指定番号に登録します（→P.223）。
ライトメール作成	電話番号を宛先に設定してライトメールを作成します（→P.112）。

発信履歴・着信履歴を消去する

1 発信履歴または着信履歴を表示する

発信履歴を表示する場合は

[キー] を押す

着信履歴を表示する場合は

[キー] を押す

2 消去の操作をする

1件消去する場合は

① 消去する履歴を反転表示する

② [キー]（メニュー）を押し、「3 消去」→「1 1件消去」の順に選択する

③「はい」を選択する

複数の履歴を選択して消去する場合は

① [キー]（メニュー）を押し、「3 消去」→「2 選択消去」の順に選択する

② 消去する履歴を選択する

③ [キー]（消去）を押し、「はい」を選択する

全件消去する場合は

① [キー]（メニュー）を押し、「3 消去」→「3 全件消去」の順に選択する

② 暗証番号を入力する

③「はい」を選択する

累積通話時間を確認する

通話時間の累積を確認できます。また、累積をリセットして「0秒」に戻すことができます。

累積通話時間に表示できるのは999時間59分59秒までです。これを超えると累積通話時間のカウントは停止します。

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「5通信設定」→「9累積通話時間」の順に選択する

2 累積通話時間を確認する

補　足

●**累積通話時間をリセットするには**
累積通話時間表示中に（リセット）を押し、「はい」を選択します。

ご注意

●表示される通話時間は目安です。実際の通話時間とは異なる場合があります。

マナーモードの設定

本機の使用が周囲の迷惑にならないように、着信音などを鳴らさないように設定するのがマナーモードです。標準、オリジナル1、オリジナル2の3種類のマナーモードから選択できます。

メ　モ

■**「標準」のマナーモードで設定される機能について**

バイブ：パターン1

電話着信音量、Eメール受信音量、ライトメール受信音量、アラーム音量、スケジュール音量：OFF

留守応答方法：留守番電話設定に従う

画面ライト：「照明設定」の「画面ライト」設定に従う

充電中着信音：鳴動しない

効果音：OFF

ご注意

●通話中は、マナーモードを設定していても充電警告音は鳴ります。

●マナーモード中も音の設定はできます。

●本機を卓上ホルダーにセットして充電しているときは、バイブが動作しません。

マナーモードを起動／解除する

1 ＊ を1秒以上押す

解除する場合は

＊ を1秒以上押す

補　足

●**マナーモードを起動すると**
「　」が表示されます。

マナーモードを選択する

[＊] を1秒以上押す操作で起動されるマナーモードを標準、オリジナル1、オリジナル2の中から選択します。

［お買い上げ時］
■標準

電話

1 [●]（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「7 マナーモード設定」→「1 マナーモード選択」の順に選択する

2 マナーモードを選択する

選択したマナーモードをすぐに起動する場合は
「はい」を選択する

マナーモードを編集する

オリジナル1とオリジナル2は、次に示す各機能の動作を編集することができます。

マナーモードの機能	内　容
バイブ	着信時にバイブを振動させるかどうかや、振動パターンを設定します。
電話着信音量	電話の着信音を鳴らさないようにしたり、音量を設定します。
Eメール受信音量	Eメール受信時の音を鳴らさないようにしたり、音量を設定します。
ライトメール受信音量	ライトメール受信時の音を鳴らさないようにしたり、音量を設定します。
アラーム音量	アラームの音を鳴らさないようにしたり、音量を設定します。
スケジュール音量	スケジュールアラームの音を鳴らさないようにしたり、音量を設定します。
留守応答方法	かかってきた電話に対する留守番電話の応答方法や、留守音声メモを録音するかどうかを設定します。
画面ライト	マナーモード中の照明を設定します。設定できる内容は照明設定と同じです（→P.196）。
充電中着信音	充電中の着信音について設定します（→P.62）。
効果音	キー確認音やパワーオン／オフ音を鳴らすかどうかを設定します。ONに設定すると、効果音（→P.192）の設定に従って効果音が鳴ります。

1 [●]（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「7 マナーモード設定」→「2 マナーモード編集」の順に選択する

2 「1 オリジナル1」または「2 オリジナル2」を選択する

3 マナーモードの機能を選択し、設定操作をする

4 [メモ]（登録）を押す

充電中着信音を設定する

マナーモード中、卓上ホルダーにセットして充電している間の着信音について設定します。着信音を鳴らさないようにしたり、音量の設定が行えます。

［お買い上げ時］
■鳴動しない

1 [●]（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「7 マナーモード設定」→「2 マナーモード編集」の順に選択する

2 「1 オリジナル1」または「2 オリジナル2」を選択する

3 「9 充電中着信音」を選択し、設定操作をする

4 [メモ]（登録）を押す

補　足

● **「各音量設定に従う」に設定すると**
オリジナル1（オリジナル2）のマナーモード設定で着信音量（*1）をOFFに設定している場合は、着信音は鳴りません。
＊1：オリジナル1（オリジナル2）のマナーモード設定では、「電話着信音量」、「Eメール受信音量」、「ライトメール受信音量」をそれぞれ個別に設定できます。

ご注意

●緊急特番（119、110、118）からの着信については、本設定に関係なく着信音が鳴ります。

●安全運転モード中は、本設定に関係なく着信音は鳴りません。

●マナーモード選択を標準に設定している場合、本設定に関係なく着信音は鳴りません。

●USB充電の場合、着信音の鳴動は卓上ホルダーにセットしていない場合と同じです。

時間を指定してマナーモードを起動する

指定した曜日の指定した時間に自動的にマナーモードが起動されるようにします。起動するマナーモードは、標準、オリジナル1、オリジナル2から選択できます。

［お買い上げ時］
■曜日指定：なし
■開始時刻：00：00
■終了時刻：00：00
■マナーモード選択：標準

1 **（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「7 マナーモード設定」→「3 自動起動設定」の順に選択する**

2 **項目を選択し、設定操作をする**

曜日を設定する場合は
①「1 曜日指定」を選択する
② 曜日を選択し、（確定）を押す

時間を指定する場合は
①「2 時刻指定」を選択する
② 開始時刻、終了時刻を入力する

マナーモードを選択する場合は
「3 マナーモード選択」を選択し、マナーモードを選択する

3 **（登録）を押す**

補　足

●**マナーモードの自動起動を設定すると**
「」が表示されます。自動起動によりマナーモードが起動すると「」が表示されます。

●**マナーモードの自動起動を解除するには**
操作1を行い、（解除）を押します。

留守番電話の設定

電話

留守番電話を設定すると、電話に出られないときに応答メッセージを流して、留守音声メモを録音できます。留守音声メモは1件につき約15秒までで、通話中音声メモと音声メモを合わせて3件まで録音できます。この留守番電話機能は、ウィルコムの留守番電話サービスとは異なる電話機本体の機能です。

留守番電話を起動／解除する

1 [留守ボタン]を1秒以上押す

解除する場合は

[留守ボタン]を1秒以上押す

補　足

●留守番電話を起動すると

「[留守アイコン]」が表示されます。

●メニューから留守番電話を起動／解除するには

① [■]（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「5 [アイコン] メモメニュー」の順に選択する

②「1 留守音声メモ」→「❶起動する」または「❷解除する」の順に選択する

留守番電話を設定する

応答時間を設定する

着信から留守番電話が応答するまでの時間を0〜99秒の範囲で設定できます。

[お買い上げ時]

■10秒

1 [■]（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「6 留守番電話設定」→「2 応答時間」の順に選択する

2 応答時間を入力する

応答方法を設定する

留守音声メモを録音できるようにするかどうかを設定できます。

[お買い上げ時]

■応答／録音

1 [■]（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「6 留守番電話設定」→「3 応答方法」の順に選択する

2 設定を選択する

留守音声メモを録音できるようにする場合は

「❶応答／録音」を選択する

留守音声メモを録音しない場合は

「❷応答のみ」を選択する

補　足

●応答方法により流される応答メッセージは

応答／録音：ただいま電話に出られません。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください

応答のみ：ただいま電話に出られません。おそれいりますがのちほどおかけ直しください

操作2で[再生ボタン]（再生）を押すと、応答メッセージを確認できます。

ご注意

●音声メモが3件録音されているときは、「応答／録音」を設定しても「応答のみ」になります。

応答メッセージを設定する

オリジナルメッセージを録音する

オリジナルの応答メッセージを録音します。

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「6留守番電話設定」→「1応答メッセージ設定」→「1録音」の順に選択する

2 応答メッセージを録音する

15秒経過すると
自動的に録音が終了する

15秒より前に録音を終了する場合は
◙（停止）を押す

補　足

●**録音済みのオリジナルメッセージを確認するには**

◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「6留守番電話設定」→「1応答メッセージ設定」→「2再生」の順に選択します。

ご注意

●オリジナルメッセージは消去できません。新たに録音すると上書きされます。

応答メッセージを選択する

[お買い上げ時]
■固定メッセージ

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「6留守番電話設定」→「1応答メッセージ設定」→「3応答メッセージ選択」の順に選択する

2 応答メッセージを選択する

固定メッセージで応答する場合は
「❶固定メッセージ」を選択する

録音したオリジナルメッセージで応答する場合は
「❷オリジナルメッセージ」を選択する

補　足

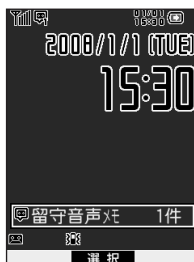
●**応答メッセージを確認するには**
操作2で（再生）を押します。

録音内容を聞く

留守番電話の音声メモが録音されると、と「留守音声メモ　XX件」のお知らせが表示されます。

1 「留守音声メモ　XX件」を選択する

お知らせ表示画面
（ガジェット・アクセサリを時計（24H）に設定してある場合）

電話

2 再生する音声メモを反転表示し、◙（再生）を押す

音声メモ一覧画面

補　足

●**ディスプレイの最上段に表示される件数は**
 とともに表示される件数は、新しい留守音声メモと、保存されている未確認の留守音声メモの合計数です。

●**メインメニューの「基本設定」から録音内容を聞くには**
◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「6 留守番電話設定」→「4 音声メモ再生／消去」の順に選択します。

●**メインメニューの「アクセサリ」から録音内容を聞くには**
◙（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「5 メモメニュー」→「3 音声メモ再生／消去」の順に選択します。

●**音声メモを消去するには**
音声メモ一覧で消去する音声メモを反転表示して（消去）を押すか、音声メモ再生中に（消去）を押します。

●**再生中にイヤホンマイク（市販品）を装着した場合は**
再生中にイヤホンマイク（市販品）を装着した場合、イヤホンから音声メモを聞くことができます。

ご注意

●ガジェット・アクセサリが「ガジェット」または「待受Java™アプリ」の場合、お知らせは表示されません（→P.198）。

安全運転モードの設定

車の運転中にかかってきた電話に対して、電話に出られないことを伝えます。設定により留守音声メモを録音してもらうこともできます。

安全運転モードには次の4種類の設定があり、選択できます。

安全運転モードの種類	内　容
ネットワーク応答／録音*	ウィルコムのネットワークが応答し、留守番電話サービスのメッセージを録音します。 〈流れるメッセージ〉 ただいま運転中のため、留守番電話センターでメッセージをお預かりいたします。発信音のあとに60秒以内でメッセージを録音してください。
ネットワーク応答のみ	ウィルコムのネットワークが応答します。メッセージは録音できません。 〈流れるメッセージ〉 ただいま運転中のため電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください。
電話機応答／録音	電話機が応答し、留守音声メモを録音します。 〈流れるメッセージ〉 ただいま移動中のため電話に出られません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。
電話機応答のみ	電話機が応答します。留守音声メモは録音できません。 〈流れるメッセージ〉 ただいま移動中のため電話に出られません。おそれいりますがのちほどおかけ直しください。

＊ このモードをご利用になるには、ウィルコムの留守番電話サービスをお申し込みのうえ、留守番電話サービスを起動する必要があります（→P.252）。留守番電話サービスにお申し込みいただいていない場合、「ネットワーク応答／録音」に設定していても「ネットワーク応答のみ」の動作になります。

メ モ

■安全運転モード中の動作について

安全運転モード中の電話の着信、メールの受信動作は次のようになります。

電話の着信／発信

着信音は鳴りません。振動はしません。電話に出ることはできません。着信は着信履歴に記憶されます。ただし、緊急特番（119、110、118）からの電話は着信音が鳴り、出ることができます。

安全運転モード中も電話をかけることはできます。

メールの受信

受信音は鳴りません。振動はしません。メールは受信されます。

安全運転モードを起動／解除する

1 [#] を1秒以上押す

解除する場合は

[#] を1秒以上押す

補 足

●**安全運転モードを起動すると**

　[車] が表示されます。

●**安全運転モード中に録音された内容を聞くには**

「ネットワーク応答／録音」の場合は留守番電話サービスのメッセージ再生操作（→P.253）で、「電話機応答／録音」の場合は音声メモの再生操作（→P.58）で聞くことができます。

安全運転モードを選択する

[お買い上げ時]

■電話機応答／録音

1 [●]（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「8安全運転モード設定」の順に選択する

2 安全運転モードを選択する

ご注意

●音声メモが3件録音されているときは、「電話機応答・録音」を設定しても「電話機応答のみ」になります。

国際電話をかける

ウィルコムの国際電話サービスを利用して本機から国際電話をかけることができます。事前のお申し込みは不要です。

ウィルコムの国際電話サービスを利用して国際電話をかけるときは、次のようにダイヤルします。

〈例〉アメリカの212-123-4567にかける場合

010	1	212	123-4567
↑	↑	↑	↑
アクセス番号	アメリカの国番号	ニューヨークの地域番号	相手の電話番号

補 足

●**海外でご利用いただくには**

ウィルコムサービスセンターにお電話いただき、国際ローミングサービスにお申し込みいただくことにより（有料）、対応地域で国際ローミング（→P.256）モードで通話することができます。

ご注意

●国際ローミングサービスへのお申し込みは、ウィルコムサービスセンターにお電話ください。

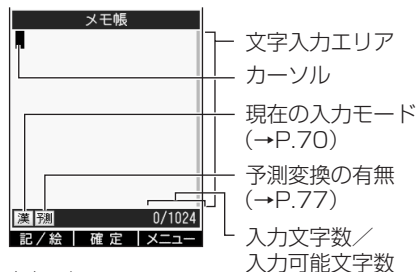
●国際電話の通話料金については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

●日本国内から国際電話をかける場合は、申込手数料、月額料は不要です。

文字入力

文字入力について

文字入力画面では、文字入力用に割り当てられたキーの機能を使って操作します。

文字入力画面

文字入力画面

メ　モ

■文字入力画面のメニューについて

文字入力画面で （メニュー）を押すと、次の操作ができます。

メニュー	内　容
顔文字	顔文字を入力します（→P.81）。
定型文	定型文を入力します（→P.80）。
特殊文字入力	記号入力、絵文字入力、区点コード入力を呼び出します（→P.75）。
コピー／カット／貼り付け	文字列をコピーまたはカットして貼り付けます（→P.76）。
引用	アドレス帳や発着信履歴、ダイヤルメモ、プロフィール、メモ帳から電話番号やEメールアドレスを引用して入力できます（→P.79）。
予測変換ON／OFF	予測変換のON／OFFを設定します(→P.77)。
編集中止	編集を中止します。

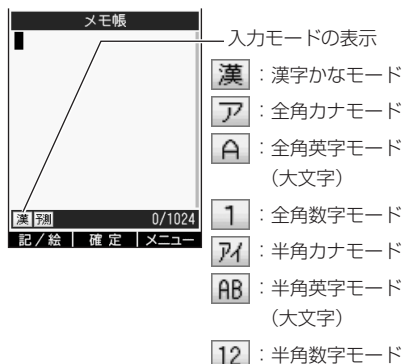
入力モードを切り替える

1 文字入力画面で を押す

入力モード切替画面

2 入力モードを選択する

入力モードの表示

- 漢 ：漢字かなモード
- ア ：全角カナモード
- A ：全角英字モード（大文字）
- 1 ：全角数字モード
- ｱｲ ：半角カナモード
- AB ：半角英字モード（大文字）
- 12 ：半角数字モード

補　足

●文字入力中、確定前に大文字／小文字を切り替えるには

 または （全角／半角英字モード以外）を押します。

●入力モード切替画面で英字大文字／小文字を切り替えるには

 を押します。

a ：全角英字モード（小文字）

↑　↓

A ：全角英字モード（大文字）

ご注意

●入力する内容によっては、選択できない入力モードもあります。
<例>Eメールの文字入力では半角カナを選択できません。

文字入力画面でのキー割り当て

キー	漢字かな	カナ （全角／半角）	英字 （全角／半角）	数字 （全角／半角）
1 .@ あ	あいうえおぁぃぅぇぉ あいうえお 注1	アイウエオァィゥェォ アイウエオ 注1	. @ − ＿ ／ : 〜 1	1
2 ABC か	かきくけこ	カキクケコ	ABC2	2
3 DEF さ	さしすせそ	サシスセソ	DEF3	3
4 GHI た	たちつてとっ たちつてと 注1	タチツテトッ タチツテト 注1	GHI4	4
5 JKL な	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL5	5
6 MNO は	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO6	6
7 PQRS ま	まみむめも	マミムメモ	PQRS7	7
8 TUV や	やゆよゃゅょ やゆよ 注1	ヤユヨャュョ ヤユヨ 注1	TUV8	8
9 WXYZ ら	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ9	9
0 わ	わをんゎー〜（空白）､。!?・ わをんー〜（空白）､。!?・ 注1	ワヲンヮー（空白）､。!?・ ワヲンー（空白）､。!?・ 注1	! ? , ; '( )（空白）0	0
* A/a	− 〜注4（空白）、。！？・ 大文字／小文字切替（文字確定前、可能な文字のみ） 半濁点（゜）濁点（゛）（文字確定前、可能な文字のみ）注3		大文字／小文字切替	*
#	改行 文字確定前は、割り当てられた文字を逆順に表示する 注2			#
	絵文字／Web絵文字／半角記号／全角記号／顔文字切替 （文字確定前は英字／数字／カナ切替）	絵文字／Web絵文字／半角記号／全角記号／顔文字切替		
	文字確定または 文字入力の終了	文字入力の終了		
	メニューの表示（文字確定前は予測変換／漢字変換モード切替）	メニューの表示		
文字	入力モード切替			
WEB	大文字／小文字切替 「あいうえおつやゆよわ」 に有効	大文字／小文字切替 全角「アイウエオツヤユヨワ」 に有効 半角「アイウエオツヤユヨ」 に有効	ドメイン入力モード	

注1 キー割当設定（→P.82）が「やゆよやゆよ」の場合

注2 でも文字確認前に割り当てられた文字を逆順に表示することができます。

注3 ＜例＞　つ→っ→づ→つ

注4 漢字かなモードのみ

文字入力

カナ／英字／数字モードの全角／半角の初期値を設定する

入力モード切替画面で、[文字]を押したときのカーソル移動順を設定できます。

[お買い上げ時]

■カナ：全角
■英字：半角
■数字：半角

1 [●]（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「2表示設定」→「5文字入力補助」→「5入力モード設定」の順に選択する

2 「1カナ」、「2英字」、「3数字」のいずれかを選択する

3 設定を選択する

補　足

●**入力モード切替画面でのカーソル移動について**
入力モード切替画面で[文字]を押したときのカーソル移動は、次のようになります。

お買い上げ時
①お買い上げ時の入力モード
[漢]：漢字かなモード
② [文字]を押す
[ア]：全角カナモード
③ [文字]を押す
[AB]：半角英字モード
④ [文字]を押す
[12]：半角数字モード

文字入力の操作

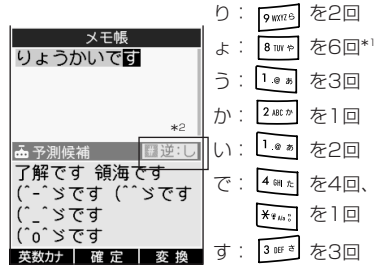
入力したい文字種の入力モードに切り替え、文字が割り当てられたキーを押して文字を入力します。（あ行、た行、や行、わ行は、キー割当設定によって表示される文字が異なります。）
文字入力の操作説明は、「文字入力画面」が表示されている状態から始めます。

漢字やひらがなを入力する

漢字かなモードでひらがなを入力したあと、漢字に変換します。ひらがなを入力したいときは変換しないでそのまま確定します。

〈例〉「了解です」と入力する場合

1 入力モード[漢]が画面に表示されていない場合は[文字]を押し、漢字かなモードを選択する

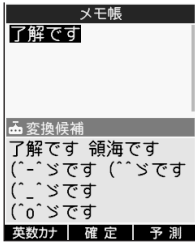
2 ひらがなを入力する

＊1　小文字の入力方法は、キー割当設定（→P.82）によって異なります。
＊2　予測変換モードの場合、[#]を押したときに表示される文字がガイドに表示されます。

キーを押し間違えた場合は
[CLR]を押すとカーソル位置の文字が消去される

キーを押す回数を間違えた場合は
[#]を押すとキーに割り当てられた文字順の1つ前の文字に戻る

続けて同じキーの文字を入力する場合は
[▶]を押してカーソルを右に移動する

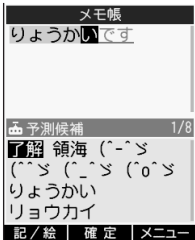
ひらがなで確定する場合は
[●]（確定）を押す

3 （変換）を押して漢字に変換する

漢字を確定する場合は

（確定）を押す

変換する範囲を変更する場合は

を押して範囲を変更し、（変換)を押す

4 を押して変換候補を表示する

5 漢字を選択し、（確定）を押す

補　足

● **カタカナ・英字・数字に変換するには**
文字を入力して確定する前に（英数カナ）を押すと、押したキーに割り当てられている英字、数字、カタカナの一覧が表示され、選択できます。

● **「え段」や「お段」の文字をすばやく入力するには**
文字を入力して を押すと、割り当てられた文字が逆順に表示されます。このはたらきを利用すると、「え段」や「お段」の文字を少ないキー操作で入力できます。
たとえば「ねこ」と入力するときは、次のように操作します。
ね： を1回、 を2回
こ： を1回、 を1回

カタカナを入力する

全角カナモードまたは半角カナモードに切り替えて入力します。

〈例〉「サッカー」と入力する場合

1 を押し、全角カナモードまたは半角カナモードを選択する

2 カタカナを入力する

サ： を1回
ッ： を6回*
カ： を1回
ー： を5回*

＊ キー割当設定（→P.82）によって異なります。

キーを押し間違えた場合は

を押すとカーソル位置の文字が消去される

キーを押す回数を間違えた場合は

を押すとキーに割り当てられた文字順の1つ前の文字に戻る

続けて同じキーの文字を入力する場合は

を押してカーソルを右に移動する

補　足

● **漢字かなモードでカタカナをすばやく入力するには**
〈例〉「サッカー」と入力する場合
①漢字かなモードで「さっかー」と入力する
②（英数カナ）を押し、「サッカー」を選択する

英字を入力する

全角英字モードまたは半角英字モードに切り替えて入力します。

〈例〉「Zoo」と入力する場合

1 ［文字］を押し、全角英字モードまたは半角英字モードを選択する

英字入力モードの大文字／小文字を切り替える場合は

［＊］を押す

2 英字を入力する

キーを押し間違えた場合は

［CLR］を押すとカーソル位置の文字が消去される

キーを押す回数を間違えた場合は

［#］を押すとキーに割り当てられた文字順の1つ前の文字に戻る

続けて同じキーの文字を入力する場合は

［→］を押してカーソルを右に移動する

補　足

● **漢字かなモードで英字を入力するには**

〈例〉「ZOO」または「zoo」と入力する場合

①漢字かなモードで「れふふ」と入力する

②［ ］（英数カナ）を押し、「ZOO」または「zoo」を選択する

● **英字の大文字／小文字の設定について**

英字の大文字／小文字の設定は、［＊］を押したあとも継続して有効です。

メ　モ

■ **ドメイン入力モードについて**

メールアドレスやURLなど全角英字・半角英字入力画面で［WEB］を押すと、ドメイン入力モードに切り替わります。ドメイン入力モードでは、次の文字列を選択して入力できます。これらの文字列はすべて半角で入力されます。

.ne.jp	.co.jp	.ac.jp
.com	www.	http://
.pdx.ne.jp	@willcom.com	@docomo.ne.jp
@ezweb.ne.jp	.vodafone.ne.jp	@softbank.ne.jp

ドメイン入力モードの文字列は、定型文の編集操作で編集できます（→P.81）。

数字を入力する

全角数字モードまたは半角数字モードに切り替えて入力します。

〈例〉「55」と入力する場合

1 ［文字］を押し、全角数字モードまたは半角数字モードを選択する

2 数字を入力する

55：［5］を2回

キーを押し間違えた場合は

［CLR］を押すとカーソル位置の文字が消去される

補　足

● **漢字かなモードで数字を入力するには**

〈例〉「55」と入力する場合

①漢字かなモードで「なな」と入力する

②［ ］（英数カナ）を押し、「55」を選択する

絵文字／記号／顔文字を入力する

絵文字／記号／顔文字の一覧を呼び出して入力します。絵文字／記号／顔文字は「表情／感情」「生物／自然」のようにカテゴリ分けされています。「履歴」カテゴリには過去に使用した絵文字／記号／顔文字が表示されます。

1 （記／絵）を押す

表示している絵文字のカテゴリを表します（→P.273）

絵文字／記号／顔文字の画面を切り替える場合は

（記／絵）を押すごとに絵文字／Web絵文字／半角記号／全角記号／顔文字の順に切り替わる

2 絵文字／記号／顔文字を入力する

1文字のみ入力する場合は

入力する文字を反転表示し、（確定）を押す

連続して入力する場合は

① 入力する文字を反転表示し、（連続）を繰り返し押す

② 操作①を繰り返し、（確定）を押す

補　足

●**次のカテゴリを表示するには**
を押すと前のカテゴリを、を押すと次のカテゴリを表示できます。

●**カーソルをページ単位に移動させるには**
（ページ戻り）または（ページ送り）を押すと、表示されているページ単位に移動できます。

●**記号一覧（→P.272）**

●**絵文字一覧（→P.273）**

●**顔文字一覧（→P.81）**

ご注意

●現在の入力モードで入力できる絵文字／記号／顔文字のみ表示されます。

●絵文字は、パソコンや携帯電話に送信した場合、相手側で正しく表示されないことがあります。

●Web絵文字をEメール、ライトメールに使用すると、受信された側で正常に表示できない場合があります。

区点コードで入力する

区点コード（4桁の数字）を使って、かな漢字変換で表示されない漢字や記号を入力できます。区点コードの一覧は、付録（→P.277）を参照してください。

1 （メニュー）を押し、「3特殊文字入力」→「3区点コード」の順に選択する

2 区点コードを入力し、（確定）を押す

3 入力したい文字が反転表示されていることを確認して選択する

1文字のみ入力する場合は

（確定）を押す

連続して入力する場合は

（連続）を繰り返し押す

区点コードを入力し直す場合は

（コード）を押し、操作2からやり直す

文字を修正する

1 文字を修正する位置にカーソルを移動する

2 CLR を押して修正する文字を消去する

3 文字を入力してカーソル位置に文字を挿入する

文字を消去する

1 文字を消去する位置にカーソルを移動する

2 CLR を押して修正する文字を消去する

補　足

●まとめて文字を消去するには

操作2で CLR を1秒以上押すと、カーソル以降の文字がすべて消去されます。

●入力した文字をすべて消去するには

カーソルが末尾にある状態で、 CLR を1秒以上押します。

文字をコピー／カットする

範囲を指定して文字をコピーまたはカットします。コピー／カットした文字は、別の文字をコピー／カットするまで、文字入力画面でいつでも呼び出して貼り付けることができます。

コピー／カットする

1 （メニュー）を押し、「4 コピー」または「5 カット」を選択する

2 先頭の文字にカーソルを合わせ、●（確定）を押す

3 最後の文字にカーソルを合わせ、●（確定）を押す

コピー／カットした文字を貼り付ける

1 文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける位置にカーソルを合わせる

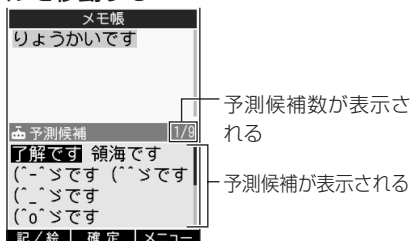
2 （メニュー）を押し、「6 貼り付け」を選択する

予測変換の利用

以前入力した文字の記録をもとに、入力する文字を予測して候補を表示する機能です。

予測変換で文字を入力する

1 文字を入力する

2 [ ] を押し、予測候補画面にカーソルを移動する

文字入力に戻る場合は

[CLR] を押す

3 予測候補から [ ] で文字を選択し、[ ]（確定）を押す

予測候補画面を閉じる場合は

[CLR] を押す

予測変換を一時的に変更する

文字入力中に、予測変換モードを変更することができます。

1 文字入力画面で [ ]（メニュー）を押す

2 設定を選択する

予測変換中の場合

「8 予測変換OFF」を選択する

予測変換停止中の場合

「8 予測変換ON」を選択する

補　足

●「予測変換設定」の設定を行うと

文字入力画面の [ ]（メニュー）が「8 予測変換OFF」または「8 予測変換ON」に切替わります。

予測変換を設定／解除する

［お買い上げ時］

■予測変換する

1 [ ]（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「2 表示設定」→「5 文字入力補助」→「2 予測変換設定」の順に選択する

2 設定を選択する

学習内容をリセットする

文字入力の学習データや、予測変換に記憶された情報を消去して、お買い上げ時の状態に戻します。

1 [ ]（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「2 表示設定」→「5 文字入力補助」→「3 学習内容リセット」の順に選択する

2 暗証番号を入力する

3 「はい」を選択する

ユーザ辞書の利用

よく使う単語を、短い言葉や覚えやすい「読み」で登録します。

単語を登録する

単語はユーザ辞書に50件まで登録できます。

1 ◙(メインメニュー)を押し、「基本設定」→「❷表示設定」→「❺文字入力補助」→「❶ユーザ辞書」の順に選択する

2 登録する欄を選択する

3 「語句」に登録する単語を入力する

4 「読み」に読みを入力する

5 (登録)を押す

補　足

●**単語や読みに入力できる文字は**
単語は全角20文字または半角40文字までです。
読みはひらがなで20文字までです。

単語を編集／消去する

1 ◙(メインメニュー)を押し、「基本設定」→「❷表示設定」→「❺文字入力補助」→「❶ユーザ辞書」の順に選択する

2 編集または消去の操作をする

編集する場合は

単語を選択し、語句や読みを修正する

1件消去する場合は

① 消去する単語を反転表示する
② (メニュー)を押し、「❷消去」→「❶1件消去」の順に選択する
③「はい」を選択する

複数の単語を選択して消去する場合は

① (メニュー)を押し、「❷消去」→「❷選択消去」の順に選択する
② 消去する単語を選択する
③ (消去)を押し、「はい」を選択する

全件消去する場合は

① (メニュー)を押し、「❷消去」→「❸全件消去」の順に選択する
② 暗証番号を入力する
③「はい」を選択する

データを引用する

他の機能のデータを引用して文字を入力できます。引用できるのは次のデータです。

メニュー		内　容
引用	アドレス帳引用	アドレス帳から電話番号やEメールアドレスを引用します。 文字入力画面では、名前、住所、メモ等も引用できます。
	発信履歴引用／着信履歴引用	発信履歴、着信履歴から電話番号を引用します。
	ダイヤルメモ引用	ダイヤルメモから電話番号を引用します。
	プロフィール引用	プロフィールから名前や電話番号、Eメールアドレスを引用します。
	メモ帳引用	メモ帳の内容を引用します。

〈例〉プロフィールから電話番号を引用する場合

1 **文字入力画面で（メニュー）を押し、「7引用」→「5プロフィール引用」の順に選択する**

2 **引用するデータを選択する**

ご注意

- 引用できないデータはメニューから選択できません。
- 文字入力メニューから引用を選択した場合は、文字の種類によって「入力できない文字が含まれています」と表示されることがあります。

定型文や顔文字の利用

本機には、よく利用する文章（定型文）やドメイン、顔文字などがあらかじめ登録されていて、文字の入力中に呼び出して利用できます。登録されている定型文や顔文字は編集できます。また、定型文は新規に10件まで登録できます。

定型文を引用する

文字の入力中に文章やドメインなどの一覧を呼び出して入力します。

1 文字入力画面で［メニュー］（メニュー）を押し、「2 定型文」を選択する

2 「1 文章」、「2 ドメイン」、「3 プロフィール」のいずれかを選択する

3 一覧から内容を選択する

補　足

●登録されている文章やドメインの全文を確認するには

① ［●］（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「2 表示設定」→「5 文字入力補助」→「4 顔文字／定型文」の順に選択する
② 項目を選択する
③ 確認する文章やドメインを反転表示し、［●］（詳細）を押す
④ ［CLR］を押し、一覧に戻る

メ　モ

■定型文一覧

●文章

お買い上げ時は次の文章が登録されています。

いつもお世話になっております
お疲れ様です
先日は大変ありがとうございました
おはようございます
後ほど、ご連絡いたします
宜しくお願いします
よろしくお伝え下さい
連絡下さい
失礼します
取り急ぎ、御礼まで
これから戻ります
客先に直行します
本日は直帰します
電車遅延のため遅れます
本日の会議は中止です
大変申し訳ございません
ご苦労さまでした
ご検討下さい
ありがとう
Thank you
ごめんなさい
ごちそうさまでした
これからいくよ
今から帰るよ
遅れます
もうちょっと待ってて
先にいってて
あとで電話します
メール下さい
電話して
がんばろうね
おいしいもの食べにいこう
どういたしまして
今どこにいるの？
早く帰ってきて

●ドメイン

お買い上げ時は次のドメインが登録されています。

.ne.jp
.co.jp
.ac.jp
.com
www.
http://
.pdx.ne.jp
@willcom.com
@docomo.ne.jp
@ezweb.ne.jp
.vodafone.ne.jp
@softbank.ne.jp

●プロフィール

顔文字を引用する

文字の入力中に顔文字の一覧を呼び出して入力します。

1 **文字入力画面で（メニュー）を押し、「1顔文字」を選択する**

2 **顔文字を選択する**

補　足

●**登録されている顔文字を確認するには**

（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「2表示設定」→「5文字入力補助」→「4顔文字／定型文」→「1顔文字」の順に選択すると、顔文字の一覧画面が表示されます。

●**顔文字の入力方法について**

文字入力画面で（記／絵）を5回押すと顔文字の一覧が表示され、顔文字を入力することができます。

メ　モ

■顔文字一覧

お買い上げ時は、次の顔文字が登録されています。文字入力中に顔文字を選択すると、カテゴリ別に表示されます。

	顔文字		顔文字
喜び・笑い	(^.　^)	挨拶	(^_^)/
	(^3^)		(^o^)/
	(＊^v^＊)		m(_ _)m
	(^-^)		(^^)／＼(^^)
	＼(^o^)／		(-_-)/~~~
	p(^-^)q		(/_;)/~~
泣き・困惑	(T_T)	その他	(^o_o^)
	(>_<)		(P_-)
	(+_+)		⌒(ë)⌒
	(-_-)		(￣―￣)
	┐('～`;)┌		(V)o¥o(V)
	f(^_^;		φ(..　)
驚き・焦り	(＊_＊)		
	(^_^;)		
	(--;)		
	(@_@;)		
	(^^ゞ		
	(-_-;)		

定型文や顔文字を編集する

1 **（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「2表示設定」→「5文字入力補助」→「4顔文字／定型文」の順に選択する**

2 **項目を選択する**

3 **編集する項目を反転表示し、（メニュー）を押し、「2編集」を選択する**

4 **内容を編集し、（確定）を押す**

補　足

●**簡単に編集を行う場合は**

操作3で（詳細）を押し、（編集）を押しても編集できます。

定型文や顔文字を新規登録する

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「2 表示設定」→「5 文字入力補助」→「4 顔文字／定型文」の順に選択する

2「2 文章」を選択する

3（メニュー）を押し、「1 新規登録」を選択する

4 登録内容を入力する

補　足

●**定型文／顔文字の新規登録について**
「文章」に10件まで新規登録できます。1件の定型文の最大文字数は、全角40文字（半角80文字）までです。

●**新規登録した定型文／顔文字を確認する場合は**
新規登録は、お買い上げ時に登録されている文章の一覧の次に10件追加されます。登録されている文章やドメインを確認するには「定型文を引用する」（→P.80）の操作2で「文章」を選択し、一覧の最後10件までスクロールします。

定型文や顔文字をリセットする

定型文、顔文字をお買い上げ時の状態に戻します。

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「2 表示設定」→「5 文字入力補助」→「4 顔文字／定型文」の順に選択する

2 項目を選択する

3 リセット操作をする

すべての定型文や顔文字をリセットする場合は

① （メニュー）を押し、「3 全件リセット」を選択する

② 暗証番号を入力し、「はい」を選択する

1件ずつリセットする場合は

① リセットする定型文や顔文字を反転表示し、◙（詳細）を押す

② （メニュー）を押し、「3 1件リセット」を選択し、「はい」を選択する

キー割当設定の利用

かな、全角カナ、半角ｶﾅ入力時のキー割当を変更することができます。

文字入力画面でのキー割当を設定する

［お買い上げ時］
■やゆよゃゅょ

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「2 表示設定」→「5 文字入力補助」→「6 キー割当設定」の順に選択する

2 設定を選択する

補　足

●**キー割当設定に対応する全角カナ、半角ｶﾅのキー割当順は**
かなと同様です。ただし、0 キーでの「～」の入力ができません。

●**文字確定前に # を押した場合**
キー割当設定によって、逆順表示される文字が異なります。

例1：［やゆよゃゅょ］の場合
8 を1回押す：や
を1回押す：ょ

例2：［やゆよやゆよ］の場合
8 を1回押す：や
を1回押す：よ

アドレス帳

アドレス帳について

本体のアドレス帳、W-SIMのアドレス帳のそれぞれに700件のアドレスを登録できます。登録できる内容は次のとおりです。

<table>
<tr><th colspan="2">登録項目</th><th>アイコン</th><th>本体のアドレス帳</th><th>W-SIMのアドレス帳</th></tr>
<tr><td colspan="2">読み</td><td></td><td>半角24文字まで</td><td>半角15文字まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">名前</td><td></td><td>全角12文字（半角24文字）まで</td><td>全角9文字（半角19文字）まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話番号</td><td></td><td colspan="2">3件まで、かつ1件につき32桁まで
電話番号ごとに番号種別（本体のアドレス帳：7種類、W-SIMのアドレス帳：6種類）と、分計発信する／分計発信しないを設定できる
1件目の電話番号は自動的に「通常使用する電話番号」に設定される（本体のアドレス帳のみ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">メールアドレス</td><td></td><td colspan="2">3件まで、かつ1件につき64文字まで
メールアドレスごとにアドレス種別（5種類）を設定できる（本体のアドレス帳のみ）
1件目のメールアドレスは自動的に「通常使用するアドレス」に設定される（本体のアドレス帳のみ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">メモリ番号</td><td></td><td colspan="2">0〜699</td></tr>
<tr><td colspan="2">グループ</td><td></td><td colspan="2">「グループ1」〜「グループ9」、設定なしから選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">URL</td><td></td><td>全角127文字（半角255文字）まで</td><td>全角32文字（半角64文字）まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">郵便番号</td><td></td><td colspan="2">7桁（「-」を除く）</td></tr>
<tr><td colspan="2">住所</td><td></td><td colspan="2">全角31文字（半角62文字）まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">ローマ字</td><td></td><td>半角24文字まで</td><td>半角19文字まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">生年月日</td><td></td><td colspan="2">8桁（1900/01/01〜2099/12/31）</td></tr>
<tr><td colspan="2">年齢</td><td></td><td colspan="2">2桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">血液型</td><td></td><td colspan="2">「A」「B」「O」「AB」「不明」から選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">性別</td><td></td><td colspan="2">「男」「女」「不明」から選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">星座</td><td></td><td colspan="2">12星座（生年月日から自動的に入力される）</td></tr>
<tr><td colspan="2">趣味</td><td></td><td colspan="2">全角10文字（半角20文字）まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">メモ</td><td></td><td colspan="2">全角50文字（半角100文字）まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">シークレット</td><td></td><td colspan="2">「シークレットする」「シークレットしない」から選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">音声着信拒否</td><td></td><td colspan="2">「着信拒否する」「着信拒否しない」から選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">分計発信</td><td></td><td colspan="2">「分計発信しない」「分計発信する」から選択</td></tr>
<tr><td rowspan="3">個別着信音</td><td>電話着信</td><td></td><td>着信メロディ、音量、バイブを設定</td><td rowspan="3">（登録できない）</td></tr>
<tr><td>Eメール受信</td><td></td><td rowspan="2">着信メロディ、音量、バイブ、鳴動時間を設定</td></tr>
<tr><td>ライトメール受信</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">個別着信イルミネーション</td><td></td><td>電話着信、Eメール受信、ライトメール受信の着信イルミネーションを選択</td><td>（登録できない）</td></tr>
</table>

ご注意

- W-SIMのアドレス帳は、本体の電源を入れるとW-SIMから本体メモリ上にコピーされ、編集が可能になります。
- W-SIMのアドレス帳に登録すると、W-SIM更新（→P.98）を行うまで が表示されます（→P.32、33）。W-SIM更新を行わずにW-SIMを取り外すと、登録した内容がW-SIMに反映されません。
- W-SIM更新中はW-SIMを取り外さないでください。

アドレスの登録

保存先に本体のアドレス帳、W-SIMのアドレス帳のどちらかを選択し、必要な項目を入力または設定して登録します。

1 （アドレス帳）を押す

メニューを使って操作する場合は

① （メインメニュー）を押し、「アドレス帳」を選択する

②「1 本体」、「2 W-SIM」、「3 統合」のいずれかを選択する

③「2 新規登録」を選択する

統合アドレス帳の場合は「2 新規登録」を選択後、登録先を選択する

2 （メニュー）を押し、「1 新規登録」を選択する

統合アドレス帳を表示している場合は

（メニュー）を押し、「1 本体」、「2 W-SIM」から登録先アドレス帳を選択する

3 [名前] を選択し、名前を入力する

4 [電話番号1] を選択し、電話番号を入力する

5 入力した電話番号の番号種別を選択する

2件目、3件目の電話番号を登録する場合は

① [電話番号2/3] を選択し、電話番号を入力する

（一般加入電話の場合は市外局番から入力する）

② 入力した電話番号の番号種別を選択する

6 [メールアドレス1] を選択し、メールアドレスを入力する

7 入力したメールアドレスのアドレス種別を選択する

2件目、3件目のメールアドレスを登録する場合は

① [メールアドレス2/3] を選択し、メールアドレスを入力する

② 入力したメールアドレスのアドレス種別を選択する

8 読み、メモリ番号を確認する

フリガナを登録する場合は

① カナ（読み）に表示されているフリガナを確認する

② 変更する場合はカナ（読み）を選択し、フリガナを入力する

メモリ番号を登録する場合は

① №（メモリ番号）に表示されているメモリ番号を確認する

② 変更する場合は№（メモリ番号）を選択し、入力する

9 必要に応じて項目を選択し、登録操作をする

グループを登録する場合は

（設定なし）を選択し、グループを選択する

選択しなかった場合は、自動的に設定なしが登録される

URLを登録する場合は

[URL] を選択し、URLを入力する

郵便番号を登録する場合は

〒[郵便番号] を選択し、郵便番号を入力する

住所を登録する場合は

[住所] を選択し、住所を入力する

ローマ字を登録する場合は

A[ローマ字] を選択し、ローマ字を入力する

生年月日を登録する場合は

[生年月日］を選択し、生年月日を入力する*

＊ 1900／01／01～2099／12／31まで入力できます。生年月日を入力すると星座が決まります。

年齢を登録する場合は

[年齢］を選択し、年齢を入力する

血液型を登録する場合は

[血液型］を選択し、血液型を選択する

性別を登録する場合は

[性別］を選択し、性別を選択する

趣味を登録する場合は

[趣味］を選択し、趣味を入力する

メモを登録する場合は

[メモ］を選択し、メモを入力する

シークレットを登録する場合は

（シークレットする／しない）を選択し、設定を選択する

音声着信拒否を登録する場合は

（着信拒否する／しない）を選択し、設定を選択する

分計発信しない／ するを設定する場合は

① 分計発信を選択し、電話番号を選択する

② 設定を選択する

③ （確定）を押す

個別着信音を登録する場合は（本体のアドレス帳のみ）

① 個別着信音を選択する

② 項目を選択する

③ 着信音の設定操作をする

④ （確定）を押す

個別着信イルミネーションを登録する場合は（本体のアドレス帳のみ）

① 個別着信イルミネーションを選択する

② 項目を選択する

③ 点滅パターンを選択する

④ カラーを選択する

⑤ （確定）を押す

通常使用する電話番号を変更する場合は（本体のアドレス帳のみ）

通常使用する電話番号 を選択し、電話番号を選択する

通常使用するメールアドレスを変更する場合は（本体のアドレス帳のみ）

通常使用するアドレス を選択し、メールアドレスを選択する

10 （登録）を押す

補　足

●統合アドレス帳への登録について

統合アドレス帳にアドレスを登録することはできません。

●新規登録画面の表示について

（アドレス帳）を1秒以上押すと、新規登録画面が表示されます。その際に表示される新規登録画面は、前回アドレス帳を終了した時点で操作／ 表示していたアドレス帳の新規登録画面になります。統合アドレス帳を操作／表示していた場合には、本体のアドレス帳の新規登録画面になります。

●フリガナの登録について

名前を入力すると自動的に入力されます。変更する場合は カナ （読み）を選択してください。

●通常使用する電話番号／アドレスに設定した場合は

通常使用する電話番号／アドレスに設定すると各3項目の1番目に移動します。

●「分計発信する」に設定した場合は

「分計発信する」に設定すると、電話番号に 分計 が表示されます。

メ　モ

■星座について

星座は生年月日をもとに入力されます。WS023Tでは、次の日付を区分けの基準としています。

牡羊座　：3/21～4/19
牡牛座　：4/20～5/20
双子座　：5/21～6/21
蟹座　　：6/22～7/22
獅子座　：7/23～8/22
乙女座　：8/23～9/22
天秤座　：9/23～10/23
蠍座　　：10/24～11/21
射手座　：11/22～12/21
山羊座　：12/22～1/19
水瓶座　：1/20～2/18
魚座　　：2/19～3/20

■着信時動作の決定順について

着信音や着信イルミネーションの決定順は次のようになります。

① 本体のアドレス帳の着信音設定（アドレス帳データごとの設定）

② 本体のアドレス帳グループの着信音設定

③ 基本設定の着信音設定

また、表示される名前の決定順は次のようになります。

① 本体のアドレス帳

② W-SIMのアドレス帳

■音声着信拒否を設定すると

音声着信拒否を設定した電話番号からかかってきた電話に対しては、無音で通話を切断します。

■電話番号種別について

電話番号登録後、一覧に選択した種別アイコンが表示されます。

アイコン	種　別
	種別なし
	PHS
	携帯電話
	FAX
	自宅
	会社
	学校

■アドレス種別について

メールアドレス登録後、一覧に選択した種別アイコンが表示されます。

アイコン	種　別
	種別なし
	PHS
	携帯電話
	自宅PC
	会社PC

他の機能から登録する

電話番号やメールアドレスなどの項目を、他の機能から登録することができます。

機　能	登録項目		
	電話番号	メールアドレス	URL
発信履歴／着信履歴	○	×	×
ダイヤルメモ	○	×	×
Eメールの宛先／送信元	×	○	×
ライトメールの宛先／送信元	○	×	×
Eメール／ライトメール本文*	○	○	×
Webページ*	○	○	×
2次元コードリーダー	○	○	×
データフォルダのアドレス帳データ	△		

○　登録できる
△　1件のアドレス帳データとして登録できる
×　登録できない
＊　電話番号、メールアドレスを選択した状態でそれぞれを登録できる

補　足

●アドレス帳データを赤外線受信して登録するには

赤外線通信機能を搭載した電話機やパソコンなどからアドレス帳データを受信し、本体のアドレス帳に登録することができます（→P.245）。

新規登録する

〈例〉着信履歴から電話番号を新規登録する場合

1 [■]を押し、登録する着信履歴を反転表示する

着信履歴の例

2 [■](メニュー)を押し、「2 アドレス帳登録」を選択する

3 登録するアドレス帳を選択する

本体のアドレス帳に新規登録する場合は

「1 新規本体アドレス帳」を選択する

W-SIMのアドレス帳に新規登録する場合は

「2 新規W-SIMアドレス帳」を選択する

4 [■][名前]を選択し、名前を入力する

5 必要に応じて項目を選択し、登録操作をする

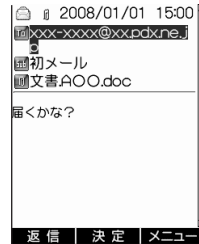
6 [■](登録)を押す

追加登録する

登録済みのアドレス帳の、未登録の項目にデータを追加登録します。

〈例〉受信メール(Eメール)からメールアドレスを追加登録する場合

1 受信メール一覧からEメールを選択する

2 メールアドレスを選択する

受信メール(Eメール)の例

3 メール画面のアドレス一覧から追加登録するメールアドレスを選択する

4 「YES」を選択する

5 項目を追加するアドレス帳を選択する

本体のアドレス帳に追加登録する場合は

「3 追加本体アドレス帳」を選択する

W-SIMのアドレス帳に追加登録する場合は

「4 追加W-SIMアドレス帳」を選択する

6 追加登録する項目を選択する

メールアドレスを追加する場合

[メールアドレス]を選択する

7 必要に応じて項目を選択し、登録操作をする

8 [■](登録)を押す

9 「はい」を選択する

アドレス帳の表示

本体のアドレス帳、W-SIMのアドレス帳、統合アドレス帳を切り替えて表示します。
統合アドレス帳では、本体のアドレス帳（最大700件）、W-SIMのアドレス帳（700件）を統合して表示することができます。

［お買い上げ時］
■本体のアドレス帳

1 （アドレス帳）を押す

2 閲覧したいアドレス帳が表示されるまで、（切替）を押す

3 を押し、タブを移動する

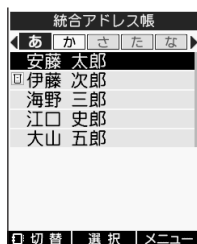
4 を押し、アドレス帳データを選択する

補　足

●**表示されるアドレス帳について**

（アドレス帳）を押して最初に表示されるアドレス帳は、前回操作／表示していたアドレス帳です。

●**統合アドレス帳のアドレス帳一覧画面について**

W-SIMのアドレス帳に登録されているアドレスには、が表示されます。

統合アドレス帳一覧画面（名前順表示）

●**メニューからアドレス帳を表示するには**

① （メインメニュー）を押し、「アドレス帳」を選択する
② 表示するアドレス帳を選択する
本体のアドレス帳を表示する場合は
「1 本体」を選択する
W-SIMのアドレス帳を表示する場合は
「2 W-SIM」を選択する
統合アドレス帳を表示する場合は
「3 統合」を選択する

●**アドレス帳一覧画面を表示中の（切替）操作について**

アドレス帳一覧画面を表示中に（切替）を押すと、本体のアドレス帳→W-SIMのアドレス帳→&統合アドレス帳の順に表示を切り替えることができます。

アドレス帳

アドレス帳の編集／消去

アドレス帳の登録内容を編集または消去します。

ご注意

- W-SIMのアドレス帳を編集または消去すると、W-SIM更新（→P.98）を行うまで が表示されます。W-SIM更新を行わずにW-SIMを取り外すと、編集または消去した内容がW-SIMに反映されません。

アドレス帳を編集する

1 （アドレス帳）を押す

2 編集するアドレス帳データを反転表示する

3 （メニュー）を押し、「2編集」を選択する

4 登録するときと同じ操作で項目を選択し、編集する

5 （登録）を押す

6 「はい」を選択する

補　足

●メニューを使って操作する場合は

① （メインメニュー）を押し、「アドレス帳」を選択する

② 編集するアドレス帳を選択する

本体のアドレス帳を編集する場合は

「1本体」を選択する

W-SIMのアドレス帳を編集する場合は

「2W-SIM」を選択する

本体のアドレス帳とW-SIMのアドレス帳を同時に編集する場合は

「3統合」を選択する

③「1アドレス帳一覧」を選択する

●未登録の項目を見分けるには

未登録の項目は［項目名］のように表示されます。

●名前を編集した場合には

名前を編集した場合は、フリガナも正しく表示されるように編集してください。編集した名前に対するフリガナは、現在表示されているフリガナの後ろに付加されます。

アドレス帳データを消去する

1 （アドレス帳）を押す

2 （切替）を押し、本体のアドレス帳／W-SIMのアドレス帳／統合アドレス帳を表示する

3 消去操作をする

1件消去する場合は

① 消去するアドレス帳データを反転表示する
② （メニュー）を押し、「8 消去」→「1 1件消去」の順に選択する
③「はい」を選択する

複数のアドレス帳データを選択して消去する場合は

① （メニュー）を押し、「8 消去」→「2 選択消去」の順に選択する
② 消去するアドレス帳データを選択する
③ （消去）を押し、「はい」を選択する

全件消去する場合は

① （メニュー）を押し、「8 消去」→「3 全件消去」の順に選択する
② 暗証番号を入力する
③「はい」を選択する

補　足

●**メニューを使って操作する場合は**
① （メインメニュー）を押し、「アドレス帳」を選択する
② 消去するアドレス帳を選択する
本体のアドレス帳データを消去する場合は
「1 本体」を選択する
W-SIMのアドレス帳データを消去する場合は
「2 W-SIM」を選択する
本体のアドレス帳とW-SIMのアドレス帳を同時に消去する場合は
「3 統合」を選択する
③「1 アドレス帳一覧」を選択する
④ 操作3を行う

グループの設定

「グループ1」などのグループ名を、「客先」、「友達」などわかりやすいグループ名に変更できます。また、グループごとに着信音や着信イルミネーションを設定できます。グループごとの着信音や着信イルミネーションで設定できる内容は、アドレス帳の個別着信音の設定内容（→P.84）と同じです。

ご注意

●W-SIMのアドレス帳の個々のデータには、グループの番号を保存することはできますが、グループ名やグループごとの着信音は設定できません。

グループ名を設定する

1 （アドレス帳）を押す

2 （メニュー）を押し、「＊ アドレス帳設定」→「5 グループ設定」の順に選択する

3 グループを選択する

4 グループ名を入力する

補　足

●**メニューからグループ名を設定するには**
① （メインメニュー）を押し、「アドレス帳」→「1 本体」→「5 グループ設定」の順に選択する
② 操作3〜4を行う

ご注意

●「設定なし」のグループ名は、変更できません。

グループの着信音を設定する

1 [key]（アドレス帳）を押す

2 [key]（メニュー）を押し、「＊アドレス帳設定」→「5 グループ設定」の順に選択する

3 設定するグループを反転表示する

4 [key]（メニュー）を押し、「3 着信音設定」または「4 着信イルミネーション」を選択する

5 着信音、イルミネーションの設定操作をする（→P.190、P.198）

6 [key]（確定）を押す

補　足

●メニューからグループの着信音を設定するには

① [key]（メインメニュー）を押し、「アドレス帳」→「1 本体」→「5 グループ設定」の順に選択する
② 操作3～6を行う

グループ名をリセットする

グループ名の設定をお買い上げ時の内容にリセットします。

1 [key]（アドレス帳）を押す

2 [key]（メニュー）を押し、「＊アドレス帳設定」→「5 グループ設定」の順に選択する

3 リセットの操作をする

グループ名をリセットする場合は

① リセットするグループを反転表示する
② [key]（メニュー）を押し、「1 グループ名リセット」を選択する
③「はい」を選択する

グループ名をすべてリセットする場合は

① [key]（メニュー）を押し、「2 全グループ名リセット」を選択する
② 暗証番号を入力し、「はい」を選択する

補　足

●グループの着信音をリセットするには

アドレス帳を初期化します（→P.99）。

アドレス帳

アドレス帳の表示設定

アドレス帳一覧の表示を名前順、グループ順、メモリ番号順から選択できます。また、アドレス帳データを1行で表示するか、2行で表示するかを選択できます。一行表示では名前のみ、二行表示では名前と電話番号またはメールアドレスが表示されます。

表示順を切り替える

[お買い上げ時]
■名前順

1 （アドレス帳）を押す

2 （メニュー）を押し、「✱アドレス帳設定」→「❶表示順切替」の順に選択する

3 設定を選択する

補　足

●メニューから表示順を設定するには

① ◙（メインメニュー）を押し、「アドレス帳」→「❹表示設定」→「❶表示順切替」の順に選択する

② 設定を選択する

●統合アドレス帳での表示について

＜名前順の場合＞

本体のアドレス帳、W-SIMのアドレス帳を「読み」の順に表示します。同じ読みの場合は、本体のアドレス帳のアドレスが先に表示されます。

＜グループ順の場合＞

本体のアドレス帳：設定なし／グループ1～9のタブ
W-SIMのアドレス帳：設定なし／グループ1～9のタブ
の順に表示され、カーソルキーでタブを移動して表示することができます。
グループ設定は、本体のアドレス帳、W-SIMのアドレス帳どちらのグループを表示しているときにも反映されます。

＜メモリ番号順の場合＞

本体のアドレス帳：メモリ番号0～99、以降100番ごとのタブ
W-SIMのアドレス帳：メモリ番号0～99、以降100番ごとのタブ
で表示され、カーソルキーでタブを移動して表示することができます。
メモリ番号を指定してスピードダイヤルを利用する場合は、本体のアドレス帳のメモリ番号のみが有効になります。

メ　モ

■アドレス帳の表示をすばやく切り替える方法について

アドレス帳一覧の表示中は 1 ～ 0 、* 、# を押すとすばやく表示を切り替えることができます。表示順の設定により次のデータが表示されます。

〈名前順の場合〉

1	：あ行	2	：か行
3	：さ行	4	：た行
5	：な行	6	：は行
7	：ま行	8	：や行
9	：ら行	0	：わ行
*	：英数字	#	：その他

〈グループ順の場合〉

1	：グループ1	2	：グループ2
3	：グループ3	4	：グループ4
5	：グループ5	6	：グループ6
7	：グループ7	8	：グループ8
9	：グループ9	0	：設定なし

〈メモリ番号順の場合〉

1	：100～199	2	：200～299
3	：300～399	4	：400～499
5	：500～599	6	：600～699
0	：0～99		

一行表示／二行表示を切り替える

[お買い上げ時]
■一行表示

1 （アドレス帳）を押す

2 （メニュー）を押し、「* アドレス帳設定」→「2 表示行数切替」の順に選択する

3 設定を選択する

補　足

●メニューから表示行数を設定するには

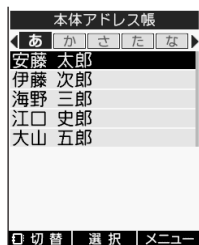
① ■（メインメニュー）を押し、「アドレス帳」→「4 表示設定」→「2 表示行数切替」の順に選択する

② 設定を選択する

●二行表示で表示される電話番号／メールアドレスは

通常使用する電話番号に指定されている電話番号が表示されます。電話番号が登録されていない場合は通常使用するアドレスに指定されているメールアドレスが表示されます。

アドレス帳の利用

アドレス帳一覧からアドレス帳データを選択すると、アドレス閲覧画面が表示され、アドレス帳データを利用したいろいろな操作ができます。

本体のアドレス帳一覧画面

アドレス閲覧画面

メ モ

■アドレス帳一覧画面のメニューについて

メニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
新規登録	新たなアドレス帳データを登録します(→P.85)。
編集	アドレス帳データを編集します(→P.90)。
検索	アドレス帳データを検索します(→P.96)。
発信	電話をかけます（→P.96)。
Eメール作成	メールアドレスを宛先に設定して、Eメールを作成します（→P.96)。
ライトメール作成	電話番号を宛先に設定して、ライトメールを作成します（→P.97)。
赤外線送信	アドレス帳データを赤外線通信で送信します（→P.246)。
消去	アドレス帳データを消去します(→P.91)。
メモリコピー＊1	本体とW-SIMのメモリ間でアドレス帳データをコピーします(→P.97)。
ファイル出力	アドレス帳データを本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに出力します（→P.97)。
アドレス帳設定	表示順切替、表示行数切替、登録件数確認、アドレス帳初期化、グループ設定を呼び出せます。
W-SIM更新＊2	W-SIMのアドレス帳の更新内容をW-SIMへ転送します（→P.98)。

＊1　統合アドレス帳を表示している場合は選択できません。

＊2　本体アドレス帳を表示している場合は表示されません。

メ モ

■アドレス閲覧画面のメニューについて

メニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
新規登録	新たなアドレス帳データを登録します(→P.85)。
編集	アドレス帳データを編集します(→P.90)。
発信	電話をかけます（→P.96)。
Eメール作成	メールアドレスを宛先に設定して、Eメールを作成します（→P.96)。
ライトメール作成	電話番号を宛先に設定して、ライトメールを作成します（→P.97)。
赤外線送信	アドレス帳データを赤外線通信で送信します（→P.246)。
消去	アドレス帳データを消去します(→P.91)。
メモリコピー	本体とW-SIMのメモリ間でアドレス帳データをコピーします(→P.97)。
ファイル出力	アドレス帳データを本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに出力します（→P.97)。
アドレス帳設定	表示順切替、表示行数切替、登録件数確認、アドレス帳初期化、グループ設定を呼び出せます。

アドレス帳を検索する

アドレス帳一覧を検索して、条件に合うアドレス帳データの一覧を表示します。検索結果の一覧画面からアドレス帳データを選択すると、アドレス閲覧画面が表示されます。

1 （アドレス帳）を押す

2 （メニュー）を押し、「3検索」を選択する

3 検索方法を選択し、アドレス帳を検索する

名前の読みで検索する場合は

「1名前検索」を選択し、フリガナ（先頭の一部でもよい）を入力する

グループで検索する場合は

「2グループ検索」を選択し、一覧からグループを選択する

電話番号で検索する場合は

「3電話番号検索」を選択し、電話番号（先頭の一部でもよい）を入力する

メモリ番号で検索する場合は

「4メモリ番号検索」を選択し、メモリ番号を入力する

メールアドレスで検索する場合は

「5アドレス検索」を選択し、メールアドレスの一部（途中でもよい）を入力する

4 検索結果の一覧画面からアドレス帳データを選択する

補　足

●**本体のアドレス帳とW-SIMのアドレス帳をまとめて検索する場合は**

検索処理は表示しているアドレス帳に従います。本体のアドレス帳とW-SIMのアドレス帳をまとめて検索する場合は、統合アドレス帳を表示してから検索を行ってください。

アドレス帳から電話をかける

1 アドレス帳一覧を表示する

2 相手を反転表示し、発信操作をする

そのまま電話をかける場合は

を押す

電話番号の通知／非通知を指定してかける場合は

（メニュー）を押し、「4発信」→「❷184発信」または「❸186発信」の順に選択する

料金分計サービスを利用してかける場合は

（メニュー）を押し、「4発信」→「❹分計発信」、「❺分計184発信」、「❻分計186発信」のいずれかの順に選択する

補　足

●**アドレス帳閲覧画面からかける場合は**

① アドレス帳閲覧画面を表示する
② 電話番号を反転表示し、（選択）を押す
③ （発信）を押す
④「❶発信」、「❷184発信」、「❸186発信」、「❹分計発信」、「❺分計184発信」、「❻分計186発信」のいずれかを選択する

アドレス帳からEメールを作成する

1 アドレス帳一覧を表示する

2 Eメールを送る相手先を反転表示する

3 （メニュー）を押し、「5Eメール作成」を選択する

補　足

●**待受画面でメモリ番号を入力してEメールを作成するには**

アドレス帳のメモリ番号を入力して、を押します。

●**アドレス帳閲覧画面から作成する場合は**

① アドレス帳閲覧画面を表示し、Eメールアドレスを反転表示する
② （選択）を押し、（Eメール作成）を押す

アドレス帳からライトメールを作成する

1 アドレス帳一覧を表示する

2 電話番号を反転表示する

3 （メニュー）を押し、「6 ライトメール作成」を選択する

アドレス帳をデータフォルダに出力する

アドレス帳データを1件ずつ、本体のデータフォルダまたはmicroＳＤカードの「アドレス帳データ」にvCard形式（拡張子.vcf）のファイルで出力します。

1 （アドレス帳）を押す

2 出力するアドレス帳データを反転表示する

3 （メニュー）を押し、「0 ファイル出力」を選択する

4 出力先を選択する

本体のデータフォルダに出力する場合は

「1 データフォルダ」を選択する

microSDカードに出力する場合は

「2 microSD」を選択する

本体とW-SIMの間でアドレス帳のデータをコピーする

1 （アドレス帳）を押す

2 （切替）を押し、本体のアドレス帳、W-SIMのアドレス帳のいずれかを表示する

3 コピー操作をする

1件コピーする場合は

① コピーするアドレス帳データを反転表示する

② （メニュー）を押し、「9 メモリコピー」→「1 1件コピー」の順に選択する

複数のアドレス帳データを選択してコピーする場合は

① （メニュー）を押し、「9 メモリコピー」→「2 選択コピー」の順に選択する

② コピーするアドレス帳データを選択し、（コピー）を押す

全件コピーする場合は

（メニュー）を押し、「 9 メモリコピー」→「3 全件コピー」の順に選択する

ご注意

- 統合アドレス帳でメモリコピーを行うことはできません。本体のアドレス帳とW-SIMのアドレス帳間でメモリコピーを行ったあとで統合アドレス帳を表示すると、同じアドレスが2件あるように表示されます。
- メモリコピーでは、アドレス種別、個別着信音、個別着信イルミネーション、通常使用する電話番号、通常使用するアドレスの設定はコピーされません。
  W-SIMから本体アドレス帳にメモリコピーすると、これらの項目は「なし」に設定されます。
- W-SIMのアドレス帳メモリへデータをコピーすると、W-SIM更新（→P.98）を行うまで が表示されます。W-SIM更新を行わずにW-SIMを取り外すと、コピーした内容がW-SIMに反映されないままとなり、次にW-SIMを取り付けたときW-SIM内のアドレス帳の内容で上書きされます。

W-SIMのアドレス帳の更新内容をW-SIMに転送する

W-SIMのアドレス帳に対して登録、編集、消去などの操作をしたときは、更新内容をW-SIMに転送する必要があります。W-SIMに転送していない更新内容がある場合は、[アイコン]が表示されます。

1 [キー]（アドレス帳）を押す

2 [キー]（メニュー）を押し、「# W-SIM更新」を選択する

補　足

●**更新内容を転送すると**
[アイコン]が消えます。

●**W-SIMの自動更新について**
[アイコン]が点灯している状態で電源を切ったり、電池残量がほとんどなくなるとW-SIMの更新が自動的に開始されます。

●**メインメニューからW-SIMのアドレス帳を更新するには**
[キー]（メインメニュー）を押し、「アドレス帳」→「2 W-SIM」→「6 W-SIM更新」の順に選択します。

ご注意

●本体のアドレス帳を表示している場合は、W-SIM更新を選択できません。

●W-SIM更新中は、W-SIMを取り外さないでください。

●W-SIM更新中は、通話や通信は行えません。

●[アイコン]が表示されている状態でW-SIM更新を行わずにW-SIMを取り外すと、本体メモリ上にコピーされているW-SIMのアドレス帳の修正内容は保存されません。

シークレットデータの表示／非表示を切り替える

シークレットデータ（シークレットする）に設定したアドレス帳を表示しないようにするときは、シークレットモードの設定を「表示しない」にします。

[お買い上げ時]
■表示する

1 [キー]（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「7 シークレットモード」の順に選択する

2 暗証番号を入力する

3 設定を選択する

ご注意

●シークレットモードを「表示しない」に設定すると、「シークレットする」に設定したアドレス帳データは表示されません。ただし、全件消去を選択すると表示されていないアドレス帳データもすべて消去されます。

アドレス帳の登録件数を確認する

アドレス帳に現在登録されている件数と登録できる残りの件数を表示します。

1 （アドレス帳）を押す

2 （メニュー）を押し、「✱アドレス帳設定」→「3 登録件数確認」の順に選択する

補　足

●**メニューから登録件数を確認するには**

① ◙（メインメニュー）を押し、「アドレス帳」を選択する
② アドレス帳を選択する
③「3 登録件数確認」を選択する

アドレス帳を初期化する

アドレス帳のデータを消去したり、アドレス帳の設定（表示順切替、表示行数切替、グループ設定）をリセットします。

1 ◙（メインメニュー）を押し、「アドレス帳」を選択する

2 初期化するアドレス帳を選択する

本体のアドレス帳を初期化する場合は

「1 本体」を選択する

W-SIMのアドレス帳を初期化する場合は

「2 W-SIM」を選択する

本体のアドレス帳とW-SIMのアドレス帳を同時に初期化する場合は

「3 統合」を選択する

3 「4 アドレス帳初期化」を選択し、暗証番号を入力する

4 初期化操作をする

アドレス帳のデータをすべて消去する場合は

「1 全件消去」を選択し、「はい」を選択する

アドレス帳の設定を初期化する場合は

「2 設定初期化」を選択し、「はい」を選択する

アドレス帳のデータをすべて消去し、設定を初期化する場合は

「3 全件消去+初期化」を選択し、「はい」を選択する

補　足

●**統合アドレス帳を選択した場合**

「1 本体」、「2 W-SIM」、「3 本体＋W-SIM」のいずれかを選択し、消去操作ができます。

アドレス帳の操作を制限する

アドレス帳の操作制限を設定すると、データを保護することができます。操作制限を設定すると、アドレス帳を操作するときに管理者パスワードの入力が必要になります。

[お買い上げ時]
■制限しない

1 [●](メインメニュー)を押し、「セキュリティ」→「3 管理者ロック」の順に選択する

2 管理者パスワードを入力する

3 「2 アドレス帳操作」を選択する

4 設定を選択する

ご注意

●アドレス帳操作を「制限する」に設定すると、アドレス帳に登録されている相手から電話がかかってきても、名前が表示されません。

●管理者パスワードについて(→P.215)

メール

Eメール／ライトメールについて

Eメール（テキストメール/装飾メール（デコラティブメール））

Eメール（テキストメール／装飾メール（デコラティブメール））を利用すると、Eメールアドレスを持つパソコンや携帯電話とやりとりができます。Eメールを利用するときは、最初にオンラインサインアップでアカウントを設定する必要があります。
送られてきたEメールは、ウィルコムのメールサーバーに蓄積されたあと、WS023Tに自動的に配信されます。電波の届かないところにいたときや電源を切っていたときでも、メールサーバーに蓄積されているため、あとから手動で受信できます。

送受信、保存できるEメールの件数やサイズは次のとおりです。

項　目		内　容
送信	宛先	20件まで（To、Cc、Bccを合計した件数）
	件名	全角で最大40文字、半角で最大80文字
	本文	●テキストメール 全角で最大20,000文字、半角で最大40,000文字
		●装飾メール(デコラティブメール) 文字、装飾情報、画像を合わせて100Kバイトまで
	添付ファイル	1メールに100件まで (合計　約700Kバイトまで)
受信	差出人	半角64文字まで表示可能
	件名	全角で最大40文字、半角で最大80文字
	本文	●テキストメール 全角で最大20,000文字、半角で最大40,000文字
		●装飾メール(デコラティブメール) 文字、装飾情報、画像を合わせて100Kバイトまで
	添付ファイル	1メールに120件まで (合計　約700Kバイトまで)
受信BOX		512件まで（送受信合わせて約4096Kバイトまで）
送信BOX		未送信・送信合わせて300件まで（このうち、下書き保存Eメールは20件）（送受信合わせて約4096Kバイトまで）
未送信BOX		

＊ 表に示したサイズはおよその値です。

お買い上げ時、受信BOXには、オンラインサインアップ、Eメールアドレスの取得や、ウィルコム公式サイトの楽しいコンテンツに関するご案内メールが登録されています。ぜひはじめにお読みください。

ご注意

●自動的に配信されるEメールは、オンラインサインアップで設定したウィルコムのアカウント（Eメール）のみです。アカウント2、アカウント3（→P.128）は手動で受信する必要があります。

ライトメール

ライトメールを利用すると、ライトメール対応電話どうしで文字メッセージのやりとりができます。ライトメールは、オンラインサインアップをしなくても利用できます。

送受信、保存できるライトメールの件数やサイズは次のとおりです。

項　目		内　容
送信	宛先	1件
	本文	全角で最大45文字、半角で最大90文字
受信	差出人	1件
	本文	全角で最大61文字、半角で最大122文字
受信BOX		100件
送信BOX		送信BOX、未送信BOX合わせて30件（このうち、下書き保存ライトメールは10件まで）
未送信BOX		

ご注意

●Eメール、ライトメールともに下書き保存メールがそれぞれの最大件数になると、新たなメール作成ができません。

メールメニュー

メール機能の入り口がメールメニューです。メール機能はすべてここから操作します。

メニュー	内　容
受信BOX	すべての受信メールが表示されます。
送信BOX	送信済みのメールが表示されます。
未送信BOX	未送信のメールや下書き保存メール、送信を中止したメール、送信に失敗したメールが表示されます。
新規Eメール作成	Eメール（テキストメール／装飾メール（デコラティブメール））の作成を行います。
テンプレート	装飾メール（デコラティブメール）用テンプレートの操作を行います。
新規ライトメール作成	ライトメールの作成を行います。
Eメール問い合わせ	新しいEメールがないかをEメールセンターに確認します。
オンラインサインアップ	Eメールを利用するための設定を行います。
Eメール設定	ダイヤルアップ設定、Eメールアカウント設定、オプションの設定を行います。
メモリ使用状況確認	Eメールのメモリの使用状況、ライトメールの保存件数が表示されます。

オンラインサインアップをする

オンラインサインアップでメール送受信に必要なメールアドレスなどの設定を取得します。

1 [メールキー]を押し、「8 オンラインサインアップ」を選択する

メニューを使って操作する場合は

[メインメニューキー]（メインメニュー）を押し、「メール」→「8 オンラインサインアップ」の順に選択する

2 画面に表示される案内に従って操作する

3 オンラインサインアップの設定が終了したら、[終話キー]を2回押してメールメニューに戻る

補　足

●オンラインサインアップの設定を終了すると

メールアドレスなどがW-SIMに書き込まれます。

●オンラインサインアップで設定した内容は

Eメールアカウント設定の「Eメール」に登録されます。

一度オンラインサインアップを行うと、以降はオンラインサインアップで設定の確認や変更などができます。

メ　モ

■メールアドレスの登録について

オンラインサインアップで作成するのはEメールアドレスの@（アットマーク）より前の部分で、自分で好きな文字列で作成できます。ただし、作成するにあたって次の注意点があります。

・使用可能文字数は、半角文字4文字～20文字です。

・半角英数字のほか、記号の「_」（アンダーバー）「-」（ハイフン）が使用できます。

・「.」（ドット）、「スペース（空白）」は使用できません。

・英字に大文字／小文字の区別はありません。すべて小文字で登録されます。

・先頭は必ず英字にしてください。

・@（アットマーク）より後ろは、あらかじめ決められたドメインが自動的に設定されます。

Eメール（テキストメール／装飾メール（デコラティブメール））の作成／送信

Eメール対応の電話機やパソコンにEメールを送信します。Eメールの送信で設定できるのは、次の項目です。

送信項目	内　容
アカウント（From）	登録済みのEメールアカウントから使用するものを選択
宛先（To）	メールアドレスのTo、Cc、Bccを合わせて20件まで 1件につき半角64文字まで
件名（Sub）	全角40文字（半角80文字）まで
本文	●テキストメール 全角20,000文字（半角40,000文字）まで
	●装飾メール（デコラティブメール） 文字、装飾情報、画像を合わせて100Kバイトまで
添付ファイル	1メールにつき100件まで、合計で約700Kバイトまで

Eメール（テキストメール／装飾メール（デコラティブメール））を作成して送信する

テキストメールのほか、文字の色や背景を変更したり、画像を挿入するなどして、装飾メール（デコラティブメール）として送信することもできます。

1 を1秒以上押す

メニューを使って操作する場合は

を押し、「4 新規Eメール作成」を選択する

または

（メインメニュー）を押し、「メール」→「4 新規Eメール作成」の順に選択する

Eメール作成画面

2 使用するEメールのアカウント（From）を確認する

アカウントを変更する場合は

アカウントの欄を選択し、アカウントを選択する

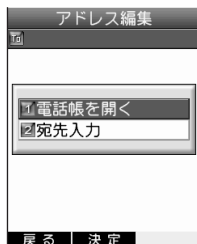
3 To（To）の欄を選択する

4 （選択）を押し、宛先入力操作をする

アドレス帳を利用して入力する場合は

「1 電話帳を開く」を選択し、アドレス帳を検索してメールアドレスを選択する

メールアドレスを直接入力する場合は

「2 宛先入力」を選択し、メールアドレスを入力する

アドレス編集画面

5 複数の宛先を設定する場合は操作4を繰り返す

6 （決定）を押す

7 Sub（Sub）の欄を選択し、件名を入力する

8 本文を入力する

テキストメールを作成する場合は（→P.107）

装飾メール（デコラティブメール）を作成する場合は（→P.107）

テンプレートを読み込んで装飾メール（デコラティブメール）を作成する場合は（→P.109）

9 （送信）を押す

補　足

●From（アカウント）を設定する目的は
「メール送信で使用するアカウントを設定する」（→P.131）で設定されているアカウントとは異なるアカウントで送信する場合に設定します。オンラインサインアップで設定したアカウントのみでご利用の場合は、自動選択のまま変更する必要はありません。

●本文を装飾した場合には
本文入力画面の左上に が表示されます。

●送信したEメールは
送信BOXに保存されます。

ご注意

●Eメールの各項目に半角カナは入力できません。
●装飾メール（デコラティブメール）の本文に半角カナ、一部の半角記号、ウィルコムの絵文字を使用することはできません。
●装飾メール（デコラティブメール）を送信した場合、受信側の機種によっては、正しく表示されない場合があります。

メ　モ

■アドレス編集画面のメニューについて

宛先を1件以上登録すると、アドレス編集画面のメニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
Toに変更	宛先をToに変更します。
Ccに変更	宛先をCcに変更します。
Bccに変更	宛先をBccに変更します。
削除	選択中の宛先を削除します。
全削除	宛先をすべて削除します。

■宛先の種類（To／Cc／Bcc）について

Cc、Bccはメールのコピーを送信する相手に設定します。Ccのメールアドレスは、メールを受信した側の宛先に表示されます。Bccのメールアドレスは表示されません。

■Eメール作成画面のメニューについて

メニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
送信待ち保存	作成したEメールを「送信待ち」として保存します（→P.110）。 未送信BOXから送信操作ができます（→P.118）。
下書き保存	作成したEメールを「下書き」として保存します（→P.110）。 未送信BOXから編集して送信することができます（→P.118）。
メール種別切り替え	Eメールとライトメールの種別を切り替えます。 メール種別を切り替えると一部の項目は削除されます。
テンプレート読込み	本体のデータフォルダやmicroSDカードから装飾メール（デコラティブメール）用テンプレートを読み込みます。
テンプレート保存	作成した装飾メール（デコラティブメール）をテンプレートとして本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに保存できます。

Eメールの本文を作成する(テキストメール)

1 Eメール作成画面で本文の欄を選択する

テキストメール本文入力画面（文字入力）

2 本文を入力し、◙（確定）を押す

補　足

●テキストで本文を作成してから、装飾メール（デコラティブメール）に変更する場合は

（装飾）を押します（→P.107)。

●テキストメール本文入力画面のメニューから、文字入力の機能を利用する場合は（→P.70）

Eメールの本文を作成する（装飾メール（デコラティブメール））

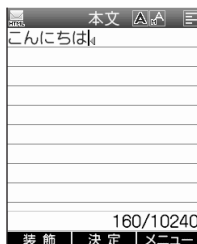
装飾メール（デコラティブメール）を新規に作成する場合、はじめにテキストメール本文入力画面が表示されます。

1 Eメール作成画面で本文の欄を選択する

2 （装飾）を押し、装飾メール（デコラティブメール）本文作成画面を表示する

装飾メール（デコラティブメール）本文作成画面（パレット表示）

3 装飾パレットから項目を選択する

4 装飾メール（デコラティブメール）本文を入力する

装飾メール（デコラティブメール）本文画面

装飾を追加する場合は

（装飾）を押し、パレットから選んで設定する

5 装飾メール（デコラティブメール）の作成が終了したら、◙（決定）を押す

補　足

●**装飾メール（デコラティブメール）本文作成画面でのカーソルについて**

装飾メール（デコラティブメール）本文作成画面では、カーソルが｜で表示されます。

●**装飾メール（デコラティブメール）で文字を入力する場合は**

文字入力時は、装飾メール（デコラティブメール）用の文字入力画面（HTMLメール編集の本文入力画面）が表示されます。

●**装飾メール（デコラティブメール）の作成が終了し、◙（決定）を押すと**

Eメール作成画面に戻ります。Eメール作成画面で送信や、作成した装飾メール（デコラティブメール）をテンプレートとして保存することができます（→P.111)。

■ 装飾パレット一覧

1	文字の色を変更します。	2	文字サイズを変更します。	3	画像を挿入します。
4	文字を点滅させます。	5	文字をテロップ表示します。	6	文字をスウィング表示します。
7	文字位置を変更します。	8	ラインを挿入します。	9	背景色を変更します。
*	装飾の範囲を指定します。	0	装飾を解除します。	#	変更を元に戻します。

■ 装飾パレットの操作について

装飾の種類を選択するには、装飾メール（デコラティブメール）本文作成画面で装飾パレットから で項目を選択して （決定）を押すか、ダイヤルキーを押して項目を選択します。各装飾パレットでの操作は次のとおりです。

項 目	内 容
1 文字の色	①カラーパレットからカーソルで色を選び、 （決定）を押す ②文字を入力し、 （確定）を押す
2 文字サイズ	① 1 (文字サイズ：大)、 2 (文字サイズ：中)、 3 (文字サイズ：小) のいずれかを選択する ②文字を入力し、 （確定）を押す
3 画像を挿入	①データフォルダの画像データ一覧から画像を選択する （20種類まで画像ファイルを挿入できます。）*
4 文字を点滅	① 1 （開始）を押す ②HTMLメール本文入力画面で文字を入力し、 （確定）を押す ③ (装飾)→ 4 (文字を点滅)→ 2 (終了)の順に選択する
5 テロップ	① 1 (開始)を押す ②HTMLメール本文入力画面で文字を入力し、 （確定）を押す ③ (装飾) → 5 （テロップ）→ 2 (終了)の順に選択する テロップ表示する文字列は のように表示されます。 装飾の様子はプレビューで確認できます。

＊ 挿入できる画像ファイルは、jpg、jpegのみです。

項 目	内 容
6 スウィング	① 1 （開始）を押す ②HTMLメール本文入力画面で文字を入力し、 （確定）を押す ③ （装飾）→ 6 （スウィング）→ 2 （終了）の順に選択する スウィング表示する文字列は のように表示されます。 装飾の様子はプレビューで確認できます。
7 文字位置	① 1 （左寄せ）、 2 （センタリング）、 3 （右寄せ）のいずれかを選択する ②指定した位置にカーソルが表示される ③本文を入力する
8 ラインを挿入	①ラインを挿入したい位置で （決定）を押す ②カーソル位置にラインが挿入される
9 背景色	①カラーパレットから色を選んで （決定）を押す ②装飾メール（デコラティブメール）本文の背景色が変更される
* 範囲を指定	①開始位置にカーソルを移動し、 （決定）を押す ②終了位置にカーソルを移動し、 （決定）を押す ③指定した範囲の操作について「1 装飾」、「4 コピー」、「5 カット」のいずれかを選択する 「装飾」を選んだ場合は、指定中の範囲に対して装飾が反映されます。

項　目	内　容
装飾を解除	指定した範囲の装飾を解除する場合は ①(範囲指定)を押す ②開始位置にカーソルを移動し、（決定）を押す ③終了位置にカーソルを移動し、（決定）を押す すべての装飾を解除する場合は ①(全解除)を押す
元に戻す	最後の操作を取り消し、1つ前の状態に戻します。

■ 装飾メール（デコラティブメール）本文入力画面のメニューについて

メニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
装飾	装飾パレットを表示します。
範囲選択	装飾を適用するテキストの範囲を選択します。
プレビュー	装飾メール（デコラティブメール）を受信したときの状態で見ることができます。
コピー／カット	文字・画像をコピー／カットします。
ペースト	コピー／カットした文字・画像を貼り付けます。

テンプレートを読み込んで装飾メール（デコラティブメール）を作成する

本体のデータフォルダまたはmicroSDカードの「テンプレートデータ」フォルダに保存されているテンプレートを読み込んで、装飾メール（デコラティブメール）を作成します。
テンプレートの読み込みは、装飾メール（デコラティブメール）作成の最初に行ってください。装飾メール（デコラティブメール）の作成中にテンプレートを読み込むと、それまでに編集していた内容が削除されます。

1 Eメール作成画面で（メニュー）を押し、「4 テンプレート読込み」を選択する

2 ファイルを選択する

データフォルダから選ぶ場合は

「1 データフォルダ」を選択する

microSDカードから選ぶ場合は

「2 microSD」を選択する

3 テンプレートを選択し、（選択）を押す

4 装飾メール（デコラティブメール）を編集し、（送信）を押す

補　足

●**メールメニューからテンプレートを読み込むには**

を押し、メールメニューから「5 テンプレート」→「1 データフォルダ」または「2 microSD」の順に選択しても、テンプレートを読み込んで装飾メール（デコラティブメール）を編集することができます。

メール

ファイルを添付する

本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに保存されているファイルをEメールに添付して送信します。添付できるのは次のファイルです。

データフォルダ（本体）／microSDカード	ファイル（拡張子）
カメラデータ	画像ファイル（jpg、jpeg）
画像データ	画像ファイル（jpg、jpeg、gif、png、bmp）
サウンドデータ	サウンドファイル(mid、midi、dxm、mfm)
アドレス帳データ	vCardファイル（vcf）
テンプレートデータ	装飾メール（デコラティブメール）のテンプレートデータ（whm）
その他のデータ	テキストファイル（txt）等

＊　ファイルによっては添付できない場合があります。

1 Eメール作成画面で（添付ファイル）の欄を選択する

2「添付ファイル追加」を反転表示し、（選択）を押す

3 読み込み元を選択する

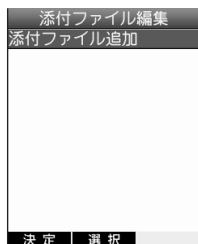
データフォルダから添付する場合

「1データフォルダ」を選択し、ファイルを選択する

microSDカードから添付する場合

「2microSD」を選択し、ファイルを選択する

4 添付するファイルを選択する

5 複数のファイルを添付する場合は、操作2～4を繰り返す

添付ファイル編集画面

6 （決定）を押す

補　足

●**添付ファイルを削除するには**

① 添付ファイル編集画面で削除するファイルを反転表示する

② （メニュー）を押し、「1削除」を選択する

また、操作②で「2全削除」を選択すると、すべての添付ファイルを削除できます。

ご注意

●著作権で保護されているファイルは添付できません。

●UXGAサイズの画像をメールに添付することはできますが、添付ファイル編集画面では表示できません。

Eメールを保存する

作成したEメールをすぐには送信しないで、未送信メールまたは下書きメールとして保存します。

1 Eメール作成画面で保存操作をする

未送信メールとして保存する場合は

（メニュー）を押し、「1送信待ち保存」を選択する

下書きメールとして保存する場合は

（メニュー）を押し、「2下書き保存」を選択する

補　足

●**未送信メールとして保存したEメールは**

未送信BOXに保存され、あとから一括送信できます。

●**下書きメールとして保存したEメールは**

未送信BOXに保存され、あとから編集して送信できます。Eメールの下書きメールは、20件まで保存できます。

装飾メール（デコラティブメール）をテンプレートとして保存する

作成した装飾メール（デコラティブメール）を、テンプレート（ひな型）として本体のデータフォルダまたはmicroＳＤカードの「テンプレートデータ」フォルダに保存します。装飾メール（デコラティブメール）として利用したいときに読み込んで使うことができます。

1 装飾メール（デコラティブメール）の本文作成後、Ｅメール作成画面で（メニュー）を押し、「5テンプレート保存」を選択する

2 保存操作をする

データフォルダに保存する場合は

「1データフォルダ」を選択する

microSDカードに保存する場合は

「2microSD」を選択する

受信した装飾メール（デコラティブメール）をテンプレートとして保存する

1 を押し、「1受信BOX」を選択する

メニューを使って操作する場合は

（メインメニュー）を押し、「メール」→「1受信BOX」の順に選択する

2 フォルダを選択する

3 受信メール一覧から保存したい装飾メール（デコラティブメール）を選択する

4 （メニュー）を押し、「8テンプレート保存」を選択し、「Yes」を選択する

5 保存操作をする

データフォルダに保存する場合は

「1データフォルダ」を選択する

microSDカードに保存する場合は

「2microSD」を選択する

補　足

●保存したテンプレートのファイル名について

現在日時秒（ＹＹＹＹＭＭＤＤＨＨＭＭＳＳ）000.whmとなります。

すでに同名のファイル名がある場合は、現在日時秒（YYYYMMDDHHMMSS）000˜001.whmのように「˜」と3桁の連番が追加されます。

テンプレートをダウンロードする

1 を押し、「5テンプレート」→「❸公式サイトから探す」の順に選択する

2 サイトの説明に従ってテンプレートをダウンロードする

3 （終了）が表示されるまで（戻る）を押し、（終了）を押す

4 「Yes」を選択してブラウザを終了する

補　足

●公式サイトのテンプレートについて

・有料のコンテンツには利用料金が発生します。

・会員登録が必要な場合があります。

●ダウンロードしたテンプレートは

「データフォルダ」または「microSD」の「テンプレートデータ」フォルダに保存されます。

Eメールをライトメールに変更する

Eメールをライトメールに変更して送信します。

1 Eメール作成画面で、（メニュー）を押し、「3メール種別切り替え」を選択する

ご注意

●ライトメールに変更すると、本文以外の項目はすべて消去されます。

●本文の、全角で45文字（半角で90文字）を超える部分は消去されます。

ライトメールの作成／送信

ライトメールを作成し、送信します。送信できる相手はライトメール対応の電話機のみです。設定できるのは次の項目です。

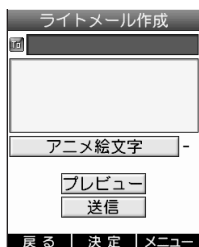
送信項目	内　容
宛先（To）	電話番号1件のみ、32桁まで
本文	全角45文字（半角90文字）まで アニメ絵文字使用時は、全角44文字（半角88文字）まで

メール

ライトメールを作成して送信する

1 を押し、「6新規ライトメール作成」を選択する

メニューを使って操作する場合は

（メインメニュー）を押し、「メール」→「6新規ライトメール作成」の順に選択する

ライトメール作成画面

2 To（To）の欄を選択する

3 宛先入力操作をする

履歴を利用して入力する場合は

①「1発信履歴」または「2着信履歴」を選択し、宛先を選択する

アドレス帳を利用して入力する場合は

①「3電話帳を開く」を選択し、アドレス帳を検索して電話番号を選択する

電話番号を直接入力する場合は

①「4宛先入力」を選択し、電話番号を入力する

既に入力されている宛先を削除する場合は

①「5削除」を選択する

4 本文の欄を選択し、本文を入力する

ライトメール用の絵文字を添付する場合は

① アニメ絵文字の欄を選択する

② 添付するアニメ絵文字を選択する

5 「送信」を選択する

補　足

●送信したライトメールは

送信BOXに保存されます。保存できるライトメールは、送信BOXと未送信BOXを合わせて30件までです。ただし、未送信BOXに10件のライトメールがある場合は、送信BOXとの合計が30件に満たなくてもライトメールの作成はできません。

●添付できるアニメ絵文字は

ライトメール用のアニメ絵文字です。ライトメール用のアニメ絵文字については、付録（→P.275）を参照してください。

●送信前にプレビューを確認するには

① 操作1～4を行う

②「プレビュー」を選択する

③ 確認したら（戻る）を押す

ご注意

●送信した相手が圏外、電源を切っているとき、通話中の場合は送信できません。

●アニメ絵文字に対応していない電話機にアニメ絵文字は送信できません。

●ライトメールの送信には、料金分計サービスは利用できません。

ライトメールを保存する

作成したライトメールを、すぐには送信しないで下書きメールとして保存します。

1 ライトメール作成画面で ［メニューキー］（メニュー）を押し、「1 下書き保存」を選択する

補　足

●**下書きメールとして保存したライトメールは**
未送信BOXに保存され、あとから編集して送信できます。ライトメールの下書きメールは、10件まで保存できます。

ライトメールをEメールに変更する

ライトメールをEメールに変更して送信します。

1 ライトメール作成画面で ［メニューキー］（メニュー）を押し、「2 メール種別切り替え」を選択する

ご注意

●Eメールに変更すると、本文以外の項目はすべて消去されます。

メールの受信

ライトメールと、自動受信が設定されている場合のEメールは自動的に受信されます。それ以外の場合は、一括受信または選択受信で受信します。

補　足

●**Eメールの自動受信を設定するには**
ウィルコムのメールアカウント（Eメール）は、Eメールアカウント設定（→P.128）で、自動受信を設定できます。

メ　モ

■Eメールで受信できる項目について

Eメールで受信できる項目は次のとおりです。

受信項目	内　容
件名	全角40文字（半角80文字）まで
本文	●テキストメール 全角20,000文字（半角40,000文字）まで
	●装飾メール（デコラティブメール） 文字、装飾情報、画像を合わせて100Kバイトまで
添付ファイル	1メールにつき120件まで、合計で約700Kバイトまで

ご注意

●大きな添付ファイルが送られてきたときは、受信できないことがあります。その場合は、受信行数制限設定（→P.129、130）を「OFF」に設定してください。

自動受信する

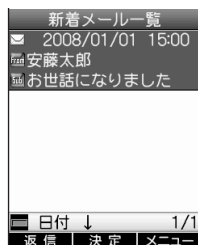
自動受信によりEメールまたはライトメールを受信すると、Eメール、ライトメールそれぞれのメール受信音が鳴り、、、のいずれかと「新着メール　XX件」のお知らせが表示されます。

1 「新着メール　XX件」を選択する

お知らせ表示画面
(ガジェット・アクセサリを時計(24H)に設定してある場合)

ご注意

●お知らせに表示できる新着メールの数は99件までです。100件以上の新着メールを受信しても確認操作をするまでは99件と表示されます。

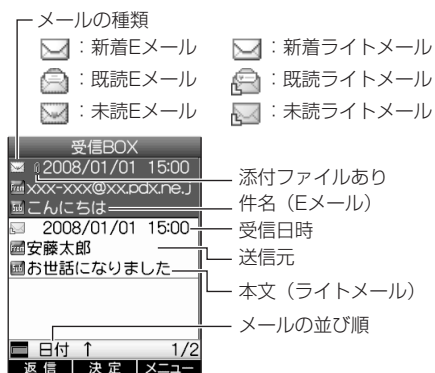
2 新着メール一覧から未読のEメールまたはライトメールを選択する

新着メール一覧画面

ご注意

●アカウント2、アカウント3に自動受信は設定できません。

●電源OFF、または圏外時に送信されたライトメールは受信できません。

●ガジェット・アクセサリが「ガジェット」または「待受Java™アプリ」の場合、お知らせは表示されません（→P.198）。

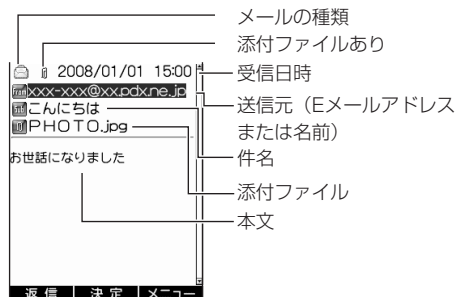
メ モ

■受信メール一覧画面

■ 受信メール一覧画面のメニューについて

メニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
返信	メールの送信元に返信します（→P.119）。
全員へ返信	受信したメールの宛先に設定された複数のアドレスに返信します（→P.119）。
転送	受信したメールを別の宛先に転送します（→P.120）。
移動	メールを別のユーザ受信BOXに移動します（→P.122）。
削除／保護／保護解除／ソート／フィルタ	各操作ができます（→P.124）。

受信メール一覧画面については、「メール一覧画面の共通操作」（→P.124）を参照してください。

■受信Eメール詳細画面

■ 受信メール詳細画面のメニューについて

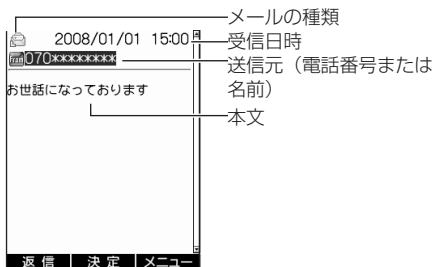
メニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
返信	メールの送信元に返信します（→P.119）。
全員へ返信	受信したメールの宛先に設定された複数のアドレスに返信します（→P.119）。
転送	受信したメールを別の宛先に転送します（→P.120）。
移動	メールを別のユーザ受信BOXに移動します（→P.122）。
削除／保護／保護解除	各操作ができます（→P.126）。
コピー	メールの本文をコピーします（→P.126）。
テンプレート保存*	装飾メール（デコラティブメール）をテンプレートとして、本体データフォルダまたはmicroSDカードに保存します（→P.121）。
メールヘッダ表示	メールのヘッダ情報を表示します（→P.127）。
文字サイズ変更	メール詳細画面の文字の大きさを変更します（→P.127）。

＊ 装飾メール（デコラティブメール）の場合のみ選択できます。

受信Eメール詳細画面での操作については、「メール詳細画面の共通操作」（→P.126）を参照してください。

受信メールの添付ファイルを表示したり、本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに保存するには「添付ファイルを表示／保存する」（→P.127）を参照してください。

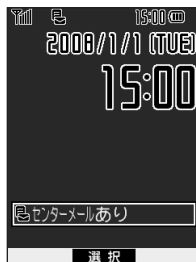
■受信ライトメール詳細画面

受信ライトメール詳細画面での操作については、「メール詳細画面の共通操作」（→P.126）を参照してください。

手動受信する

センターに受信していないEメールがあるときは、と「センターメールあり」のお知らせが表示されます。センターのEメールを一括受信します。

1 「センターメールあり」を選択する

メニューを使って操作する場合は

（メインメニュー）を押し、「メール」→「7 Eメール問い合わせ」の順に選択する

お知らせ表示画面
（ガジェット・アクセサリを時計（24H）に設定してある場合）

メール受信処理が開始され、センターからメールを受信すると「新着メール　XX件」が表示されます。

2 「Eメール」を選択し、「受信開始」を選択する

3 「受信BOX」を選択する

4 受信メール一覧から未読のEメールを選択する

ご注意

●ガジェット・アクセサリが「ガジェット」または「待受Java™アプリ」の場合、お知らせは表示されません（→P.198）。

送信BOX／未送信BOX

送信したEメール、ライトメールは送信ボックスに、送信せずに保存したEメール、ライトメールは未送信BOXに保存されます。

メールを表示する

1 を押し、「2送信BOX」または「3未送信BOX」を選択する

メニューを使って操作する場合は

（メインメニュー）を押し、「メール」→「2送信BOX」または「3未送信BOX」の順に選択する

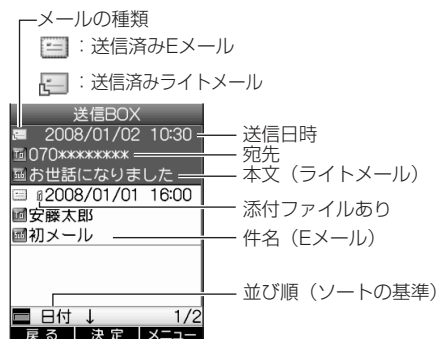
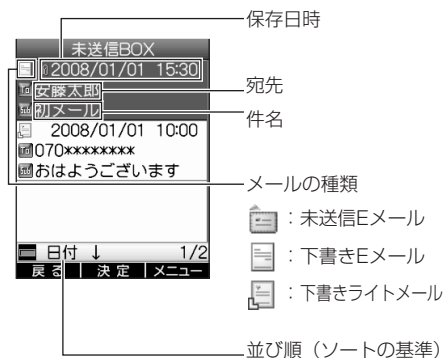
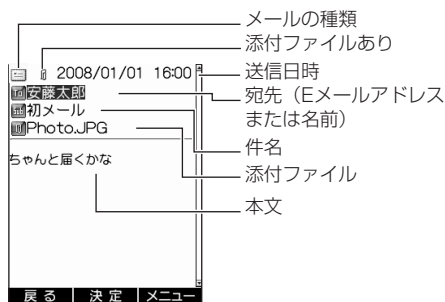
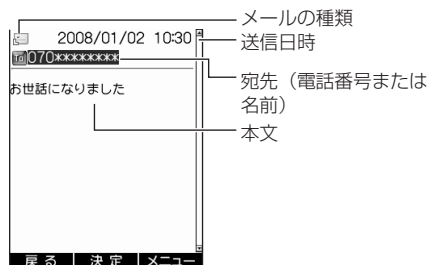
2 送信メール一覧または未送信メール一覧から表示するメールを選択する

補　足

●待受画面から送信BOXを表示するには

待受画面でを1秒以上押すと、送信BOXが表示されます。

メ　モ

■送信メール一覧画面

■未送信メール一覧画面

■送信Eメール詳細画面

■送信ライトメール詳細画面

■ 各画面での操作について

送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面での操作については、「メール一覧画面の共通操作」（→P.124）を参照してください。

送信Eメール詳細画面／送信ライトメール詳細画面での操作については、「メール詳細画面の共通操作」（→P.126）を参照してください。

未送信メール／下書きメールを編集して送信する

未送信メール、下書きメールとして保存していたメールを編集して送信します。

1 [文字キー] を押し、「3 未送信BOX」を選択する

メニューを使って操作する場合は

[●]（メインメニュー）を押し、「メール」→「3 未送信BOX」の順に選択する

2 編集するメールを反転表示する

3 [メニューキー]（メニュー）を押し、「1 編集」を選択する

4 項目を選択し、メールを編集する

5 「送信」を選択する

送信済みメールを編集する

1 [文字キー] を押し、「2 送信BOX」を選択する

メニューを使って操作する場合は

[●]（メインメニュー）を押し、「メール」→「2 送信BOX」の順に選択する

2 編集するメールを反転表示する

3 [メニューキー]（メニュー）を押し、「1 編集」を選択する

未送信メールを送信する

未送信BOXに保存されている送信待ちEメールを送信します。

1 [文字キー] を押し、「3 未送信BOX」を選択する

メニューを使って操作する場合は

[●]（メインメニュー）を押し、「メール」→「3 未送信BOX」の順に選択する

2 送信操作をする

1件ずつ送信する場合は

① 送信するメールを反転表示する

② [メニューキー]（メニュー）を押し、「2 送信」を選択する

すべて送信する場合は

[メニューキー]（メニュー）を押し、「3 全送信」を選択する

ご注意

- 未送信BOXに送信待ちメールとして保存できるのはEメールのみです。ライトメールは下書きメールとして保存されます。
- 全送信を行うと、未送信BOXの送信待ちメールがすべて送信されます。下書きメールは送信されません。

受信BOX

受信したEメール、ライトメールは受信BOXに保存されます。

メールを表示する

1 [文字キー]を押し、「1受信BOX」を選択する

メニューを使って操作する場合は

[●](メインメニュー)を押し、「メール」→「1受信BOX」の順に選択する

2 受信BOXまたはユーザ受信BOXを選択する

3 受信メール一覧から表示するメールを選択する

補足

●受信メール一覧画面(→P.115)

●受信メール詳細画面(→P.115)

●**待受画面から受信BOXを表示するには**

待受画面で[キー]を1秒以上押すと、受信BOXが表示されます。

メモ

■**受信BOX一覧画面のメニューについて**

メニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
フォルダ名編集	ユーザ受信BOXの名前を変更します(→P.121)。
振り分け設定	受信メールの自動振り分けを設定します(→P.122)。
振り分け設定リセット	すべてのフォルダの振り分け設定をリセットします。
メール全件削除	すべての受信メールを削除します。
フォルダ内全件削除	選択中のフォルダ内の受信メールをすべて削除します。

返信する

1 [文字キー]を押し、「1受信BOX」を選択する

メニューを使って操作する場合は

[●](メインメニュー)を押し、「メール」→「1受信BOX」の順に選択する

2 フォルダを選択する

3 受信メール一覧から返信するメールを反転表示する

4 [キー](メニュー)を押し、「1返信」を選択する

宛先に設定されている複数のメールアドレスすべてに送信する場合は

① 受信メール一覧から返信するメールを反転表示する

② [キー](メニュー)を押し、「2全員へ返信」を選択する

5 項目を選択し、メールを編集する

6 「送信」を選択する

補足

●**受信メール詳細画面から返信するには**

[キー](メニュー)を押し、「1返信」または「2全員へ返信」を選択します。

メモ

■**返信メールに設定される項目について**

返信で自動的に設定される項目の内容は次のとおりです。

項　目	内　容
宛先(To)	「返信」:「To」に受信メールの差出人が入力されます。 「全員へ返信」:「To」に差出人のメールアドレスが入力され、「Cc」に宛先に設定されているすべてのメールアドレスが入力されます。
件名(Sub)	元の件名に「Re:」を付加して入力されます。
本文	オプションの引用設定(→P.120)に従います。
添付ファイル	添付されません。

メール

転送する

1 文字 を押し、「1受信BOX」を選択する

メニューを使って操作する場合は

●（メインメニュー）を押し、「メール」→「1受信BOX」の順に選択する

2 フォルダを選択する

3 受信メール一覧から転送するメールを反転表示する

4 （メニュー）を押し、「3転送」を選択する

5 項目を選択し、メールを編集する

6 「送信」を選択する

補　足

●受信メール詳細画面から転送するには

（メニュー）を押し、「3転送」を選択します。

メ　モ

■転送メールに設定される項目について

転送で自動的に設定される項目の内容は次のとおりです。

項　目	内　容
宛先（To）	設定されません。
件名（Sub）	元の件名に「Fw:」を付加して入力されます。
本文	オプションの引用設定（→P.120）に従います。
添付ファイル	添付されます。

返信／転送時の引用文を設定する

［お買い上げ時］

■引用しない

1 文字 を押し、「9Eメール設定」→「3オプション」→「1返信メール本文引用」の順に選択する

メニューを使って操作する場合は

●（メインメニュー）を押し、「メール」→「9Eメール設定」→「3オプション」→「1返信メール本文引用」の順に選択する

2 設定操作を行う

引用しない場合は

①「引用しない」を選択する

②「OK」を選択する

引用する場合は

①「引用する」を選択する

②「引用文」を選択し、引用文を入力する

③「OK」を選択する

ご注意

●ライトメールは、引用文を利用できません。

メール

受信した装飾メール（デコラティブメール）をテンプレートとして保存する

受信した装飾メール（デコラティブメール）を、本体のデータフォルダまたはmicroSDカード「テンプレートデータ」のフォルダにテンプレートとして保存します。

1 [文字/メールキー]を押し、「1受信BOX」を選択する

メニューを使って操作する場合は

[●]（メインメニュー）を押し、「メール」→「1受信BOX」の順に選択する

2 フォルダを選択する

3 受信メール一覧から、テンプレートとして保存する装飾メール（デコラティブメール）を選択する

4 [メニューキー]（メニュー）を押し、「8テンプレート保存」を選択し、「Yes」を選択する

5 保存操作をする

データフォルダに保存する場合は

「1データフォルダ」を選択する。

microSDカードに保存する場合は

「2microSD」を選択する

補　足

●**保存したテンプレートのファイル名について**
現在日時秒（YYYYMMDDHHMMSS）000.whmとなります。
すでに同名のファイル名がある場合は、現在日時秒（YYYYMMDDHHMMSS）000˜001.whmのように「˜」と3桁の連番が追加されます。

受信メールをフォルダで分類する

受信BOXには8個のフォルダ（ユーザ受信BOX）があり、受信メールを分類して保存できます。

フォルダ名を変更する

フォルダの名前をわかりやすいものに変更します。

［お買い上げ時］
■ユーザ受信BOX1～8

1 [文字/メールキー]を押し、「1受信BOX」を選択する

メニューを使って操作する場合は

[●]（メインメニュー）を押し、「メール」→「1受信BOX」の順に選択する

2 名前を変更するフォルダ（ユーザ受信BOX1～8）を反転表示する

3 [メニューキー]（メニュー）を押し、「1フォルダ名編集」を選択する

4 フォルダ名を入力する

補　足

●**フォルダ名に設定できる文字数は**
全角16文字（半角32文字）までです。

ご注意

●受信BOXの中の「受信BOX」は、フォルダ名を変更できません。

メール

受信メールを別のフォルダに移動する

1 ［文字/メール］を押し、「1 受信BOX」を選択する

メニューを使って操作する場合は

［●］（メインメニュー）を押し、「メール」→「1 受信BOX」の順に選択する

2 移動元フォルダを選択する

3 移動操作をする

1件移動する場合は

① 移動するメールを反転表示する

② ［メニュー］（メニュー）を押し、「4 移動」→「1 一件」の順に選択する

複数のメールを選択して移動する場合は

① ［メニュー］（メニュー）を押し、「4 移動」→「2 選択」の順に選択する

② 移動するメールをすべて選択し、［メニュー］（移動）を押す

フォルダ内のすべてのメールを移動する場合は

① ［メニュー］（メニュー）を押し、「4 移動」→「3 全件」の順に選択する

4 移動先フォルダを選択する

補　足

● **受信メール詳細画面から、表示中のメールを別のフォルダに移動するには**

① ［メニュー］（メニュー）を押し、「4 移動」を選択する

② 移動先フォルダを選択する

振り分けを設定する

メールの受信時に、差出人の電話番号やメールアドレスで自動的に振り分けることができます。1つのフォルダに24件までの電話番号やメールアドレスを設定できます。

[お買い上げ時]

■未設定

1 ［文字/メール］を押し、「1 受信BOX」を選択する

メニューを使って操作する場合は

［●］（メインメニュー）を押し、「メール」→「1 受信BOX」の順に選択する

2 振り分け先フォルダ（ユーザ受信BOX1～8）を反転表示する

3 ［メニュー］（メニュー）を押し、「2 振り分け設定」を選択する

4 「振り分け設定追加」を選択する

5 差出人設定の操作をする

アドレス帳から設定する場合は

「1 電話帳引用」を選択し、アドレス帳を検索して電話番号またはメールアドレスを選択する

送信履歴から設定する場合は

「2 送信履歴引用」を選択し、電話番号またはメールアドレスを選択する

アドレス帳のグループごとに設定する場合は

「3 グループ」を選択し、グループを選択する

メールアドレスを直接入力する場合は

「4 直接入力」を選択し、電話番号またはメールアドレスを入力する

6 1つの振り分け先フォルダに複数の振り分けを設定する場合は、操作4～5を繰り返す

7 ［戻る］（戻る）を押す

ご注意

● 「受信BOX」は振り分け先に設定できません。

振り分け設定を削除する

1 [文字キー]を押し、「1受信BOX」を選択する

メニューを使って操作する場合は

[●]（メインメニュー）を押し、「メール」→「1受信BOX」の順に選択する

2 振り分け先フォルダを反転表示する

3 [メニューキー]（メニュー）を押し、「2振り分け設定」を選択する

4 削除する設定を反転表示する

5 [メニューキー]（メニュー）を押し、「1一件削除」を選択する

6 「Yes」を選択する

補　足

●**振り分け設定をすべて削除するには**
操作5で「2全件削除」を選択すると、そのフォルダの振り分け設定をすべて削除できます。

振り分け設定をリセットする

1 [文字キー]を押し、「1受信BOX」を選択する

メニューを使って操作する場合は

[●]（メインメニュー）を押し、「メール」→「1受信BOX」の順に選択する

2 振り分け先フォルダを反転表示する

3 [メニューキー]（メニュー）を押し、「3振り分け設定リセット」を選択する

4 暗証番号を入力し、「Yes」を選択する

フォルダ表示を切り替える

受信BOXのフォルダの表示／非表示を切り替えられます。表示しない設定にすると、受信BOXのすべてのメールが一覧表示されます。

［お買い上げ時］
■表示する

1 [文字キー]を押し、「9Eメール設定」→「3オプション」→「2受信フォルダ表示」の順に選択する

メニューを使って操作する場合は

[●]（メインメニュー）を押し、「メール」→「9Eメール設定」→「3オプション」→「2受信フォルダ表示」の順に選択する

2 設定を選択する

補　足

●**受信フォルダ表示を「表示しない」に設定した場合は**
受信フォルダ表示を「表示しない」に設定すると、受信BOX内のすべてのメールを一覧表示します。

ご注意

●フォルダ表示切替を「表示しない」に設定している場合、メール一覧画面を表示するまでの手順が異なります。

音楽自動再生を設定する

受信したＥメールを詳細表示したときに、メールに添付されている音楽ファイル（MIDI）を自動再生することができます。

［お買い上げ時］

■自動再生する

1 [文字]を押し、「9 Eメール設定」→「3 オプション」→「3 音楽自動再生」の順に選択する

2 設定を選択する

ご注意

●Eメールに添付された音楽ファイルの再生にスピーカーを使用します。イヤホンマイク（市販品）で音楽ファイルの再生を確認することはできません。

●マナーモードの種類にかかわらず、マナーモード中は自動再生されません。

メール一覧画面の共通操作

「受信BOX」「送信BOX」「未送信BOX」のメール一覧画面では、メニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
削除	メールを削除します（→P.124）。
保護／保護解除	メールが自動的に消去されないように保護を設定／解除します（→P.125）。
ソート	メール一覧を日付順、差出人または宛先順、件名で並べ替えます（→P.125）。
フィルタ	メールの種類ごとに表示します（→P.126）。

ご注意

●一覧画面によって、表示されるメニュー番号が異なります。ご注意ください。

メールを削除する

1 メール一覧を表示する

受信メール一覧を表示する場合は（→P.119）

送信メール一覧／未送信メール一覧を表示する場合は（→P.117）

2 削除操作をする

1件削除する場合は

① 削除するメールを反転表示する

② [ソフトキー]（メニュー）を押し、「削除」→「1 一件」の順に選択する

③「Yes」を選択する

複数のメールを選択して削除する場合は

① [ソフトキー]（メニュー）を押し、「削除」→「2 選択」の順に選択する

② 削除するメールを選択する

③ [ソフトキー]（削除）を押し、「Yes」を選択する

一覧のメールをすべて削除する場合は

① [ソフトキー]（メニュー）を押し、「削除」→「3 全件」の順に選択する

② 削除条件を選択する

③ 暗証番号を入力し、「Yes」を選択する

メールを保護する

メールが消去されないように保護します。保護を設定したメールは、保存可能件数に達したあとも自動的に消去されません。

1 メール一覧を表示する

受信メール一覧を表示する場合は（→P.119）

送信メール一覧／未送信メール一覧を表示する場合は（→P.117）

2 保護の設定／解除操作をする

保護を設定する場合は

① 保護するメールを反転表示する

② （メニュー）を押し、「保護／保護解除」を選択する

保護を解除する場合は

① 解除するメールを反転表示する

② （メニュー）を押し、「保護／保護解除」を選択する

補　足

●保護を設定できるメールの件数は

ライトメールに設定できる保護の件数は、受信メール50件、送信・未送信メールを合わせて15件です。Eメールには制限がありません。

メールを並べ替える

メール一覧の並べかたを選択できます。

［お買い上げ時］

■日付／新しい順

1 メール一覧を表示する

受信メール一覧を表示する場合は（→P.119）

送信メール一覧／未送信メール一覧を表示する場合は（→P.117）

2 （メニュー）を押し、「ソート」を選択する

3 並べかたを選択する

補　足

●選択できる並べかたは

〈受信BOXの場合〉

日付／古い順
日付／新しい順
差出人／昇順（A～Z）
差出人／降順（Z～A）
件名／昇順（A～Z）
件名／降順（Z～A）

〈送信BOX・未送信BOXの場合〉

日付／古い順
日付／新しい順
宛先／昇順（A～Z）
宛先／降順（Z～A）
件名／昇順（A～Z）
件名／降順（Z～A）

メールの種類ごとに表示する

メール一覧をメールの種類ごとに表示します。

1 メール一覧を表示する

受信メール一覧を表示する場合は（→P.119）

送信メール一覧／未送信メール一覧を表示する場合は（→P.117）

2 （メニュー）を押し、「フィルタ」を選択する

3 フィルタを選択する

フィルタを解除する場合は

「解除」を選択する

補　足

●フィルタの種類について

次のフィルタが利用できます。

〈受信BOXの場合〉

新着メールのみ／未読メールのみ／既読メールのみ／保護メールのみ／非保護メールのみ／添付ありメールのみ

〈送信BOXの場合〉

保護メールのみ／非保護メールのみ／添付ありメールのみ

〈未送信BOXの場合〉

未送信メールのみ／下書きメールのみ／保護メールのみ／非保護メールのみ／添付ありメールのみ

メール詳細画面の共通操作

受信メール、送信メール、未送信メール、下書きメールの詳細画面では、メニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
削除	表示中のメールを削除します。
保護／保護解除	表示中のメールの保護を設定／解除します。
コピー	メールの本文をコピーします（→P.126）。
テンプレート保存＊1	装飾メール（デコラティブメール）をテンプレートとして保存します（→P.121）。
メールヘッダ表示＊2	メールのヘッダを表示します（→P.127）。
文字サイズ変更	メールの詳細画面の文字サイズを変更します（→P.127）。

＊1 受信メールBOX内の装飾メール（デコラティブメール）のみ

＊2 未送信BOX内のメールでは利用できない

本文をコピーする

文章の範囲を選択してコピーします。コピーした内容は、文字入力画面で貼り付けることができます。

1 メール詳細画面で、（メニュー）を押し、「コピー」を選択する

2 コピーの始点を反転表示し、（確定）を押す

3 コピーの終点まで反転表示し、（確定）を押す

メール

添付ファイルを表示／保存する

メールに添付されているファイルを表示または再生したり、本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに保存します。

1 メール詳細画面で、 （ファイル名）を選択する

2 添付ファイルの操作をする

添付ファイルを表示／再生する場合は

表示／再生するファイルを選択する

添付ファイルを保存する場合は

① 保存するファイルを反転表示する

② （保存）を押す

③ 保存先を選択する
データフォルダに保存する場合は
「1データフォルダ」を選択する
microSDカードに保存する場合は
「2microSD」を選択する

ご注意

●添付ファイルの形式によっては、表示／再生できません。メールから表示できない添付ファイルでも、本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに保存してデータフォルダから表示／再生すると、表示できる場合があります。

メールのヘッダ情報を表示する

メールのヘッダの詳細を表示して確認できます。

1 メール詳細画面で、 (メニュー)を押し、「メールヘッダ表示」を選択する

ご注意

●未送信BOX内のメールはヘッダ情報を表示できません。

文字サイズを変更する

メール詳細画面の文字サイズを、12 dot、16 dot、20 dot、24 dotから選択して変更できます。

［お買い上げ時］
■16 dot

1 メール詳細画面で、 (メニュー)を押し、「文字サイズ変更」を選択する

2 文字サイズを選択する

差出人と宛先をすべて表示する

差出人のメールアドレスと、宛先に設定されているTo、Cc、Bccのメールアドレスをすべて表示します。表示できるメールは、Eメールのみです。

アドレス帳に登録されている相手の場合は、名前も表示されます。

1 メール詳細画面で、差出人（From）または宛先（To）を選択する

メール内の電話番号／メールアドレス／URLを利用する

メールの本文中に電話番号、メールアドレス、URLが含まれているときは、それらを利用してアドレス帳登録や発信、メール送信、Webアクセスなどができます。

1 本文中の電話番号、メールアドレス、URLにカーソルを移動し、◙（決定）を押す

電話をかける場合は

①「1発信」を選択する

② ☎ を押す

ライトメールを送信する場合は

①「2ライトメール作成」を選択する

② 項目を編集し、「送信」を選択する

電話番号をアドレス帳に登録する場合は

①「3電話帳登録」を選択する

② 新規または追加登録の操作をする（→P.88）

Eメールを送信する場合は

①「1Eメール作成」を選択する

② 項目を編集し、「送信」を選択する

メールアドレスをアドレス帳に登録する場合は

①「2電話帳登録」を選択する

② 新規または追加登録の操作をする（→P.88）

Webにアクセスする場合は

「1開く」を選択する

ブックマークに登録する場合は

①「2ブックマーク登録」を選択する

② ブックマークの登録操作をする

電話番号／メールアドレス／URLをコピーする場合は

「3コピー」または「4コピー」を選択する

Eメールのアカウント設定

Eメールの送受信に利用するダイヤルアップ情報、アカウント設定、その他オプションを設定することができます。

ダイヤルアップ情報については、Web機能のダイヤルアップ設定と同様です（→ P.159）。登録されたダイヤルアップ接続先の中から、メール用ダイヤルアップ接続先を選んで利用することができます（→P.131）。アカウントはウィルコムのアカウント（Eメール）のほかに2件まで登録でき、必要に応じて切り替えて使用します。各アカウントに設定できる項目は次のとおりです。

項　目	内　容
センタ名称設定*	アカウントを表すセンタ名称を設定します。
受信メール（POP）*	受信メールのサーバー（POPサーバー）を設定します。
送信メール（SMTP）*	送信メールのサーバー（SMTPサーバー）を設定します。
ユーザー名*	ユーザー名を設定します。
パスワード*	パスワードを設定します。
メールアドレス*	メールアドレスを設定します。
Eメール自動受信機能	Eメールを自動受信するかどうかを設定します。 アカウント「Eメール」のみ設定できます。
名前	送信メールに付加する差出人の名前を設定します。
署名	Eメール本文に付加する署名を設定します。
詳細設定	メールサーバーに関する詳細な設定をします（→P.129、130）。

＊ ウィルコムのアカウント（Eメール）では設定を変更できない項目です。

メール

アカウントを設定する

［お買い上げ時］
■センタ名称：未設定（アカウント2、3）
■受信メール（POP）：未設定
■送信メール（SMTP）：未設定
■ユーザー名：未設定
■パスワード：未設定
■メールアドレス：未設定
■Eメール自動受信機能（ウィルコムの「Eメール」のみ）：ON
■名前：未設定
■署名：OFF（署名入力は未設定）

1 **［文字］を押し、「9Eメール設定」→「2Eメールアカウント設定」の順に選択する**

メニューを使って操作する場合は

［●］（メインメニュー）を押し、「メール」→「9Eメール設定」→「2Eメールアカウント設定」の順に選択する

2 **「1アカウント詳細設定」を選択する**

3 **設定するアカウントを選択し、設定操作をする**

ウィルコムのアカウントを設定する場合は

「1Eメール」を選択する

補　足

●**ウィルコムのアカウントを設定する場合は**
先にオンラインサインアップを行ってください（→P.104）。「Eメール」のアカウント情報が自動設定されます。

●**「Eメール」アカウントで、オンラインサインアップ後変更可能な項目は**
Eメール自動受信機能、名前、署名、および詳細設定項目の返信メールアドレス、Eメール削除設定、受信行数制限設定です。

任意のアカウントを設定する場合は

①「2アカウント2」または「3アカウント3」を選択する
②「1センタ名称設定」を選択し、わかりやすい名前を入力する
（ここで入力した内容がアカウント2、アカウント3に代わって表示される）
③「2受信メール（POP）」を選択し、POPサーバー名を入力する
④「3送信メール（SMTP）」を選択し、SMTPサーバー名を入力する
⑤「4ユーザー名」を選択し、ユーザー名を入力する
⑥「5パスワード」を選択し、パスワードを入力する
⑦「6メールアドレス」を選択し、メールアドレスを入力する

補　足

●**1～6の必須項目を入力すると**
［ ］（登録）が表示されます。

4 **必要に応じて項目を選択し、設定操作をする**

Eメール自動受信を設定する場合は（ウィルコムの「Eメール」のみ）

「7Eメール自動受信機能」を選択し、設定を選択する

差出人の名前を設定する場合は

「8名前」を選択し、名前を入力する

署名を付加するかどうかを設定する場合は

「9署名」を選択し、「1ON」を選択して署名の内容を入力する

署名を付加しない場合は

「9署名」を選択し、「2OFF」を選択する

サーバーの詳細を設定する場合は

①「0詳細設定」を選択する
② 詳細設定の項目を選択し、設定操作をする
③ ［ ］（確定）を押し、アカウントのメニュー画面に戻る

5 **［ ］（登録）を押す**

メール

補　足

●**「Eメール」アカウントの自動受信機能をONに設定すると**
自動受信サーバーへの問い合わせ回数（1～3回）を設定することができます。

●**アカウント2、3設定の必須項目は**
センタ名称設定、受信メール、送信メール、ユーザー名、パスワード、メールアドレスです。

メ　モ

■詳細設定の項目について

[お買い上げ時]
■返信メールアドレス：未設定
■Eメール削除設定：削除
■POPポート番号：110
■SMTPポート番号：25
■SMTP認証：OFF
■POPbeforeSMTP：ON（待ち時間：0秒）
■SMTPユーザー名：未設定
■SMTPパスワード：未設定
■受信行数制限設定：OFF
■認証方式設定：POP

項　目	内　容
返信メールアドレス	送信した相手が返信するときの宛先を、送信メールアドレスとは別にしてもらう場合に設定します。
Eメール削除設定	Eメールを受信後、サーバーから削除するかどうかを設定します。
POPポート番号*	POPポートの番号です。
SMTPポート番号*	SMTPポートの番号です。
SMTP認証*	送信メールサーバーに接続するとき、SMTP認証を行うかどうかを設定します。
POPbeforeSMTP*	Eメールを送信するとき、サーバー側でPOPbeforeSMTP認証が行われる場合「ON」に設定します。
SMTPユーザー名*	SMTPユーザー名を設定します。
SMTPパスワード*	SMTPパスワードを設定します。
受信行数制限設定	受信できるEメールの行数を設定します。
認証方式設定*	認証方式を設定します。POPまたはAPOPから選択できます。

＊　ウィルコムのアカウント（Eメール）では設定を変更できない項目です。

ご注意

●POPbeforeSMTPが「ON」の場合は、SMTP認証を設定することはできません。

アカウントをリセットする

アカウント2、アカウント3の設定をお買い上げ時の状態にリセットします。

1 **[文字]を押し、「9 Eメール設定」→「2 Eメールアカウント設定」→「1 アカウント詳細設定」の順に選択する**

メニューを使って操作する場合は
[●]（メインメニュー）を押し、「メール」→「9 Eメール設定」→「2 Eメールアカウント設定」→「1 アカウント詳細設定」の順に選択する

2 **リセットするアカウントを反転表示し、[ ]（リセット）を押す**

3 **「はい」を選択する**

補　足

●**Eメールアカウント設定をリセットすると**
メール送受信に使用するアカウントの設定は次のようになります。
送信メールアカウント選択：Eメール
受信メールアカウント選択：毎回選択

●**ウィルコムの「Eメール」をリセットするには**
[文字]を押し、「8 オンラインサインアップ」→「2 消去」の順に選択し、「はい」を選択します。

アカウントを選択する

設定したアカウントの中から、メール送信とメール受信それぞれに使用するものを選択します。

送信メールサーバー、受信メールサーバーのプロバイダを、それぞれダイヤルアップ設定の接続先とは別に指定できます。

補　足

●**接続先を設定するには**

CLUB AIR-EDGEのほかに2つの接続先を設定できます（→P.159）。

文字 を押し、「9 Eメール設定」→「1 ダイヤルアップ設定」→「3 メール用ダイアルアップ接続先」の順に選択すると、設定されている接続先を選択することができます。

メール送信で使用するアカウントを選択する

1 文字 を押し、「9 Eメール設定」→「2 Eメールアカウント設定」の順に選択する

メニューを使って操作する場合は

●（メインメニュー）を押し、「メール」→「9 Eメール設定」→「2 Eメールアカウント設定」の順に選択する

2 「2 送信メールアカウント選択」を選択し、アカウントを選択する

メール受信で使用するアカウントを選択する

メール受信で使用するアカウントは複数選択できます。また、メール受信操作のときに毎回アカウントを選択するようにもできます。

1 文字 を押し、「9 Eメール設定」→「2 Eメールアカウント設定」の順に選択する

メニューを使って操作する場合は

●（メインメニュー）を押し、「メール」→「9 Eメール設定」→「2 Eメールアカウント設定」の順に選択する

2 項目を選択し、設定操作をする

メール受信のアカウントをあらかじめ選択しておく場合は

①「3 受信メールアカウント選択」を選択し、アカウントを選択する

② 設定を選択する

メール受信時にアカウントを選択する場合は

①「3 受信メールアカウント選択」を選択し、「4 毎回選択」を選択する

② 設定を選択する

補　足

●**受信メールアカウント選択を「毎回選択」に設定すると**

「毎回選択」の「選択する」を設定すると、Eメールアカウント、アカウント2、アカウント3の各設定はすべて「OFF」になります。また、「毎回選択」の「選択しない」を設定すると、Eメールアカウントのみ「ON」になります。

メモリ使用状況の確認

メール専用メモリの使用状況、ライトメールの件数情報を表示して確認することができます。

1 [文字/メール]を押し、「0 メモリ使用状況確認」を選択する

ご注意

- 新規Eメールを作成するには、約400Kバイト以上の空き容量が必要です。
- Eメールの受信時には、受信するメールの約2倍の空き容量が必要です。
  未送信メール、未読メール、保護されたメールは自動削除されないため、「メモリ不足」となって受信できない場合があります。

Web

インターネットの使いかた

本機にはWebブラウザとしてNetFrontブラウザが搭載されており、携帯電話対応のWebページだけでなく、パソコン向けに作成されたWebページも表示できます。また、SSL/TLS通信対応のWebページも表示できます。

インターネットをご利用になるには、オンラインサインアップをしてウィルコムのサーバーへの接続を設定する必要があります。はじめてインターネットを利用するときは、必ずオンラインサインアップを行ってください（→P.104）。

また、一般プロバイダを利用してインターネットに接続することもできます。その場合はダイヤルアップ接続を設定してください（→P.159）。

ご注意

- パソコン向けのWebページには表示できないものもあります。
- Webページの表示は、電波の状態やインターネットの混雑によって時間がかかる場合があります。
- インターネットに接続すると、お客様の契約コースにより料金が発生しますので、ご注意ください。料金について詳しくはウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。
- Webページによっては、サービス提供のためにお客様の位置情報、電話番号、メールアドレスの通知を要求される場合があります。インターネットでこれらの情報を送信すると、場合によっては第三者に知られてしまう可能性があります。あらかじめご了承ください。
- Webページの掲示板などへの書き込みでは、個人情報の取り扱いに十分ご注意ください。

メモ

■SSL通信について

SSL（Secure Socket Layer）/TLS（Transport Layer Security）とはデータを暗号化して送受信する通信方法です。クレジットカード情報や個人情報などのデータをインターネット上で送受信するのに利用されます。

当社は、お客様に対しSSL/TLS対応ページの安全性に関して何ら保証を行うものではありません。お客様ご自身の責任と判断によりSSL/TLS対応ページをご利用ください。

■表示モードについて

表示するWebページに合わせて、表示モードをケータイモード、Smart-Fitモード、デスクトップモードから選択できます（→P.140）。

〈ケータイモード／Smart-Fitモード〉

本機の画面サイズに合わせて表示されます。スクロールは上下方向のみです。携帯電話向けのWebページを表示するのに適しています。

〈デスクトップモード〉

Webページのサイズで表示されます。スクロール方向は上下左右です。パソコン向けのWebページを表示するのに適しています。

■キャッシュについて

インターネットを利用して受信したWebページの内容は本機のキャッシュに一時的に保存されます。キャッシュとインターネットのどちらを優先して表示するかなどの設定ができます（→P.155）。

Webページの表示

公式サイトにアクセスする

ブラウザを起動し、ウィルコムの公式サイトにアクセスします。

1 WEB を押し、「1 公式サイト」を選択する

メニューを使って操作する場合は

●（メインメニュー）を押し、「WEB」→「1 公式サイト」の順に選択する

Webメニュー画面

ホームを表示する

ホームに設定されているURLにアクセスします。

1 WEB を1秒以上押す

メニューを使って操作する場合は

WEB を押し、「2 ホーム」を選択する

または

●（メインメニュー）を押し、「WEB」→「2 ホーム」の順に選択する

補　足

●ホームを設定するには（→P.137）

最後に表示したページを表示する

前回インターネットにアクセスしたとき最後に表示したWebページを表示します。

1 WEB を押し、「8 Webページを開く」→「2 最後のアドレス」の順に選択する

メニューを使って操作する場合は

●（メインメニュー）を押し、「WEB」→「8 Webページを開く」→「2 最後のアドレス」の順に選択する

2 URLを確認し、●（確定）を押す

URLを編集してからアクセスする場合は

URLを編集し、●（確定）を押す

URLを入力して表示する

URLを直接入力してアクセスします。入力したURLは入力履歴として保存され、次に入力するときに利用できます。

1 [WEB] を押し、「8 Webページを開く」を選択する

メニューを使って操作する場合は

[●]（メインメニュー）を押し、「WEB」→「8 Webページを開く」の順に選択する

2 URL入力操作をする

URLを直接入力する場合は

①「1 アドレス入力」を選択する

② URLを入力し、[●]（確定）を押す

入力履歴を利用する場合は

「3 入力履歴」を選択し、入力履歴一覧からURLを選択する

入力履歴を編集して利用する場合は

①「3 入力履歴」を選択する

② URLを反転表示する

③ [メニュー]（メニュー）を押し、「1 アドレス編集」を選択する

④ URLを編集し、[●]（確定）を押す

補　足

●**保存される入力履歴の件数は**

最大20件まで保存され、20件を超えると古いものから消去されます。

●**1件ずつ削除する場合は**

① 入力履歴一覧でURLを反転表示する

② [メニュー]（メニュー）を押し、「2 削除」を選択する

③「Yes」を選択する

●**複数の入力履歴を選択して削除する場合は**

① [メニュー]（メニュー）を押し、「3 選択削除」を選択する

② 削除する入力履歴を選択する操作を繰り返す

③ [メニュー]（削除）を押し、「Yes」を選択する

●**全件削除する場合は**

① [メニュー]（メニュー）を押し、「4 全件削除」を選択する

② 暗証番号を入力し、「Yes」を選択する

Webページ表示中の操作

Webページ表示中は次のキーが利用できます。

キ　ー	内　容
[上下]	上下にスクロールする Smart-Fitモード／デスクトップモード：カーソルを上下に移動する
[左]	ケータイモード： 1つ前のページを表示する Smart-Fitモード／デスクトップモード： カーソルを左に移動する
[右]	ケータイモード： 次のページへ進む Smart-Fitモード／デスクトップモード： カーソルを右に移動する
[●]	項目を選択する
[●] 1秒以上押す	リンク先操作メニューを表示する （→P137）
[左ソフトキー]	1つ前のページを表示する
[メニュー]	メニューを表示する
[WEB]	画面単位でスクロールする（進む）
[WEB] 1秒以上押す	ズーム（縮小）する
[文字]	画面単位でスクロールする（戻る）
[文字] 1秒以上押す	ズーム（拡大）する
[発信]	表示モードを変更する
[終話]	表示画面はそのままで通信を終了する＊

＊ 通信が終了している状態で押したときは、WEBページの表示を終了します。

メモ

■Webページ表示中のメニューについて

Webページ表示中に、メニューから次の操作ができます。

メニュー	内容
タブ操作	タブを使用して複数のWebページを切り替えて表示します（→P.138）。
進む	ページ閲覧履歴がある場合に、次のページに移動します。
再読み込み	表示中のページを更新します（→P.138）。
ページ操作	検索、翻訳、画像の保存、サウンドの再生などの操作をします（→P.137）。
ブックマーク	ブックマークの一覧表示や登録ができます（→P.147）。
Webページを開く	ホーム、アドレス入力、最後のアドレス、入力履歴、履歴を利用してWebページを表示できます。
ページメモ	ページメモの保存や一覧表示ができます（→P.150）。
表示モード	表示モード（→P.134）を設定します（→P.140）。
ページ設定	文字サイズや文字コードの設定、ページの詳細情報の表示を行います（→P.137）。
オプション	Webオプションの設定ができます（→P.153）。

■ページ操作の項目について

次の項目を設定できます。

項目	内容
ページ内検索	表示中のページ内の文字列を検索します（→P.138）。
インターネット検索	検索エンジンを指定してインターネット全体から検索します（→P.138）。
ページ翻訳	翻訳エンジン、翻訳言語を指定して、表示中のページを翻訳します（→P.138）。
オブジェクト選択	ページ内のオブジェクトを選択して保存したり、表示/再生することができます（→P.139）。
コピー	ページ内の文字列をコピーします（→P.139）。
音量	BGMの設定されているページの音量を変更します（→P.139）。
ページ内ジャンプ	ページの先頭や末尾へジャンプします（→P.139）。
RSSリーダーに登録	ページ内のRSSフィードをRSSリーダーに登録します（→P.145）。

■ページ設定の項目について

次の項目を設定できます。

項目	内容
ツールバー	ページ上にツールバーを表示します。
Page Pilot	パイロットページを表示します。
ズーム	ページの表示倍率を設定します。
文字サイズ	文字サイズを設定します。
エンコード	文字コードを設定します。
スクロール量	一度にスクロールする量を設定します。
プロパティ	ページプロパティ／SSL証明書を表示します。

■Webページの電話番号、アドレス、URL利用について

ページ内に電話番号、メールアドレス、URLが含まれているときは、それらを利用してアドレス帳登録や発信、メール送信、Webアクセスなどができます。

補足

●**URL以外の操作のしかたは**

メール内からの利用と同じです（→P.128）。

●**URLを選択すると**

Webページに接続することができます。

●**URLを反転表示し、[●]（決定）を1秒以上押すと**

「[1]開く」、「[2]新しいタブで開く」、「[3]ブックマーク登録」、「[4]コピー」のメニューが表示されます。

ホームに設定する

表示中のWebページをホームに設定します。

1 Webページ表示中に[メニュー]（メニュー）を押し、「[0]オプション」→「[7]ホーム」→「[2]ホームに設定」の順に選択する

補足

●**ホームを表示するには（→P.135）**

タブを使って複数のページを切替表示する

タブを使用すると複数のWebページを同時に開き、切り替えて見ることができます。タブは3つまで開くことができます。

1 Webページ表示中に（メニュー）を押し、「1 タブ操作」を選択する

2 タブ操作を行う

ページ内で反転表示中のリンクを新しいタブに表示する場合は

「1 新しいタブで開く」を選択する

タブを切り替える場合は

「2 タブ選択」を選択し、Webページに戻り、を押して表示するタブを選択する

表示中のタブを閉じる場合は

「3 このタブを閉じる」を選択する

表示中のタブ以外のタブをすべて閉じる場合は

「4 他のタブを閉じる」を選択する

補　足

●**フレームを使用しているウィンドウの分割を解除するには**

① 表示したいウィンドウにカーソルを移動する

② （メニュー）を押し、「1 タブ操作」→「5 選択フレームを表示」の順に選択する

表示中のページを更新する

表示中のページの内容を読み込んで更新します。

1 Webページ表示中に（メニュー）を押し、「3 再読み込み」を選択する

検索する

表示中のページ内やインターネット全体をキーワードで検索します。

1 Webページ表示中に（メニュー）を押し、「4 ページ操作」を選択する

2 検索操作をする

表示中のページ内を検索する場合は

①「1 ページ内検索」を選択し、（決定）を押す

② キーワードを入力する

③ 検索条件を選択する

④ （検索）を押す

⑤ 次の検索結果へ移動する場合は（次へ）を押す
（検索を中止する場合は（中止）を押す）

インターネット全体から検索する場合は

①「2 インターネット検索」を選択し、（決定）を押す

② キーワードを入力する

③ 検索エンジンを選択する

④ （検索）を押す

ご注意

●キーワードに該当する内容がないときは、「見つかりませんでした」と表示されます。

翻訳する

表示中のページの文章を翻訳します。英語→日本語、日本語→英語、韓国語→日本語、中国語→日本語の翻訳ができます。

1 Webページ表示中に（メニュー）を押し、「4 ページ操作」→「3 ページ翻訳」の順に選択する

2 翻訳エンジンを選択する

3 言語を選択する

4 （翻訳）を押す

オブジェクトを再生／保存する

ページ内の画像や背景画像のファイル、サウンドファイルを本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに保存します。サウンドファイルの再生もできます。
ページ内にサウンドオブジェクトがある場合、上部ピクトエリアに が表示されます。

オブジェクト選択画面

1 Webページ表示中に （メニュー）を押し、「4ページ操作」→「4オブジェクト選択」の順に選択する

2 を押してオブジェクトを反転表示し、再生または保存操作をする

サウンドのオブジェクトは 、画像のオブジェクトは のアイコンで表示されます。

オブジェクト（サウンド）を再生する場合は

（再生）を押す

オブジェクトを保存する場合は

① （メニュー）を押し、「1 保存」を選択する

② 保存先を選択する
データフォルダに保存する場合は
「1データフォルダ」を選択する
microSDカードに保存する場合は
「2microSD」を選択する

オブジェクトの情報を見る場合は

（メニュー）を押し、「 2 プロパティ」を選択する

3 （戻る）を押す

ご注意

●著作権で保護されている画像やサウンドは保存できません。

ページ内の文字をコピーする

Webページの文章を、範囲を選択してコピーします。コピーした内容は文字入力画面で貼り付けることができます。

1 Webページ表示中に （メニュー）を押し、「4ページ操作」→「5コピー」の順に選択する

2 コピーの始点を反転表示し、 （確定）を押す

3 コピーの終点を反転表示し、 （確定）を押す

音量を変更する

表示中のページにサウンドとして再生可能なコンテンツがある場合に、再生音量を変更することができます。

［お買い上げ時］
■レベル：3

1 Webページ表示中に （メニュー）を押し、「4ページ操作」→「6 音量」の順に選択する

2 を押し、再生する音量を変更し、 （選択）を押す

補　足

●**BGMを再生するかどうかについては**
Webオプションで設定することができます（→P.154）。

●**設定した音量は**
インターネット接続中に有効です。

ページの先頭や末尾へジャンプする

表示中のページの先頭や末尾を表示します。

1 Webページ表示中に （メニュー）を押し、「4 ページ操作」→「7 ページ内ジャンプ」の順に選択する

2 ジャンプ方向を選択する

表示モードを設定する

表示モードを「ケータイモード」「Smart-Fitモード」「デスクトップモード」から選択します。

[お買い上げ時]
■ケータイモード

1 Webページ表示中に（メニュー）を押し、「8表示モード」を選択する

キーを使って操作する場合は

を押す

2 表示モードを選択し、（決定）を押す

補　足

●表示モードについて（→P.134）

ツールバーを使ってページを操作する

パソコンのマウスを右クリックしてショートカットメニュー操作をするような感覚で、表示中のWebページを操作できます。ツールバーを「ON」にすると、表示中のページをズームしたり、表示モードを切り替えて表示したりするなど、さまざまな操作が行えます。

ツールバー表示中画面

[お買い上げ時]
■ズーム：100%
■ポインタ：OFF
■表示モード：ケータイモード
■文字サイズ：16 ドット（中）

1 Webページ表示中に（メニュー）を押し、「9ページ設定」→「1ツールバー」の順に選択する

2 「1 ON」を選択する

ツールバーを解除する場合は

「2 OFF」を選択する

3 ツールバー操作をする

ズーム倍率を変更する場合は

① を押し、ツールバーのズームを反転表示する
② を押して倍率を設定し（決定）を押す

ポインタの表示／非表示を切り替える場合は

① を押してポインタの設定値を反転表示させる
② を押してポインタの表示／非表示を切り替え、（決定）を押す

補　足

●**ポインタの表示／非表示は**
表示モードからSmart-Fitモード、デスクトップモードの場合のみ変更できます。

表示モードを切り替える場合は

① を押して表示モードの設定値を表示させる
② を押して表示モードを設定し、（決定）を押す

タブを使って複数のページを切替表示する場合は

① を押して「タブ操作」を反転表示し、（決定）を押す
② タブ操作を行う（→P.138）

文字サイズを設定する場合は

① を押して文字サイズの設定値を表示させる
② を押して文字サイズを設定し、（決定）を押す

パイロット画面を表示する場合は

① を押して「Page Pilot」を反転表示し、（決定）を押す

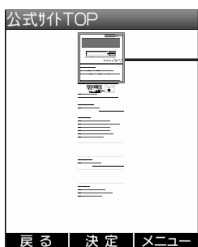
② パイロット画面操作を行う（→P.141）

ツールバーの非表示は

ツールバー表示中にを押すだけでも可能です。

パイロット画面を表示する

Webページ表示中にパイロット画面を表示すると、現在拡大表示している箇所がページのどの部分なのかを確認したり、拡大表示する位置を移動したりすることができます。パイロット画面の表示領域は、ページ全体またはディスプレイの幅に合わせたサイズのどちらかに切り替えることができます。

拡大表示されているWebページ

パイロット画面

1 **Webページ表示中に（メニュー）を押し、「9ページ設定」→「2Page Pilot」の順に選択する**

2 **パイロット画面操作を行う**

表示位置を変えて拡大表示する場合は

を押して枠を移動し、（決定）を押す

パイロット画面表示中の設定

Page Pilot画面表示中のメニューから次の設定ができます。

［お買い上げ時］
■自動Page Pilot：無効
■Page Pilot表示サイズ：全体表示

1 **パイロット画面を表示する**

2 **設定操作をする**

自動Page Pilotの有効／無効を切り替える場合は

①（メニュー）を押し、「1自動Page Pilot」を選択する

② 設定を選択する

パイロット画面の表示領域を切り替える場合は

①（メニュー）を押し、「2Page Pilot表示サイズ」を選択する

② 設定を選択する

補　足

●自動Page Pilotを有効に設定すると
Webページを表示中に2ページ分のスクロールを連続で行った場合に、自動的にPage Pilot画面に切り替わります。

ズームを設定する

Webページの表示倍率を設定します。

［お買い上げ時］
■100%

1 **Webページ表示中に［メニューキー］（メニュー）を押し、「9 ページ設定」→「3 ズーム」の順に選択する**

2 **設定操作をする**

補　足

●**設定できる表示倍率は**
25%、50%、75%、90%、100%、110%、125%、150%、200%から選択できます。

文字サイズや文字コードを設定する

ページ内の文字サイズを12ドット（小）、16ドット（中）、20ドット（大）から選択して変更できます。また、文字が正しく表示されないとき、文字コードを設定できます。

［お買い上げ時］
■文字サイズ：16ドット（中）
■エンコード：Shift_JIS

1 **Webページ表示中に［メニューキー］（メニュー）を押し、「9 ページ設定」を選択する**

2 **設定操作をする**

文字サイズを設定する場合は
「4 文字サイズ」を選択し、サイズを選択する

文字コードを設定する場合は
「5 エンコード」を選択し、文字コードを選択する

補　足

●**選択できる文字コードは**
Shift_JIS、EUC-JP、ISO-2022-JP、UTF-8、ISO-8859-1、US-ASCIIから選択できます。

スクロール量を設定する

Webページをスクロールしたときに一度にスクロールされる量を、「1行」「1/4画面」「1/2画面」「1画面」のいずれかに設定できます。

［お買い上げ時］
■1/4画面

1 **Webページ表示中に［メニューキー］（メニュー）を押し、「9 ページ設定」→「6 スクロール量」の順に選択する**

2 **設定操作をする**

ページの詳細情報を表示する

表示中のページの詳細情報を確認できます。

1 **Webページ表示中に［メニューキー］（メニュー）を押し、「9 ページ設定」→「7 プロパティ」の順に選択する**

2 **情報の表示操作をする**

ページの情報を表示する場合は
「1 ページプロパティ」を選択する

SSL証明書の情報を表示する場合は
「2 SSL証明書」を選択し、SSL証明書を選択する

3 **［戻るキー］（戻る）を押す**

補　足

●**SSL証明書とは**
SSL通信を行うサーバの正当性を認証する証明書です。

Webページの新着情報の確認(RSSリーダー)

RSSリーダーは、ニュースやブログなどの新着情報を一目でチェックできる機能です。日頃よく見るWebページ等の更新情報(RSSフィード)を「チャンネル」に登録しておけば、更新があったことを待受画面のお知らせ表示で知ったり、チャンネル一覧から簡単にチェックしたりできるので、更新の有無を確認するためにわざわざWebページにアクセスする手間が省けます。

RSSリーダーの利用を設定する

自動的に新着情報を取得し、お知らせ表示で新着を知ることができるようにするには、「自動更新する」に設定します。新着情報を確認する時刻や、更新の間隔は変更できます。
自動更新を利用せず、新着情報を手動でチェックしたい場合には、「自動更新しない」に設定します。
初めてRSSリーダーを起動したときには、自動更新設定画面が表示され、すぐに設定操作が行えます。

[お買い上げ時]
■自動更新する
■更新間隔:24時間

1 WEB を押し、「5 RSSリーダー」を選択する

初回起動時は

■(決定)を押す

起動するのが2回目以降の場合は

操作1のあと、⌒(メニュー)を押し、「2 自動更新設定」を選択する

2 「自動更新する」を選択する

初回起動時は、選択できません。

自動更新を利用しない場合は

「自動更新しない」を選択し、操作5に進む

3 「開始時刻」を選択し、時刻を入力する

4 「更新間隔」を選択し、設定を選択する

5 ⌒(設定)を押す

RSSリーダーを起動したのが初めての場合は

確認画面が表示されたら、「Yes」を選択する

補 足

●開始時間・更新間隔の決めかた
開始時間には、最初の新着チェックを行う時刻を設定します。たとえば開始時間を「0:00」に、更新間隔を「6時間」に設定すると、毎日0:00、6:00、12:00、18:00の4回、自動更新が行われます。

ご注意

●登録されているチャンネル数や更新間隔の設定により、RSS新着情報確認のための通信(有料)が発生します。
電池の消費にも影響するため、待受時間が短くなる場合があります。

新着情報をチェックする

RSSリーダーを利用して新着情報をチェックします。

自動更新で取得した新着情報をチェックする

新着情報があると、「購読ニュース 更新あり」のお知らせが表示されます。お知らせを選択し、チャンネル一覧から項目を選択すると、そのWebページを表示できます。

1 「購読ニュース更新あり」を選択する

お知らせ表示画面
（ガジェット・アクセサリを時計（24H）に設定してある場合）

2 新着情報の一覧を確認する

一覧中のチャンネルのタイトル横に表示される（　）の数字は、未読情報の数です。

3 チャンネルを選択し、見たいコンテンツを選択する

補　足

●**Webメニューから新着情報を確認するには**

①［WEB］を押し、「5 RSSリーダー」を選択する
②操作2～3を行う

ご注意

●待受アクセサリが「ガジェット」または「待受Java™アプリ」の場合、お知らせは表示されません（→P.198）。

手動で新着情報をチェックする

チャンネルの更新状況を手動でチェックします。チャンネル一覧中の、未読情報のあるチャンネルには［RSS］が表示され、項目を選択することにより、Webページを表示できます。

1 ［WEB］を押し、「5 RSSリーダー」を選択する

2 ［メニュー］（メニュー）を押し、「1 更新」→「2 すべて」の順に選択する

3 チャンネル一覧から項目を選択し、記事一覧から見たいコンテンツを選択する

補　足

●**特定のチャンネルのみ確認する場合は**

①［WEB］を押し、「5 RSSリーダー」を選択する
②更新したいチャンネルを反転表示して［メニュー］（メニュー）を押し、「1 更新」→「1 1件」の順に選択する
③項目を選択し、記事一覧から見たいコンテンツを選択する

チャンネルを登録する

お買い上げ時にはいくつかのチャンネルが登録されていますが、新着情報を取得したいWebページなどを追加登録することができます。Webページを表示中に登録操作をすることもできます。

1 ［WEB］を押し、「5 RSSリーダー」を選択する

2 ［メニュー］（メニュー）を押し、「4 追加」を選択する

3 URLを入力し、［●］を押す

Web

補　足

●**Webページ表示中のメニュー操作で登録するには**

Webページ中に登録可能なRSSコンテンツがある場合は、画面上段ピクトエリアに が表示されます。

①Webページ表示中に （メニュー）を押し、「4 ページ操作」→「8 RSSリーダーに登録」の順に選択する

②チャンネルリストの登録する項目を反転表示し、 （決定）を押す

③「Yes」を選択する

チャンネルを管理する

チャンネルに登録されているRSSフィードを削除したり、わかりやすいタイトルに編集したりできます。

チャンネル一覧のメニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
更新	チャンネルを手動更新します。
自動更新設定	チャンネルの自動更新方法を設定します。
購読チャンネル設定	チャンネルの自動更新について設定します。
追加	URLを指定して、チャンネルを追加します。
タイトル編集	チャンネルのタイトルを編集します。
削除	チャンネルを削除します。
並べ替え	表示方法を指定して、チャンネル一覧を並べ替えます。
プロパティ	チャンネルの情報を表示します。

タイトルを編集する

1 を押し、「5 RSSリーダー」を選択する

2 （メニュー）を押し、「5 タイトル編集」を選択する

3 タイトルを編集する

削除する

1 を押し、「5 RSSリーダー」を選択する

2 削除操作をする

1件削除する場合は

① 削除するチャンネルを反転表示する

② （メニュー）を押し、「6 削除」→「1 1件」の順に選択する

③「Yes」を選択する

複数のチャンネルを選択して削除する場合は

① （メニュー）を押し、「6 削除」→「2 選択」の順に選択する

② 削除するチャンネルを選択する操作を繰り返す

③ （削除）を押し、「Yes」を選択する

一覧のチャンネルをすべて削除する場合は

① （メニュー）を押し、「6 削除」→「3 すべて」の順に選択する

② 暗証番号を入力し、「Yes」を選択する

並べ替える

一覧を日付やタイトルの順に並べ替えます。

1 を押し、「5 RSSリーダー」を選択する

2 （メニュー）を押し、「7 並べ替え」を選択する

3 並べ替えの基準を選択する

チャンネルについての情報を確認する

チャンネルのタイトルやWebページのアドレスなどを確認できます。

1 [WEB]を押し、「5 RSSリーダー」を選択する

2 確認したいチャンネルを反転表示する

3 [メニュー]（メニュー）を押し、「8 プロパティ」を選択する

4 [戻る]（戻る）を押す

RSSリーダーを終了する

1 [終了]（終了）を押す

2 「Yes」を選択する

Web

履歴の利用

表示したWebページのURLは履歴に保存され、次にアクセスするときに利用できます。履歴の表示方法は、サムネイルビュー（ページのイメージ）またはアドレスビュー（URL）のどちらかから選べます。
履歴はサムネイル（ページのイメージ）表示またはアドレス一覧表示から選択できます。

履歴からWebページを表示する

［お買い上げ時］
■サムネイルビュー

1 [WEB]を押し、「6 履歴」を選択する

メニューを使って操作する場合は
[●]（メインメニュー）を押し、「WEB」→「6 履歴」の順に選択する

2 履歴一覧から表示する履歴を選択する

表示をアドレスビュー／サムネイルビューに切り替える場合は
履歴一覧で[メニュー]（メニュー）を押し、「5 アドレスビュー（サムネイルビュー）」を選択する

補　足

●**保存される履歴の件数は**
最大50件まで保存され、50件を超えると古いものから消去されます。

●**履歴のURLを確認するには**
① 履歴一覧で確認する履歴を反転表示する
② [メニュー]（メニュー）を押し、「1 アドレス表示」を選択する

メ モ

■履歴一覧のメニューについて

メニューから次の操作ができます。

メニュー	内 容
アドレス表示	履歴一覧からカーソルで選んだページのアドレス（URL）を表示します（→P.146）。
削除／選択削除／全件削除	履歴を削除します。
アドレスビュー／サムネイルビュー	表示方法を切り替えます（→P.146）。

履歴を削除する

1 WEBを押し、「6 履歴」を選択する

メニューを使って操作する場合は

●（メインメニュー）を押し、「WEB」→「6 履歴」の順に選択する

2 削除操作をする

1件ずつ削除する場合は

① 削除する履歴を反転表示する

② (メニュー）を押し、「2 削除」を選択する

③「Yes」を選択する

複数の履歴を選択して削除する場合は

① (メニュー）を押し、「3 選択削除」を選択する

② 削除する履歴を選択する操作を繰り返す

③ (削除）を押し、「Yes」を選択する

全件削除する場合は

① (メニュー）を押し、「4 全件削除」を選択する

② 暗証番号を入力し、「Yes」を選択する

ブックマークの利用

よく利用するWebページのURLをブックマークに登録しておくと、簡単な操作でアクセスできます。ブックマークの表示方法は、タイトルビュー（URL）またはサムネイルビュー（ページのイメージ）のどちらかから選べます。

ブックマークを登録する

1 Webページ表示中に（メニュー）を押し、「5 ブックマーク」→「1 ブックマーク登録」の順に選択する

2 タイトルを確認し、「Yes」を選択する

タイトルを編集する場合は

① タイトル欄を選択し、タイトルを編集する

②「Yes」を選択する

補 足

●**登録できるブックマークの件数は**

最大200件まで登録できます。

ブックマークからWebページを表示する

［お買い上げ時］
■タイトルビュー

1 WEBキーを押し、「3 ブックマーク」を選択する

メニューを使って操作する場合は

●（メインメニュー）を押し、「WEB」→「3 ブックマーク」の順に選択する

Webページ表示中に操作する場合は

（メニュー）を押し、「5 ブックマーク」→「2 ブックマーク」の順に選択する

2 ブックマークを選択する

フォルダ内のブックマークを利用する場合は

フォルダを選択し、ブックマークを選択する

表示をタイトルビュー／サムネイルビューに切り替える場合は

ブックマーク一覧で（メニュー）を押し、「9 サムネイルビュー（タイトルビュー）」を選択する

ブックマークを並べ替える場合は

① ブックマーク一覧で（メニュー）を押し、「8 並べ替え」を選択する
② 並べかたを選択する

補　足

●ブックマークのURLを確認するには

① ブックマーク一覧で確認するブックマークを反転表示する
② （メニュー）を押し、「7 アドレス表示」を選択する

ブックマークを管理する

ブックマークはタイトル一覧表示またはサムネイル（ページのイメージ）表示を選択できます。新しくフォルダを作成し、使いやすいように整理することができます。

ブックマーク一覧のメニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
フォルダ作成	ブックマークを分類して保存するためのフォルダを作成します。
編集	ブックマークのタイトル、アドレスを編集します。
移動	ブックマークの表示位置、あるいはフォルダの中へ移動します。
上へ移動／下へ移動	ブックマーク一覧の中での表示位置を移動します。
削除	ブックマークの削除（1件削除、選択削除、全件削除）、またはフォルダ内の全ブックマークを削除します。
アドレス表示	ブックマークのアドレス（URL）を表示します。
並べ替え	表示条件を指定して並べ替えます。
タイトルビュー／サムネイルビュー	表示方法を切り替えます。

ブックマークを整理する

ブックマークを分類してフォルダに保存したり、ブックマークのタイトルやURLを編集したりして、より利用しやすくすることができます。

1 WEB を押し、「3 ブックマーク」を選択する

メニューを使って操作する場合は

●（メインメニュー）を押し、「WEB」→「3 ブックマーク」の順に選択する

Webページ表示中に操作する場合は

（メニュー）を押し、「5 ブックマーク」→「2 ブックマーク」の順に選択する

2 ブックマーク／フォルダの整理操作をする

フォルダを作成する場合は

① （メニュー）を押し、「1 フォルダ作成」を選択する
② フォルダ名を入力する

フォルダ名を編集する場合は

① フォルダを反転表示して （メニュー）を押し、「2 編集」を選択する
② フォルダ名を編集する

ブックマークのタイトル／URLを編集する場合は

① （フォルダ内のブックマークの場合はフォルダを選択してから）ブックマークを反転表示して （メニュー）を押し、「2 編集」を選択する
② タイトル欄／アドレス欄を反転表示し、●（編集）を押す
③ タイトル／URLを編集する
④ （決定）を押す

ブックマークをフォルダ内に移動する場合は

① ブックマークを反転表示して （メニュー）を押し、「3 移動」を選択する
② ✣ を押してカーソルをフォルダに移動し、●（決定）を押す
③ 必要に応じてフォルダ内の表示位置を移動し、●（決定）を押す

表示位置を移動する場合は

① ブックマーク／フォルダを反転表示して （メニュー）を押し、「3 移動」を選択する
② ✣ を押して移動先にカーソルを移動し、●（決定）を押す

表示位置を上（前）／下（後）に移動する場合は

ブックマーク／フォルダを反転表示して （メニュー）を押し、「4 上へ移動」／「5 下へ移動」を選択する

補　足

●**フォルダ名に設定できる文字数は**
全角16文字（半角32文字）までです。

●**タイトル／URLに設定できる文字数は**
タイトルは全角16文字（半角32文字）まで、URLは全角200文字（半角400文字）までです。

●**ブックマークの並べ替えを「その他」以外に設定すると**
移動操作は行えません。

ブックマークを削除する

1 （WEBキー）を押し、「3 ブックマーク」を選択する

メニューを使って操作する場合は

（メインメニュー）を押し、「WEB」→「3 ブックマーク」の順に選択する

Webページ表示中に操作する場合は

（メニュー）を押し、「5 ブックマーク」→「2 ブックマーク」の順に選択する

2 ブックマーク／フォルダの削除操作をする

ブックマークを1件削除する場合は

① 削除するブックマーク／フォルダを反転表示する
② （メニュー）を押し、「6 削除」→「1 削除」の順に選択する
③「Yes」を選択する

複数のブックマーク／フォルダを選択して削除する場合は

① （メニュー）を押し、「6 削除」→「2 選択削除」の順に選択する
② 削除するブックマークを選択する操作を繰り返す
③ （削除）を押し、「Yes」を選択する

フォルダ内のブックマークをすべて削除する場合は

① フォルダを選んで反転表示する
② （メニュー）を押し、「6 削除」→「3 フォルダ内全件削除」の順に選択する
③ 暗証番号を入力し、「Yes」を選択する

すべてのブックマークおよびフォルダを削除する場合は

① （メニュー）を押し、「6 削除」→「4 全件削除」の順に選択する
② 暗証番号を入力し、「Yes」を選択する

ページメモの利用

残しておきたいWebページをページメモとして保存できます。ページメモはWebページの内容をそのまま保存するので、あとで見直すとき通信を行いません。

ページメモに保存する

1 Webページ表示中に （メニュー）を押し、「7 ページメモ」→「1 ページメモ保存」の順に選択する

2 タイトルを確認し、「Yes」を選択する

タイトルを編集する場合は

① タイトル欄を選択し、タイトルを編集する
②「Yes」を選択する

補　足

●**保存できるページメモの件数は**
最大10件まで登録できます。

ページメモを表示する

1 WEBを押し、「7ページメモ」を選択する

メニューを使って操作する場合は

●（メインメニュー）を押し、「WEB」→「7ページメモ」の順に選択する

Webページ表示中に操作する場合は

（メニュー）を押し、「7ページメモ」→「2ページメモ」の順に選択する

2 表示するページメモを選択する

フォルダ内のページメモを表示する場合は

フォルダを選択し、ページメモを選択する

ページメモを並べ替える場合は

① ページメモ一覧で（メニュー）を押し、「8並べ替え」を選択する
② 並べかたを選択する

補　足

●ページメモのURLを確認するには
① ページメモ一覧で確認するページメモを反転表示する
② （メニュー）を押し、「5アドレス表示」を選択する

ご注意

●Webページの内容が更新されても、保存されているページメモには反映されません。

ページメモを管理する

ページメモ一覧のメニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
フォルダ作成	ページメモを分類して保存するためのフォルダを作成します。
タイトル編集	ページメモのタイトルを編集します。
移動	ページメモの表示位置、あるいはフォルダの中へ移動します。
削除	ページメモの削除（1件削除/選択削除/全件削除）、またはフォルダ内の全ページメモを削除します。
アドレス表示	ページメモのアドレス（URL）を表示します。
保護／保護解除	ページメモを保護したり、保護を解除します。
全件保護解除	すべての保護を解除します。
並べ替え	表示条件を指定して並べ替えます。

ページメモを整理する

ページメモを分類してフォルダに保存したり、タイトルを編集したりして、より利用しやすくすることができます。

1 WEBを押し、「7ページメモ」を選択する

メニューを使って操作する場合は

●（メインメニュー）を押し、「WEB」→「7ページメモ」の順に選択する

Webページ表示中に操作する場合は

（メニュー）を押し、「7ページメモ」→「2ページメモ」の順に選択する

2 項目を選択し、ページメモの管理操作をする

ページメモ一覧を管理する

1 ページメモ一覧を表示する

2 管理操作をする

フォルダを作成する場合は

① [メニューキー](メニュー)を押し、「1 フォルダ作成」を選択する

② フォルダ名を入力する

フォルダ名を編集する場合は

① フォルダを反転表示して[メニューキー](メニュー)を押し、「2 タイトル編集」を選択する

② フォルダ名を編集する

ページメモのタイトルを編集する場合は

①(フォルダ内のページメモの場合はフォルダを選択してから)ページメモを反転表示して[メニューキー](メニュー)を押し、「2 タイトル編集」を選択する

② タイトルを編集する

ページメモをフォルダ内に移動する場合は

① ページメモを反転表示して[メニューキー](メニュー)を押し、「3 移動」を選択する

② [方向キー]を押してカーソルをフォルダに移動し、[決定キー](決定)を押す

③ 必要に応じてフォルダ内の表示位置を移動し、[決定キー](決定)を押す

表示位置を移動する場合は

① ページメモ/フォルダを反転表示して[メニューキー](メニュー)を押し、「3 移動」を選択する

② [方向キー]を押して移動先にカーソルを移動し、[決定キー](決定)を押す

補 足

●フォルダ名/タイトルに設定できる文字数は

全角12文字(半角24文字)までです。

ページメモを保護する

ページメモに保護を設定すると、ページメモの全削除操作で削除されないようにできます。

1 ページメモ一覧を表示する

2 保護設定または解除操作をする

保護を設定する場合は

① 保護するページメモを反転表示する

② [メニューキー](メニュー)を押し、「6 保護/保護解除」を選択する

③「Yes」を選択する

保護を1件ずつ解除する場合は

① 解除するページメモを反転表示する

② [メニューキー](メニュー)を押し、「6 保護/保護解除」を選択する

③「Yes」を選択する

すべての保護を解除する場合は

① [メニューキー](メニュー)を押し、「7 全件保護解除」を選択する

②「Yes」を選択する

補 足

●ページメモの並べ替えを「その他」以外に設定すると

移動操作は行えません。

●ページメモを保護設定すると

移動操作は行えません。

ページメモを削除する

1 ページメモ一覧を表示する

2 削除操作をする

ページメモを1件削除する場合は

① 削除するページメモを反転表示する

② ⌐(メニュー)を押し、「4 削除」→「1 削除」の順に選択する

③「Yes」を選択する

複数のページメモを選択して削除する場合は

① ⌐(メニュー)を押し、「4 削除」→「2 選択削除」の順に選択する

② 削除するページメモを選択する操作を繰り返す

③ ⌐(削除)を押し、「Yes」を選択する

フォルダ内のページメモをすべて削除する場合は

① フォルダを選んで反転表示する

② ⌐(メニュー)を押し、「 4 削除」→「3 フォルダ内全件削除」の順に選択する

③ 暗証番号を入力し、「Yes」を選択する

すべてのページメモおよびフォルダを削除する場合は

① ⌐(メニュー)を押し、「4 削除」→「4 全件削除」の順に選択する

② 暗証番号を入力し、「Yes」を選択する

Webオプションの設定

Webオプションの設定により、ブラウザの動作を必要に応じて変更します。

設定できるのは次の項目です。

項　目	内　容
表示	JavaScript、アニメーション、画像の各種コンテンツ、およびテーブル、自動判別言語、フルスクリーンの表示方法について設定します(→P.154)。
BGM	BGMの再生について設定します(→P.154)。
ポインタ	バーチャルポインタの表示について設定します(→P.154)。
HTTP	キャッシュ、Cookie、リフレッシュ、リダイレクト、ポップアップブロック、Referer、認証データ、ユーザエージェント、高速化サービスのHTTP機能について設定します(→P.155)。
証明書	ルート証明書、CA証明書を表示し、有効無効について設定します(→P.157)。
設定確認	Webオプションの設定内容を確認します(→P.158)。
ホーム	ホームに設定するアドレスを編集します(→P.158)。
リセット	Webオプションの設定をお買い上げ時の値にリセットします(→P.158)。

表示の設定をする

Webページの表示について次の項目が設定できます。

設定項目	内　容
JavaScript	Webページに埋め込まれたJava Scriptを利用するかどうかを設定します。
アニメーション	アニメーションを表示するかどうかを設定します。 「表示しない」を設定すると、アニメーションの1コマ目の画像が表示されます。
画像	画像を表示するかどうかを設定します。 「表示する」を設定すると、画像をすべて読み込んでから表示します。 「オンデマンド表示」を選択すると、読み込み終わった画像から順番に表示されます。
テーブル	Webページのテーブル（表）形式の表示を有効にするかどうかを設定します。
自動判別言語	優先する自動判別言語を「日本語」「西ヨーロッパ言語」から選択します。
フルスクリーン	コンテンツのフルスクリーン表示を設定します。

[お買い上げ時]

■JavaScript：有効
■アニメーション：表示する
■画像：オンデマンド表示
■テーブル：有効
■自動判別言語：日本語
■フルスクリーン：OFF

1 ［WEB］を押し、「9 Webオプション」→「1 表示」の順に選択する

メニューを使って操作する場合は

［●］（メインメニュー）を押し、「WEB」→「9 Webオプション」→「1 表示」の順に選択する

Webページ表示中に操作する場合は

［メニュー］（メニュー）を押し、「0 オプション」→「1 表示」の順に選択する

2 項目を選択し、表示設定の操作をする

補　足

●自動判別言語を変更した場合は

［メニュー］（メニュー）→「3 再読み込み」を行ってください。

●フルスクリーン表示中は

［終了］（終了）、［メニュー］（メニュー）キーを押すと画面にソフトキーメニューが表示されます。

［●］（決定）、［戻る］（戻る）は押された時の動作を実行します。

BGMを設定する

Webページに設定されているBGMを再生するかどうかを設定します。

[お買い上げ時]

■ON

1 ［WEB］を押し、「9 Webオプション」→「2 BGM」の順に選択する

メニューを使って操作する場合は

［●］（メインメニュー）を押し、「WEB」→「9 Webオプション」→「2 BGM」の順に選択する

Webページ表示中に操作する場合は

［メニュー］（メニュー）を押し、「0 オプション」→「2 BGM」の順に選択する

2 設定を選択する

ポインタの表示／非表示を設定する

Webページの操作画面にポインタを表示するかどうかを設定できます。

[お買い上げ時]

■ON

1 [WEB] を押し、「9 Webオプション」→「3 ポインタ」の順に選択する

メニューを使って操作する場合は

[●]（メインメニュー）を押し、「WEB」→「9 Webオプション」→「3 ポインタ」の順に選択する

Webページ表示中に操作する場合は

[ ]（メニュー）を押し、「0 オプション」→「3 ポインタ」の順に選択する

2 設定を選択する

補　足

●ポインタの表示は

表示モードがSmart-Fitモード、デスクトップモードの場合に有効となります。

HTTPの設定をする

セキュリティやHTTPの機能に関する項目を設定できます。
設定できるのは次の項目です。

HTTP設定項目	内　容
キャッシュ	キャッシュモードの設定、キャッシュを削除します。
Cookie	Cookieの設定、Cookieを削除します。
最大リフレッシュ回数	最大リフレッシュ回数を設定します。
最大リダイレクト回数	最大リダイレクト回数を設定します。
ポップアップブロック	ポップアップブロックの使用について設定します。
Referer	Refererの送信について設定します。
認証データ保存	認証データ保存について設定します。
ユーザエージェント	ユーザエージェントを設定します。
高速化サービス追加設定	高速化のためのデータ圧縮機能について、設定します。

1 [WEB] を押し、「9 Webオプション」→「4 HTTP」を順に選択する

メニューを使って操作する場合は

[●]（メインメニュー）を押し、「WEB」→「9 Webオプション」→「4 HTTP」の順に選択する

Webページ表示中に操作する場合は

[ ]（メニュー）を押し、「0 オプション」→「4 HTTP」の順に選択する

2 項目を選択する

キャッシュを設定する

キャッシュにはWebページの内容が一時的に保存されます。キャッシュモードの設定で、同じWebページを表示したときネットワークとキャッシュのどちらを優先的に表示するかを設定できます。

[お買い上げ時]
■キャッシュモード：ネットワーク優先
■Diskキャッシュ：使用しない

1 HTTP設定から「1 キャッシュ」を選択する

2 キャッシュの設定操作をする

キャッシュモードを設定する場合は

「1 キャッシュモード」を選択し、設定を選択する

Diskキャッシュの使用を設定する場合は

「2 Diskキャッシュ」を選択し、設定を選択する

Diskキャッシュを削除する場合は

「3 Diskキャッシュ削除」を選択し、「Yes」を選択する

Cookieを設定する

CookieはWebページの作成者が利用者を識別するために使用するデータで、WS023Tに自動的に保存されます。CookieモードでCookieの保存を受け付けるかどうかを設定できます。

［お買い上げ時］
■受け入れる

1 HTTP設定から「2 Cookie」を選択する

2 Cookieの設定操作をする

Cookieモードを設定する場合は

「1 Cookieモード」を選択し、設定を選択する

Cookieを削除する場合は

「2 Cookie削除」を選択し、「Yes」を選択する

リフレッシュ回数を設定する

リフレッシュ回数の制限を設定します。

［お買い上げ時］
■無制限

1 HTTP設定から「3 最大リフレッシュ回数」を選択する

2 項目を選択する

補　足

●**設定できる最大リフレッシュ回数は**
0回、1回、5回、無制限から選択できます。

●**リフレッシュとは**
Webページ表示中に別のWebページ表示に自動的に切り替えるHTTPの機能です。

ご注意

●ケータイモードでは、最大リフレッシュ回数を変更できません。

リダイレクト回数を設定する

リダイレクト回数の制限を設定します。

［お買い上げ時］
■無制限

1 HTTP設定から「4 最大リダイレクト回数」を選択する

2 項目を選択する

補　足

●**設定できる最大リダイレクト回数は**
0回、1回、5回、無制限から選択できます。

●**リダイレクトとは**
別のURLに転送するHTTPの機能です。

ポップアップブロックを設定する

ポップアップブロックを使用するかどうかを設定します。

［お買い上げ時］
■使用する

1 HTTP設定から「5 ポップアップブロック」を選択する

2 項目を選択する

補　足

●**ポップアップブロックとは**
Webページの表示で別ウィンドウが自動的に表示されるのを禁止する機能です。

Refererの送信を設定する

リンクを選択してリンク先のWebページを表示するときに、リンク元のURL情報（Referer）を送信するかどうかを設定できます。

［お買い上げ時］
■送信する

1 HTTP設定から「6 Referer」を選択する

2 項目を選択する

ご注意

●Refererは、ユーザがどのようなWebページを経由してリンク先を訪問したのかを調査するための情報として利用されます。「送信しない」に設定すると、リンク先を表示できない場合があります。

認証データの保存を設定する

入力したアカウントとパスワードを保存するかどうかを設定します。保存した場合は次回入力するときの初期値になります。

[お買い上げ時]

■有効

1 HTTP設定から「7認証データ保存」を選択する

2 項目を選択する

ユーザエージェントを設定する

ユーザエージェントの設定を「WILLCOM」または「NetFrontV3.4」から選択します。

[お買い上げ時]

■WILLCOM

1 HTTP設定から「8ユーザエージェント」を選択する

2 項目を選択する

ご注意

●ケータイモードでは、ユーザエージェントが「WILLCOM」に固定され、変更できません。

高速化サービス（有料）の利用を設定する

通信プロトコルや画像ファイルの最適化を行うことにより、パケット通信時の体感速度をアップさせる、ウィルコムの高速化サービスの利用を設定できます。画像ファイルの画質と速度のバランスは4段階で調節でき、速度を重視するほど画像は不鮮明になりますが、体感速度が向上します。

[お買い上げ時]

■3

1 HTTP設定から「9高速化サービス追加設定」を選択する

2 項目を選択する

ご注意

●高速化サービスをご利用いただくには、あらかじめオンラインサインアップで設定が必要です（→P104）。

証明書を表示する

WS023Tにあらかじめ登録されている証明書を確認したり、証明書の有効／無効を設定できます。

[お買い上げ時]

■ルート証明書：有効

■CA証明書：有効

1 WEBを押し、「9Webオプション」→「5証明書」の順に選択する

メニューを使って操作する場合は

●（メインメニュー）を押し、「WEB」→「9Webオプション」→「5証明書」の順に選択する

Webページ表示中に操作する場合は

（メニュー）を押し、「0オプション」→「5証明書」の順に選択する

2 証明書の表示操作をする

ルート証明書を表示する場合は

①「1ルート証明書」を選択する

② 表示するルート証明書を反転表示し、●（決定）を押す

CA証明書を表示する場合は

①「2CA証明書」を選択する

② 表示するCA証明書を反転表示し、●（決定）を押す

補　足

●**証明書の有効／無効を設定する場合は**

①操作2で証明書を表示し、（メニュー）を押す

②設定を選択する

設定を確認する

Webオプションの設定内容を確認します。

1 WEBを押し、「9 Webオプション」→「6 設定確認」の順に選択する

メニューを使って操作する場合は

●（メインメニュー）を押し、「WEB」→「9 Webオプション」→「6 設定確認」の順に選択する

Webページ表示中に操作する場合は

（メニュー）を押し、「0 オプション」→「6 設定確認」の順に選択する

ホームのURLを設定する

WebページのURLを直接入力してホームに設定します。

1 WEBを押し、「9 Webオプション」→「7 ホーム」→「1 アドレス編集」の順に選択する

メニューを使って操作する場合は

●（メインメニュー）を押し、「WEB」→「9 Webオプション」→「7 ホーム」→「1 アドレス編集」の順に選択する

Webページ表示中に操作する場合は

（メニュー）を押し、「0 オプション」→「7 ホーム」→「1 アドレス編集」の順に選択する

2 URLを入力する

設定をリセットする

Webオプションの設定値をすべてお買い上げ時の設定に戻します。

1 WEBを押し、「9 Webオプション」→「8 リセット」の順に選択する

メニューを使って操作する場合は

●（メインメニュー）を押し、「WEB」→「9 Webオプション」→「8 リセット」の順に選択する

Webページ表示中に操作する場合は

（メニュー）を押し、「0 オプション」→「8 リセット」の順に選択する

2 「Yes」を選択する

ダイヤルアップ接続の設定

インターネット接続やEメール送受信のダイヤルアップ接続先を設定します。接続先はCLUB AIR-EDGEを含む3件まで登録でき、必要に応じて切り替えて使用します。各接続先に設定できる項目は次のとおりです。

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td colspan="2">接続先名称</td><td>接続先を識別するための任意の名前を設定します。
全角8文字（半角16文字）まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">接続先電話番号</td><td>プロバイダから指定されたアクセスポイントの番号を設定します。
32桁まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">ユーザID</td><td>接続に使用するユーザID（ログイン名）を設定します。
半角64文字まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">パスワード</td><td>接続に使用するパスワードを設定します。
半角128文字まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">料金分計</td><td>「分計する」「分計しない」から選択します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ワンタイムパスワード</td><td>「利用する」「利用しない」から選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">詳細設定</td><td>IPアドレス自動取得</td><td>「取得する」「取得しない」から選択します。</td></tr>
<tr><td>IPアドレス</td><td>IPアドレスを自動取得しない場合に入力します。</td></tr>
<tr><td>DNS自動取得</td><td>「取得する」「取得しない」から選択します。</td></tr>
<tr><td>プライマリDNS</td><td rowspan="2">DNSを自動取得しない場合に入力します。</td></tr>
<tr><td>セカンダリDNS</td></tr>
<tr><td rowspan="6">プロキシ設定</td><td>プロキシ利用</td><td>「利用する」「利用しない」から選択します。</td></tr>
<tr><td>プロキシサーバ名</td><td rowspan="2">プロキシを利用する場合に入力します。
プロキシサーバ名：半角64文字まで
プロキシポート番号：5桁まで</td></tr>
<tr><td>プロキシポート番号</td></tr>
<tr><td>プロキシ認証</td><td>「認証する」「認証しない」から選択します。</td></tr>
<tr><td>プロキシユーザ名</td><td rowspan="2">プロキシ認証をする場合に入力します。
プロキシユーザ名：半角64文字まで
プロキシパスワード：半角128文字まで</td></tr>
<tr><td>プロキシパスワード</td></tr>
</table>

接続先を設定する

ご契約のプロバイダの情報を接続先に設定します。CLUB AIR-EDGEは、「料金分計」の設定のみ変更できます。

［お買い上げ時］

■料金分計：分計しない
■ワンタイムパスワード：利用しない
■IPアドレス自動取得：取得する
■DNS自動取得：取得する
■プロキシ利用：利用しない
■プロキシ認証：認証しない

1 [WEB]を押し、「0 ダイヤルアップ設定」→「1 接続先設定」の順に選択する

メニューを使って操作する場合は

[●]（メインメニュー）を押し、「WEB」→「0 ダイヤルアップ設定」→「1 接続先設定」の順に選択する

または

[●]（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「5 通信設定」→「1 ダイヤルアップ設定」→「1 接続先設定」の順に選択する

2 設定する接続先を選択し、設定操作をする

CLUB AIR-EDGEの設定を変更する場合は

「1 CLUB AIR-EDGE」を選択する

任意の接続先を設定する場合は

「2 接続先2」または「3 接続先3」を選択する

Web

3 接続を設定する

①「1接続先名称」を選択し、わかりやすい名前を入力する
（ここで入力した内容が「接続先2」、「接続先3」に代わって表示される）

②「2接続先電話番号」を選択し、アクセスポイントの電話番号を入力する

③「3ユーザID」を選択し、ユーザIDを入力する

④「4パスワード」を選択し、パスワードを入力する

4 必要に応じて項目を選択し、設定操作をする

料金分計サービスを利用する場合は

「5料金分計」を選択し、設定を選択する

ワンタイムパスワードを設定する場合は

「6ワンタイムパスワード」を選択し、設定を選択する

詳細を設定する場合は

①「7詳細設定」を選択する

② 項目を選択し、プロバイダから指定された内容を設定する

プロキシを設定する場合は

①「8プロキシ設定」を選択する

② 項目を選択し、プロバイダから指定された内容を設定する

5 （登録）を押す

接続先の設定をリセットする

接続先の設定をお買い上げ時の状態に戻します。CLUB AIR-EDGEはリセットできません。

1 を押し、「0ダイヤルアップ設定」→「1接続先設定」の順に選択する

メニューを使って操作する場合は

（メインメニュー）を押し、「WEB」→「0ダイヤルアップ設定」→「1接続先設定」の順に選択する

または

（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「5通信設定」→「1ダイヤルアップ設定」→「1接続先設定」の順に選択する

2 リセットする接続先を反転表示し、（リセット）を押す

3 「はい」を選択する

インターネットの接続先を選択する

CLUB AIR-EDGEと追加設定した接続先の中から、インターネット接続に使用する接続先を選択します。

[お買い上げ時]

■CLUB AIR-EDGE

1 を押し、「0ダイヤルアップ設定」→「2WEB用ダイヤルアップ接続先」の順に選択する

メニューを使って操作する場合は

（メインメニュー）を押し、「WEB」→「0ダイヤルアップ設定」→「2WEB用ダイヤルアップ接続先」の順に選択する

2 接続先を選択する

カメラ

カメラをご利用になる前に

カメラをご利用になる前に次の点にご注意いただき、安全にご利用ください。

・カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

・本機を温かい場所や直射日光が当たる場所に長時間置いて画像を撮影したり保存した場合は、画像が劣化することがあります。

・レンズを直射日光に向けて放置しないでください。

・レンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して画像が劣化することがあります。

・蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると画面に縞模様が現れる場合（フリッカー現象）がありますが、故障ではありません。

・被写体の明るさによっては、画像に縞模様が映る場合があります。あらかじめご了承ください。

・カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

・日光の反射光などの部分的に極端に輝度の高い部分が含まれる被写体を撮影すると、画像が暗くなる場合があります。

・レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布で拭いてください。レンズに指紋や油脂などが付いていると、ピントが合わなくなったり、撮影した画像に汚れが映ったりします。

・撮影するときに手ぶれで本機が動くと、画像がぶれる原因となります。本機が動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所に置き、セルフタイマーを使って撮影してください（→P.170）。

・被写体が画面に確実に表示されていることを確認してから、シャッターを押してください。本機を動かしながらシャッターを押すと、正常に撮影できない場合があります。

・通常の撮影では、被写体との距離を8cm以上とってください。

・撮影時は、レンズに指やハンドストラップなどがかからないようにしてください。

・撮影した画像を保存する前に電池残量がなくなると保存できません。

著作権・肖像権等について

本機を利用して撮影したもの、およびインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集、公衆送信等をする行為は、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権法上禁止されています。ご注意ください。

なお、実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、本機を利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネットホームページ上に掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがあります。ご注意ください。

カメラについて

有効画素数200万画素のカメラを搭載し、画像の撮影ができます。撮影した画像は待受画面の壁紙や音声発信画面、音声着信画面に利用することができます。また、Eメールに添付して送ることもできます。

各撮影サイズのデータサイズは次のとおりです。

撮影サイズ	撮影画質／データサイズ
UXGA（1600×1200）	ファイン／約900Kバイト
	スタンダード／約400Kバイト
	エコノミー／約200Kバイト
VGA（640×480）	ファイン／約200Kバイト
	スタンダード／約100Kバイト
	エコノミー／約50Kバイト
壁紙（240×320）	ファイン／約70Kバイト
	スタンダード／約40Kバイト
	エコノミー／約16Kバイト
ケータイ（120×160）	スタンダード／約20Kバイト
	エコノミー／約8Kバイト

ご注意

●撮影画質ごとのデータサイズは、およその目安です。被写体によって撮影後のサイズが大きく異なる場合もあります。

基本の撮影を行う

お買い上げ時の撮影サイズは「壁紙（240×320）」に設定されています。

1 （カメラ）を押す

メニューを使って操作する場合は

（メインメニュー）を押し、「カメラ」を選択する

2 「1フォト」を選択する

モニター画面

3 （撮影）を押す

プレビュー画面

撮影し直す場合は

① CLR を押す

②「はい」を選択すると、モニター画面に戻る

カメラ

4 ◙（保存）を押す

「容量オーバーです データ整理しますか？」と表示されたら「はい」を選択し、以下の操作を行う

●画像の保存先がデータフォルダに設定されている場合

microSDカードへ保存するには

①「 1 microSDへ保存」を選択する

本体のデータフォルダのファイルを削除するには

①「 2 データフォルダファイル削除」を選択する
② 表示されるファイル一覧から削除するファイルを選択してチェックマークを付ける
③ （消去）を押し、「はい」を選択する
④ 保存に必要な容量が確保されるまで操作を繰り返す

●画像の保存先がmicroSDカードに設定されている場合

本体のデータフォルダへ保存するには

①「 1データフォルダへ保存」を選択する

microSDカードのファイルを削除するには

①「2microSDファイル削除」を選択する
② 表示されるファイル一覧から削除するファイルを選択してチェックマークを付ける
③ （消去）を押し、「はい」を選択する
④ 保存に必要な容量が確保されるまで操作を繰り返す

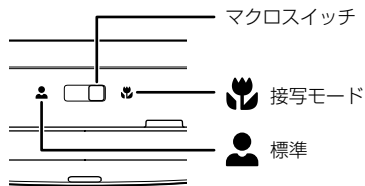
microSDカードの「カメラデータ」フォルダのファイルをすべて削除するには

①「 3 microSDフォルダ削除」を選択し、「はい」を選択する

補　足

●**「容量オーバーですデータ整理しますか？」と表示されたときに「いいえ」を選択すると**プレビュー画面に戻ります。

●**画像の保存先を変更するには**
（→P.168、174）

●**接写モードにするには**
マクロスイッチを 側に切り替えます。接写モード時の被写体との最短距離は約5cmになります。

●**明るさを調整するには**
モニター画面で を押して明るさを調整します。20段階のレベルで調整できます。

●**ズームイン／ズームアウトを行うには**
モニター画面で を押してズームイン／ズームアウトを調整します。
撮影サイズがUXGAの時は調整できません。VGAでは10段階、壁紙では20段階、ケータイでは25段階のズームができます。

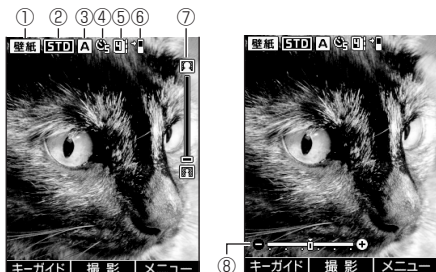
●**キーガイドを表示するには**
モニター画面で （キーガイド）を押します。およその撮影可能枚数も表示されます。

●**撮影した画像データのファイル名について**
撮影した画像データは、本体の「画像データ」フォルダまたはmicroSDカードの「カメラデータ」フォルダにJPEG形式で保存されます。画像データのファイル名は次のようになります。

撮影サイズ	ファイル名
UXGA（1600×1200）	撮影日時をもとに付けられます。<例>2009年1月27日14時32分に撮影した場合 090127_1432.JPG 同時刻に複数撮影した場合には、090127_1432~001.JPG のように連番が付けられます。
VGA（640×480）	
壁紙（240×320）	
ケータイ（120×160）	

ご注意

●撮影時に着信があった場合は、着信中画面に切り替わります。

メ モ

■モニター画面

①撮影サイズ

UXGA：UXGA（1600×1200）

VGA：VGA（640×480）

壁紙：壁紙（240×320）

ケータイ：ケータイ（120×160）

②撮影画質

FINE：ファイン

STD：スタンダード

ECO：エコノミー

③撮影モード

A：オート　　晴れ

室内　　曇り

蛍光灯　　ナイトモード

④セルフタイマー

：2秒

：5秒

：10秒

⑤連続撮影

：4連写（高速）　：9連写（高速）

：4連写（中速）　：9連写（中速）

：4連写（低速）　：9連写（低速）

⑥保存先

：本体のデータフォルダ

：microSDカード

⑦ズームバー

モニター画面表示中に を押すと表示され、 を押すと大きく、 を押すと小さく画面がズームします。

⑧明るさバー

モニター画面表示中に を押すと表示され、 を押すと明るく、 を押すと暗く画面の明るさを調整できます。

■モニター画面のメニューについて

メニューから次の操作ができます。

メニュー	内 容
撮影サイズ・画質	撮影サイズ、および選択したサイズごとに画質を設定します（→P.166）。
撮影モード	撮影時の環境に合わせてモードを選択します（→P.166）。
セルフタイマー	撮影までの時間を設定します（→P.170）。
連続撮影（連写）	1回の撮影で複数の画像を撮影します（→P.169）。
特殊効果	画像の特殊効果を設定します（→P.170）。
フォト設定	日付スタンプ、シャッター音、ちらつき調整、自動保存、保存先を設定します（→P.167）。
ヘルプ	設定項目のヘルプを表示します（→P.171）。
全画面表示	モニター画面を全画面表示に切り替えます（→P.168）。
データフォルダ	データフォルダまたはmicroSDカードのフォルダを表示します（→P.171）。
保存容量確認	本体のデータフォルダやmicroSDカードの保存容量を表示します（→P.171）。
2次元コード	2次元コード読み取りモードに移行します（→P.172）。

■プレビュー画面のメニューについて

メニューから次の操作ができます。

メニュー	内 容
撮りなおし	画像を保存せずにモニター画面に戻ります（→P.172）。
登録	画像を壁紙や、音声発信画面、音声着信画面に登録します（→P.172）。
ファイル名編集	ファイル名を編集します（→P.172）。
フレーム付加	画像にフレームを付加します（→P.173）。
スタンプ付加	画像にスタンプを付加します（→P.173）。
日付スタンプ	画像に日付を付加します（→P.167）。
文字入力	画像に文字を付加します（→P.174）。
保存先切替	画像の保存先を切り替えます（→P.168）。

撮影時の設定

撮りたい画像に合わせて適切な設定を行い、撮影することができます。

撮影サイズ・画質を設定する

サイズが大きいほど高画質な撮影ができ、サイズが小さいほどたくさん枚数を撮ることができます。設定できる項目は次のとおりです。

[お買い上げ時]

■撮影サイズ：壁紙（240×320）
■撮影画質：スタンダード

項　目	内　容
UXGA（1600×1200）	最大のサイズで画像を撮影します。
VGA（640×480）	UXGAに比べ、メモリを節約してたくさんの画像を撮影できます。
壁紙（240×320）	本機の待受画面の壁紙などに利用する画像を撮影します。
ケータイ（120×160）	他の携帯電話やPHSにEメールで送信するときに適した画像を撮影します。

1 モニター画面で（メニュー）を押し、「1撮影サイズ・画質」を選択する

2 撮影サイズを選択する

3 撮影画質を選択する

補　足

●モニター画面で簡単に撮影サイズを切り替えるには
　を押すと、押すごとに撮影サイズを切り替えることができます。撮影サイズに設定された撮影画質も切り替わります。

●設定した撮影サイズについて
　カメラ終了後や電源を切ったあとも、設定した撮影サイズが維持されます。

メ　モ

■撮影画質について

撮影画質で設定できる項目は、次のとおりです。

項　目	内　容
ファイン*	本機の最高画質です。データサイズは最大になります。
スタンダード	標準の画質です。
エコノミー	画質を低くして、データサイズを小さくします。

＊ 撮影サイズが「ケータイ（120×160）」の場合は選択できません。

撮影モードを設定する

撮影場所の状況に合わせて、モードを切り替えることができます。設定できる項目は次のとおりです。

[お買い上げ時]

■撮影モード：オート

項　目	内　容
オート	自動的にホワイトバランスを調整します。
室内	室内照明での撮影時に設定します。
蛍光灯	蛍光灯下での撮影時に設定します。
晴れ	明るい場所での撮影時に設定します。
曇り	曇りや日陰など明るさの少ない場所での撮影時に設定します。
ナイトモード	夜間の撮影時に設定します。

1 モニター画面で（メニュー）を押し、「2撮影モード」を選択する

2 撮影モードを選択する

補　足

●モニター画面で簡単に撮影モードを切り替えるには
　を押します。を押すごとに撮影モードの設定項目順に切り替わります。

フォト設定を設定する

モニター画面での操作について、詳細な設定を行います。設定できる項目は次のとおりです。

項　目	内　容
日付スタンプ*	撮影画像に撮影日時を付けることができます。
シャッター音	シャッター音を5種類から設定できます。
ちらつき調整	室内の蛍光灯下で撮影するときの画面のちらつき（フリッカー）をおさえるための調整方法を設定します。
自動保存	撮影した画像を自動的に保存する設定を行います。
保存先切替	撮影した画像の保存先を切り替えます。

＊ 撮影サイズが壁紙（240×320）、ケータイ（120×160）の場合のみ

1 モニター画面で（メニュー）を押し、「6 フォト設定」を選択する

2 設定操作をする

日付スタンプを設定する

日付を付けた画像を撮影できます。設定できる項目は次のとおりです。

［お買い上げ時］
■日付スタンプ：OFF
■文字色：カラー1
■文字サイズ：小

項　目	内　容
OFF	日付を付けずに撮影します。
年／月／日	撮影日の西暦（4桁）と月日を付けて撮影できます。
時：分（HH：MM）	撮影時刻を付けて撮影できます。
年／月／日 時：分	撮影日時の西暦（4桁）、月日、時刻を付けて撮影できます。

1 モニター画面で（メニュー）を押し、「6 フォト設定」を選択する

2 「1 日付スタンプ」を選択する

3 日付スタンプを選択する

色を変更する場合は
（文字色）を押す

大きさを変更する場合は
（文字サイズ）を押す

補　足

●プレビュー画面から操作する場合は
プレビュー画面で（メニュー）を押し、「6 日付スタンプ」を選択する

●日付スタンプを選択すると
プレビュー画面で日付の表示方法を変更できます。

●文字色の変更について
（文字色）を押すと14色のサンプルカラーパレットが表示され、（文字色）を押すごとに、文字の色を変更できます。

●文字サイズの変更について
（文字サイズ）を押すごとに　小→中→大の順に表示されます。

ご注意

●モニター画面では日付スタンプは表示されません。

シャッター音を設定する

シャッターを押したときの音を、5種類から設定できます。

［お買い上げ時］
■パターン1

1 モニター画面で（メニュー）を押し、「6 フォト設定」を選択する

2 「2 シャッター音」を選択する

3 設定を選択する

シャッター音を確認する場合は
（再生）を押す

ご注意

●マナーモードや安全運転モードを設定している場合でも、シャッター音は鳴ります。

ちらつき調整を設定する

室内の蛍光灯下で撮影するときの画面のちらつき（フリッカー）をおさえるための調整方法を設定します。設定できる項目は次のとおりです。

［お買い上げ時］
■オート

項　目	内　容
オート	自動的に調整します。
50Hz（東日本）	電波周波数が50Hz（東日本）の場合に設定します。
60Hz（西日本）	電波周波数が60Hz（西日本）の場合に設定します。

1 モニター画面で［メニュー］（メニュー）を押し、「6 フォト設定」を選択する

2 「3 ちらつき調整」を選択する

3 設定を選択する

自動保存を設定する

撮影した画像を自動的に保存できます。設定できる項目は次のとおりです。

［お買い上げ時］
■OFF

項　目	内　容
OFF	撮影後、プレビュー画面が表示されます。
ON	撮影後、本体のデータフォルダの「画像データ」またはmicroSDカードの「カメラデータ」フォルダに自動的に保存されます。

1 モニター画面で［メニュー］（メニュー）を押し、「6 フォト設定」を選択する

2 「4 自動保存」を選択する

3 設定を選択する

保存先を切り替える

撮影する画像の保存先を本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに切り替えることができます。

［お買い上げ時］
■データフォルダ

1 モニター画面で［メニュー］（メニュー）を押し、「6 フォト設定」を選択する

2 「5 保存先切替」を選択する

3 設定を選択する

データフォルダに設定する場合は
「1 データフォルダ」を選択する

microSDカードに設定する場合は
「2 microSD」を選択する

補　足

●プレビュー画面で保存先を選択するときは（→P.174）

全画面表示にする

画面上部のピクトエリア（→P.32）や下部のソフトキー表示を非表示にして、画像を表示します。

［お買い上げ時］
■OFF

1 モニター画面で［メニュー］（メニュー）を押し、「8 全画面表示」を選択する

2 設定を選択する

補　足

●モニター画面で簡単に全画面表示にするには
［8］を押します。押すごとに全画面表示の設定が切り替わります。

いろいろな撮影方法

連続撮影（連写）や特殊効果など、さまざまな機能を使って楽しい撮影ができます。

連続撮影（連写）を設定する

1回の撮影で、数枚の連続した画像を撮影できます。連続撮影（連写）を設定すると、壁紙（240×320）のサイズで撮影されます。

項　目		内　容
連写枚数	OFF	1枚の画像を撮影します。
	4連写	4枚の画像を連続撮影します。
	9連写	9枚の画像を連続撮影します。
シャッター間隔	高速	約0.2秒間隔で画像を連続撮影します。
	中速	約0.5秒間隔で画像を連続撮影します。
	低速	約1秒間隔で画像を連続撮影します。

［お買い上げ時］
■OFF

1 **モニター画面で［メニュー］（メニュー）を押し、「4 連続撮影（連写）」を選択する**

2 **連写枚数を選択する**

3 **シャッター間隔を選択する**

ご注意

●連続撮影（連写）は、カメラ機能終了時に自動的にOFFになります。

メモ

■連続撮影（連写）のプレビュー画面について

撮影終了後、プレビュー画面には連続撮影（連写）した画像が並べて表示されます（インデックス表示）。それぞれの画像には撮影順を示す番号が付けられています。連続撮影（連写）のプレビュー画面で［メニュー］（メニュー）を押して保存方法を選択できます。選択できる保存方法は次のとおりです。

メニュー	内　容
選択保存	インデックス表示から画像を選択して、本体のデータフォルダの「画像データ」またはmicroSDカードの「カメラデータ」フォルダに保存します。
インデックス保存	インデックスを1枚の画像として、本体のデータフォルダの「画像データ」またはmicroSDカードの「カメラデータ」フォルダに保存します。
全保存	連続撮影した画像をすべて、本体のデータフォルダの「画像データ」またはmicroSDカードの「カメラデータ」フォルダに保存します。
画像編集	フレーム付加（→P.173）、スタンプ付加（→P.173）、日付スタンプ（→P.167）、文字入力（→P.174）の画像編集ができます。
保存先切替	撮影した画像の保存先を切り替えます。（→P.174）。

■プレビュー画面（インデックス表示）の画像を選択して全画面表示するには

［十字キー］を押し、カーソル（枠）を移動して画像を選び、［●］（選択）を押します。

全画面表示中に［メニュー］（編集）を押すと、画像編集を追加することができます。

［●］（保存）を押すと、全画面表示している画像を本体のデータフォルダの「画像データ」またはmicroSDカードの「カメラデータ」フォルダに保存できます。

セルフタイマーを設定する

タイマーで設定した秒数が経過したあと、撮影します。設定できるのは次の項目です。

項　目	内　容
2秒	2秒のセルフタイマーを設定します。
5秒	5秒のセルフタイマーを設定します。
10秒	10秒のセルフタイマーを設定します。
解除	セルフタイマーを解除します。

[お買い上げ時]

■解除

1 モニター画面で［ ］（メニュー）を押し、「3 セルフタイマー」を選択する

2 設定を選択する

補　足

●**セルフタイマーの動作について**

セルフタイマーを設定すると1秒間隔でタイマー音が鳴り、設定秒数後にシャッターが切れます。セルフタイマーは、カメラ機能終了時に自動的に解除となります。

特殊効果を設定する

セピア、モノクロ、ネガの画像を撮影できます。設定できるのは次の項目です。

項　目	内　容
OFF	基本の撮影を行います。
セピア	セピアの画像を撮影できます。
モノクロ	モノクロの画像を撮影できます。
ネガ	ネガ反転された画像を撮影できます。

[お買い上げ時]

■OFF

1 モニター画面で［ ］（メニュー）を押し、「5 特殊効果」を選択する

2 設定を選択する

ご注意

●特殊効果の設定は、カメラ機能終了時に自動的にOFFになります。

撮影した画像をEメールで送信する

撮影した画像を本体のデータフォルダの「画像データ」またはmicroSDカードの「カメラデータ」フォルダに保存し、Eメールに添付して送信することができます。

1 画像を撮影する

2 ［ ］（Eメール）を押す

3 Eメールを作成する

補　足

●**Eメールの作成／送信については（→P.104）**

●**連続撮影のプレビュー画面（インデックス表示）からEメールを送信する場合**

連続撮影のプレビュー画面（インデックス表示）で［ ］（Eメール）押すと、カーソルで選ばれている画像がEメールに添付されます。

ご注意

●フォト設定で「自動保存」（→P.168）をONにしていると、この操作は行えません。

撮影時の便利な機能

モニター画面に表示されたアイコンのガイドを表示したり、撮影前に本体のデータフォルダまたはmicroSDカードの使用容量を確認するなど、カメラを便利に使うことができます。

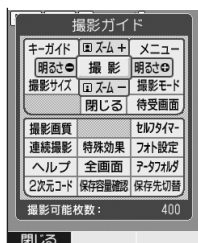
ヘルプを表示する

モニター画面に表示されたアイコンと設定内容についてのガイドを表示します。

1 **モニター画面で（メニュー）を押し、「7ヘルプ」を選択する**

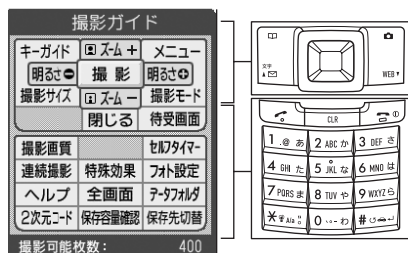
キーガイドを表示する

モニター画面で、キーに割り当てられた機能の一覧を表示します。

1 **モニター画面で（キーガイド）を押す**

キーガイド画面

キーガイド画面を閉じる場合

（閉じる）を押す

> **メモ**
>
> ■キーガイド画面について
>
> キーガイド画面の表示は、モニター画面でできる操作について、本機のキーに割り当てられた機能がひと目でわかるようになっています。

キーガイド画面

データフォルダを表示する

撮影前にデータフォルダを表示して、保存されている画像の確認などができます。

1 **モニター画面で（メニュー）を押し、「9データフォルダ」を選択する**

2 **フォルダを選択し、ファイルの表示／再生操作をする**

> **補　足**
>
> ●ファイルの表示／再生については（→P.179）

保存容量を確認する

撮影前に本体のデータフォルダまたはmicroSDカードの使用状況を表示し、各フォルダの使用容量と保存されているファイルの件数を確認できます。

1 **モニター画面で（メニュー）を押し、「0保存容量確認」を選択する**

表示を切り替える場合は

（本体／microSD）を押すごとに本体のデータフォルダとmicroSDカードの使用状況表示が切り替わります。microSDカードの場合、件数は表示されません。

撮り直しをする

撮影した画像を保存せずに撮り直します。

1 **プレビュー画面で［メニュー］（メニュー）を押し、「❶撮りなおし」を選択する**

2 **「はい」を選択する**

3 **撮影する**

ご注意

●フォト設定で「自動保存」（→P.168）をONにしていると、この操作は行えません。

2次元コードの読み取り

画像の撮影画面から操作して、2次元コード読み取り画面を表示することができます。

1 **モニター画面で［メニュー］（メニュー）を押し、「✱2次元コード」を選択する**

2次元コードの読み取りについては（→P.175）

撮影した画像の利用／編集

撮影した画像を待受画面の壁紙として利用したり、文字を入力して加工することなどができます。

ご注意

●フォト設定で「自動保存」（→P.168）をONにしていると、以降（P.174まで）の操作は行えません。

他の機能に登録する

撮影した画像を本体のデータフォルダの「画像データ」またはmicroSDカードの「カメラデータ」フォルダに保存し、待受画面の壁紙や音声発信画面、音声着信画面に利用します。

1 **プレビュー画面で［メニュー］（メニュー）を押し、「❷登録」を選択する**

2 **登録先を選択する**

3 **登録操作をする**

ファイル名を編集する

撮影した画像に好みのファイル名を付けることができます。

1 **プレビュー画面で［メニュー］（メニュー）を押し、「❸ファイル名編集」を選択する**

2 **ファイル名を編集する**

補　足

●**設定できるファイル名の長さは**
全角30文字（半角60文字）です（拡張子含まず）。

画像にフレームを付ける

撮影した画像にフレームを付けることができます。お買い上げ時には9種類のフレームが用意されています。そのほか、Webからダウンロードして本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに保存したフレームも利用できます。

1 プレビュー画面で（メニュー）を押し、「4 フレーム付加」を選択する

2 項目を選択する

固定フレームから選ぶ場合は

「1 固定」を選択し、フレームを選択する

データフォルダから選ぶ場合は

「2 データフォルダ」を選択し、フレームを選択する

microSDカードから選ぶ場合は

「3 microSD」を選択し、フレームを選択する

3 （決定）を押す

補　足

- **プレビュー画面でフレームの次の候補を表示するには**
  （次候補）を押します。
- **フレームを付加した画像を全画面表示するには**
  （全画面表示）を押します。
- **フレームを付けられるのは**
  撮影サイズが壁紙、ケータイの場合のみです。
- **フレームに利用できる画像は**
  ・拡張子：.png
  ・サイズ：付加する画像サイズと同じであること（壁紙、ケータイ）
  ・透過色：#FC00FC（マゼンタ）

ご注意

- Webからダウンロードしたフレームの形式によっては、付加されない場合や、正しく表示されないことがあります。

画像にスタンプを付ける

撮影した画像にスタンプを付けることができます。お買い上げ時には25種類のスタンプが用意されています。そのほか、Webからダウンロードして本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに保存したスタンプも利用できます。

1 プレビュー画面で（メニュー）を押し、「5 スタンプ付加」を選択する

2 項目を選択する

固定スタンプから選ぶ場合は

「1 固定」を選択し、スタンプを選択する

データフォルダから選ぶ場合は

「2 データフォルダ」を選択し、スタンプを選択する

microSDカードから選ぶ場合は

「3 microSD」を選択し、スタンプを選択する

3 でスタンプの位置を調整する

4 （決定）を押す

補　足

- **スタンプを付けられるのは**
  撮影サイズが壁紙、ケータイの場合のみです。
- **スタンプに利用できる画像は**
  ・拡張子：.png
  ・サイズ：80×80ピクセル以下
  ・透過色：#FC00FC（マゼンタ）

ご注意

- Webからダウンロードしたスタンプの形式によっては、付加されない場合や、正しく表示されないことがあります。

画像に文字を入力する

撮影した画像に文字を付けることができます。

[お買い上げ時]
■文字色：カラー1
■文字サイズ：小

1 プレビュー画面で（メニュー）を押し、「7 文字入力」を選択する

2 文字を入力する

3 を押し、文字の位置を調整する

文字の色を変更する場合は

（文字色）を押す

文字の大きさを変更する場合は

（文字サイズ）を押す

4 （決定）を押す

補　足

●入力できる文字数について

入力できる文字数は全角32文字（半角64文字）までです。

●文字色について

文字の色は14種類から選択できます。（文字色）を押すごとに色が変わります。

●文字サイズについて

文字のサイズは3種類から選択できます。（文字サイズ）を押すごとに、サイズを変更できます。

保存先を切り替える

撮影した画像の保存先を本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに切り替えることができます。

[お買い上げ時]
■データフォルダ

1 プレビュー画面で（メニュー）を押し、「8 保存先切替」を選択する

2 保存先を選択する

データフォルダに設定する場合は

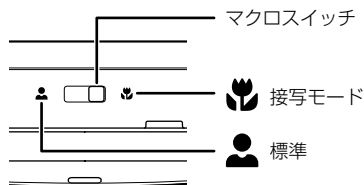
「1 データフォルダ」を選択する

microSDカードに設定する場合は

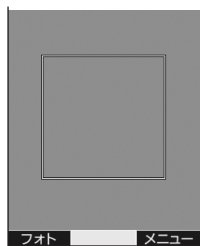
「2 microSD」を選択する

2次元コードリーダーの利用

カメラを使って2次元コード（QRコード™）から情報を読み取り、利用できます。読み取り結果画面から行える操作は、読み取った情報によって異なります。たとえば、情報が電話帳データの場合は、本体のアドレス帳に登録できます。

読み取りの際には、必ずマクロスイッチを 側に切り替えて接写モードにしてください。

1 （カメラ）を押して、「2 2次元コード」を選択する

メニューを使って操作する場合は

（メインメニュー）を押し、「カメラ」→「2 2次元コード」の順に選択する

2 読み取りたい2次元コードをガイド枠を目安に合わせる

3 読み取り結果画面が表示されたら、情報の登録または利用の操作をする

補　足

●2次元コードが認識されると

2次元コードは、本機に認識されると自動的に読み込まれます。

●読み取った情報は

読み取ったコンテンツに対応した操作ができます。

●読み取り画面での操作について

（フォト）を押すと、フォトのモニター画面が表示されます。

（メニュー）を押して、「1 データ」を選択すると、データフォルダが表示されます。「2 保存先切替」を選択すると読み取ったデータの保存先を設定できます。

メ　モ

■読み取り結果画面のメニューについて

メニューから次の操作ができます。表示されるメニューは、読み取ったデータによって異なります。

メニュー	内　容
コピー（共通）	－
コード保存（共通）	読み取り結果を「その他データ」フォルダに保存します（拡張子.code）。
保存先切替（共通）	読み取ったデータの保存先を本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに設定します。
アドレス帳：アドレス帳登録*	本体アドレス帳に登録します。
メールアドレス：メール作成*	Eメール作成画面を表示します。
コンテンツ：コンテンツ保存*	画像、サウンドなどのコンテンツとして本体のデータフォルダやmicroSDカードに保存します。

＊ 読み取ったデータの形式に対応したメニューが表示されます。

補　足

●テキスト情報を読み取った場合は

・メニューは表示されません。
・読み取ったデータは、本体のデータフォルダまたはmicroSDカードの「その他データ」に自動保存されます。

ご注意

●読み取ったアドレス帳データに、本体のアドレス帳に登録できない文字があった場合は、その文字を削除して登録します。

Java™アプリでカメラを使用する

Java™アプリ（→P.248）の中にはカメラを使う機能があり、本機のカメラを使用することができます。ただし一部の機能は利用できません。Java™アプリで利用できるカメラの機能は次のとおりです。

画　面	メニュー
モニター画面のメニュー	撮影サイズ・画質
	撮影モード
	セルフタイマー
	連続撮影（連写）
	特殊効果
	フォト設定
	ヘルプ
	全画面表示
	保存容量確認

ご注意

●ご使用になるJava™アプリの種類によっては、本機のカメラを利用できない場合があります。

●Java™アプリで変更したカメラの設定は、通常のカメラの設定に反映されません。

●自動保存は常に「OFF」です。

データフォルダ

データフォルダについて

データフォルダは、Webからダウンロードしたデータや受信したEメールに添付されていたデータ、カメラで撮影したデータ、赤外線通信で受信したデータなどをファイルとして保存し、管理する機能です。電話機本体のデータフォルダとは別に、本機に装着したmicroSDカードにも同様のファイルを保存することができます。

保存したファイルは繰り返し再生して楽しんだり、各種の画面や着信音などとして利用したりできます。また、Eメールに添付したり赤外線通信で送信したりすることもできます。

データフォルダに保存できる容量は最大約16Mバイト（1件最大1Mバイト）です。
お買い上げ時、「画像データ」フォルダには6件、「テンプレートデータ」フォルダには10件のデータがそれぞれ保存されています。
この画像を利用して壁紙の変更や、画像の表示操作をお試しいただけます。

ご注意

- データフォルダに保存したデータは、故障や修理、その他取り扱いによって変化または消失することがあります。なお、故障や修理が原因でデータが変化または消失した場合の損害および損失利益につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- Webからダウンロードしたデータには、データフォルダに保存できないものや、Eメールに添付して送信できないものがあります。

補　足

- **データフォルダの容量を確認するには（→P.187）**
- **保存容量がいっぱいになったときは**
  それ以上保存できなくなります。不要なファイルを消去してください（→P.182、188）。
- **ファイルを赤外線通信で送受信するには（→P.245、246、247）**

フォルダの種類

データフォルダには「カメラデータ」（microSDカードのみ）「画像データ」「サウンドデータ」「アドレス帳データ」「テンプレートデータ」「その他データ」のフォルダが用意されています。データは種類に応じて各フォルダに振り分けられ、ファイルとして保存されます。
本体のデータフォルダ内のすべてのファイルを一覧表示で確認したいときは「全データ」を選択します。

フォルダ	表示されるファイル（拡張子）
全データ（本体のデータフォルダ表示時のみ）	本体データフォルダ内のすべてのファイルを表示
カメラデータ*（microSDカードのフォルダ表示時のみ）	画像（jpg、jpeg）
画像データ	画像（jpg、jpeg、gif、png、bmp）
サウンドデータ	サウンド（mid、midi、dxm、mfm）
アドレス帳データ	vCard（vcf）
テンプレートデータ	装飾メール（デコラティブメール）のテンプレート、装飾画像（whm）
その他データ	テキスト、上記以外のファイル（txt、上記以外の拡張子）

＊ 本機のカメラで撮影する画像データの保存先をmicroSDカードに設定（→P.168、174）すると、「カメラデータ」フォルダの中の「001」フォルダに画像データが保存されます。

メ　モ

■データフォルダの表示について
データフォルダ画面で を押すごとに、本体のデータフォルダまたはmicroSDカードのフォルダを切り替えて表示します。

■データフォルダ画面のメニューについて
メニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
フォルダ使用状況／microSD使用状況	本体のデータフォルダやmicroSDカードの各フォルダの使用容量と、保存されているファイルの件数を確認できます（→P.187）。
microSDフォルダ構築	microSDカード内にデータを保存するためのフォルダを構築します（→P.187）。
microSD初期化	microSDカード内のデータをすべて削除します（→P.188）。
フォルダ消去	フォルダ内のファイルをまとめて消去できます（→P.188）。

- 「WX320T」で使用していたmicroSDカードのファイルを表示するには、事前にカメラのファイルは「画像データ」、サウンドファイルは「サウンドデータ」、その他のファイルは「その他データ」フォルダに移動してください。

ファイルの操作

ファイルを表示または再生して内容を確認できます。また、メニューを使った各種の操作ができます。

補　足

●**表示を切り替える場合は**
データフォルダ画面で を押すごとに、本体のデータフォルダとmicroSDカードのフォルダを切り替えて表示します。

ファイルを表示／再生する

1 **(メインメニュー)を押し、「データフォルダ」を選択する**

2 **フォルダを選択する**

3 **一覧画面でファイルを反転表示し、(表示／再生)を押す**

画像をディスプレイいっぱいに表示させる場合は

① 画像の表示中画面で (全画面表示)を押す

② 元の表示に戻るときは、 または を押す

全画面表示して画面に表示しきれない画像を上下左右にスクロールする場合は

画像の全画面表示中画面で を押す

サウンドを停止する場合は

再生中画面で (開始／停止)を押す

音量を調節する場合は

サウンドの再生中画面で を押す

一覧画面に戻る場合は

表示／再生中画面で を押す

ご注意

●画像データを動画として再生することはできません。

●データの形式によっては、表示／再生できない場合があります。

ファイル一覧画面

メ　モ

■ファイル一覧画面のメニューについて

メニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
登録	反転表示中の画像データ／サウンドデータを、各種の画面や着信音などに設定します(→P.182、186)。 アドレス帳データはアドレス帳に登録することができます。
ファイル名編集	反転表示中のファイルの名前を変更します(→P.180)。
画像編集	画像にスタンプやフレームを付けることができます(→P.182)。
Eメールへ添付	反転表示中のファイルを添付したEメールを作成します(→P.180)。
赤外線送信	反転表示中のファイルを赤外線通信で送信します(→P.246)。
microSDカードへコピー/本体へコピー	ファイルをコピーします(→P.180)。
microSDカードへ移動/本体へ移動	ファイルを移動します(→P.180)。
詳細表示	反転表示中のファイルのサイズや保存年月日などを表示します(→P.181)。
表示切替	ファイルの一覧画面の表示方法を切り替えます(→P.181)。
並び替え	ファイルを並べ替えます(→P.181)。
リピート設定	ファイルのリピート再生の設定を切り替えます(→P.181)。
消去	ファイルを消去します(→P.182)。
フォルダ使用状況／microSD使用状況	本体のデータフォルダやmicroSDカードの一覧画面表示中にフォルダの使用容量と、保存されているファイルの件数(本体のデータフォルダ表示時のみ)を確認できます(→P.187)。

＊ 一覧画面で反転表示されているデータの形式により、利用できないメニューは選択できません。

ファイル名を編集する

1 ■（メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する

2 フォルダを選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示する

4 （メニュー）を押し、「2 ファイル名編集」を選択する

5 ファイル名を編集する

設定できるファイル名の長さは全角30文字（半角60文字）です（拡張子は含まず）。

ファイルをEメールに添付する

ファイルを添付したEメールを新規作成します。

1 ■（メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する

2 フォルダを選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示する

4 （メニュー）を押し、「4 Eメールへ添付」を選択する

5 宛先などを指定して送信する

ファイルをコピーする

本体のデータフォルダに保存されているファイルをmicroSDカードへコピーします。
microSDカードにあるファイルを本体のデータフォルダへコピーする場合も同じ操作となります。(ただし、操作4で選択する項目が「6 本体へコピー」になります)

1 ■（メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する

2 コピー元ファイルのあるフォルダを選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示する

4 （メニュー）を押し、「6 microSDカードへコピー」を選択する

5 項目を選択し、コピー操作をする

ファイルを1件コピーする場合は

「1 1件コピー」を選択し、「はい」を選択する

複数のファイルを選択してコピーする場合は

①「2 選択コピー」を選択する
② コピーするデータを選択してチェックマークを付ける操作を繰り返す
③ （コピー）を押し、「はい」を選択する

同一フォルダ内の全ファイルをコピーする場合は

①「3 全件コピー」を選択する
②「はい」を選択する

補　足

- ●コピー先のフォルダに同じ名前のファイルがある場合は、コピー先のフォルダのファイルが上書きされます。
- ●本体から本体、microSDカードからmicroSDカードへのコピーはできません。
- ●microSDカードから本体への全件コピーはできません。
- ●コピーガードされたファイルのコピーはできません。
- ●ファイルはコピー元と同じ名称のフォルダに保存されます。ただし、microSDカードの「カメラデータ」フォルダ内のファイルは、本体の「画像データ」フォルダに保存されます。

ファイルを移動する

本体のデータフォルダに保存されているファイルをmicroSDカードへ移動します。
microSDカードにあるファイルを本体のデータフォルダへ移動する場合も同じ操作となります。(ただし、操作4で選択する項目が「7 本体へ移動」になります)

1 ■（メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する

2 移動元ファイルのあるフォルダを選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示する

4 （メニュー）を押し、「7 microSDカードへ移動」を選択する

5 項目を選択し、移動操作をする

ファイルを1件移動する場合は

「1 1件移動」を選択し、「はい」を選択する

複数のファイルを選択して移動する場合は

①「2 選択移動」を選択する

② 移動するデータを選択してチェックマークを付ける操作を繰り返す

③ （移動）を押し、「はい」を選択する

同一フォルダ内の全ファイルを移動する場合は

①「3 全件移動」を選択する

②「はい」を選択する

補　足

- 移動先のフォルダに同じ名前のファイルがある場合は、移動先のフォルダのファイルが上書きされます。
- 移動の対象に、画面や着信音などに設定されているファイルが含まれていた場合は、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとファイルが移動され、その設定はお買い上げ時の設定に戻ります。
- 本体から本体、microSDカードからmicroSDカードへの移動はできません。
- microSDカードから本体への全件移動はできません。
- ファイルは移動元と同じフォルダに保存されます。ただし、microSDカードの「カメラデータ」フォルダ内のファイルは、本体の「画像データ」フォルダに保存されます。

ファイルの表示方法を切り替える

画像データの一覧画面を、サムネイル表示（画像を使用）またはリスト表示（ファイル名を使用）に切り替えることができます。

[お買い上げ時]

■サムネイル表示

1 （メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する

2 「画像データ」フォルダを選択する

3 （メニュー）を押し、「9 表示切替」を選択する

4 設定を選択する

ファイルを並べ替える

本体のデータフォルダまたはmicroSDカードのファイルを作成日順に並べ替えることができます。

1 （メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する

2 並び替えをしたいフォルダを選択する

3 （メニュー）を押し、「10 並び替え（昇順）」を選択する

降順で並べ替えたい場合は

昇順で並べ替えた状態で（メニュー）を押し、「10 並び替え（降順）」を押す

ファイルの詳細を確認する

ファイルサイズ、各種機能への登録状況（本体のデータフォルダ表示時のみ）、著作権の有無、メール添付が可能かどうか、保存年月日などの情報を確認できます。

1 （メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する

2 フォルダを選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示する

4 （メニュー）を押し、「8 詳細表示」を選択する

ファイルのリピート再生を設定する

サウンドファイルを、停止操作を行うまでリピート再生するかどうかを設定できます。

[お買い上げ時]

■リピートあり

1 （メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する

2 「サウンドデータ」フォルダを選択する

3 （メニュー）を押し、「11 リピート設定」を選択する

4 設定を選択する

ファイルを消去する

1 ■(メインメニュー)を押し、「データフォルダ」を選択する

2 フォルダを選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示する

4 (メニュー)を押し、「⑫消去」を選択する

5 項目を選択し、消去操作をする

ファイルを1件消去する場合は

「❶1件消去」を選択し、「はい」を選択する

複数のファイルを選択して消去する場合は

①「❷選択消去」を選択する

② 消去するデータを選択してチェックマークを付ける操作を繰り返す

③ (消去)を押し、「はい」を選択する

同一フォルダ内の全ファイルを消去する場合は

①「❸全件消去」を選択する

② 暗証番号を入力し、「はい」を選択する

補　足

●利用中のファイルが消去の対象に含まれていたときは

画面や着信音などに設定されているファイルを消去しようとしたときや、消去の対象に利用中のファイルが含まれていた場合は、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとファイルが消去され、その設定はお買い上げ時の設定に戻ります。

●ファイルを一括消去するには

複数のフォルダや、全フォルダ内のファイルをまとめて消去できます(→P.188)。

画像ファイルの利用

「画像データ」フォルダ内のファイルを、待受画面の壁紙に登録したり、電話の発着信中画面に表示させる画像として利用することができます。

補　足

●表示を切り替える場合は

データフォルダ画面で を押すごとに、本体のデータフォルダとmicroSDカードのフォルダを切り替えて表示します。

画像を登録する

1 ■(メインメニュー)を押し、「データフォルダ」を選択する

2 「画像データ」フォルダを選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示する

4 (メニュー)を押し、「❶登録」を選択する

5 登録先を選択する

ご注意

●画像ファイルを壁紙等に登録したあとでファイル名を変更すると、壁紙等はお買い上げ時の設定に戻ります。
microSDカードのファイルを登録すると、本体のデータフォルダに同じファイルがコピーされます。同名のファイルが本体のデータフォルダにある場合は、上書きされます。

画像を編集する

画像の回転やサイズ変更、切り取り、加工ができます。

ご注意

●画像のサイズにより「画像編集」で編集できる項目は異なります。

●microSDカードに保存された画像には編集できません。

画像を回転・反転する

画像を左右に回転・反転できます。設定できる項目は次のとおりです。

項　目	内　容
右90度回転	画像を右に90度回転します。
左90度回転	画像を左に90度回転します。
左右反転	画像を左右反転します。
上下反転	画像を上下反転します。
180度回転	画像を180度回転します。

1. ◙（メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する
2. 「画像データ」フォルダを選択する
3. 一覧画面でファイルを反転表示する
4. （メニュー）を押し、「3 画像編集」→「1 回転・反転」の順に選択する
5. 項目を選択する
6. 画像を確認し、◙（決定）を押す
7. ファイル名を入力し、保存する

画像をリサイズする

画像のサイズを変更できます。設定できる項目は次のとおりです。

項　目	内　容
4倍	画像を4倍の大きさに変更します。
2倍	画像を2倍の大きさに変更します。
1/2	画像を1/2の大きさに変更します。
1/4	画像を1/4の大きさに変更します。

1. ◙（メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する
2. 「画像データ」フォルダを選択する
3. 一覧画面でファイルを反転表示する
4. （メニュー）を押し、「3 画像編集」→「2 リサイズ」の順に選択する
5. 項目を選択する
6. 画像を確認し、◙（決定）を押す
7. ファイル名を入力し、保存する

ご注意

●元の画像のサイズによって、選択できるリサイズの項目は異なります。

画像を切り取る

画像の一部を切り取ることができます。設定できる項目は次のとおりです。

項　目	内　容
壁紙サイズ	画像を壁紙（240×320）サイズに切り取ります。
ケータイサイズ	画像をケータイ（120×160）サイズに切り取ります。

1 ◉（メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する

2 「画像データ」フォルダを選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示する

4 ⌒（メニュー）を押し、「3 画像編集」→「3 切り取り」の順に選択する

5 項目を選択する

6 ✥で切り取り位置を調整し、◉（決定）を押す

7 ファイル名を入力し、保存する

ご注意

●画像のサイズによって、選択できる項目は異なります。

●画像のサイズによって、切り取りできない場合があります。その場合、「3 切り取り」を選択することはできません。

画像にフレームを付ける

画像にフレームを付けることができます。お買い上げ時に用意されている9種類の固定フレームのほかに、Webからダウンロードして本体のデータフォルダやmicroＳＤカードに保存されているフレームも利用できます。

1 ◉（メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する

2 「画像データ」フォルダを選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示する

4 ⌒（メニュー）を押し、「3 画像編集」→「4 フレーム」の順に選択する

5 項目を選択する

固定フレームから選ぶ場合は

「1 固定」を選択する

データフォルダから選ぶ場合は

「2 データフォルダ」を選択する

microSDカードから選ぶ場合は

「3 microSD」を選択する

6 フレームを選択する

7 画像を確認し、◉（決定）を押す

8 ファイル名を入力し、保存する

補　足

●フレームの次候補を表示するには
⌒（次候補）を押します。

●フレームを付加した画像を全画面表示するには
⌒（全画面表示）を押します。

●フレームを付けられるのは
撮影サイズが壁紙、ケータイの場合のみです。

●フレームに利用できる画像は
・拡張子：.png
・サイズ：付加する画像サイズと同じであること（壁紙、ケータイ）
・透過色：#FC00FC（マゼンタ）

ご注意

●画像によっては、フレームを付けることができない場合があります。その場合、「4 フレーム」を選択することはできません。

●Webからダウンロードしたフレームの形式によっては、付加されない場合や、正しく表示されないことがあります。

画像にスタンプを付ける

25種類からスタンプを選択し、画像に付けることができます。

1 ■（メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する

2 「画像データ」フォルダを選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示する

4 （メニュー）を押し、「3 画像編集」→「5 スタンプ」の順に選択する

5 項目を選択する

固定スタンプから選ぶ場合は

「1 固定」を選択する

データフォルダから選ぶ場合は

「2 データフォルダ」を選択する

microSDカードから選ぶ場合は

「3 microSD」を選択する

6 スタンプを選択する

7 でスタンプの位置を調整し、■（決定）を押す

8 ファイル名を入力し、保存する

補　足

●**スタンプを付けられるのは**

撮影サイズが壁紙、ケータイの場合のみです。

●**スタンプに利用できる画像は**

・拡張子：.png
・サイズ：80×80ピクセル以下
・透過色：#FC00FC（マゼンタ）

ご注意

●画像によっては、スタンプを付けることができない場合があります。その場合、「5 スタンプ」を選択することはできません。

●Webからダウンロードしたスタンプの形式によっては、付加されない場合や、正しく表示されないことがあります。

画像に文字を入力する

画像に文字を入力することができます。

［お買い上げ時］
■文字色：カラー1
■文字サイズ：小

1 ■（メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する

2 「画像データ」フォルダを選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示する

4 （メニュー）を押し、「3 画像編集」→「6 文字入力」の順に選択する

5 文字を入力する

6 で文字の位置を調整する

文字の色を変更する場合は

（文字色）を押す

文字の大きさを変更する場合は

（文字サイズ）を押す

7 ■（決定）を押す

8 ファイル名を入力し、保存する

補　足

●**入力できる文字数について**

入力できる文字数は全角32文字（半角64文字）までです。

●**文字色について**

文字の色は14種類から選択できます。（文字色）を押すごとに色が変わります。

●**文字サイズについて**

文字のサイズは3種類から選択できます。（文字サイズ）を押すごとに、サイズを変更できます。

サウンドファイルの利用

「サウンドデータ」フォルダ内のファイルを着信音や保留音などに設定できます。

1 ◉（メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する

2 「サウンドデータ」フォルダを選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示する

4 （メニュー）を押し、「1登録」を選択する

5 登録先を選択する

補　足

●**表示を切り替える場合は**
データフォルダ画面で を押すごとに、本体のデータフォルダとmicroSDカードのフォルダを切り替えて表示します。

ご注意

●サウンドファイルを着信音等に登録したあとでファイル名を変更すると、着信音等はお買い上げ時の設定に戻ります。

テンプレートファイルの利用

「テンプレートデータ」フォルダ内のテンプレートから装飾メール（デコラティブメール）を作成することができます。

1 ◉（メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する

2 「テンプレートデータ」フォルダを選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示する

4 ◉（Eメール作成）を押す

補　足

●**表示を切り替える場合は**
データフォルダ画面で を押すごとに、本体のデータフォルダとmicroSDカードのフォルダを切り替えて表示します。

●**Eメール作成画面から装飾メール（デコラティブメール）を作成して送信する方法については**（→P.105）

フォルダの管理

データフォルダの容量を表示する

フォルダの使用容量を確認できます。本体データフォルダを表示しているときは、各フォルダの合計使用容量と保存されているファイルの件数も確認できます。

1 (メインメニュー)を押し、「データフォルダ」を選択する

2 (メニュー)を押し、「1 フォルダ使用状況」を選択する

表示を切り替える場合は
(本体／microSD)を押すごとに本体のデータフォルダとmicroSDカードの使用状況表示が切り替わります。

補　足

● **1つのフォルダの容量を表示するには**
操作1のあと、フォルダを選択してから(メニュー)を押して「13 フォルダ使用状況」を選択します。現在のフォルダのみの使用容量とファイルの件数が表示されます。

ご注意

●「microSD使用状況」では、各フォルダごとの容量を表示することはできません。
●「microSD使用状況」では、ファイルの件数を表示することはできません。

microSDカードにフォルダを構築する

microSDカードに、本製品のファイルを保存するためのフォルダを構築します。構築されるフォルダは、下記のとおりです。

フォルダ名	本製品での名称
PRIVATE/DATA_FOLDER/$CAMERA	カメラデータ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$PICTURE	画像データ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$SOUND	サウンドデータ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$ADDRESS	アドレス帳データ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$TEMPLATE	テンプレートデータ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$OTHER	その他データ

1 (メインメニュー)を押し、「データフォルダ」を選択する

2 (メニュー)を押し、「2 microSDフォルダ構築」を選択する

3 暗証番号を入力し、「はい」を選択する

補　足

●フォルダが構築された後に「microSDフォルダ構築」を選択すると、各フォルダ内のファイルが削除されることがあります。
●この操作を実行しなくても、フォルダがない状態のmicroSDカードが本機に挿入されると、自動的にフォルダを構築します。

microSDカードを初期化する

microSDカード内のすべてのフォルダおよびファイルを削除します。削除後にファイルを保存する下記フォルダが作成されます。

ご注意

●初期化を実行するとmicroSDカード内のすべてのデータが削除されます。

フォルダ名	本製品での名称
PRIVATE/DATA_FOLDER/$CAMERA	カメラデータ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$PICTURE	画像データ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$SOUND	サウンドデータ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$ADDRESS	アドレス帳データ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$TEMPLATE	テンプレートデータ
PRIVATE/DATA_FOLDER/$OTHER	その他データ

1 ◉(メインメニュー)を押し、「データフォルダ」を選択する

2 (メニュー)を押し、「3 microSD初期化」を選択する

3 暗証番号を入力し、「はい」を選択する

フォルダ内のファイルを一括消去する

1つ、複数、またはすべてのフォルダに含まれるファイルを、まとめて消去できます。

1 ◉(メインメニュー)を押し、「データフォルダ」を選択する

特定のフォルダ内のファイルを一括消去する場合は

ファイルを一括消去するフォルダを反転表示する

2 (メニュー)を押し、「4 フォルダ消去」を選択する

3 暗証番号を入力する

4 消去操作をする

特定のフォルダ内のファイルを一括消去する場合は

「1 フォルダ内消去」を選択し、「はい」を選択する

複数のフォルダ内のファイルを消去する場合は

①「2 フォルダ選択消去」を選択する

② 消去するデータを選択してチェックマークを付ける操作を繰り返す

③ (消去)を押し、「はい」を選択する

全フォルダ内の全ファイルを消去する場合は

「3 フォルダ全消去」を選択し、「はい」を選択する

補　足

●**利用中のファイルが消去の対象に含まれていたときは**

消去の対象に、待受画面や着信音などに設定されているファイルが含まれていた場合は、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとファイルが消去され、その設定はお買い上げ時の設定に戻ります。

●**「カメラデータ」内のファイルを一括消去するには**

microSDカードの「カメラデータ」フォルダ内のファイルはmicroSD画面からは一括消去できません。一括消去するには、「カメラデータ」フォルダを選択し、「001」フォルダを反転表示して(メニュー)→「1 フォルダ内消去」→「はい」の順に選択します。

音・表示・照明の設定

着信音の設定

着信メロディを設定する

電話の着信や、Eメール、ライトメールの受信をお知らせするメロディを設定します。メロディは、固定サウンド、本体のデータフォルダ、またはmicroSDカードに保存されているサウンドデータから選択できます。

［お買い上げ時］

■電話着信音：着信音1

■Eメール受信音：メール着信音1

■ライトメール受信音：メール着信音2

1 **◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「❶音設定」→「❶着信音」の順に選択する**

2 **項目を選択し、「❶着信メロディ」を選択する**

3 **設定操作をする**

固定サウンドから選ぶ場合は

「❶固定サウンド」を選択し、メロディを選択する

データフォルダから選ぶ場合は

「❷データフォルダ」を選択し、メロディを選択する

microSDカードから選ぶ場合は

「❸microSD」を選択し、サウンドデータの中からメロディを選択する

「本体へコピーし設定します 同名のファイルが存在する場合上書きします よろしいですか？」と表示されます。「はい」を選択します。

ウィルコム公式サイトから探す場合は

①「❹公式サイトから探す」を選択する

② メロディを探し、保存する

③ ［　］（終了）が表示されるまで ［　］（戻る）を押し、［　］（終了）を押す

④「Yes」を選択してブラウザを終了する

⑤「❷データフォルダ」または「❸microSD」を選択し、ダウンロードしたメロディを選択する

補　足

●メロディを確認するには

メロディの選択画面で［　］（再生）を押します。

●着信メロディに設定できるデータは

拡張子が「mid」、「midi」、「dxm」、「mfm」のサウンドデータ（→P.178）です。

ご注意

●公式サイトには、有料のコンテンツもあります。

●データフォルダからメロディを選択したあとでデータフォルダのファイル名を変更すると、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。

着信音量を設定する

電話の着信や、Eメール、ライトメールの受信をお知らせするメロディの音量を設定します。

[お買い上げ時]

■レベル：3

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「❶音設定」→「❶着信音」の順に選択する

2 項目を選択し、「❷音量」を選択する

3 ⇕を押して音量を設定し、◙（確定）を押す

補　足

●**音でのお知らせをしないようにするには**
音量を「OFF」に設定します。

バイブを設定する

電話の着信や、Eメール、ライトメールの受信を振動でお知らせするバイブを設定します。

[お買い上げ時]

■電話着信音：パターン1
■Eメール受信音：パターン1
■ライトメール受信音：パターン1

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「❶音設定」→「❶着信音」の順に選択する

2 項目を選択し、「❸バイブ」を選択する

3 設定を選択する

補　足

●**バイブでのお知らせをしないようにするには**
操作3で「❻OFF」を選択します。

ご注意

●本機を卓上ホルダーにセットして充電しているときは、バイブが動作しません。着信音の設定に従って音のみでお知らせします。

メール受信時の鳴動時間を設定する

Eメール、ライトメール受信時に受信音やバイブでお知らせする秒数を設定できます。

[お買い上げ時]

■Eメール受信音：5秒
■ライトメール受信音：5秒

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「❶音設定」→「❶着信音」の順に選択する

2 項目を選択し、「❹鳴動時間」を選択する

3 設定を選択する

効果音の設定

次の効果音を鳴らすかどうかを設定できます。

- キーを押したときの音（キー確認音）
- 登録や設定の完了音、エラー音（成功／エラー音）
- 通話中に電波状態が悪くなったときや、電池切れになりそうなときにお知らせする音（圏外／充電警告音）
- ライトメールの送信完了をお知らせする音（送達確認音）
- 電源を入れたとき／切るときの音（パワーオン／オフ音）

[お買い上げ時]
■キー確認音：鳴動しない
■成功／エラー音：鳴動する
■圏外／充電警告音：鳴動する
■送達確認音：鳴動する
■パワーオン／オフ音：鳴動する

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「❶音設定」→「❷効果音」の順に選択する

2 項目を選択する

3 設定を選択する

補足

●**パワーオン／オフ音の音量は**
「鳴動する」に設定しているときの音量は、電話着信音量に従います。電話着信音量が「OFF」の場合は、最小音量で鳴動します。

ご注意

●イヤホンマイク（市販品）を接続している場合、キー確認音はイヤホンから聞こえます。

保留音の設定

通話を保留にしているときに相手に流すメロディを設定します。保留音は、固定サウンド、本体のデータフォルダ、またはmicroSDカードに保存されているサウンドデータから選択できます。

[お買い上げ時]
■早春賦

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「❶音設定」→「❸保留音」の順に選択する

2 設定操作をする

保留音を固定サウンドから選ぶ場合は
①「❶固定サウンド」を選択する
② サウンドを選択する

保留音をデータフォルダから選ぶ場合は
①「❷データフォルダ」を選択する
② サウンドを選択する

保留音をmicroSDカードから選ぶ場合は
①「❸microSD」を選択する
② サウンドを選択する

保留音を流さないようにする場合は
「❹なし」を選択する

ウィルコムの公式サイトから探す場合は
①「❺公式サイトから探す」を選択する
② サウンドを探し、保存する
③ ⌐（終了）が表示されるまで⌐（戻る）を押し、⌐（終了）を押す
④「Yes」を選択してブラウザを終了する
⑤「❷データフォルダ」または「❸microSD」を選択し、ダウンロードしたサウンドを選択する

音・表示・照明の設定

補　足

●**保留音に設定できるデータは**
拡張子が「mid」、「midi」、「dxm」、「mfm」のサウンドデータ（→P.178）です。

ご注意

●公式サイトには、有料のコンテンツもあります。
●データフォルダからサウンドを選択したあとでデータフォルダのファイル名を変更すると、保留音はお買い上げ時の設定に戻ります。

表示の設定

壁紙を設定する

待受画面に表示させる壁紙を設定できます。

［お買い上げ時］
■カラー1

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「2 表示設定」→「1 壁紙」の順に選択する

2 設定操作をする

固定色から選ぶ場合は
「1 固定色」を選択し、色を選択する

データフォルダから選ぶ場合は
「2 データフォルダ」を選択し、画像を選択する

microSDカードから選ぶ場合は
「3 microSD」を選択し、画像を選択する
「本体へコピーし設定します 同名のファイルが存在する場合上書きします よろしいですか？」と表示されます。「はい」を選択します。

画像を表示しないようにする場合は
「❹なし」を選択する

ウィルコムの公式サイトから探す場合は
①「❺公式サイトから探す」を選択する
② 画像を探し、保存する（→P.139）
③ ［ソフトキー］（終了）が表示されるまで［ソフトキー］（戻る）を押し、［ソフトキー］（終了）を押す
④「Yes」を選択してブラウザを終了する
⑤「2 データフォルダ」または「3 microSD」を選択し、ダウンロードした画像を選択する

補　足

●**画像を確認するには**
画像の選択画面で［ソフトキー］（再生）を押します。

ご注意

- 公式サイトには、有料のコンテンツもあります。
- データフォルダから画像を選択したあとでデータフォルダのファイル名を変更すると、壁紙はお買い上げ時の設定に戻ります。

発着信時のアニメーションを設定する

電話の発着信中に表示させるアニメーションを設定できます。

[お買い上げ時]

■発信画面：固定画像

■着信画面：固定画像

1 **[●]（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「2 表示設定」→「2 アニメーション」の順に選択する**

2 **項目を選択する**

3 **設定操作をする**

固定画像を設定する場合は

「❶固定画像」を選択する

データフォルダから選ぶ場合は

「2 データフォルダ」を選択し、画像を選択する

microSDカードから選ぶ場合は

「3 microSD」を選択し、画像を選択する

「本体へコピーし設定します 同名のファイルが存在する場合上書きします よろしいですか？」と表示されます。「はい」を選択します。

ウィルコムの公式サイトから探す場合は

①「❹公式サイトから探す」を選択する

② 画像を探し、保存する（→P.139）

③ [キー]（終了）が表示されるまで[キー]（戻る）を押し、[キー]（終了）を押す

④「Yes」を選択してブラウザを終了する

⑤「2 データフォルダ」または「3 microSD」を選択し、ダウンロードした画像を選択する

アニメーションを表示しないようにする場合は

「❺なし」を選択する

ご注意

- 公式サイトには、有料のコンテンツもあります。
- データフォルダから画像を選択したあとでデータフォルダのファイル名を変更すると、アニメーションはお買い上げ時の設定に戻ります。

選択色を設定する

選択色（文字入力画面のカーソルや反転表示項目の色）を、12色の中から選択できます。

［お買い上げ時］
■カラー2

1 ■（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「2 表示設定」→「3 選択色」の順に選択する

2 設定を選択する

ピクト日付表示を設定する

ディスプレイ上部（ピクトエリア）に表示される日時の表示を、時刻のみ／日付と時刻に切り替えることができます。

［お買い上げ時］
■日付と時刻

1 ■（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「2 表示設定」→「4 ピクト日付表示」の順に選択する

2 「時刻のみ」、「日付と時刻」のいずれかを選択する

補　足

● **「文字入力補助」については**
「文字入力」（→P.69）を参照してください。

文字の大きさを設定する

文字の大きさを3種類から選択できます。メール画面、Web画面、その他の画面（メニューやアドレス帳など）のそれぞれについて設定できます。

［お買い上げ時］
■すべて　中

1 ■（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「2 表示設定」→「6 文字サイズ」の順に選択する

2 項目を選択する

3 設定を選択する

照明の設定

画面ライトの明るさや点灯時間を設定する

画面ライトの明るさを設定する

画面ライトの明るさを5段階または「微点灯」から選択できます。メール画面、Web画面、その他の画面（メニューやアドレス帳など）のそれぞれについて設定できます。

[お買い上げ時]
■すべて　レベル3

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「3 照明設定」→「1 画面ライト」→「1 明るさ」の順に選択する

2 項目を選択する

3 設定を選択する

補　足

●微点灯とは
ごく弱い画面ライトです。画面ライトの明るさをどのレベルに設定した場合も、点灯時間で設定されている時間が経過すると微点灯の状態になります。

画面ライトの点灯時間を設定する

画面ライトを微点灯に切り替えるまでの時間を設定できます。メール画面、Web画面、その他の画面（メニューやアドレス帳など）のそれぞれについて設定できます。

[お買い上げ時]
■すべて　10秒

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「3 照明設定」→「1 画面ライト」→「2 点灯時間」の順に選択する

2 項目を選択する

3 設定を選択する

補　足

●設定した時間が経過すると
操作をしないまま点灯時間が経過すると、微点灯に切り替わります。さらに節電画面移行時間で設定されている時間が経過すると、画面ライトが消灯します。

節電画面への移行時間を設定する

何も操作をしなかったときに節電画面（画面ライトが消灯した状態）に移行するまでの時間を設定できます。

［お買い上げ時］
■20秒

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「❸ 照明設定」→「❶ 画面ライト」→「❸ 節電画面移行時間」の順に選択する

2 設定を選択する

補　足

●**節電画面状態のときに画面ライトを点灯させるには**
いずれかのキーを押します。この場合、画面ライトが点灯するだけで、通常のキー操作時の動作（待受中に◙を押すとメニュー画面が表示されるなど）にはなりません。
ただし、通話中は節電画面状態でも通常のキーの動作となります。通話中に[終話]を押した場合は、通話終了となりますのでご注意ください。

キーライトのON／OFFを切り替える

キーの照明を点灯させるかどうかを設定できます。

［お買い上げ時］
■ON

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「❸ 照明設定」→「❷ キーライト」の順に選択する

2 設定を選択する

補　足

●**「ON」に設定すると**
キーを押したときにキーライトが点灯します。キー操作をしないまま、画面ライトの点灯時間で設定されている時間が経過すると、消灯します。

イルミネーションを設定する

不在着信があったときやアラーム起動時など、各種の状態を、イルミネーションの点滅で確認できます。点滅パターンとカラーは、状態別に設定できます。イルミネーション表示を行わないように設定することもできます。

［お買い上げ時］

■電話発信／通話中：OFF
■電話着信中：パターン7、カラー1
■Eメール受信：パターン7、カラー2
■ライトメール受信：パターン7、カラー2
■Web接続中：OFF
■アラーム：パターン7、カラー5
■スケジュール：パターン7、カラー4
■未読／不在着信あり：ON、カラー3

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「3 照明設定」→「3 イルミネーション」の順に選択する

2 項目を選択する

3 点滅パターンを選択する

4 カラーを選択する

補　足

●**イルミネーション表示を行わない場合は**
「OFF」を選択する
イルミネーション表示を「OFF」にした場合は、カラーは設定できません。

ご注意

●未読／不在着信ありのイルミネーションは、ON／OFFの切り替えのみが可能です。点滅パターンは変更できません。

●充電中のイルミネーションは赤のみです。

ガジェット・アクセサリの設定

待受画面をカスタマイズして、より楽しくご利用いただけます。

設定できる項目は次のとおりです。

待受画面の種類		内　容
ガジェット・アクセサリ	ガジェット	ウィルコム ガジェットを配置して待受画面をカスタマイズすることができます（→P.200）。
	時計	2種類の時計から選択することができます（→P.199）。
	カレンダー	カレンダーを表示することができます（→P.199）。
Java™アプリ		Java™アプリを待受画面に設定することができます（→P.202）。

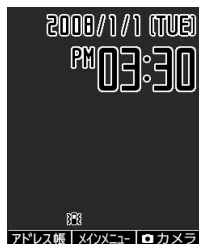
「ウィルコム ガジェット」は、電話機の待受画面でインターネット上のさまざまな情報を表示するツールです。mixiの新着メッセージやGmailに届いた新着メールをお知らせしてくれるほか、最新のニュース、乗換案内、辞書検索などの情報にダイレクトにアクセスできます。

［お買い上げ時］

■ガジェット

ガジェット・アクセサリについて

ガジェット・アクセサリの設定項目は、次のとおりです。

項　目	内　容
ガジェット	壁紙の上に、ウィルコム ガジェット（→P.200）を自由に配置できます。
時計（12H）	デジタル時計を12時間形式（AM／PM）で表示します。
時計（24H）	デジタル時計を24時間形式で表示します。
カレンダー	壁紙の上にカレンダーを透過形式で表示します。
表示しない	ガジェット・アクセサリを表示せず、壁紙に登録された画像や色を表示します。

〈例〉「時計（12H）」が設定されている状態

ガジェット・アクセサリを設定する

待受画面に表示する項目を設定します。「ガジェット」を選択する場合は、表示するウィルコム ガジェットを登録しておく必要があります。（→P.200）

［お買い上げ時］
■ガジェット

1 **◙（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「1 ガジェット・アクセサリ」→「1 ガジェット・アクセサリ」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

補　足

●**ガジェット・アクセサリの表示内容を確認するには**
操作1のあと、項目を反転表示して（表示）を押します。ただし、ウィルコム ガジェットの表示は確認できません。

ウィルコム ガジェットの設定

待受画面に表示するウィルコム ガジェットを設定します。ウィルコム ガジェットとは、W＋Infoや電界強度表示などウィルコムが提供する各種の情報を表示する小さなアクセサリーソフトで、待受画面上に4つまで配置することができます。お買い上げ時に用意されているウィルコム ガジェットのほかに、公式サイトからダウンロードしたものを利用することもできます。

補　足

●**ガジェット・アクセサリを「ガジェット」に設定すると**
待受画面で[キー]を押して、ウィルコム ガジェットを操作することができます。

ご注意

●ガジェット・アクセサリを「ガジェット」に設定すると、お知らせが表示されません。

ウィルコム ガジェットを登録する

ガジェット・アクセサリ（→P.199）に「ガジェット」を設定するには、あらかじめ表示するウィルコム ガジェットを登録しておく必要があります。4つまでのウィルコム ガジェットを登録することができます。

1 **[●]（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「1 ガジェット・アクセサリ」→「2 ガジェット設定」の順に選択する**

2 **一覧画面で待受画面に登録するウィルコム ガジェットを反転表示し、[●]（開く）を押す**

補　足

●**ウィルコム ガジェットを「開く」操作をすると**
実行状態となり、ガジェット・アクセサリで「❶ガジェット」を選択することができるようになります。

●**「登録制限の為、これ以上登録できません」と表示されたときは**
待受画面のプレビューでウィルコム ガジェットを選択し、[メニュー]（メニュー）→「3 ガジェットを閉じる」の順に選択してウィルコム ガジェットを閉じ、[終話]を押して操作1に戻ります。

音・表示・照明の設定

ウィルコム ガジェットの待受画面を操作する

ガジェット・アクセサリを「ガジェット」に設定すると、待受画面では登録されたウィルコム ガジェットが設定したレイアウトに従って表示されます。
ウィルコム ガジェットを操作してコンテンツにアクセスすることができます。

1 を押す

2 を押し、利用するウィルコム ガジェットを選ぶ

3 （最大化）を押す

4 ウィルコム ガジェットを利用する

補　足

●**待受画面の表示方法について設定するには**
ウィルコム ガジェットの操作画面で（メニュー）を押し、登録時と同様、表示設定をすることができます（→P.201）。

●**ウィルコム ガジェットを利用するには**
あらかじめコンテンツプロバイダへのユーザー登録等が必要な場合があります。

●**待受画面に戻るには**
を押します。

ご注意

●ウィルコム ガジェットの待受画面ではお知らせが表示されません。
●ウィルコム ガジェットで通信を行う場合、お客様の契約内容により通信料がかかることがあります。

ウィルコム ガジェットの表示方法を設定する

ウィルコム ガジェットを登録すると、ウィルコム ガジェットを設定した待受画面のプレビューが表示されます。待受画面では、ウィルコム ガジェットは最小化表示されます。

1 ウィルコム ガジェットの登録操作をする（→P.200）

2 で設定するウィルコム ガジェットを選ぶ

選択されているウィルコム ガジェットは赤い枠で表示されます。

ウィルコム ガジェットを最大化表示して確認する場合は
（最大化）を押す

プレビュー画面に戻るには
最大化表示中に（戻る）を押す

3 （メニュー）を押し、設定操作をする

補　足

●**ウィルコム ガジェットの表示設定を終了するには**
を押します。

メ　モ

■**表示設定のメニューについて**

メニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
レイアウト変更*	フリー、グリッド、ラインの3種類からレイアウトを設定します。
位置変更*	レイアウト：フリーの場合に有効 を使って、選択したウィルコム ガジェットの表示位置を自由に変更します。
ガジェットを閉じる	待受画面への登録を解除します。
オプション	ネットワーク接続、ブラウザ起動の動作について、許可／禁止を設定します。
ガジェットの管理	ウィルコム ガジェット一覧を表示します。
設定情報の削除*	ウィルコム ガジェットコンテンツを初期化します。

＊最大化表示中は選択できません。

ウィルコム ガジェットを管理する

新しいウィルコム ガジェットを入手したり、名前を編集したり、最新の状態にアップデートしたりすることができます。不要なウィルコム ガジェットを削除することもできます。

ウィルコム ガジェット一覧画面のメニューから、次の操作ができます。

メニュー	内　容
ガジェットを開く	待受画面に表示するための設定をします（→P.200）。
プレビュー	ウィルコム ガジェットの待受画面での表示状態を確認します。
公式サイトから探す	ウィルコム ガジェットを公式サイトから探して追加します。
名前編集	ウィルコム ガジェットの名前を編集します。
削除	ウィルコム ガジェットを削除します。
更新	ウィルコム ガジェットを最新の状態に更新します。
属性	ウィルコム ガジェットの情報を表示します。
並べ替え	表示順を指定して、ウィルコム ガジェットを並べ替えます。
友達に教える*	ウィルコム ガジェットの公式サイト内のURLをEメールに添付して送信します。

＊送信先の端末がウィルコム ガジェットに対応していない場合は、ガジェットをご利用いただけないことがあります。

1 ◙（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「1 ガジェット・アクセサリ」→「2 ガジェット設定」の順に選択する

2 ⇕を押してウィルコム ガジェットを反転表示し、（メニュー）を押して操作する項目を選択する

補　足

●**ウィルコム ガジェット名に設定できる文字数は**
全角16文字（半角32文字）までです。

待受Java™アプリの設定

待受画面用に作成されたJava™アプリを本機の待受に設定することができます。

待受画面にJava™アプリを設定する

1 CLRを1秒以上押す

メニューから操作する場合は
◙（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「6 Java™アプリ」の順に選択する

2 Java™アプリ一覧から、待受画面に設定する項目を反転表示し、（メニュー）を押し、「1 待受」→「1 待受ON」の順に選択する

3 「Yes」を選択する

ご注意

●待受画面用に作成されたJava™アプリ以外はメニューの「1 待受」が選択できません。

●Java™アプリを「待受ON」に設定すると、ガジェット・アクセサリ、ウィルコム ガジェットは表示されません。

●ガジェット・アクセサリにウィルコム ガジェットが設定されているときは、Java™アプリを待受に設定することはできません。

●Java™アプリを待受に設定すると、「お知らせ表示」、「待受画面下段ピクト」（留守番電話、マナーモード等）は表示されません。

補　足

●**Java™アプリのダウンロード、管理については**
「Java™アプリの利用」（→P.248）をご参照ください。

アラーム・スケジュール

アラームの利用

本機をアラームとして利用できます。

曜日や時刻などの組み合わせを登録しておき、必要に応じてON／OFFを切り替えられます。

「ON」になっているアラームがあるときは、画面に が表示されます。アラーム音を止めるか、アラームを「OFF」に切り替えると、アイコンが消えます。

アラームを利用する

アラームを起動させる時刻やアラーム音の組み合わせを、最大20件登録できます。毎朝同じ時刻に鳴るように登録したり、曜日別に異なる時刻やアラーム音を登録しておいたりできます。

アラームを登録すると、「ON」にセットされます。

アラームを登録する

アラームの内容を登録します。

[お買い上げ時]

■繰り返し設定：毎日
■アラーム時刻：00:00
■アラーム音：アラーム音2
■アラーム音量：レベル:3
■バイブ：パターン2
■連続アラーム：連続しない
■鳴動時間：1分
■アラーム画像：固定画像

1 （メインメニュー）を押し、「アクセサリ」を選択する

2 「7 アラーム」を選択する

3 登録先を選択する

4 項目を選択し、設定操作をする

アラームの繰り返しを設定する場合は

① （繰り返し設定）を選択する
② 設定を選択する

特定の曜日の起動を設定する場合は

① （繰り返し設定）を選択する
②「5 曜日選択」を選択する
③ 指定する曜日を選択してチェックマークを付ける
④ （確定）を押す

時刻を設定する場合は

① （アラーム時刻）を選択し、時刻（4桁）を入力する
② （確定）を押す

アラーム音を設定する場合は

① （アラーム音）→「1固定サウンド」、「2データフォルダ」または「3 microSD」の順に選択する
② サウンドを選択する

アラーム音をウィルコムの公式サイトから探す場合は

① （アラーム音）→「4公式サイトから探す」の順に選択する
② サウンドを探し、保存する
③ （終了）が表示されるまで（戻る）を押し、（終了）を押す
④「Yes」を選択してブラウザを終了する
⑤「2データフォルダ」または「3 microSD」を選択し、ダウンロードしたサウンドを選択する

アラーム音の音量を設定する場合は

① （アラーム音量）を選択する
② を押して音量を設定し、（確定）を押す

バイブを設定する場合は

① （バイブ）を選択する
② パターンまたは「6 OFF」を選択する

アラーム・スケジュール

約5分おきに5回鳴る連続アラームを設定する場合は

（連続アラーム）を選択し、設定を選択する

鳴動の長さを設定する場合は

① （鳴動時間）を選択し、時間（1～5分）を入力する
② （確定）を押す

アラーム画像を設定する場合は

① （アラーム画像）→「❶固定画像」、「2 データフォルダ」または「3 microSD」の順に選択する
② 画像を選択する

アラーム画像をウィルコムの公式サイトから探す場合は

① （アラーム画像）→「❹公式サイトから探す」の順に選択する
② 画像を探し、保存する（→P.139）
③ （終了）が表示されるまで（戻る）を押し、（終了）を押す
④「Yes」を選択してブラウザを終了する
⑤「2 データフォルダ」または「3 microSD」を選択し、ダウンロードした画像を選択する

5 （登録）を押す

補 足

●**時刻の入力方法は**
「0000」～「2359」の4桁の数字を入力します。たとえば、午後3時半にセットする場合は「1530」と入力します。

●**登録済アラームの設定を編集するには**
① （メインメニュー）を押し、「アクセサリ」を選択する
②「7 アラーム」を選択する
③ 編集するアラームを選択する
④ 操作4～5を行う

ご注意

●データフォルダからアラーム音、アラーム画像を選択したあとでデータフォルダのファイル名を変更すると、アラーム音、アラーム画像はお買い上げ時の設定に戻ります。

●本機を卓上ホルダーにセットして充電しているときは、バイブが動作しません。設定されたアラーム音が鳴ってお知らせします。また、音量をOFFに設定していても最小音量で鳴動します（マナーモードでは鳴動しません）。

メ モ

■アラームの動作について

アラームの停止操作は、通常のアラームと同じです。「アラーム起動時の操作」（→P.206）を参照してください。

アラームのON／OFFを切り替える

アラームをONにすると、待受画面に が表示されます。

［お買い上げ時］
■OFF

1 （メインメニュー）を押し、「アクセサリ」を選択する

2 「7 アラーム」を選択する

3 設定を切り替えるアラームを反転表示し、（開始／停止）を押す

補 足

●**アラームをONにすると**
アラーム一覧には、繰り返し設定の内容が表示されます。

アラーム起動時の操作

アラーム時刻になると、登録内容に従ってアラームが起動します。アラームの停止操作を行わなかった場合は、設定されている鳴動時間の経過後、自動的に止まり、「未確認アラームあり」のお知らせが表示されます。

アラームを停止する

1 アラーム動作中に、いずれかのキーを押す

連続アラームを解除する

連続アラームが設定されている場合、アラーム停止操作をしたり停止操作をしないまま鳴動時間が経過したりすると、アラーム動作が停止しますが、約5分後に再びアラームが鳴動します(最大5回)。

連続アラームを解除するには、次のように操作します。

1 アラーム鳴動中に CLR を押す

2 「はい」を選択する

メモ

■アラームとタイマーが同時に起動したときは

タイマーのアラーム音鳴動後、「未確認アラームあり」のお知らせが表示されます。

■アラームとスケジュールアラームが同時に起動したときは

アラーム音鳴動後、「未確認スケジュールあり」のお知らせが表示されます。

■メールや基本設定など他の操作を行っているときや、待受画面以外の表示のときは

アラーム音が鳴ります。停止の操作をすると、元の画面に戻ります。

スケジュールの利用

本機のカレンダーにスケジュールや個人的な記念日などを登録し、予定を管理するツールとして使用できます。

カレンダーを表示する

スケジュールを登録したり確認したりするときは、カレンダーを表示させます。

1 ●(メインメニュー)を押し、「スケジュール」を選択する

カレンダー画面

メモ

■カレンダー画面の見かた

マークの見かたは次のとおりです。

マーク	内 容
日付の枠	カーソル位置
反転	本日
ブルー	土曜日、日曜日、祝日
■(日付の右下)	スケジュールの登録あり(記念日、スケジュール、ToDoのいずれか)

アラーム・スケジュール

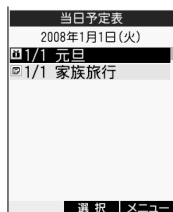
■カレンダー画面のメニューについて

(メニュー) を押すと、次の操作ができます。操作できないメニューは、グレーで表示されます。

メニュー	内 容
新規登録	スケジュール、記念日、ToDoを登録します(→P.207、209)。
編集	この操作はできません。
消去	登録内容を消去します(→P.211)。
登録件数表示	種別ごと、および合計の登録件数を確認します(→P.211)。
一覧表示	登録内容を、一覧画面で確認します(→P.210)。

■カレンダー画面を操作するには

カーソルを上/下/左/右の日付に移動する場合は、、、のいずれかを押します。前月/翌月のカレンダーを表示する場合は またはを押すか、、、、を繰り返し押します。

特定の1日の予定を確認する場合は、カーソルをその日に移動して (予定)を押します。当日予定表画面が表示されます。

当日予定表画面

■当日予定表画面のメニューについて

(メニュー) を押すと、次の操作ができます。

メニュー	内 容
新規登録	スケジュール、記念日、ToDoを登録します(→P.207、209)。
編集	反転表示中の予定を編集します(→P.211)。
1日消去	表示されている1日分の予定を消去します(→P.211)。
登録件数表示	種別ごと、および合計の登録件数を確認します(→P.211)。

スケジュールを登録する

スケジュールは、記念日とToDoを合わせて100件まで登録できます。アラームを設定すると、設定した時刻にアラーム音や画面の表示でお知らせします。繰り返しを設定すると、毎月の同じ日付や特定の曜日などにまとめて登録できます。第三者に見られないようにシークレットを設定することもできます。

1 (メインメニュー)を押し、「スケジュール」を選択する

2 、、のいずれかを押して、登録する日付にカーソルを移動する

3 (メニュー)を押し、「1新規登録」→「1スケジュール」の順に選択する

4 項目を選択し、設定操作をする

開始日時を設定する場合は

① (開始日付時刻)を選択し、年月日と時刻を入力する

② (確定)を押す

終了日時を設定する場合は

① (終了日付時刻)を選択し、年月日と時刻を入力する

② (確定)を押す

スケジュールの分類を設定する場合は

(分類)を選択し、設定を選択する

タイトルを設定する場合は

[タイトル]を選択し、タイトル(全角20文字/半角40文字まで)を入力する

内容を設定する場合は

[内容]を選択し、内容(全角40文字/半角80文字まで)を入力する

場所を設定する場合は

[場所]を選択し、場所(全角20文字/半角40文字まで)を入力する

繰り返しの周期を設定する場合は

（繰り返し設定）を選択し、設定を選択する

繰り返しの回数を設定する場合は

① （繰り返し回数）を選択し、回数を入力する
② （確定）を押す

スケジュールアラームを設定する場合は

① （アラーム）を選択する
② 項目を選択し、設定操作を行う（→P.204）

シークレットを設定する場合は

（シークレット）を選択し、設定を選択する

保護を設定する場合は

（保護）を選択し、設定を選択する

5 （登録）を押す

補　足

●**「シークレットする」を設定したスケジュールは**
シークレットモード（→P.98）を「表示しない」に設定すると、表示したり、消去したりできなくなります。

●**「保護する」を設定したスケジュールは**
設定を「保護しない」に変更しないかぎり、消去されません。

●**スケジュール登録の必須項目は**
タイトルのみです。その他の項目を登録しなかった場合は、お買い上げ時の設定が登録されます。

スケジュールアラーム起動時の操作

アラーム時刻になると、登録内容に従ってアラームが起動します。アラームの停止操作を行わなかった場合は、設定されている鳴動時間の経過後、自動的に止まり、「未確認スケジュールあり」のお知らせが表示されます。

アラームを停止する

1 **アラーム動作中に、いずれかのキーを押す**

連続アラームを解除する

連続アラームが設定されている場合、アラーム停止操作をしたり停止操作をしないまま鳴動時間が経過したりすると、アラーム動作が停止しますが、約5分後に再びアラームが鳴動します（最大5回）。

連続アラームを解除するには、次のように操作します。

1 **アラーム鳴動中に を押す**

2 **「はい」を選択する**

メ　モ

■**スケジュールアラームとタイマーが同時に起動したときは**

タイマーのアラーム音鳴動後、「未確認スケジュールあり」のお知らせが表示されます。

■**発着信中や通話中にスケジュールアラーム時刻になったときは**

発着信中や音声通話中、データの送受信中はアラーム音が鳴りません。待受画面に戻ったときに、「未確認スケジュールあり」のお知らせを表示で通知します。

記念日を登録する

誕生日や祝いごと、個人的な休日などを登録できます。

1 ■（メインメニュー）を押し、「スケジュール」を選択する

2 、、のいずれかを押して、登録する日付にカーソルを移動する

3 （メニュー）を押し、「1 新規登録」→「2 記念日」の順に選択する

4 項目を選択し、設定操作をする

特定の日付を設定する場合は

① （日付）を選択し、日付を入力する

② ■（確定）を押す

記念日の分類を設定する場合は

（分類）を選択し、設定を選択する

タイトルを設定する場合は

[タイトル] を選択し、タイトル（全角20文字／半角40文字まで）を入力する

5 （登録）を押す

補　足

●**記念日登録の必須項目は**
タイトルのみです。その他の項目を登録しなかった場合は、お買い上げ時の設定が登録されます。

メ　モ

■**記念日の保護設定について**

新規登録した記念日には、「保護する」が設定されています。編集（→P.211）することにより、「保護しない」にすることもできます。

ToDoを登録する

期限の決まった課題などを登録し、備忘録として利用できます。アラームを設定すると、設定した「期限」の時刻にアラーム音や画面の表示でお知らせします。優先度を設定したり、第三者に見られないようにシークレットを設定することもできます。ToDoは記念日とスケジュールを合わせて100件まで登録できます。

1 ■（メインメニュー）を押し、「スケジュール」を選択する

2 、、のいずれかを押して、登録する日付にカーソルを移動する

3 （メニュー）を押し、「1 新規登録」→「3 ToDo」の順に選択する

4 項目を選択し、設定操作をする

期限を設定する場合は

① （期限）を選択し、年月日と時刻を入力する

② ■（確定）を押す

内容を設定する場合は

[内容] を選択し、内容（全角40文字／半角80文字まで）を入力する

状態を設定する場合は

（状態）を選択し、設定を選択する

優先度を設定する場合は

（優先度）を選択し、設定を選択する

ToDoの分類を設定する場合は

（分類）を選択し、設定を選択する

アラームを設定する場合は

（アラーム設定）を選択し、設定を選択する

アラームをONに設定した場合は

アラーム項目を選択し、設定操作を行う（→P.204）

シークレットを設定する場合は

（シークレット）を選択し、設定を選択する

保護を設定する場合は

（保護）を選択し、設定を選択する

5 （登録）を押す

補　足

●「シークレットする」を設定したToDoは
シークレットモード（→P.98）を「表示しない」に設定すると、表示したり、消去したりできなくなります。

●「保護する」を設定したToDoは
設定を「保護しない」に変更しないかぎり、消去されません。

●ToDo登録の必須項目は
内容のみです。その他の項目を登録しなかった場合は、お買い上げ時の設定が登録されます。

メ　モ

■アラーム時刻になると

アラーム起動時の動作や停止操作などについては、「スケジュールアラーム起動時の操作」（→P.208）を参照してください。

登録内容を確認する

特定の日の登録内容を確認する

1 （メインメニュー）を押し、「スケジュール」を選択する

2 、、のいずれかを押して、確認する日付にカーソルを移動し、（予定）を押す

3 個々の登録内容の詳細を確認するときは、目的の項目を選択する

タイプ別に確認する

1 （メインメニュー）を押し、「スケジュール」を選択する

2 （メニュー）を押し、「5一覧表示」を選択する

3 項目を選択する

4 個々の登録内容の詳細を確認するときは、目的の項目を選択する

メ　モ

■ToDoの登録内容の確認について

次のように操作すると、より簡単に確認できます。

① （メインメニュー）を押し、「スケジュール」を選択する

② （ToDo）を押す

③ 個々の登録内容の詳細を確認するときは、目的の項目を選択する

■シークレットの登録内容の表示／非表示について

シークレットを設定した登録内容の表示／非表示は、シークレットモードの設定に従います。登録内容を確認したり編集したりするときは、シークレットモードを「表示する」に設定する必要があります。表示／非表示を切り替えるには、次のように操作します。

① （メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「7シークレットモード」の順に選択する

② 暗証番号を入力する

③ 設定を選択する

登録内容を編集する

1 ◙（メインメニュー）を押し、「スケジュール」を選択する

2 日付を選択する

3 編集する項目を反転表示する

4 ⌐◘⌐（メニュー）を押し、「2 編集」を選択する

5 登録するときと同じ操作で項目を選択し、編集する

6 ⌐▭⌐（登録）を押す

登録内容を消去する

1件消去する

1 ◙（メインメニュー）を押し、「スケジュール」を選択する

2 日付を選択する

3 消去する項目を選択し、閲覧画面を表示する

4 ⌐◘⌐（メニュー）を押し、「3 1件消去」を選択する

5 メッセージが表示されたら、内容を確認して「はい」を選択する

まとめて消去する

カレンダー上の特定の日付を基準に、登録内容をまとめて消去できます。

1 ◙（メインメニュー）を押し、「スケジュール」を選択する

2 ⌐文字⌐、⌐WEB⌐、✥のいずれかを押して、基準にする日付にカーソルを移動する

3 ⌐◘⌐（メニュー）を押し、「3 消去」を選択する

4 消去の操作をする

カーソル位置の日付の登録内容を消去する場合は

①「1 1日消去」を選択する

② メッセージが表示されたら、内容を確認して「はい」を選択する

カーソル位置の月の登録内容を消去する場合は

①「2 月間消去」を選択する

② メッセージが表示されたら、内容を確認して「はい」を選択する

すべての登録内容を消去する場合は

①「5 全件消去」を選択する

② 暗証番号を入力し、「はい」を選択する

補　足

●当日予定表画面の内容をまとめて消去するには

1日分の登録内容を、当日予定表画面（→P.207）のメニューを使って消去することができます。

① ◙（メインメニュー）を押し、「スケジュール」を選択する

② 日付を選択する

③ ⌐◘⌐（メニュー）を押し、「3 1日消去」を選択する

④ メッセージが表示されたら、内容を確認して「はい」を選択する

●スケジュールのタイプ別に消去操作を行うには

タイプ別の一覧画面のメニューからも消去の操作が行えます。

●「保護する」が設定されている登録内容を消去するには

設定を「保護しない」に変更してから、消去の操作を行います。

●「シークレットする」が設定されている登録内容を消去するには

シークレットモード（→P.98）を「表示する」にしてから、消去の操作を行います。

登録件数を確認する

記念日、スケジュール、ToDoの各分類項目および合計の登録件数を確認できます。

1 ◙（メインメニュー）を押し、「スケジュール」を選択する

2 ⌐◘⌐（メニュー）を押し、「4 登録件数表示」を選択する

セキュリティ

暗証番号の設定

本機の各種操作で使用する暗証番号と、位置情報通知設定およびリモートロックの設定に使用するW-SIM暗証番号は、メニュー操作で変更することができます。お客様の個人情報を保護するため、お買い上げ時の番号を変更されることをおすすめします。

ご注意

●本操作で変更できる暗証番号は、ご契約の際に申込書にご記入いただいた暗証番号とは異なります。

暗証番号を変更する

本機の暗証番号（4桁）を変更します。

[お買い上げ時]

■1234

1 ◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「❶暗証番号変更」の順に選択する

2 現在の暗証番号を入力する

3 新しい暗証番号を入力する

4 もう一度新しい暗証番号を入力する

ご注意

●暗証番号は、メモをとるなどして必ず手もとにお控えください。ただし、本機にメモを貼り付けるなど、他人が容易に読み取れるような方法は避けてください。万一暗証番号をお忘れになった場合は、修理（有償修理）となります。ウィルコムサービスセンターまでご連絡ください。

W-SIM暗証番号を変更する

W-SIM暗証番号は、位置情報通知設定およびリモートロックの設定を行うための暗証番号（4桁）です。

[お買い上げ時]

■0000

1 ◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「❾W-SIM設定」→「❸W-SIM暗証番号変更」の順に選択する

2 現在のW-SIM暗証番号を入力する

3 新しいW-SIM暗証番号を入力する

4 もう一度新しいW-SIM暗証番号を入力する

ご注意

●W-SIM暗証番号は、メモをとるなどして必ず手もとにお控えください。W-SIM暗証番号をお忘れになると、位置情報通知設定およびリモートロックの設定をご利用になれません。

●ご使用になるW-SIMによっては、セキュリティ機能でのW-SIM暗証番号の変更が行えません。次の手順で設定してください。

①◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「❺通信設定」→「❸位置情報通知」→「❶通知する」の順に選択する

②現在のW-SIM暗証番号を入力する

③「❹W-SIM暗証番号変更」を選択する

④新しいW-SIM暗証番号を入力する

⑤もう一度新しいW-SIM暗証番号を入力する

位置情報通知の設定を「通知しない」に戻す場合は操作⑤のあと、CLRを押し、「❸位置情報通知」→「❷通知しない」の順に選択する

管理者ロックの利用

本機の機能の一部について管理者ロックを設定し、利用を制限することができます。管理者ロックが設定された機能は、管理者パスワードを入力しないと操作できません。

管理者パスワードを変更する

管理者ロック機能を利用するには、管理者パスワードによる認証が必要です。管理者パスワードは4桁の数字で設定します。

［お買い上げ時］
■0000

1 **◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「❷管理者パスワード変更」の順に選択する**

2 **現在の管理者パスワードを入力する**

3 **新しい管理者パスワードを入力する**

4 **もう一度新しい管理者パスワードを入力する**

ご注意

●管理者パスワードは、メモをとるなどして必ず手もとにお控えください。管理者パスワードをお忘れになると、管理者ロック機能をご利用になれません。

管理者ロックを設定する

操作や通信を制限することができます。制限された操作をしようとすると、管理者パスワードの入力画面が表示され、正しい管理者パスワードを入力しないと操作できません。また、通信制限は管理者パスワードで一時的に解除できません。管理者ロック設定から「制限しない」設定にした場合のみ解除されます。

項　目	制限される操作、通信	管理者パスワード入力
ダイヤル発信	発信、ライトメールの送信（留守番電話センターへの発信を含む）	○
アドレス帳操作	アドレス帳の閲覧、登録、編集、消去、W-SIMとの間でのメモリコピー、文字入力時のアドレス帳引用、赤外線通信のアドレス帳送受信	○
Web操作	Webのメニュー操作、ブラウザ使用	○
メール操作	Eメール、ライトメールの操作、使用、オンラインサインアップ	○
Eメール通信制限	Eメールの送受信のための通信（ウィルコムのEメール自動受信を含む）	×
Web通信制限	Webアクセスのための通信（画像やサウンド、テンプレート等をダウンロードするための公式サイトへの接続を含む）	×
ダイヤルアップ制限	公式サイトを含むすべてのプロバイダへのダイヤルアップ（メール送受信のためのダイヤルアップ、オンラインサインアップ、Java™アプリからのダイヤルアップを含む）	×
Java™通信制限	Java™アプリメニュー「公式サイトから探す」操作	×
RSSリーダー通信制限	RSSリーダーの更新、自動更新の通信	×

ご注意

●アドレス帳操作が「制限する」に設定されていると、発信または着信した電話番号がアドレス帳の内容と一致しても、名前が表示されません。
●管理者ロックの設定は項目別に設定可能です。操作制限と通信制限を組み合わせて設定すると管理者パスワードを入力しても通信できません。

[お買い上げ時]
■すべて　制限しない

1 ◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「❸管理者ロック」の順に選択する
2 管理者パスワードを入力する
3 項目を選択する
4 設定を選択する

キーロックの利用

キーロック機能を設定すると、本機を操作するときに暗証番号の入力が必要になります。

キーロック機能を設定しておくと、他の人に無断で使用されることを防ぐことができます。
キーロック機能設定中に待受画面に表示されるアイコンは次のとおりです。

設定中のロック機能	表示されるアイコン
サイドロック設定中	
開閉ロック設定中	
オートロック設定中	
開閉ロック、オートロック設定中	
サイドロック、開閉ロック設定中	
サイドロック、オートロック設定中	
サイドロック、開閉ロック、オートロック設定中	

サイドロックパスワードを設定する

サイドロックを解除するときに、暗証番号を入力するかどうかを設定できます。

[お買い上げ時]
■無効にする

1 ◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「❹キーロック」→「❶サイドロックパスワード」の順に選択する
2 暗証番号を入力する
3 設定を選択する

補　足

●**サイドロックを設定／解除する場合は**
（→P.34）

●**サイドロック設定中でもできる本機の操作について**
次の操作のみできます。
・かかってきた電話を受ける
・電話を切る
・アラームを停止する
・画面ライトの点灯

開閉ロックを設定する

スライドを閉じたときにキー操作をロックするかどうかを設定できます。

[お買い上げ時]

■OFF

1 ◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「4 キーロック」→「2 開閉ロック」の順に選択する

2 暗証番号を入力する

3 設定を選択する

補　足

●**開閉ロックを解除する場合は**

待受画面で暗証番号を入力します。

●**開閉ロック中でもできる本機の操作について**

次の操作のみできます。

・かかってきた電話を受ける
・電話を切る
・電源を入れる／切る
・アラームを停止する
・画面ライトの点灯

●**待受以外の画面では開閉ロックがかかりません。**

オートロックを設定する

一定時間経過後、キー操作をロックするように設定できます。

設定できる項目は次のとおりです。

オートロックの設定	内　容
OFF	オートロックを起動しません。
30秒、5分、10分、30分	オートロックが起動するまでの時間を設定します。設定時間内にキー操作やスライドを開閉した場合は、ロック機能は作動しません。設定時間のカウントは、操作をしたときにクリアにされます。

[お買い上げ時]

■OFF

1 ◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「4 キーロック」→「3 オートロック」の順に選択する

2 暗証番号を入力する

3 設定を選択する

補　足

●**オートロックを解除する場合は**

待受画面で暗証番号を入力します。

●**オートロック中でもできる本機の操作について**

次の操作のみできます。

・かかってきた電話を受ける
・電話を切る
・電源を入れる／切る
・アラームを停止する
・画面ライトの点灯

ご注意

●待受画面以外で本機を閉じ、オートロックの設定時間が経過後に本機を開いた場合、待受画面に戻るまで、ロックがかかりません。

●オートロック時間を設定し、時間以内にキー操作やスライドを開閉した場合は、時間のカウントが初期化され、次回操作したときには再度設定時間後にオートロックがかかります。

● [終話キー] を押しても節電画面にはなりません。

リモートロックの利用

本機を紛失してしまったときに、遠隔操作により、本機を使用できないようにロックすることができます。個人情報の漏洩や悪用を防ぐために、リモートロックの起動と同時に本体メモリ内やmicroSDカード内の登録データ・設定情報を消去することもできます。

遠隔操作には、紛失した本機に電話をかける方法（サブアドレス起動）と、ライトメールを送信する方法（ライトメール起動）および「My WILLCOM」からの操作の3通りがあります。

ご注意

●リモートロック操作は、PHSやISDNなどサブアドレスを発信できる電話機や、ライトメールを送信できるライトメール対応PHS電話機から行えます。また、「My WILLCOM」（ウィルコムのWebサポートサービス）からのリモートロックを行うこともできます。詳しくはウィルコムのホームページ（電話機向けサービス－リモートロック）をご参照いただくか、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

●リモートロック起動時に消去したメモリは、リモートロックを解除しても復元できません。

メ　モ

■メモリ消去により消去される内容は

次の内容がすべて消去されます。

・アドレス帳

・発信履歴、着信履歴

・スケジュール、記念日、ToDo、アラーム、メモ

・メールデータ、ダイヤルアップ接続先、アカウント設定

・Webブラウザ内キャッシュ、cookie、ダイヤルアップ接続先

・本体のデータフォルダ内のファイル

・音声メモ、通話中音声メモ、留守音声メモ、録音した自動応答メッセージ

・文字入力の学習内容、ユーザ辞書

・microSDカードの登録データ・設定情報

リモートロックの準備

万一の場合にリモートロックを起動させるには、あらかじめ次の準備が必要です。

・リモートロックを起動させるときに指定する「許可パスワード」（4～8桁の数字）を本機に登録する

・本機を遠隔操作する電話機の電話番号を登録する。

・リモートロックを有効（許可する）に設定する。

［お買い上げ時］

■許可パスワード：W-SIMによる

サブアドレス起動、ライトメール起動ともに

■許可番号：未登録

■リモートロック：未設定

1 **[●]（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「5リモートロック」の順に選択する**

2 **暗証番号を入力する**

3 **W-SIM暗証番号を入力する**

4 **登録／設定操作をする**

許可パスワードを登録する

①「1許可パスワード登録」を選択する

② 許可パスワードを入力する

遠隔操作を許可する電話番号を登録する

①「2サブアドレス起動」または「3ライトメール起動」→「1許可番号登録」の順に選択する

② 登録先を選択する

③ 電話番号を入力する

リモートロックを許可する／許可しないに設定する

①「2サブアドレス起動」または「3ライトメール起動」→「2リモートロック」の順に選択する

② 設定を選択する

補　足

●**電話番号を引用して登録するには**
文字入力のメニューから、アドレス帳や発信履歴などの電話番号を引用して登録することができます。

●**サブアドレス起動できる電話機について**
サブアドレス起動できる電話機は、PHSまたはサブアドレス付加発信が可能なISDN電話機です。

●**ライトメール起動できる電話機について**
ライトメール起動できる電話機は、ライトメール対応PHSです。

ご注意

●リモートロックに対応していないW-SIMを取り付けると、設定ができません。

許可番号を編集／消去する

1 **(メインメニュー)を押し、「セキュリティ」→「5リモートロック」の順に選択する**

2 **暗証番号を入力する**

3 **W-SIM暗証番号を入力する**

4 **「2サブアドレス起動」または「3ライトメール起動」→「1許可番号登録」の順に選択し、編集または消去の操作をする**

編集する場合は
許可番号を選択し、修正する

1件消去する場合は
① 消去する許可番号を反転表示する
② (メニュー)を押し、「1 1件消去」を選択する
③「はい」を選択する

複数の許可番号を選択して消去する場合は
① (メニュー)を押し、「2 選択消去」を選択する
② 消去する許可番号を選択してチェックマークを付ける操作を繰り返す
③ (消去)を押し、「はい」を選択する

全件消去する場合は
① (メニュー)を押し、「3 全件消去」を選択する
②「はい」を選択する

本機のリモートロックを起動させる

あらかじめ本機に登録した許可パスワードを送信することにより、リモートロックを起動することができます。

次のいずれかの方法でリモートロックを起動します。

・サブアドレス起動許可電話番号に登録したサブアドレス対応電話機から、電話をかける
・ライトメール起動許可番号に登録したPHSからライトメールを送信する
・本機の電話番号を登録したウィルコムストアの「My WILLCOM」にログインし、「リモートロック」の画面から「ロック」操作をする

リモートロックの起動と同時に、メモリが消去されるようにすることもできます。

サブアドレス起動でリモートロックを起動させる

1 **許可番号登録した他の電話機から本機に電話をかける**

リモートロックのみを起動する場合は
① **本機の電話番号→サブアドレス指定ダイヤル*→「01」→許可パスワード**の順にダイヤルする
② 発信する

リモートロックを起動し、メモリを消去する場合は
① **本機の電話番号→サブアドレス指定ダイヤル*→「03」→許可パスワード**の順にダイヤルする
② 発信する

＊　ウィルコムのサブアドレス対応のPHSなどから操作する場合は「 」を押します。

セキュリティ

補　足

●**リモートロックを起動させたい電話機に着信すると**
リモートロックのスタンバイ状態となります（→P.221）。着信しても、本機では着信音やバイブは動作しません。電話をかけた側には「ピポッ」という音が聞こえ、約2秒後に電話が切れます。

ご注意

●サブアドレス指定の操作は電話機によって異なります。詳しくは、電話機の取扱説明書を参照してください。

ライトメール起動でリモートロックを起動させる

1 他の電話機から本機にライトメールを送信する

リモートロックのみを起動する場合は
ライトメール本文に「ソウサ1××××」（「××××」は許可パスワード）と入力し、本機に送信する

リモートロックを起動し、メモリを消去する場合は
ライトメール本文に「ソウサ3××××」（「××××」は許可パスワード）と入力し、本機に送信する

補　足

●**リモートロックを起動させたい電話機がライトメールを受信すると**
リモートロックスタンバイ状態となります（→P.221）。ライトメールを受信しても、本機では受信音やバイブは動作しません（ただし、ライトメールの内容に間違いがあった場合は、通常の着信とされます）。送信した側では、送信完了音が鳴ります。

「My WILLCOM」からリモートロックを起動させる

ウィルコムストアのWebページ「My WILLCOM」に会員登録し、あらかじめ登録した電話番号にリモートロックを起動させることができます。

1 ウィルコムストアの「My WILLCOM」にログインする

2 「リモートロック」の画面から、登録してある電話番号のロック操作を行う

各種設定メニューからリモートロックを起動させる

ウィルコムの電話機からは「143」へ、一般加入電話・公衆電話からは「0077-776」へ電話をかけ、ガイダンスに従って操作することで、リモートロックを起動させることができます。詳しくは、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

ご注意

●「My WILLCOM」からのリモートロックについては、「ロックする」「ロック解除する」の設定のみ可能です。メモリの消去はできません。詳しくは、ウィルコムストアのWebページ、またはウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

リモートロック代行サービスについて（有料）

リモートロックを起動させたい電話機に許可パスワードが設定されていない場合でも、ウィルコムサービスセンターの音声ガイダンスで、24時間いつでもリモートロックを起動させることができます(リモートロック代行サービス)。
リモートロック代行サービスを利用するには、ウィルコムの電話機から「116」へ、一般加入電話・公衆電話からは「0120-921-156」へ電話をかけ、音声ガイダンスに従って操作します。

ご注意

●リモートロック代行サービスは有料です。リモートロック代行サービスの設定は、「ロックをかける」「ロックを解除する」のみです。メモリの消去はできません。

リモートロックの起動について

リモートロックスタンバイ状態のときに、本機で次の操作が行われると、リモートロックが起動します。メモリ消去指定の場合は、メモリ消去も行われます。

・キー入力

・マイクロUSBケーブルの抜き差し、W-SIMの抜き差し、microSDカードの抜き差し

・電話の着信／応答（通話終了後ロックする）

リモートロック中は、ディスプレイの下部に「☆☆☆☆☆☆☆」が表示されます。

メ モ

■リモートロック中でもできる本機の操作について

次の操作のみできます。
・かかってきた電話を受ける
・電話を切る
・電源を入れる／切る

ご注意

●リモートロックスタンバイ中やリモートロック中は、「110番」（警察）、「119番」（消防署）、「118番」（海上保安本部）への発信もできません。

本機に設定したリモートロックを解除する

本機に登録した電話機から本機に電話をかけるか、ライトメールを送信して、リモートロックを解除します。
ウィルコムストアのWebページ「My WILLCOM」から、リモートロックを解除することもできます。

電話をかけてリモートロックを解除する

1 本機の電話番号→サブアドレス指定ダイヤル＊→「00」→許可パスワードの順にダイヤルする

＊ ウィルコムのサブアドレス対応のPHSなどから操作する場合は「＊」を入力します。

2 発信する

補 足

●**リモートロックを解除させたい電話機に着信すると**
電話をかけた側には「ピポッ」という音が聞こえ、約2秒後に電話が切れます。本機側ではリモートロックが解除され、ディスプレイの下部の「☆☆☆☆☆☆☆」の表示が消えます。

ご注意

●サブアドレス指定の操作は電話機によって異なります。詳しくは、電話機の取扱説明書を参照してください。

ライトメールを送信してリモートロックを解除する

1 ライトメール本文に「ソウサ0××××」（「××××」は許可パスワード）と入力し、本機に送信する

補 足

●**リモートロックを解除したい電話機がライトメールを受信すると**
ライトメールを受信すると、本機のリモートロックが解除され、ディスプレイの下部の「☆☆☆☆☆☆☆」の表示が消えます。

「My WILLCOM」からリモートロックを解除する

ウィルコムストアのWebページ「My WILLCOM」に会員登録し、あらかじめ登録した電話番号のリモートロックを解除することができます。

1 ウィルコムストアの「My WILLCOM」にログインする

2 「リモートロック」の画面から、登録してある電話番号のロック解除操作を行う

補　足

●**詳しい操作については**
詳しくはウィルコムストアのWebページ、またはウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

●**各種設定メニューからリモートロックを解除させるには**
ウィルコムの電話機からは「143」へ、一般加入電話・公衆電話からは「0077-776」へ電話をかけ、ガイダンスに従って操作することで、リモートロックを解除することができます。詳しくは、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

リモートロック代行サービスについて（解除は無料）

リモートロックを解除したい電話機に許可パスワードが設定されていない場合でも、ウィルコムサービスセンターの音声ガイダンスで、24時間いつでもリモートロックを解除することができます(リモートロック代行サービス)。
リモートロック代行サービスを利用するには、ウィルコムの電話機から「116」へ、一般加入電話・公衆電話からは「0120-921-156」へ電話をかけ、音声ガイダンスにしたがって操作します。

ご注意

●リモートロック代行サービスの解除は無料です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

着信拒否の利用

相手からの発信者番号通知を利用して、電話の着信を個別に拒否することができます。着信拒否の設定には次の種類があり、それぞれ拒否のしかたが異なります。

着信拒否の設定		内　容
指定番号拒否		指定番号一覧に登録した電話番号からの着信を拒否します。 （拒否のしかたは以下から選択） ・話中音を流す ・無音で通話を切断する
非通知の着信拒否	ユーザ非通知	非通知理由が「ユーザ非通知」の着信を拒否します。 （拒否のしかたは以下から選択） ・話中音を流す ・無音で通話を切断する ・拒否メッセージを流す
	公衆電話発信	非通知理由が「公衆電話発信」の着信を拒否します。 （拒否のしかたは以下から選択） ・話中音を流す ・無音で通話を切断する
	通知不可能着信	非通知理由が「通知不可能」の着信を拒否します。 （拒否のしかたは以下から選択） ・話中音を流す ・無音で通話を切断する
アドレス帳外着信		アドレス帳に登録されていない相手からの着信を拒否します。 （拒否のしかたは以下から選択） ・留守音声メモで応答する ・無音で通話を切断する

〈拒否メッセージの内容〉
番号非通知のため電話を受けられません。電話番号を通知しておかけ直しください。

ご注意

●着信拒否のしかたで「拒否（メッセージ無）」を設定していると、電話をかけてきた相手には課金されます。

電話番号を指定して着信を拒否する

着信を拒否する電話番号は10件まで登録できます。

指定番号を登録する

1 ◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「6着信拒否」の順に選択する

2 暗証番号を入力する

3 「2指定番号登録」を選択する

4 一覧から登録する欄を選択する

5 電話番号を入力する

補　足

- **電話番号を引用して登録する場合は**
  （メニュー）を押して、メニューから項目を選択し、目的の電話番号を選択する
- **他の機能から指定番号を登録するには**
  着信拒否の指定番号は、着信履歴、発信履歴、ダイヤルメモからも登録できます。

着信拒否を設定する

［お買い上げ時］
■拒否しない

1 ◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「6着信拒否」の順に選択する

2 暗証番号を入力する

3 「1指定番号拒否」を選択する

4 設定を選択する

話中音を流す場合は

「❶着信応答しない」を選択する

無音で通話を切断する場合は

「❷拒否（メッセージ無）」を選択する

着信を拒否しない場合は

「❸拒否しない」を選択する

指定番号を編集／消去する

1 ◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「6着信拒否」の順に選択する

2 暗証番号を入力する

3 「2指定番号登録」を選択する

4 編集または消去の操作をする

編集する場合は

指定番号を選択し、修正する

1件消去する場合は

① 消去する指定番号を反転表示する
② （メニュー）を押し、「1 1件消去」を選択する
③「はい」を選択する

複数の指定番号を選択して消去する場合は

① （メニュー）を押し、「2 選択消去」を選択する
② 消去する指定番号を選択してチェックマークを付ける操作を繰り返す
③ （消去）を押し、「はい」を選択する

全件消去する場合は

① （メニュー）を押し、「3 全件消去」を選択する
②「はい」を選択する

非通知の着信を拒否する

発信者番号通知の非通知理由（「ユーザ非通知」／「公衆電話発信」／「通知不可能着信」）ごとに着信拒否を設定します。

［お買い上げ時］
■ユーザ非通知：拒否しない
■公衆電話発信：拒否しない
■通知不可能着信：拒否しない

1 ◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「6 着信拒否」の順に選択する

2 暗証番号を入力する

3 「3 ユーザ非通知」、「4 公衆電話発信」、「5 通知不可能着信」のいずれかを選択する

4 設定を選択する

話中音を流す場合は
「❶着信応答しない」を選択する

無音で通話を切断する場合は
「❷拒否（メッセージ無）」を選択する

拒否メッセージを流す場合は（ユーザ非通知のとき）
「❸拒否（メッセージ有）」を選択する

着信を拒否しない場合は
「❸／❹拒否しない」を選択する

アドレス帳に登録されていない相手からの着信を拒否する

［お買い上げ時］
■拒否しない

1 ◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「6 着信拒否」の順に選択する

2 暗証番号を入力する

3 「6 アドレス帳外着信」を選択する

4 設定を選択する

留守番電話で応答する場合は
「❶留守音声メモ」を選択する

無音で通話を切断する場合は
「❷拒否（メッセージ無）」を選択する

着信を拒否しない場合は
「❸拒否しない」を選択する

着信拒否の設定をすべて解除する

次の操作を行うと、指定番号拒否、ユーザ非通知、公衆電話発信、通知不可能着信、アドレス帳外着信の着信拒否設定がすべて解除されます。

1 ◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「6 着信拒否」の順に選択する

2 暗証番号を入力する

3 「7 着信拒否全解除」を選択し、「はい」を選択する

ご注意

●お使いのW-SIMのバージョンによって、動作が異なる場合があります。対応していないW-SIMの場合は、「着信拒否全解除　一部解除できませんでした」と表示されます。

発信先限定の利用

発信を許可する相手先の電話番号を登録し、それ以外の電話番号への発信を禁止することができます。

ご注意

- 発信先が限定されていても、「110番」(警察)、「119番」(消防署)、「118番」(海上保安本部)への発信は可能です。また、これらの緊急番号は、発信先として登録できません。

発信先を登録する

発信を許可する電話番号（最大10件）を登録します。アドレス帳や発着信履歴の電話番号を登録することもできます。

1 ◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「8 発信先限定」の順に選択する

2 暗証番号を入力する

3 「2 発信先限定登録」を選択する

4 登録する行を選択する

5 電話番号を入力する

電話番号を引用して登録する場合は

(メニュー) を押して、メニューから項目を選択し、目的の電話番号を選択する

履歴から発信先を登録する

発信履歴や着信履歴の電話番号を、発信先限定の登録に利用することができます。

〈例〉着信履歴を利用する場合

1 を押し、利用する着信履歴を選択する

2 登録する電話番号を反転表示する

3 （メニュー）を押し、「4 発信先限定登録」を選択する

発信先限定の有効／無効を切り替える

「限定する」に設定すると、登録されている電話番号以外への発信ができなくなります。

［お買い上げ時］

■限定しない

1 ◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「8 発信先限定」の順に選択する

2 暗証番号を入力する

3 「1 発信先限定」を選択する

4 設定を選択する

ご注意

- 発信先限定を「限定する」に設定しても、Eメールの送信はできます。
- 発信先限定を「限定する」に設定していても、発信先電話番号が全件消去されると、自動的に「限定しない」に切り替わります。

発信先を編集／消去する

1 [■]（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「8 発信先限定」の順に選択する

2 暗証番号を入力する

3 「2 発信先限定登録」を選択する

4 編集または消去の操作をする

編集する場合は

① 編集する電話番号を選択する

② 電話番号を編集し、[■]（確定）を押す

1件消去する場合は

① 消去する電話番号を反転表示する

② [メニュー]（メニュー）を押し、「1 1件消去」を選択する

③「はい」を選択する

複数の発信先を選択して消去する場合は

① [メニュー]（メニュー）を押し、「2 選択消去」を選択する

② 消去する電話番号を選択してチェックマークを付ける操作を繰り返す

③ [消去]（消去）を押し、「はい」を選択する

全件消去する場合は

① [メニュー]（メニュー）を押し、「3 全件消去」を選択する

②「はい」を選択する

PINロックの利用

W-SIMの認証番号であるPIN番号（4～16桁の任意の数字）を使って、本機の電源を入れたときに認証を行うように設定できます。

PINロックの認証を設定する

PINロックを設定すると、本機の電源を入れるたびにPIN番号の入力が必要になります。

［お買い上げ時］
■解除

1 [■]（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「9 W-SIM設定」→「1 PINロック」の順に選択する

2 暗証番号を入力し、「はい」を選択する

3 PIN番号を入力する

4 もう一度PIN番号を入力する

PINロックの認証を解除する

1 [■]（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「9 W-SIM設定」→「1 PINロック」の順に選択する

2 暗証番号を入力する

3 PIN番号を入力し、「はい」を選択する

ご注意

●電源を入れ、PIN番号の入力画面が表示されたときに、PIN番号の入力を続けて10回間違えると、PUKコード入力画面が表示されます。PUKコードを入力すると、新しくPIN番号を登録することができます。PUKコードは、お使いのW-SIMの保証書に記載されています。万一、W-SIMの保証書を紛失された場合は修理での対応となりますので、ウィルコムサービスセンター（→P.292）にお問い合わせください。

PIN番号を変更する

PIN番号（4〜16桁）を変更できます。PIN番号の変更は、PINロックが設定されているときにのみできます。

［お買い上げ時］

■未設定

1 ◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「9 W-SIM設定」→「2 PIN番号変更」の順に選択する

2 暗証番号を入力する

3 現在のPIN番号を入力する

4 新しいPIN番号を入力する

5 もう一度新しいPIN番号を入力する

ご注意

●PIN番号は、メモをとるなどして必ず手もとにお控えください。万一、PIN番号をお忘れになり、PUKコードもおわかりにならない場合は、修理での対応となりますので、ウィルコムサービスセンター（→P.292）にお問い合わせください。

メモリや設定のリセット

登録内容をまとめて消去したり、各機能の設定をリセットしてお買い上げ時の状態に戻すことができます。

補　足

●各機能のお買い上げ時の設定は（→P.260）

ご注意

●消去された登録内容や設定内容は､元に戻せません。

●メモリの消去や設定のリセットには十分な電池残量が必要です。電池残量が▥や▯になっている場合は、充電してから操作し直してください。

●メモリの消去や設定のリセットが完了するまで、電源を切ったり電池を取り外したりしないでください。

●メモリの消去や設定のリセットを実行すると、起動中のマナーモード、留守番電話、安全運転モードなども解除されます。

●メモリ一括消去や完全消去＋初期化を行ってもメールや本体のデータフォルダに設定されるお買い上げ時のデータは消去されません。

本体のメモリ消去またはリセットを実行する

消去、リセットされる内容は次のとおりです。

●メモリー括消去

区　分	内　容
メール	Eメール／ライトメールの送信メール、受信メール、未送信メール
データフォルダ	追加されたすべてのデータ
Web	ブックマーク、履歴、ページメモ、入力履歴、登録したチャンネル
スケジュール	登録された記念日、スケジュール、ToDo
基本設定	ユーザ辞書、学習内容
アドレス帳	アドレス帳データ（W-SIMのアドレス帳を含む）
アクセサリ	メモの登録内容、アラームの登録内容、ウィルコム ガジェット、Java™アプリ
その他	音声メモ、発信履歴、着信履歴、ダイヤルメモ

●設定リセット

区　分	内　容
パーソナルメニューの登録内容	−
メール	Eメールアカウント設定の登録内容、オプションの引用設定、フォルダ表示切替
データフォルダ	表示切替、リピート設定
Web	RSSリーダーの自動更新、Webオプション、ダイヤルアップ設定
基本設定	音設定、表示設定、照明設定、時計設定、通信設定、留守番電話設定、マナーモード設定、安全運転モード設定
アドレス帳	表示設定、グループ名設定、グループ着信音設定
アクセサリ	ガジェット・アクセサリ、タイマー設定、USB充電の設定
カメラ	撮影サイズ、画質、フォト設定、全画面表示

1 **◙（メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「0一括消去／リセット」→「1メモリー括消去」または「2設定リセット」の順に選択する**

2 **暗証番号を入力し、「はい」を選択する**

3 **「はい」を選択する**

ご注意

●設定リセットでは、セキュリティに関する設定内容、暗証番号、管理者パスワード、PIN番号等はリセットされません。

●メモリー括消去、設定リセットで消去／リセットされない登録や設定でも、完全消去+初期化を実行すると、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。

●メモリー括消去を行うとプリセットメール、プリセット画像がお買い上げ時の状態になります。

メモリ消去とリセットを一度に実行する

本体、W-SIM、またはその両方の登録内容を完全消去し、各機能の設定を初期化します。

選択する項目により、次の操作が実行されます。

●完全消去＋初期化

項　目	内　容
W-SIM	W-SIMのアドレス帳および内部の設定情報を消去する（プロフィールの電話番号、W-SIM暗証番号、PINロック状態、PIN番号を除く）
本体	「メモリー括消去」および「設定リセット」で消去またはリセットされる内容、およびセキュリティに関する設定内容（リモートロックに関する設定を除く）をまとめて消去、リセットする
すべて	W-SIMと本体をまとめて完全消去＋初期化する

1 **(メインメニュー）を押し、「セキュリティ」→「0一括消去／リセット」→「3完全消去＋初期化」の順に選択する**

2 **「1W-SIM」、「2本体」、「3すべて」のいずれかを選択する**

3 **暗証番号を入力し、「はい」を選択する**

4 **「はい」を選択する**

ご注意

●完全消去＋初期化後にメールやWEBをお使いになるときには、オンラインサインアップが必要です。

●W-SIMの完全消去＋初期化を実行すると、本体メモリ上に読み込まれているW-SIMのアドレス帳および、W-SIM内に保存されているアドレス帳も消去されます。

●本体の完全消去＋初期化を実行すると、本体の暗証番号はお買い上げ時の設定になります。

●本体の完全消去＋初期化を実行すると、お買い上げ時に登録されていた画像やご案内メールが再度表示されます。

その他の機能

パーソナルメニューの利用

よく使う機能をパーソナルメニューに登録する

メニュー画面をパーソナルメニューに登録することにより、機能の呼び出し操作を簡略化できます。パーソナルメニューに登録できるのは、右ソフトキー［メニュー］の画面表示が「パーソナル」の画面（待受画面を除く）です。最大9件登録できます。

［お買い上げ時］

■電話着信音、Eメール受信音、キー確認音、壁紙、ガジェット・アクセサリ

1 画面右下に「パーソナル」が表示されているメニュー画面で、［メニュー］（パーソナル）を押す

2 登録先を選択する

登録されている項目に上書きする場合は

上書きする項目を選択する

3 「はい」を選択する

パーソナルメニューを使って機能を呼び出す

パーソナルメニューの一覧から項目を選択するだけで、登録した画面を呼び出すことができます。

1 待受画面で［↓］を押す

2 目的の項目を選択する

パーソナルメニューを消去する

パーソナルメニューの一覧から、登録されている項目を消去します。

1 待受画面で［↓］を押す

2 消去する項目を反転表示し、消去操作をする

反転表示中の項目のみ消去する場合は

［メニュー］(メニュー）を押して「1 1件消去」を選択し、「はい」を選択する

すべての項目を消去する場合は

① ［メニュー］(メニュー）を押して「2 全件消去」を選択する

② 暗証番号を入力し、「はい」を選択する

電卓の利用

10桁までの四則演算ができます。

1 ■（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「2 電卓」の順に選択する

2 計算する

数字を入力する場合は

ダイヤルキーを押す

小数点を入力する場合は

＊（.）を押す

入力中の数字を1字消す場合は

CLR を押す

「+」／「−」／「×」／「÷」を入力する場合は

□、□、□、□のいずれかを押す

計算結果を出す場合は

■（=）を押す

数字／計算結果をすべて消す場合は

（AC）を押す

補　足

●分数「1/X」を入力するには

分母の数字を入力し、 （1/X）を押します。

●数値の「+」／「−」を切り替えるには

を押します。

●計算結果がエラーの場合は

「ERR」と表示されます。（AC）を押すと「0」表示に戻ります。

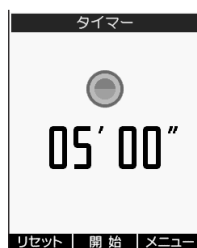
タイマーの利用

本機をタイマーとして利用できます。

60分までの時間を秒単位で指定でき、アラーム音やバイブなどの設定も変更できます。

タイマーのカウントダウン中は が表示されます。

タイマーをセットする

60分まで秒単位で設定できます。登録後、■（開始）を押すと、カウントダウンが開始されます。

1 ■（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「3 タイマー」の順に選択する

2 ■（選択）を押す

3 タイマー時間を入力し、■（確定）を押す

4 タイムアウト時の動作の設定を確認する

設定を変更する場合は

項目を選択し、設定操作をする（→P.234）

5 （登録）を押す

6 ■（開始）を押す

補　足

●**時間の入力方法は**

ダイヤルキーを押して入力するか、[上下キー]を押して数字を増減します。カーソルを移動するときは、[左右キー]を押します。

タイマーを設定する

タイマー時間やアラーム音、バイブ、鳴動時間など、タイムアウト時の動作について、設定を変更することができます。

［お買い上げ時］

■タイマー時間：00’00”
■アラーム音：アラーム音2
■音量：レベル3
■バイブ：パターン1
■鳴動時間：1分

1 **[●]（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「3 タイマー」の順に選択する**

2 **[ ]（メニュー）を押す**

3 **項目を選択し、設定操作をする**

タイマー時間を設定する場合は

① [アイコン]（タイマー時間）を選択する
② 時間を入力し、[●]（確定）を押す

アラーム音を固定サウンドから選ぶ場合は

① [♫]（アラーム音）→「1 固定サウンド」の順に選択する
② メロディを選択する

アラーム音をデータフォルダから選ぶ場合は

① [♫]（アラーム音）→「2 データフォルダ」の順に選択する
② メロディを選択する

アラーム音をmicroSDカードから選ぶ場合は

① [♫]（アラーム音）→「3 microSD」の順に選択する
② メロディを選択する

アラーム音をウィルコムの公式サイトから探す場合は

① (アラーム音) →「❹公式サイトから探す」の順に選択する
② サウンドを探し、保存する
③ (終了) が表示されるまで (戻る) を押し、(終了) を押す
④「Yes」を選択してブラウザを終了する
⑤「❷データフォルダ」または「❸microSD」を選択し、ダウンロードしたサウンドを選択する

音量を調節する場合は

① (音量) を選択する
② を押して音量を設定し、(確定) を押す

バイブを設定する場合は

① (バイブパターン) を選択する
② パターンまたは「❻OFF」を選択する

鳴動している時間を設定する場合は

① (鳴動時間) を選択する (1分〜5分)
② 分単位の数字を入力し、(確定) を押す

4 (登録) を押す

補 足

●**メロディを確認するには**
メロディの選択画面で (再生) を押します。

ご注意

●本機を卓上ホルダーにセットして充電しているときは、バイブが動作しません。設定されたアラーム音が鳴ってお知らせします。

アラーム音鳴動時の操作

セットした時間が経過すると、登録内容に従ってアラーム音が鳴動します。アラーム音の停止操作を行わなかった場合は、設定されている鳴動時間の経過後、自動的に止まります。

アラーム音を停止する

1 アラーム音鳴動中に、いずれかのキーを押す

メ モ

■タイマーとアラームが同時に起動したときは
タイマーのアラーム音鳴動後、「未確認アラームあり」のお知らせが表示されます。

■発着信中や通話中にタイマー時刻になったときは
発着信中や音声通話中、データの送受信中はアラーム音が鳴りません。通話終了後にタイムアウトの動作となります。

メモ帳の利用

本機をメモ帳代わりに使えます。

メモ帳に登録する

1件につき全角で最大512文字、20件まで登録できます。

1 ◙（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「5 メモメニュー」→「4 メモ帳」の順に選択する

2 新規登録先（未入力のメモ欄）を選択する

メモ帳一覧画面

3 内容を入力する

補　足

●**文字入力のしかたは**

文字入力画面の操作については、「文字入力について」（→P.70）を参照してください。

●**内容を編集するには**

① 操作1を行う
② 編集したいメモを選択する
③ ▭（編集）を押す
④ 編集する

メ　モ

■**メモ帳一覧画面のメニューについて**

メニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
編集	メモの内容を編集します（→P.236）。
メモ内容コピー	選択したメモの内容を一括コピーします（→P.236）。
消去	メモを消去します（→P.237）。

既存のメモの内容をコピーして登録する

メモの内容をコピーして利用します。コピーした内容は、他の文字入力操作時に貼り付けることもできます。

1 ◙（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「5 メモメニュー」→「4 メモ帳」の順に選択する

2 コピーするメモ帳を反転表示する

3 ▭（メニュー）を押し、「2 メモ内容コピー」を選択する

4 登録先を反転表示し、▭（メニュー）を押して「1 編集」を選択する

5 ▭（メニュー）を押し、「6 貼り付け」を選択する

メモを読む

1 ◙（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「5 メモメニュー」→「4 メモ帳」の順に選択する

2 読みたいメモを選択する

メモの内容を消去する

1 ■（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「5 メモメニュー」→「4 メモ帳」の順に選択する

2 消去の操作をする

1件消去する場合は

① 消去するメモを反転表示する

② （メニュー）を押し、「3 消去」→「1 1件消去」の順に選択する

③「はい」を選択する

内容を確認してから1件消去する場合は

① 消去するメモを選択する

② （メニュー）を押し、「3 1件消去」を選択する

③「はい」を選択する

複数のメモを選択して消去する場合は

① （メニュー）を押し、「3 消去」→「2 選択消去」の順に選択する

② 消去するメモを選択する

③ （消去）を押し、「はい」を選択する

すべてのメモを消去する場合は

① （メニュー）を押し、「3 消去」→「3 全件消去」の順に選択する

② 暗証番号を入力し、「はい」を選択する

パソコンの利用

マイクロUSBケーブルを使ってパソコンと接続し、本機との間でデータをやりとりできます。また、パソコン経由で本機を充電することもできます。

マイクロUSBケーブルは、USB1.1以上の認定品をご使用ください。

USBドライバをインストールする

本機とパソコンを接続するには、付属のCD-ROMから専用ドライバをインストールする必要があります。

インストール方法の詳細は、付属のCD-ROMを参照してください。

1 パソコンを起動し、CD-ROMドライブに付属のCD-ROMをセットする

2 WS023T専用CD-ROMメニュー画面から「USBドライバインストール」を選択し、インストールを完了する

本機とパソコンを接続する

パソコンにUSBドライバをインストールしたら、マイクロUSBケーブルで本機と接続します。初めて接続したときには、ドライバの組み込みが行われ、完了すると本機とパソコンとの間のデータ転送などが可能になります。

1 本機の電源を入れる

2 本機のマイクロUSB端子キャップを開き、マイクロUSBケーブルのコネクタを差し込む

3 パソコンのUSBポートにマイクロUSBケーブルのコネクタを差し込む

4 画面に従って操作する

USBが使用可能になると

本機の画面に が表示され、「ピポ」という音が鳴る

補　足

●**マイクロUSBケーブルを外すと**
本機のマイクロUSBポートか、パソコンのUSBポートからマイクロUSBケーブルを抜くと、本機の画面の が消えます。

ご注意

●パソコンからmicroSDドライブとしての利用はできません。

USB充電の充電速度を設定する

マイクロUSBケーブルを使ってパソコンのUSBポートに接続して充電するとき（→P.39）の充電速度を設定できます。

［お買い上げ時］
■高速

1 **（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」を選択して を押し、「1 USB充電」を選択する**

2 **設定を選択する**

パソコンと接続してもUSB充電が行われないようにする場合は
「❸OFF」を選択する

ご注意

●USB充電を「OFF」に設定していると、パソコンとの間でデータを送受信するときに、電池の消耗が早くなります。

●接続するパソコンにより、充電にかかる時間が異なります。

●USBハブをお使いになる場合は、500 mA以上の電力を外部から供給するタイプのUSBハブをご使用ください。

位置情報機能の利用

WS023Tは位置情報サービスに対応しています。ウィルコム位置検索サービス、および位置情報サービス提供会社にお申し込みになると、本機の位置情報を特定の相手に通知する機能を利用できます。

次のような使いかたができます。

●使用例
〈手動での位置情報通知〉
位置情報サービス提供会社宛に、本機の使用者が手動で位置情報を送信する。使用者自身が現在地を確認するためのサービスや、特定の相手に現在地を通知するサービスなどに利用できる。

●必要な準備
「位置情報通知を設定する」（→P.239）

●使用例
〈遠隔操作による本機の位置の確認〉
特定の相手からの要求に応じて本機が位置情報を自動送信できるように、あらかじめ設定しておく。児童の安全確認や迷子の防止などに利用できる。

●使用例
〈移動の節目ごとの位置情報登録〉
要求に応じて送出する位置情報を、移動や工程の節目ごとに登録する。進捗情報などを表す「ステータスコード」も同時に送出できるので、物品の管理などに利用できる。

●必要な準備
「位置情報通知を設定する」（→P.239）
「位置情報の自動送出を設定する」
（→P.240）

位置情報通知を設定する

位置情報機能を利用するには、位置情報通知を「通知する」に設定する必要があります。

［お買い上げ時］
■通知しない

1 **◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「5 通信設定」→「3 位置情報通知」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

3 **W-SIM暗証番号を入力する**

補　足

●W-SIM暗証番号を変更するには（→P.214）

位置情報の自動送出を設定する

通知許可番号を登録する

位置情報の要求を受けたときに、本機が自動送出を行うための準備です。本機の位置情報取得を許可する相手（電話番号）をあらかじめ登録しておきます。最大20件登録でき、電話番号ごとに通知許可パスワード（位置情報サービス提供会社にお問い合わせください）の設定が必要です。
位置情報の自動送出について以下の項目を設定できます。

・自動送出を行ったときに本機の使用者に音で知らせるかどうかの設定

・自動送出をする／しないの設定

［お買い上げ時］
■通知許可番号：未登録
■通知許可パスワード：未登録
■自動送出機能：送出しない
■着信音設定：鳴動する

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「5通信設定」→「3位置情報通知」の順に選択する

2 「❶通知する」を選択する

3 W-SIM暗証番号を入力する

4 「1通知許可番号」を選択する

5 登録先を選択する

6 電話番号を入力し、◙（確定）を押す

7 通知許可パスワードを入力し、◙（決定）を押す

8 「2自動送出機能」を選択し、設定を選択する

補　足

●**自動送出機能を「送出する」に設定すると**
登録した通知許可番号の自動送出機能を「送出する」に設定すると、待受画面に LI が表示されます。

登録内容を編集／消去する

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「5通信設定」→「3位置情報通知」の順に選択する

2 「❶通知する」を選択する

3 W-SIM暗証番号を入力する

4 「1通知許可番号」を選択する

5 編集または消去の操作をする

編集する場合は
① 編集する登録番号を選択する
② 登録するときと同じ操作で内容を編集する

1件消去する場合は
① 消去する登録番号を反転表示する
② （メニュー）を押し、「1 1件消去」を選択する
③「はい」を選択する

選択消去する場合は
① （メニュー）を押し、「2選択消去」を選択する
② 消去する登録番号をすべて選択し、（消去）を押す
③「はい」を選択する

全件消去する場合は
① （メニュー）を押し、「3全件消去」を選択する
②「はい」を選択する

ご注意

●通知許可番号の全件消去には時間がかかることがあります。「通知許可番号を全件消去しました」と表示されるまで、W-SIMを取り外したり電源を切ったりしないでください。

位置情報を発信する

必要なときに、本機から任意の電話番号に位置情報を発信します。

1 [発信キー] **を1秒以上押す**

2 [アイコン] **が表示されたら、相手の電話番号を入力する**

3 [発信キー] **を押す**

電話番号をアドレス帳や履歴から引用して発信する場合は

① [アイコン] が表示されたら、[メニューキー]（メニュー）を押して引用元を選択する

② 目的の電話番号または名前を選択する

位置情報を自動送信する

準備として「位置情報通知を設定する」（→P.239）と「位置情報の自動送出を設定する」（→P.240）を行っておけば、相手から要求があったときに本機が自動的に位置情報を送出します。本機での操作は不要です。

ご注意

- 本機の操作中に位置情報送出の要求があった場合は、操作が中断されます。位置情報の送出が終了すると、待受画面に戻ります。

位置情報を登録する

情報送信の要求に備えて、位置情報をウィルコムサービスセンターに登録します。工程の進捗状況などを表すステータスコードも、同時に登録できます。相手から要求があったときは、登録した内容が送信されます。

準備として「位置情報通知を設定する」（→P.239）と「位置情報の自動送出を設定する」（→P.240）を行っておく必要があります。

位置情報のみ登録する

1 [0キー] **を1秒以上押す**

2 [発信キー] **を押す**

位置情報とステータスコードを登録する

1 [＊キー] **を押す**

2 **ステータスコードを入力する**

3 [＊キー] **を押す**

4 [発信キー] **を押す**

ご注意

- 位置情報を登録するときの発信先は、通知許可番号の1番目に登録されている電話番号となります。
- ステータスコードの詳細については、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。
- ステータスコードを登録する場合は、184発信や186発信はできません。

音声メモを録音する

本機に自分の声を約15秒間録音できます（音声メモ）。録音できるのは、留守音声メモ、通話中音声メモを合わせて3件です。

1 ◙（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「5 メモメニュー」→「2 音声メモ録音」の順に選択する

2 マイク（送話口）を使用して音声を録音する

補　足

●**録音を途中で停止するには**
録音中に◙（停止）を押します。

●**音声メモが録音されると**
待受画面に と、音声メモの録音件数が表示されます。音声メモを再生または消去すると、アイコンが消えます。

●**録音件数がすでに3件あるときは**
録音できません。不要な音声メモを消去してください。

●**音声メモを再生／消去するには（→P.58）**

●**イヤホンマイク（市販品）を接続しているときは**
操作2でイヤホンマイク（市販品）のマイクを使用して、音声メモを録音できます。

電波の送出を停止する

電源を切ることなく、電波の送受信を停止することができます。電話やメールにわずらわされたくないときに便利です。

［お買い上げ時］
■停止していない状態

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「5 通信設定」→「7 無線停止」の順に選択する

2 「はい」を選択する

補　足

●**無線停止を設定すると**
待受画面に が表示されます。

●**無線停止を解除するには**
無線停止中に操作1～2を行います。

ご注意

●電源を切っても、無線停止は解除されません。

●無線停止中でも、「110番」（警察）、「119番」（消防署）、「118番」（海上保安本部）への発信は可能です。緊急発信をしたあとは、無線停止が解除されます。警察、消防などから確認などの連絡がある場合に備えて緊急発信後しばらくは無線停止を解除したままにし、電源も入れたままにしてください。

通信中の着信を設定する

通信中に電話がかかってきたときに、着信や受信を許可するかどうかを設定できます。

[お買い上げ時]
■着信する

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「❺通信設定」→「❺通信中着信」の順に選択する

2 設定を選択する

メモ

■「着信する」に設定していると

パケット通信中（Eメール送受信中を除く）に着信があったときは、パケット通信を終了し、着信中の動作になります。

通話中に別の電話がかかってきたときは、画面表示でお知らせします。

ご注意

●お使いのW-SIMのバージョンによって、動作が異なる場合があります。通信中着信機能に対応していないW-SIMの場合は、設定操作を行うと「W-SIMへの登録に失敗しました」と表示されます。

イヤホン自動応答の設定

市販のイヤホンマイクを接続しているときの着信に対して、自動応答するかどうかを設定します。

[お買い上げ時]
■ON

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「❺通信設定」→「❽イヤホン自動応答」の順に選択する

2 設定を選択する

補　足

●自動応答するまでの時間について
着信してから自動応答が起動するまでの時間は5秒です。

ご注意

●「留守番電話設定」の「応答時間」（→P.64）が0〜5秒に設定されている場合は、「留守番電話設定」が優先されます。

●イヤホン自動応答を「ON」に設定していても、着信後にイヤホンマイク（市販品）を装着した場合は自動応答しません。

●イヤホン自動応答を「ON」に設定していても、「安全運転モード」が設定されている場合は、イヤホンマイク（市販品）による通話はできません。

●イヤホン自動応答を「ON」に設定していても、着信後にイヤホンマイク（市販品）を抜いた場合は自動応答しません。再接続したタイミングで応答します。

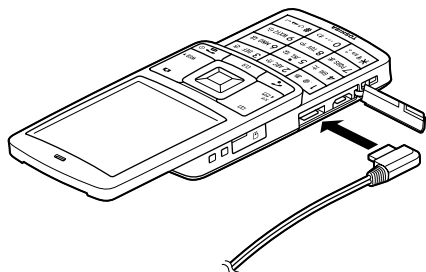
●着信音はスピーカーから聞こえます。イヤホンからは聞こえません。

●スイッチ付イヤホンマイク（市販品）をご使用の場合は、イヤホンのスイッチで電話を受けたり切ったりできます。

●ご使用のイヤホンマイクの機種によっては、正常に動作しない場合があります。

メ モ

■イヤホンマイクの接続について

市販のイヤホンマイクを接続するときは、イヤホン端子キャップを開けて、イヤホンマイクのコネクタを差し込みます。

赤外線通信の利用

赤外線通信機能を搭載した電話機やパソコンなどとの間で、次のデータをやり取りできます。

受信できるデータ	受信すると
アドレス帳データ（1件送信されたデータ）、プロフィール、vCard形式（拡張子.vcf）のファイル	本体のアドレス帳に登録される
画像やサウンドなどの各種ファイル	種類により振り分けられて、適応する本体のデータフォルダやmicroSDカードに保存される 分類不可能なファイルは「その他データ」フォルダに保存される
アドレス帳とプロフィール（全件送信されたデータ）	本体のアドレス帳に登録される 登録時に、上書きまたは追加を選択できる

送信できるデータ	送信すると
プロフィール	vCard形式のファイルとして送信される
データフォルダの各種ファイル	1ファイルとして送信される
microSDカードの各種ファイル	1ファイルとして送信される
本体のアドレス帳（1件送信）	vCard形式のファイルとして送信される
本体のアドレス帳（全件送信）	本体のアドレス帳全件とプロフィールが1つのvCard形式ファイルとして送信される

ご注意

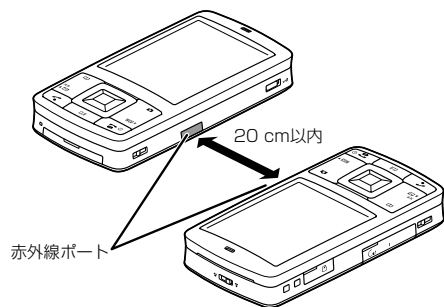
●受信できる1件のデータの容量は、最大約1Mバイトです。容量によっては、通信に時間がかかる場合や正しく受信できない場合があります。

赤外線通信をするときは

次のことに注意してください。

・赤外線ポートがまっすぐ向き合うようにし、20 cm以内に近づけてください。

・データの送受信が終わるまで、電話機を動かさないでください。

・直射日光が当たる場所、蛍光灯の真下、赤外線装置の近くなどでは、正常に通信できないことがあります。

補　足

●**「接続中」状態が60秒以上続いたときは**
60秒以上データの受信がなかったときは、「やりなおしますか」と表示されます。上記の注意点を確認して、操作をやり直してください。

ご注意

●赤外線通信の相手となる機器や、データの形式によっては、送受信できない場合があります。

●赤外線通信機能を使ったアドレス帳の転送は、すべてのアドレス帳に対して完全な互換性を保証するものではありません。

●赤外線通信中は無線停止状態になるため、通話、メール送受信、インターネットの利用などが行えません。緊急の場合は、赤外線通信を停止してご使用ください。

データを受信する

データを1件受信する

本機を受信待ち状態にし、相手から送信されるデータを受信します。
受信したデータは本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに保存できます。

1 ◙（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「4 赤外線通信」の順に選択する

2 「1 赤外線データ受信」を選択する

3 送信側で1件送信の操作をする

4 同名ファイルの上書確認画面が表示されたら◙（確認）を押す

5 登録確認画面が表示されたら「はい」を選択する

6 保存先を選択する

ご注意

●アドレス帳のデータ（vCard形式）は、本体のアドレス帳に保存されます。

アドレス帳データを全件受信する

送受信する双方で、認証パスワード（取り決めた4桁の数字）を入力する必要があります。また、登録方法によっては、暗証番号の入力が必要です。受信したデータは本体のアドレス帳に保存できます。

1 ◙（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「4 赤外線通信」の順に選択する

2 「1 赤外線データ受信」を選択する

3 送信側で全件送信の操作をする

4 認証パスワードを入力し、「はい」を選択する

5 登録の操作をする

現在のアドレス帳データを削除して受信したデータを登録する場合は

①「1 上書保存」を選択する

②暗証番号を入力する

受信したデータをアドレス帳の空き領域に登録する場合は

「2 追加保存」を選択する

補　足

●**全データを登録できなかったときは**

登録終了後、登録できた件数が表示されます。

データを送信する

本体のアドレス帳データを1件送信する

本体のアドレス帳やW-SIMのアドレス帳データを送信します。

1 （アドレス帳）を押す

2 （切替）を押し、本体のアドレス帳／W-SIMのアドレス帳データを表示する

3 一覧画面で送信するアドレス帳データを反転表示する

4 （メニュー）を押し、「7 赤外線送信」→「1 1件送信」の順に選択する

5 「はい」を選択する

補　足

●**アドレス帳閲覧画面からの赤外線送信について**

アドレス帳閲覧画面から赤外線送信する場合には、1件送信のみになります。

プロフィールのデータを送信する

プロフィールのデータは、アドレス帳データの1件として送信されます。

1 ◙（メインメニュー）を押し、0 を押してプロフィールを表示する

2 （赤外線送信）を押し、「はい」を選択する

データフォルダのファイルを1件送信する

本体のデータフォルダやmicroSDカードのファイルを送信モード（通常／高速）を選択して送信します。

1 ［メインメニューキー］（メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する

フォルダ表示を切り替える場合は
［キー］を押すごとに、本体のデータフォルダとmicroSDカードのフォルダを切り替えて表示します。

2 フォルダを選択し、一覧画面で送信するファイルを反転表示する

3 ［キー］（メニュー）を押し、「5 赤外線送信」を選択する

4 送信モードを選択し、「はい」を選択する

本体のアドレス帳とプロフィールをまとめて送信する（全件送信）

送信時には、本機の暗証番号の入力が必要です。また、送受信する双方で、認証パスワード（取り決めた4桁の数字）を入力する必要があります。

1 ［キー］（アドレス帳）を押す

2 ［キー］（切替）を押し、本体のアドレス帳を表示する

3 ［キー］（メニュー）を押し、「7 赤外線送信」→「2 全件送信」の順に選択する

4 暗証番号を入力し、「はい」を選択する

5 認証パスワードを入力する

補　足

●**シークレットを設定したアドレス帳データを除いて送信するには**
シークレットモード（→P.98）を「表示しない」に設定した状態で全件送信を行います。

●**シークレットを設定したアドレス帳データも含めて全件送信するには**
シークレットモードを「表示する」に設定して全件送信を行います。

●**メニューから全件送信を行うには**
① ［メインメニューキー］（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「4 赤外線通信」→「2 赤外線データ送信」→「2 本体アドレス帳」→「2 全件送信」の順に選択する
② 操作4～5を行う

Java™アプリの利用

この製品には、Java™アプリケーションを実行するためのJava™実行環境「JV-Lite2」が搭載されています。ゲームなどのアプリケーションを、インターネットからダウンロードしたり、パソコンから転送するなどして本機で利用できます。

■Java™アプリのファイルについて

インストール可能な1アプリの最大容量：約1MB
Java™アプリ全体のメモリ容量：約4MB

Java™アプリをインストールする

Java™対応サイトからお好みのアプリケーションをインストールできます。インストールしたアプリケーションは、「アプリ一覧」に表示されます。

Java™アプリを提供するWebサイトからインストールします。

1 CLR を1秒以上押す

メニューを使って操作する場合は
● （メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「6 Java™アプリ」を選択する

2 「公式サイトから探す」を反転表示し、●（決定）を押す

3 画面の指示に従ってJava™アプリをインストールする

ご注意

●公式サイトからのインストールは、電波状況の良い場所で行ってください。電波状況が悪い場所や移動中は、正しくインストールされない場合があります。

●Java™アプリ用の空き容量が足りない場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なJava™アプリを削除して空き容量を確保してください。この場合、ダウンロードしたJava™アプリが削除されます。Java™アプリによっては有料のものもありますので、削除にはご注意ください。再度インストールする場合は、Java™アプリをもう一度ダウンロードしてください。

●公式サイトからインストールしたJava™アプリは、インストール時に使用したW-SIMを本機に装着していない場合には利用できません。

補　足

● **WEB から操作する場合は**

① WEB を押し、「1 公式サイト」を選択する
②画面の指示に従ってJava™アプリをインストールする

データフォルダからインストールする

本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに保存されているJava™アプリをインストールします。

1 ●（メインメニュー）を押し、「データフォルダ」を選択する

2 その他データフォルダを選択する

3 一覧画面でJava™アプリのファイル（拡張子.jad）を反転表示し、●（表示／再生）を押す

補　足

●**各Java™アプリの操作について**
インストールしたJava™アプリの動作については、各Java™アプリ提供会社にお問い合わせください。

Java™アプリを起動する

1 [CLR]を1秒以上押す

メニューから選択する場合

[■]（メインメニュー）を押し、「アクセサリ」→「6 Java™アプリ」の順に選択する

2 起動したいJava™アプリを反転表示し、[■]（決定）を押す

フォルダを選択した場合は

① フォルダを反転表示し、[■]（決定）を押す

② Java™アプリを反転表示し、[■]（決定）を押す

3 各アプリケーションの画面の指示に従って操作する

ご注意

●Java™アプリ動作中は、待受画面のお知らせ、下段ピクトが表示されません。

メモ

■アプリ一覧画面のメニューについて

メニューから次の操作ができます。アプリ一覧画面で反転表示しているJava™アプリによって、選択できるメニューは異なります。

メニュー	内容
待受	設定可能なJava™アプリを待受に設定します。
詳細情報	Java™アプリの詳細情報を表示します。
アップデート	Java™アプリを新しいバージョンに更新します。
削除	フォルダ削除*、Java™アプリの削除、選択削除、全削除から選んで削除します。
移動	Java™アプリをフォルダへ移動します。
ソート	条件を設定して、Java™アプリ一覧を並べ替えます。
新規フォルダ作成	フォルダを作成して、Java™アプリを管理しやすくします。
フォルダ名編集*	任意のフォルダ名を設定します。
Java™アプリの設定	許可設定、ショートカット登録を行います（→P.249）。
システム情報	Java™アプリのメモリ使用状況などを表示します。

＊フォルダを選択している場合のみ

■Java™アプリの設定について

設定できる項目は次のとおりです。

項目	内容
許可設定	Java™アプリの意図しない動作を防ぐために、各動作に対して、許可レベルや動作の制限を設定します。 ＜設定項目＞ ネットワーク接続、ローカルポート使用、自動起動、ユーザデータ読み込み、ユーザデータ書き込み、同期
ショートカット登録	選択したJava™アプリをパーソナルメニューに登録します。 パーソナルメニューの利用（→P.232）

その他の機能

ソフトウェアの更新

本機のソフトウェアがバージョンアップされた場合、本機を利用して最新のソフトウェアに更新することができます。ソフトウェアのダウンロードにはオンラインサインアップ（→P.104）が必要です。

ソフトウェア更新の準備

ソフトウェアの更新を行う前に、必ず以下の項目について確認してください。

- 電波の状態がよい環境で、移動せずに更新作業が行えること
- 「無線停止」設定になっていないこと（→P.242）
- Web接続時の表示モードが「ケータイモード」になっていること（→P.140）

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「✱ソフトウェア更新」の順に選択する

2 「はい」を選択する

専用サイトに接続し、お使いのソフトウェアより新しいバージョンが公開されている場合は、ソフトウェアの読み込みを開始します。

ファームウェアの読み込み、および書き換えが完了するまで、移動しないでください。

また、電源を切ったり、電池パックを抜いたり、W-SIMを取り出したりしないでください。

3 「はい」を選択する

本機が再起動し、ファームウェアの書き換えを開始します。

補　足

●**読み込みが完了すると**
結果をチェックし、正しく読み込まれた場合はファームウェアの書き換えを開始することができます。

ご注意

●ソフトウェア更新は、無料で行えます。

●ソフトウェア更新は、インターネット経由で行われますが、接続料金は課金されません。

●ソフトウェア更新中の着信、およびその他の操作は行えません。

●ソフトウェアの更新は電波の強い場所で行ってください。電波の受信状態が悪い場合、更新に失敗することがあります。

●十分に充電してから更新を開始してください（卓上ホルダーやマイクロUSBケーブルで充電しながらでも更新ができます）。更新中のバッテリー残量が不足すると、更新に失敗することがあります。更新に失敗したり中止したときは、再度、更新をやり直してください。

●「管理者ロック」（→P.215）の「Web操作」が「制限する」に設定されていても、ソフトウェア更新を行うことができます。
ただし、「ダイヤルアップ制限」、「Web通信制限」が「制限する」に設定されている場合は、ソフトウェア更新を行うことができません。

ウィルコムの各種サービス

留守番／着信転送サービスの利用

電話に出られない状況に備えて、ウィルコムでは「留守番電話サービス」および「着信転送サービス」を行っています。

ご注意

- 留守番電話サービスと着信転送サービスは同時にご利用になれません。必要に応じてサービスを切り替えてご利用ください（→P.253）。

留守番電話サービス（有料）

電源を切っているときやサービスエリア外にいるとき、すぐに電話に出られないときなどに、ウィルコムの留守番電話センターがお客様に代わってメッセージをお預かりするサービスです。

メッセージの最大録音時間は1件あたり約60秒、最大保存件数は20件です。メッセージは約73時間保存されます（保存延長も可能）。

詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

ご注意

- 留守番電話サービスをご利用いただくには、あらかじめウィルコムへのお申し込みが必要です。
- 留守番電話サービスは、電話機本体の留守番電話（→P.64）とは異なりますのでご注意ください。本体の留守番電話では、電源を切っているときやサービスエリア外でメッセージを録音することはできません。

着信転送サービス（無料）

電源を切っているときやサービスエリア外にいるとき、または通話中のときに、かかってきた電話を他の電話に転送するサービスです。転送先には他のウィルコムの電話機や一般電話、携帯電話などの電話番号を指定できます。

詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

ご注意

- 着信転送サービスをご利用いただくには、あらかじめ設定が必要です。
- 本機までの通話料金（本機の電源を切ったエリアまで／本機がサービスエリア外になる直前のエリアまで／通話中の本機まで）は発信者の負担となり、転送先までの通話料金はご契約者の負担となります。転送先の電話が応答した時点でご契約者負担の通話料金が発生します。
- 海外など、一部、転送先に指定できない電話機があります。
- 転送先には、発信者番号や非通知理由が表示されません。

留守番電話／着信転送サービスの設定をする

留守番電話センターにダイヤルし、留守番電話サービスおよび着信転送サービスの切り替えや起動、停止、内容の変更をすることができます。

受付時間は5:00～24:00（年中無休）です。

メニュー操作でダイヤルする

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「6 留守番電話設定」→「5 ネットワーク留守電操作」→「2 サービス切替」の順に選択する

2 ガイダンスに従って操作する

電話番号を入力してダイヤルする

メニュー操作でなく、ダイヤル操作で留守番電話センターにかけることもできます。

1 本機から「143」（無料）にダイヤルする

2 ガイダンスに従って操作する

メ モ

■一般加入電話や公衆電話からの操作について

プッシュ信号を送出できる電話機からも、サービスの切り替えや設定変更ができます。「0077-776」に電話をかけ、ガイダンスに従って操作してください。

■暗証番号について

一般加入電話や公衆電話から設定の変更を行う場合は、サービス契約時に指定した暗証番号の入力が必要です。本機の暗証番号とは異なります。

暗証番号は、変更することができます。次の番号に電話をかけ、ガイダンスに従って操作します。

・ウィルコムの電話から「143」

・一般加入電話や公衆電話から「0077-776」

留守番電話センターに保存されたメッセージを聞く

「センター留守電あり」が表示されているときに再生する

留守番電話センターでメッセージをお預かりすると、待受画面に「センター留守電あり」と表示してお知らせします。次のように操作して、メッセージを聞いてください。

1 待受画面で「センター留守電あり」を選択する

2 ガイダンスに従って操作する

補　足

●メッセージの有無を確認するには

次の操作により、メッセージの有無をより早く確認することができます。メッセージがある場合は、操作後「センター留守電あり」がお知らせ表示されます。

① 本機から「141」（無料）にダイヤルする

② 「ツー」という発信音のあと、電話を切る

メニュー操作でメッセージを再生する

留守番電話センターにつながったら、ガイダンスに従って操作してください。

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「6 留守番電話設定」→「5 ネットワーク留守電操作」→「1 留守再生」の順に選択する

2 ガイダンスに従って操作する

ダイヤル操作でメッセージを再生する

本機から留守番電話センターにダイヤルして電話をかけ、メッセージを再生します。メッセージを聞く前に相手の電話番号を確認するか、メッセージだけを聞くかによって、ダイヤルする番号が異なります。

1 留守番電話センターの番号を入力する

相手の電話番号も聞く場合は

「＊9311」を入力する

メッセージだけを聞く場合は

「＊931」を入力する

2 [発信キー]を押す

3 ガイダンスに従って操作する

メ モ

■「＊9311」と「＊931」について

「＊9311」は「発信者番号読み上げあり」、「＊931」は「発信者番号読み上げなし」の番号です。

「メニュー操作でメッセージを再生する」(→P.253)は、「＊9311」にダイヤルする操作です。録音されているメッセージを再生する前に、録音した発信者の電話番号を読み上げます（発信者の電話機によっては、電話番号を読み上げられない場合があります）。

■一般加入電話や公衆電話からの操作について

プッシュ信号を送出できる電話機からも、メッセージを聞くことができます。「0077-780-931」に電話をかけ、ガイダンスに従って操作してください。

■暗証番号について

一般加入電話や公衆電話からメッセージを聞く場合は、サービス契約時に登録した暗証番号の入力が必要です。本機の暗証番号とは異なります。

分計サービス（有料）の利用

ウィルコムでは、通話料金の請求先を2か所に分けることができる「分計サービス」を行っています。分計でない通話料はご契約者（主計先）への請求となり、分計で発信したときの通話料金は、あらかじめ登録した分計先への請求となります。ビジネスとプライベートの使い分けなどにご利用ください。

ご利用いただくには、あらかじめお申し込みが必要です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

補 足

●分計で電話をかけると

発信中および通話中の画面に[分計アイコン]が表示され、通話を終了すると[分計アイコン]が消えます。発信履歴には 分計 が表示されます。

ご注意

●月額基本料金、付加サービス使用料金などは、主計先に請求されます。

●無料通話を含む料金コースをご利用の場合、分計利用分は無料通話に含まれません。

●次の機能では、分計サービスをご利用になれません。
- ライトメール
- Eメール
- インターネットサイト閲覧
- パケットデータ通信

分計で電話をかける

電話番号をあらかじめアドレス帳に登録し、分計発信を設定しておく方法と、発信するごとに分計の設定を行う方法の2通りがあります。

「分計発信する」のアドレス帳を使って分計発信する

分計で電話をかける頻度が高い電話番号は、あらかじめアドレス帳に登録し、「分計発信する」を設定しておくと便利です（→P.86）。アドレス帳を検索したり、発信履歴や着信履歴を使ってこの電話番号に発信するだけで、分計発信ができます。

ご注意

●「分計発信する」が設定されているアドレス帳を使って、分計でない発信をすることはできません。アドレス帳の一覧画面のメニューから「4発信」を選択するか、閲覧画面のメニューから「4発信」を選択し、「❶発信」、「❷184発信」、「❸186発信」のいずれかを選択しても、分計発信となります。

「分計発信しない」のアドレス帳を使って分計発信する

発信時の操作により、分計で発信することができます。電話番号に「184」や「186」を付けた発信もできます。このとき、発信中および通話中の画面には が表示されます。

1 アドレス帳を検索し、一覧画面で目的のアドレス帳を反転表示するか、閲覧画面で目的の電話番号を反転表示する

2 （メニュー）を押し、「4発信」を選択する

3 「❹分計発信」、「❺分計184発信」、「❻分計186発信」のいずれかを選択する

補　足

●アドレス帳から電話をかけるには（→P.96）

電話番号を入力して分計発信する

アドレス帳を使わず、電話番号を入力して分計発信をするときは、1通話ごとに分計のための操作が必要です。電話番号に「184」や「186」を付けた分計発信もできます。

1 電話番号を入力する

2 （メニュー）を押し、「❹分計発信」、「❺分計184発信」、「❻分計186発信」のいずれかを選択する

国際ローミング(お申し込み必要)の利用

ウィルコムの国際ローミングにお申し込みいただくと、台湾やタイ、ベトナムで本機をご利用いただけます。お申し込みのあと、本機での国（エリア）設定、ローミング情報の登録が必要です。利用できる国・地域／事業者なども含め、詳細についてはウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。
本機を充電する際のACアダプタACW023Tは、AC100Vに対応しています。海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。

ご注意

●国際ローミングのご利用料金は、渡航される国・地域によって違います。また、ご利用料金コースにかかわらず、一律「基本料金」＋「通話料」が発生します。詳しくはウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

国際ローミングの利用を申し込む

国際ローミングにお申し込みになると、通常のウィルコム電話番号のほかにローミング電話番号が取得できます。お申し込み後、約30～60分の間にお客様宛てのライトメールが送信され、これを受信すると、ローミング情報が自動的に本機に登録されます。

1 渡航前にウィルコムサービスセンターに申し込む

2 タイ、ベトナムの場合は、ライトメールを受信する

台湾の場合は、お申し込み時にローミング電話番号をお知らせします。ローミング情報を自動的に登録するライトメールは送信されません。

補　足

●**ローミングモード中にウィルコム電話番号宛ての電話を受けたいときは**
「ローミング先転送」をお申し込みください。

ご注意

●タイ、ベトナムの場合は、ライトメールを受信すると国際ローミングの設定は完了です。ライトメールには、ローミング先での重要な情報が記載されていますので、ローミングが終了するまで削除しないようご注意ください。

●台湾でご利用の場合は、ローミングモードの切替だけで利用できますが、ローミング電話番号を忘れないよう、ローミング電話番号を手動で登録します。詳しくは、「ローミング情報を手動で登録する」（→P.257）を参照してください。

国際ローミングを開始する

国際ローミングをお申し込みいただいた国・地域で本機をご使用になるには、ローミングモードへの切り替えが必要です。

［お買い上げ時］
■日本／ウィルコム

1 ◙（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「9 国際ローミング」→「1 国・地域／事業者選択」の順に選択する

2 国・地域／事業者を選択する

3 「はい」を選択する

補　足

●**ローミングモードに切り替えると**
台湾のときは待受画面に「Rm 台湾」、タイのときは「Rm タイ」、ベトナムのときは「Rm ベトナム」が表示されます。

●**ローミングモードでの時刻調整について**
ローミングモード時は、時差情報により本機の時刻は現地時間に合わせて自動的に調整されます。

●**日本に帰国した場合は**
国・地域／事業者の選択を「日本／ウィルコム」に変更してください。

ご注意

●ローミングモードでは、次の機能はご利用になれません。
- 安全運転モードのネットワーク応答、ネットワーク応答／録音の切り替え
- 発信者番号通知機能（184、186）
- 分計発信
- ライトメール送信・受信
- Eメール自動受信
- 位置情報関連機能
- 通信中着信
- ソフトウェア更新
- 完全消去・初期化

ローミング情報を手動で登録する

国際ローミングお申し込み時に受信したライトメール、またはお申し込み時にお知らせする電話番号を利用して、手動でローミング情報を登録できます。

台湾のローミング番号を登録する

台湾のローミング電話番号を手動で登録します。

1 （メインメニュー）を押し、「基本設定」→「9 国際ローミング」→「2 ローミング情報登録」の順に選択する

2 「1 台湾／大衆電信」を選択する

3 電話番号を入力し、（確定）を押す

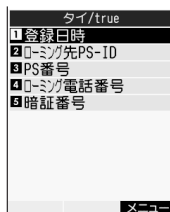
文字入力操作でコピー／カットした電話番号を登録する場合は

（メニュー）を押し、「1 貼り付け」を選択する

タイ／ベトナムのローミング情報を登録する

ローミング情報ライトメールから、各種の情報を引用して一括で貼り付けることができます。

1 （メインメニュー）を押し、「基本設定」→「9 国際ローミング」→「2 ローミング情報登録」の順に選択する

2 「2 タイ／true」または「3 ベトナム／VNPT」を選択する

登録項目選択画面

3 （メニュー）を押し、「1 RM情報貼り付け」を選択する

4 （登録）を押す

補　足

●**ローミング情報を個別に登録するには**

一括で登録せずに、登録項目を個別に手動で登録することもできます。ただし、「登録日時」は変更できません。次のように操作します。
①操作1～2を行う
②項目を選択し、登録内容を入力する
③（登録）を押す
操作②では、入力画面のメニューを使い、ローミング情報ライトメールから各情報を引用して貼り付けることもできます。

メモ

■登録項目選択画面のメニューについて

メニューから次の操作ができます。

メニュー	内　容
RM情報貼り付け	ローミング情報お申し込み時に受信したローミング情報ライトメールから、一括設定します。
ローミング情報削除	登録したローミング情報を削除します。

■各登録項目入力画面のメニューについて

ローミング情報を個別に登録する場合、各登録項目を選択して登録内容を入力する画面で［メニュー］（メニュー）を押すと、次の操作ができます。

メニュー	内　容
貼り付け（各項目共通）	文字入力画面でコピー／カットした内容を貼り付けます。
PS-ID貼り付け	ローミング先PS-IDを貼り付けます。
PS番号貼り付け	PS番号を貼り付けます。
電話番号貼り付け	ローミング電話番号を貼り付けます。
暗証番号貼り付け	暗証番号を貼り付けます。

ご注意

●ここで登録する暗証番号は、国際ローミングのお申し込み時にウィルコムから発行されたローミング情報ライトメールで通知される暗証番号です。

滞在国内に電話をかける

1 **電話番号を入力する**

2 **［通話］を押す**

日本や滞在国外に電話をかける

国際ローミング中に他の国や日本に電話をかけるときには、相手国の国番号の前に、国際プリフィックス番号を付ける必要があります。本機では、簡単な操作で国際プリフィックス番号を入力することができます。

たとえば、日本に電話をかける場合には、国際プリフィックス番号と日本の国番号を簡単な操作で入力したあと、先頭の「0」を除いた相手の電話番号を入力します。

<例>日本の「070-1234-××××」に電話をかける場合

1 **［＊］［＊］を押す**

2 **「81」（日本の国番号）を入力する**

3 **先頭の「0」を除いた相手の電話番号「70-1234-××××」を入力する**

4 **［通話］を押す**

ローミング情報を削除する

国際ローミングを解約後、登録されているローミング情報を削除します。

1 **［●］（メインメニュー）を押し、「基本設定」→「9 国際ローミング」→「2 ローミング情報登録」の順に選択する**

2 **国・地域／事業者を選択する**

3 **［メニュー］（メニュー）を押し、「2／3 ローミング情報削除」を選択する**

4 **「はい」を選択する**

付　録

お買い上げ時の設定

メインメニュー画面から、次の9つの機能が呼び出せます。

・メール（→P.101）　・データフォルダ（→P.177）　・Web（→P.133）
・スケジュール（カレンダー画面→P.206）　・基本設定（「音・表示・照明の設定」→P.189、「時計の設定」→P.49ほか）　・アドレス帳（→P.83）・アクセサリ（「電卓の利用」→P.233、「赤外線通信の利用」→P.244ほか）　・カメラ（→P.161）　・セキュリティ（→P.213）

メール

機　能					お買い上げ時の設定	参　照
受信BOX					（フォルダ名：ユーザ受信BOX1～8、振り分け設定：未設定）	P.121～123
送信BOX					－	P.117～118
未送信BOX					－	
新規Ｅメール作成					－	P.105～110
テンプレート	データフォルダ				（テンプレートデータ：10件）	P.109
	公式サイトから探す				－	P.111
新規ライトメール作成					－	P.112
Ｅメール問い合わせ					－	P.116
オンラインサインアップ					－	P.104
Ｅメール設定	ダイヤルアップ設定	メール用ダイヤルアップ接続先			CLUB AIR-EDGE	P.131
	Ｅメールアカウント設定	アカウント詳細設定（Eメール、アカウント2、アカウント3）	センタ名称設定		Eメール／アカウント2／アカウント3	P.128～130
			受信メール（POP）		未設定	
			送信メール（SMTP）		未設定	
			ユーザー名		未設定	
			パスワード		未設定	
			メールアドレス		未設定	
			Eメール自動受信機能		（「Eメール」アカウントのみ：ON）	
				自動受信回数（「ON」の場合）	1回	
			名前		未設定	
			署名		OFF（署名入力は未設定）	
			詳細設定	返信メールアドレス	未設定	
				Eメール削除設定	削除	
				POPポート番号	110	
				SMTPポート番号	25	
				SMTP認証	OFF	
				POPbeforeSMTP	ON（待ち時間：0秒）	
				SMTPユーザー名	未設定	
				SMTPパスワード	未設定	
				受信行数制限設定	OFF	
				認証方式設定	POP	

機　能			お買い上げ時の設定	参　照
Eメール設定	Eメール アカウント設定	送信メールアカウント選択	Eメール	P.131
		受信メールアカウント選択	毎回選択	
	オプション	返信メール本文引用	引用しない	P.120
		受信フォルダ表示	表示する	P.123
		音楽自動再生	自動再生する	P.124
メモリ使用状況確認			－	P.132

＊　メール一覧画面のメニュー（→P.124）、メール詳細画面のメニュー（→P.126）、受信BOXのフォルダ一覧画面のメニュー（→P.119）から、各種の操作が行えます。

データフォルダ／microSDカード

機　能	お買い上げ時の設定	参　照
全データ（本体のデータフォルダ表示時のみ）	－	P.178 ～188
カメラデータ（microSDカード表示時のみ）	－	
画像データ	（画像データ：6件） （表示切替：サムネイル表示）	
サウンドデータ	－ （リピート設定：リピートあり）	
アドレス帳データ	－	
テンプレートデータ	（テンプレートデータ：10件）	
その他データ	－	

＊　データフォルダ画面のメニュー（→P.178）や一覧画面のメニュー（→P.179）から、各種の操作が行えます。

Web

機　能			お買い上げ時の設定	参　照
公式サイト			－	P.135
ホーム			－	P.135
ブックマーク			（表示方法：タイトルビュー）	P.147 ～150
インターネット検索			（検索エンジン：Google、Infoseek、Yahoo!）	－
RSSリーダー	購読チャンネル設定		－	P.143 ～146
	自動更新設定		自動更新する	
		開始時刻	－	
		更新間隔	24時間	
履歴	履歴一覧		（表示方法：サムネイルビュー）	P.146、147
ページメモ			－	P.150～153
Webページを開く	アドレス入力		－	P.136
	最後のアドレス		－	P.135
	入力履歴		－	P.136
Webオプション	表示	JavaScript	有効	P.154
		アニメーション	表示する	
		画像	オンデマンド表示	
		テーブル	有効	
		自動判別言語	日本語	
		フルスクリーン	OFF	

機　能				お買い上げ時の設定	参　照
Webオプション	BGM			ON	P.154
	ポインタ			ON	P.154
	HTTP	キャッシュ	キャッシュモード	ネットワーク優先	P.155～157
			Diskキャッシュ	使用しない	
			Diskキャッシュ削除	－	
		Cookie	Cookieモード	受け入れる	
			Cookie削除	－	
		最大リフレッシュ回数		無制限	
		最大リダイレクト回数		無制限	
		ポップアップブロック		使用する	
		Referer		送信する	
		認証データ保存		有効	
		ユーザエージェント		WILLCOM	
		高速化サービス追加設定		3	
	証明書	ルート証明書	ルート証明書一覧	有効	P.157
		CA証明書	CA証明書一覧	有効	
	設定確認			－	P.158
	ホーム	アドレス編集		－	P.158
		ホームに設定		－	－
	リセット			－	P.158
ダイヤルアップ設定	接続先設定			＊1	P.159~160
	WEB用ダイヤルアップ接続先			CLUB AIR-EDGE	P.160
	メール用ダイヤルアップ接続先			CLUB AIR-EDGE	－

＊1　「基本設定」→「通信設定」→「ダイヤルアップ設定」→「接続先設定」と同じ

＊　Webページ表示中のメニューから、各種の操作が行えます（→P.137）。

スケジュール

＊　カレンダー画面のメニューや当日予定表画面のメニューから、各種の操作が行えます（→P.206、207）。

付録

基本設定

機　能				お買い上げ時の設定	参　照
音設定	着信音	電話着信音	着信メロディ	着信音1	P.190
			音量	レベル:3	P.191
			バイブ	パターン1	P.191
		Eメール受信音	着信メロディ	メール着信音1	P.190
			音量	レベル:3	P.191
			バイブ	パターン1	P.191
			鳴動時間	5秒	P.191
		ライトメール受信音	着信メロディ	メール着信音2	P.190
			音量	レベル:3	P.191
			バイブ	パターン1	P.191
			鳴動時間	5秒	P.191
	効果音	キー確認音		鳴動しない	P.192
		成功／エラー音		鳴動する	
		圏外／充電警告音		鳴動する	
		送達確認音		鳴動する	
		パワーオン／オフ音		鳴動する	
	保留音			早春賦	P.192、193
表示設定	壁紙			カラー1	P.193
	アニメーション	発信画面		固定画像	P.194
		着信画面		固定画像	
	選択色			カラー2	P.195
	ピクト日付表示			日付と時刻	P.195
	文字入力補助	ユーザ辞書		−	P.78
		予測変換設定		予測変換する	P.77
		学習内容リセット		−	P.77
		顔文字／定型文	顔文字	−	P.80〜82
			文章	−	
			ドメイン	−	
		入力モード設定	カナ	全角	P.72
			英字	半角	
			数字	半角	
		キー割当設定		やゆよゃゅょ	P.82
	文字サイズ	メール		中	P.195
		WEB		中	
		メニュー／その他		中	
照明設定	画面ライト	明るさ	メール	レベル3	P.196
			WEB	レベル3	
			メニュー／その他	レベル3	
		点灯時間	メール	10秒	P.196
			WEB	10秒	
			メニュー／その他	10秒	
		節電画面移行時間		20秒	P.197
	キーライト			ON	P.197

機能						お買い上げ時の設定	参照
照明設定	イルミネーション	電話発信／通話中	パターン			OFF	P.198
			カラー			カラー1	
		電話着信中	パターン			パターン7	
			カラー			カラー1	
		Eメール受信	パターン			パターン7	
			カラー			カラー2	
		ライトメール受信	パターン			パターン7	
			カラー			カラー2	
		Web接続中	パターン			OFF	
			カラー			カラー3	
		アラーム	パターン			パターン7	
			カラー			カラー5	
		スケジュール	パターン			パターン7	
			カラー			カラー4	
		未読／不在着信あり	パターン			ON	
			カラー			カラー3	
時計設定	日時設定					2008/01/01 00:00	P.49
	自動日時補正					自動補正する	P.50
通信設定	ダイヤルアップ設定	接続先設定	CLUB AIR-EDGE、接続先2、接続先3（注）	接続先名称		―	P.159、160
				接続先電話番号		―	
				ユーザID		―	
				パスワード		―	
				料金分計		分計しない	
				ワンタイムパスワード		利用しない	
				詳細設定	IPアドレス自動取得	取得する	
					IPアドレス	0.0.0.0	
					DNS自動取得	取得する	
					プライマリDNS	0.0.0.0	
					セカンダリDNS	0.0.0.0	
				プロキシ設定	プロキシ利用	利用しない	
					プロキシサーバ名	―	
					プロキシポート番号	0	
					プロキシ認証	認証しない	
					プロキシユーザ名	―	
					プロキシパスワード	―	
		WEB用ダイヤルアップ接続先				CLUB AIR-EDGE	P.160
		メール用ダイヤルアップ接続先				CLUB AIR-EDGE	P.131

付録

機　能			お買い上げ時の設定	参　照
通信設定	Eメールアカウント設定		＊1	－
	位置情報通知		通知しない	P.239、240
		通知許可番号	－	
		自動送出機能	送出しない	
		着信音設定	鳴動する	
		W-SIM暗証番号変更	0000	P.214
	発信者番号通知		通知する	P.49
	通信中着信		着信する	P.58
	エニーキーアンサー		応答する	P.56
	無線停止		無線動作中	P.242
	イヤホン自動応答		ON	P.243
	累積通話時間		000:00:00	P.61

＊1 「メール」→「Eメールアカウント設定」と同じ

（注）接続先1（名称CLUB AIR-EDGE）については、あらかじめ公式サイト接続のための設定が登録されています。

付録

機能					お買い上げ時の設定	参照
留守番電話設定	応答メッセージ設定	録音			–	P.65
		再生			–	
		応答メッセージ選択			固定メッセージ	
	応答時間				10秒	P.64
	応答方法				応答／録音	P.64
	音声メモ再生／消去				–	P.65
	ネットワーク留守電操作	留守再生			–	P.253
		サービス切り替え			–	
マナーモード設定	マナーモード選択				標準	P.62
	マナーモード編集	オリジナル1、オリジナル2	バイブ		パターン1	P.62
			電話着信音量		OFF	
			Eメール受信音量		OFF	
			ライトメール受信音量		OFF	
			アラーム音量		OFF	
			スケジュール音量		OFF	
			留守応答方法		応答／録音	
			画面ライト	明るさ	すべて レベル3	
				点灯時間	すべて 10秒	
				節電画面移行時間	20秒	
			充電中着信音		鳴動しない	
			効果音		OFF	
	自動起動設定	曜日指定			未設定	P.63
		時刻設定	開始時刻		00：00	
			終了時刻		00：00	
		マナーモード選択			標準	
安全運転モード設定					電話機応答／録音	P.66
国際ローミング	国・地域／事業者選択				日本／ウィルコム	P.256
	ローミング情報登録	台湾／大衆電信	ローミング電話番号		–	P.257
		タイ／true	登録日時		–	
			ローミング先PS-ID		–	
			PS番号		–	
			ローミング電話番号		–	
			暗証番号		–	
		ベトナム／VNPT	登録日時		–	
			ローミング先PS-ID		–	
			PS番号		–	
			ローミング電話番号		–	
			暗証番号		–	
プロフィール					本機の電話番号	P.50
ソフトウェア更新					–	P.250

アドレス帳

機　能		お買い上げ時の設定	参　照
本体		ー	P.83〜100
W-SIM		ー	
統合		ー	
表示設定	表示順切替	名前順	P.93〜94
	表示行数切替	一行表示	P.94

＊ アドレス帳一覧画面のメニュー（→P.95）やアドレス閲覧画面のメニュー（→P.95）から、各種の操作が行えます。

アクセサリ

機　能			お買い上げ時の設定	参　照
ガジェット・アクセサリ	ガジェット・アクセサリ		ガジェット	P.199
	ガジェット設定		ー	P.200〜202
電卓			ー	P.233
タイマー	タイマー時間		00’00”	P.233〜235
	アラーム音		アラーム音2	
	音量		レベル3	
	バイブ		パターン1	
	鳴動時間		1分	
赤外線通信			ー	P.245〜247
メモメニュー	留守音声メモ		解除する	P.64
	音声メモ録音		ー	P.242
	音声メモ再生／消去		ー	P.58
	メモ帳		ー	P.236、237
	ダイヤルメモ		ー	P.54
Java™アプリ	許可設定	ネットワーク接続	起動ごとに確認	P.202、248、249
		ローカルポート使用	起動ごとに確認	
		自動起動	起動ごとに確認	
		ユーザデータ読み込み	起動ごとに確認	
		ユーザデータ書き込み	起動ごとに確認	
		同期	起動ごとに確認	
アラーム	アラーム		OFF	P.204〜206
	繰り返し設定		毎日	
	アラーム時刻		00：00	
	アラーム音		アラーム音2	
	アラーム音量		レベル：3	
	バイブ		パターン2	
	連続アラーム		連続しない	
	鳴動時間		1分	
	アラーム画像		固定画像	
USB充電			高速	P.238

カメラ

＊　操作方法については、「カメラ」（→P.161）を参照してください。

セキュリティ

機　能			お買い上げ時の設定	参　照
暗証番号変更			1234	P.214
管理者パスワード変更			0000	P.215
管理者ロック	ダイヤル発信		制限しない	P.100、215、216
	アドレス帳操作		制限しない	
	Web操作		制限しない	
	メール操作		制限しない	
	Eメール通信制限		制限しない	
	Web通信制限		制限しない	
	ダイヤルアップ制限		制限しない	
	Java™通信制限		制限しない	
	RSS リーダー通信制限		制限しない	
キーロック	サイドロックパスワード		無効にする	P.216、217
	開閉ロック		OFF	
	オートロック		OFF	
リモートロック	許可パスワード登録		W-SIMによる	P.218～222
	サブアドレス起動	許可番号登録	－	
		リモートロック	未設定	
	ライトメール起動	許可番号登録	－	
		リモートロック	未設定	
着信拒否	指定番号拒否		拒否しない	P.222～224
	指定番号登録		－	
	ユーザ非通知		拒否しない	
	公衆電話発信		拒否しない	
	通知不可能着信		拒否しない	
	アドレス帳外着信		拒否しない	
	着信拒否全解除		－	
シークレットモード			表示する	P.98
発信先限定	発信先限定		限定しない	P.225～226
	発信先限定登録		－	
W-SIM設定	PINロック		解除	P.226
	PIN番号変更		未設定	P.227
	W-SIM暗証番号変更		0000	P.214
一括消去／リセット	メモリ一括消去		－	P.228
	設定リセット		－	P.228
	完全消去＋初期化	W-SIM	－	P.229
		本体	－	
		すべて	－	

かんたん機能ガイド

待受画面

起動される機能	キー操作	説　明
アドレス帳一覧	（アドレス帳）を押す	直前に表示していたアドレス帳（本体・W-SIM・統合）の一覧を表示する
アドレス帳新規登録画面	(アドレス帳)を1秒以上押す	参照していたアドレス帳の新規登録画面を表示する
Java™アプリ一覧	CLR を1秒以上押す	Java™アプリの一覧画面を表示する
アンテナサーチ	を1秒以上押す	アンテナサーチを行う
メールメニュー	を押す	メールメニュー画面を表示する
新規メール作成画面	を1秒以上押す	Eメールの新規メール作成画面を表示する
Webメニュー画面	を押す	Webメニュー一覧画面を表示する
ホーム接続	を1秒以上押す	Webオプションで設定済みのホームへ接続する
ウィルコム ガジェット／Java™アプリ	を押す	ウィルコム ガジェット／待受Java™アプリを表示する
お知らせ表示画面	を押す	（お知らせ表示あり）お知らせ表示画面／（お知らせ表示なし）通常待受を表示する
パーソナル	を押す	パーソナルメニュー一覧を表示する
留守起動／解除	を1秒以上押す	留守音声メモ起動／解除を設定する
着信履歴	を押す	着信履歴を表示する
受信BOX一覧	を1秒以上押す	メールの受信BOX一覧画面を表示する
発信履歴	を押す	発信履歴を表示する
送信BOX	を1秒以上押す	メールの送信BOXを表示する
メインメニュー	を押す	メインメニュー画面を表示する
カメラ	を押す	カメラメニューを表示する
発信	を押す	オフフック発信を行う
LI送出	を1秒以上押す	位置情報を送出する（位置情報通知する）／動作なし（位置情報通知しない）
マナーモード	を1秒以上押す	マナーモードを起動／解除する
電源OFF	を2秒以上押す	電源OFFする
安全運転モード	を1秒以上押す	安全運転モードを設定／解除する
発信	1 ～ 9 、0 → を押す	アドレス帳メモリ番号1桁または、2桁→スピードダイヤル発信 3桁以上は電話番号として発信

付録

起動される機能	キー操作	説　明
ポーズ	1～9、0→（P）を押す	ポーズを入力する
選択発信メニュー	1～9、0→（メニュー）を押す	選択発信方法が選べる
Eメール作成	1～9、0（0～99）→ を押す	本体のアドレス帳メモリ番号のメールアドレスを入力した状態でEメールを作成できる

通話中

起動される機能	キー操作	説　明
メモメニュー	（メモメニュー）を押す	メモメニューを表示する
通話中音声メモ録音	（メモメニュー）を1秒以上押す	通話中に相手の音声を録音する
メニュー	（メニュー）を押す	通話メニューを表示する
アンテナサーチ	を1秒以上押す	電波のよい基地局を探す
保留／保留解除	を押す	通話を保留して「保留音」を再生したり、保留を解除する
小声通話開始／解除	を1秒以上押す	小声通話を開始したり、解除したりする
受話音量の変更	を押す	：受話音量を大きくする ：受話音量を小さくする
アドレス帳一覧	を押す	直前に使用していたアドレス帳を表示する
ポーズ中ダイヤル送出	を押す	「P」で停止していたダイヤルの残りを送出する
PB信号送出	1～9、0、# を押す	押したキーのPB信号を送出する
プロフィール	＋0	プロフィールを表示する
通話終了	を押す	(節電画面中、他の画面表示中でも）通話を終了する

リスト表示やメール閲覧中

起動される機能	キー操作	説　明
上スクロール	を押す	1画面に収まらないリスト表示やメールの場合、上へスクロールする
下スクロール	を押す	1画面に収まらないリスト表示やメールの場合、下へスクロールする

メインメニュー

起動される機能	キー操作	説　明
各機能	1 〜 9 を押す	数字キーの 1 〜 9 がメインメニューの配列と同じであり、キーを押下すると、各機能へ遷移する
プロフィール	0 を押す	プロフィール画面を表示する

カメラ機能（モニター画面）

＊ カメラ機能のモニター画面でできるキー操作は、キーガイド画面を表示するとひと目でわかるようになっています。「キーガイドを表示する」を参照してください (→P.171)。

アクセサリメニュー

起動される機能	キー操作	説　明
各機能	ページ1で 1 〜 7 を押す	メニューアイコンの左に表示された数字キーを押下すると各機能へと遷移できる
USB充電機能	ページ2で 1 を押す	USB充電機能へと遷移できる

Web閲覧中

＊ Web閲覧中のキー操作については、「Webページ表示中の操作」を参照してください (→P.136)。

メール詳細画面閲覧中

起動される機能	キー操作	説　明
次のメールへ	◀ を押す	次のメールを表示する
前のメールへ	▶ を押す	前のメールを表示する

アドレス一覧表示中

起動される機能	キー操作	説　明
タブの変更	1 〜 9 、 * 、 0 、 # を押す	表示順設定に応じて、タブ、グループ、メモリ番号範囲を移動する 左記は表示順が名前順の時 グループ順の場合 1 〜 9 、 0 メモリ番号順の場合 1 〜 6 、 0

付録

記号一覧

半角記号

! " # $ % & ' ( ) *
+ , - . / : ; < = >
? @ [¥] ^ _ ` { |
} ~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ﾞ ﾟ

全角記号

1						
、	。	，	．	・	：	；
？	！	゛	゜	´	｀	¨
＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ
〃	仝	々	〆	〇	ー	―
‐	／	＼	～	‖	｜	…
‥	‘	’	“	”	（	）
〔	〕	［	］	｛	｝	〈
〉	《	》	「	」	『	』
【	】	＋	－	±	×	÷
＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞
∴	♂	♀	°	′	″	℃
￥	＄	￠	￡	％	＃	＆
＊	＠	§	☆	★	○	●
◎	◇	◆	□	■	△	▲
▽	▼	※	〒	→	←	↑
↓	〓	∈	∋	⊆	⊇	⊂
⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒
⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒	∂
∇	≡	≒	≪	≫	√	∽
∝	∵	∫	∬	Å	‰	♯
♭	♪	†	‡	¶	◯	

2						
Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η
Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ
Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ
Χ	Ψ	Ω	α	β	γ	δ
ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ
μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ
τ	υ	φ	χ	ψ	ω	А
Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж
З	И	Й	К	Л	М	Н
О	П	Р	С	Т	У	Ф
Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
Ь	Э	Ю	Я	а	б	в
г	д	е	ё	ж	з	и
й	к	л	м	н	о	п
р	с	т	у	ф	х	ц
ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
ю	я	─	│	┌	┐	┘
└	├	┬	┤	┴	┼	━
┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷
┿	┝	┰	┥	┸	╂	

3						
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ
Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ
Ⅸ	Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘
㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦
㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞
㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟
№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧
㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥
∠	∟	⊿	∵	∩	∪	

絵文字一覧

絵文字

感情／気持
顔／からだ
天気／季節
趣味／スポーツ
ファッション
生物／自然
食物／飲物
乗り物

数字／星座
お店／地図
MUFG
pm
電話／道具
記号／マーク
重
777

Web絵文字

付録

区点コード一覧

区　点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010			、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
059										
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
079										
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							

＊ 登録されていない区点は、画面上に「・」が表示されます。

付録

区点 1～3桁	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	あ									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	い									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	え									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓

区点 1～3桁	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	か									
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									

区　点 1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山

区　点 1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	さ									
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	し									
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳						
	そ									
332					糎	噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	た									
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						

区 点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	な									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	に									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ぬ									
390									濡	
	ね									
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	の									
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	は									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ひ									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	ふ									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布

区 点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ふ									
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	へ									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	ほ									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	ま									
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	み									
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	む									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	め									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	も									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙

区　点 1〜3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	も									
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門								
	や									
447			匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	ゆ									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	よ									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	ら									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	り									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	る									
466	瑠	塁	涙	累	類					
	れ									
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ろ									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	わ									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
519	圀	囹	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐

区　点 1～3桁	区点4桁目 0	 1	 2	 3	 4	 5	 6	 7	 8	 9
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴

区　点 1～3桁	区点4桁目 0	 1	 2	 3	 4	 5	 6	 7	 8	 9
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖

区　点 1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
699	繖	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻

区　点 1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

付録

こんなときは

故障とお考えになる前に、次のことをご確認ください。それでも状態が改善されない場合は、使用を中止して、東芝PHSカスタマーデスクまたは、ウィルコムサービスセンターにご連絡ください。

本体について

こんなときは	ここを確認してください
電源が入らない	を2秒以上押していますか？（→P.42）
	電池パックは正しく取り付けられていますか？（→P.36）
	電池がなくなっていませんか？（→P.40）
電話をかけられない	「圏外」が表示されていませんか？（→P.32）
	サービスエリア外または電波の弱い場所にいませんか？
	電話番号を正しく（市外局番から）入力しましたか？
	を押しましたか？（→P.54、55、96）
	キーロックが設定されていませんか？（→P.216、217）
	ダイヤル発信が「制限する」に設定されていませんか？（→P.215、216）
	W-SIMは正しく取り付けられていますか？（→P.34、35）
	無線停止が設定されていませんか？（→P.242）
	発信先限定が「限定する」に設定されていませんか？　「限定する」の場合、登録されている電話番号にしか電話をかけられません。（→P.225）
	メモリや設定の消去、リセットなどを実行していませんか？　消去やリセットの処理中は、一時的に発信や着信ができなくなります。
	回線が混みあっている可能性があります。
突然電話が切れた	電池がなくなっていませんか？（→P.40）
	「圏外」が表示されていませんか？（→P.32）
	サービスエリア外または電波の弱い場所にいませんか？
	電源は入っていますか？（→P.42）
	W-SIMは正しく取り付けられていますか？（→P.34、35）
設定と違う着信音が鳴る	同じ電話番号に対して着信音の設定が複数行われている場合、優先順位は次のようになります。 1. 個別着信 2. グループ着信 3. 基本設定の音設定
着信音が鳴らない	着信音の音量が「OFF」に設定されていませんか？（→P.191）
	マナーモード中ではありませんか？（→P.61）
	安全運転モード中ではありませんか？（→P.66、67）
相手の声が聞こえない	受話音量が小さくなっていませんか？（→P.57）
キー操作ができない	キーロックが設定されていませんか？（→P.216、217）
	電池残量がなくなり、が表示されていませんか？（→P.40）

こんなときは	ここを確認してください
充電できない	ACアダプタの電源プラグを電源コンセントに差し込んでいますか？（→P.39）
	本体の充電端子（→P.30、31）は汚れていませんか？
	卓上ホルダーの充電端子は汚れていませんか？（→P.38）
	卓上ホルダーに正しく置かれていますか？（→P.38）
	マイクロUSBケーブルを接続している機器に問題はありませんか？（USB充電の場合）
	USB充電が「OFF」に設定されていませんか？（→P.238）
充電をしてもすぐに電池がなくなる	圏外や電波の届きにくい場所でのご利用や、メール、インターネットなどのご利用が多い場合は、電池の減りが早くなります。
	通常のご使用で利用可能時間が短くなった場合は、電池パックの寿命です。電池パックを交換してください。

Eメール／ライトメールについて

こんなときは	ここを確認してください
Eメール（オンラインサインアップで取得したウィルコムのEメールアカウント）／ライトメールの送受信ができない	オンラインサインアップはしましたか？（→P.104）
	W-SIMを取り付けていますか？（→P.34、35）
	オンラインサインアップで「蓄積」を「しない」に設定していませんか？（→P.104）
	「ダイヤルアップ設定」の接続先を「CLUB AIR-EDGE」に設定していますか？（→P.159） 「CLUB AIR-EDGE」に設定している場合、「Eメールアカウント設定」の「受信メールアカウント選択」を「Eメール」に設定していますか？（→P.131）
	未読メール、未送信メール、保護メールは自動削除されないため、容量不足となることがあります。不要なメールを削除してください。
プロバイダメールの送受信ができない	プロバイダと契約していますか？　契約している場合、そのプロバイダがAIR-EDGEに対応しているか確認してください。 プロバイダによっては、ウィルコムの電話で接続するために別途申し込みや契約が必要な場合があります。詳しくは各プロバイダにお問い合わせください。
	「ダイヤルアップ設定」の接続先を「CLUB AIR-EDGE」に設定している場合、「Eメールアカウント設定」の「送信メールアカウント選択」と「受信メールアカウント選択」を「Eメール」に設定していませんか？（→P.131）
	「ダイヤルアップ設定」の接続先で「接続先2」または「接続先3」に利用するプロバイダの情報を登録しましたか？（→P.159、160）
	「Eメールアカウント設定」の「送信メールアカウント選択」と「受信メールアカウント選択」に、利用するアカウント（アカウント2またはアカウント3）を設定していますか？（→P.131）
Eメールを作成しようとすると「容量が不足しています」のエラーとなる	Eメールを作成するために必要な空きメモリが足りません。 受信BOX内のサイズの大きな添付ファイル（ ）付きメール、壊れたアイコン（ ）のメール等を削除してください。

付録

こんなときは	ここを確認してください
Eメール（オンラインサインアップで取得したウィルコムのEメールアカウント）の自動受信ができない	プロバイダメールは自動受信できません。自動受信できるのはウィルコムのオンラインサインアップで取得したアカウントのEメールのみです。それ以外のEメールは手動で受信してください（→P.116）。
	ウィルコムのオンラインサインアップで取得したアカウントのEメールが自動受信できない場合は、以下の内容を確認してください。 ・オンラインサインアップで「Eメール自動受信」を設定していますか？（新着メール通知と同時に自動受信を申し込むことはできません。）（→P.104） ・「Eメール自動受信機能」を「ON」に設定していますか？（→P.129） ・着信拒否でウィルコムがサービスに利用する番号「070-696-1000」を設定していませんか？（→P.222、223） ・通信中着信が「着信しない」に設定されている場合は、インターネット利用中にEメールを受信できません。
添付ファイルが削除されてしまう	「受信行数制限設定」を「ON」に設定していませんか？ 「ON」に設定している場合、受信できる1件あたりのメールサイズを行数で指定します。その設定よりも実際のメールサイズが大きい場合は添付ファイルが破損、または受信できない可能性があります（→P.129、130）。「OFF」に設定している場合、受信できる添付ファイルのサイズは約700Kバイトまでです。
	オンラインサインアップで「添付削除」を「する」に設定していませんか？ 「しない」または「ウィルコム・他社携帯電話／PHSから以外は削除する」に設定してください（→P.104）。
添付ファイルが閲覧できない	ファイル形式により表示・再生できないことがあります（→P.110）。
受信メールが文字化けしている	携帯電話やPHS、またはパソコンなどから送信された絵文字は、メールサーバーによっては正しく送受信できない場合があります。
	パソコンから送信されたEメール、HTML形式のメール、Webメール、および特殊な装飾付きメールは文字化けする場合があります。パソコンのメール設定を確認してください。 推奨されるメール形式 ・メール送信方式：テキスト方式 ・メッセージ形式：エンコードなし ・言語：日本（JIS）
	対応していない絵文字が本文中にあると、文字化けする場合があります。差出人に依頼して、絵文字を削除して再送信してもらってください。
オンラインサインアップができない（ユーザーネームが登録できない）	メールアドレスに次のような不適切な文字を入力していませんか？（→P.104） ・「.」（ドット）や「スペース（空白）」などの使用できない文字を使用している ・頭文字に英字を使用していない ・3文字以下または21文字以上入力している
	すでに登録されているユーザーネームを登録しようとしていませんか？
Eメールの本文が途中で切れてしまう	「受信行数制限設定」を「ON」に設定していませんか？　また、受信行数を超えるメールを受信しようとしていませんか？（→P.129、130）
何回も同じメールが届く	Eメール削除設定が「保存」に設定されていませんか？（→P.129、130）
オンラインサインアップ後、ワン切り着信が何度も繰り返される	「ライトEメール」を「利用する」に設定していませんか？　ライトEメールは利用できません。 「ライトEメール」を「利用する」に設定するとウィルコムがサービスに利用する番号「070-696-1000」からのワン切りが頻繁に、長期間続くことがあります。 オンラインサインアップに接続し、「その他の設定」からライトEメールを「利用しない」に設定してください。

インターネットについて

こんなときは	ここを確認してください
インターネットに接続できない	「発信者番号通知」を「通知しない」に設定していませんか？　プロバイダによっては「発信者番号通知」を「通知しない」に設定していると接続できないことがあります（→P.49）。
	W-SIMを取り付けていますか？（→P.34、35）
	CLUB AIR-EDGEを利用する場合、オンラインサインアップはしましたか？（→P.104） また、「ダイヤルアップ設定」の接続先を「CLUB AIR-EDGE」に設定していますか？（→P.159）
	プロバイダを利用する場合、プロバイダと契約していますか？ 契約している場合、そのプロバイダがAIR-EDGEに対応しているか確認してください。プロバイダによっては、ウィルコムの電話で接続するために別途申し込みや契約が必要な場合があります。詳しくは各プロバイダにお問い合わせください。 また、「ダイヤルアップ設定」の接続先で「接続先2」または「接続先3」に利用するプロバイダの情報を登録しましたか？（→P.159、160）
インターネットに接続したがWebページがうまく表示されない	パソコン向けのWebページでは、容量が大きすぎて表示できなかったり、途中で切れてしまう場合があります。
	Java™を使ったWebページは表示できない場合があります。
	URLを間違えて入力していませんか？（→P.136）
	フレームで分割されたWebページは、「ケータイモード」では表示できません。表示モードを「デスクトップモード」に切り替えると表示できます（→P.140）。
文字化けをする	外国語のフォントをサポートしていないため、日本語、英語以外のWebページでは文字化けが発生します。

赤外線通信について

こんなときは	ここを確認してください
受信できない	赤外線ポートどうしが20 cm以内でまっすぐ向き合っていますか？(→P.245) 赤外線ポートを近づけてみてください。 送信側が送信状態になっていますか？（WS023Tの場合、送信状態のときは「データ送信中」と表示されます。） 送信側が送信開始する前に本機の受信操作（→P.245、246）を行ってみてください。 1Mバイトを超えるデータファイルは受信できません。 本体のデータフォルダまたはmicroSDカードに十分な空き容量がありますか？ 送信側の送信モードを変更してみてください。
送信できない	赤外線ポートどうしが20 cm以内でまっすぐ向き合っていますか？(→P.245) 赤外線ポートを近づけてみてください。 受信側は受信状態になっていますか？ 本機から送信する前に、受信側を受信状態にしてから送信してみてください。 受信側が対応していない形式のファイルは送信できないことがあります。 データファイルを送信する場合は、送信モード（→P.247）を切り替えてみてください。

こんなときは	ここを確認してください
送信が完了したのに、受信できていない	送信モード「高速」（→P.247）で送信した場合、受信側機器で受信できていないのに送信が完了したとの表示になる場合があります。送信モード「通常」で送信し直してみてください。
受信したデータが壊れている	データファイルの場合は、送信側の送信モードを切り替えて再度受信してみてください。 アドレス帳の場合は、本体アドレス帳に空き容量があるか確認してください。 送受信双方の、赤外線通信をするときの注意事項（→P.245）をご確認のうえ受信し直してみてください。
受信したファイルを表示／再生できない	本機で対応している画像、サウンドデータ形式以外のファイルは表示／再生できません（→P.178）。
受信した画像／サウンドファイルが本来のフォルダに保存されない	本機で対応していないファイルを受信した場合、「その他データ」フォルダに保存されることがあります。

付録

お問い合わせ窓口

製品についてのご相談や修理のご依頼は、東芝PHSカスタマーデスク、ウィルコムサービスセンターへお申し出ください。

以下のような内容は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

- ●ご契約内容（加入・変更・引越等）
- ●基本料金・通話料等
- ●オプションサービス
- ●サービスエリア
- ●本電話機の修理受付
- ●本電話機の紛失
- ●その他、通信サービスについて

■ウィルコムサービスセンター

お申込み・お問合わせ［受付時間］9：00～19：00（日・祝日は除く）

ウィルコムの電話から ［局番なしの］116　一般加入電話・携帯電話などから 0120-921-156

データ通信に関するお問合わせ［受付時間］9：00～19：00（日・祝日も受付）

ウィルコムの電話から ［局番なしの］157　一般加入電話・携帯電話などから 0120-921-157

●お申込み・各種お手続きは、一部を除き自動音声応答にて、24時間受付しております。
●コース変更や住所変更などは、インターネット上でも行えます。
　ウィルコムストア［My WILLCOM］へアクセス　https://store.willcom-inc.com/my/

ホームページ　http://www.willcom-inc.com/

●通話料無料

■ご相談窓口（東芝PHSカスタマーデスク）

受付時間：月曜～金曜　9:00～12:00 13:00～17:00
但し、祝祭日・お盆休暇・年末年始等を除く

フリーコール 0120-926-223
（携帯電話・PHSからもかけられます）

■保証書

保証書はクイックマニュアルの裏表紙についています。
お買い求めの販売店で「お買い上げ日、販売店名」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より１年間です。
なお、保証期間中でも有料となることがあります。保証書の記載内容をご確認ください。

■修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、「こんなときは」（→P.287）をお読みのうえご確認ください。
それでも異常が認められる場合には、使用を中止し、ウィルコムサービスセンターにご相談ください。

◎保証期間中の修理は

保証書の記載内容により、修理いたします。

◎保証期間を過ぎているとき

修理によって機能が回復可能でお客様がご希望の場合は、有料で修理を承ります。

◎連絡していただきたいこと

●製品名、お買い上げ年月日
●故障または異常の状況を具体的に、できるだけ詳しく
●お客様のご氏名、ご住所、お電話番号

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社東芝モバイルコミュニケーション社（以下、東芝といいます。） が提供する東芝製ＰＨＳ上のソフトウェア（以下、本ソフトウェアといいます。） を使用その他の処分をされる前にこのソフトウェア使用許諾契約（以下、本契約といいます。） を注意深くお読みください。本契約のすべての条項に同意できない限り、お客様は本ソフトウェアを使用その他の処分を行うことはできません。本契約は、お客様と東芝との間で締結されたものとみなされ、本契約と共に提供される東芝またはそのライセンサーの著作物たる本ソフトウェアに関して適用されます。

1.使用許諾

東芝はお客様ご本人に対し、東芝製PHS上の本ソフトウェアを使用する譲渡不能かつ非独占的な権利を許諾します。

お客様は本ソフトウェア、その関連書類、本契約で許諾された権利の一部または全部を、改変、翻訳、レンタル、コピーまたは譲渡することはできません。また本ソフトウェアに記載された著作権表示、ラベル、商標またはその他のいかなるマークも除去することはできません。さらに本ソフトウェアをベースにした派生品を作成することもできません。

2.著作権

本ソフトウェアは使用許諾されるもので販売されるものではありません。本ソフトウェアに関するいかなる知的財産権もお客様に譲渡されるものではありません。本ソフトウェアに関するすべての権利は東芝またはそのライセンサーが保有するものであり、本契約に明示的に記載されていない限り、いかなる権利もお客様が有するものではありません。

また、お客様は、本ソフトウェアに記載された著作権表示、ラベル、商標その他のいかなるマークも除去することはできません。

3.リバースエンジニアリング

お客様は本ソフトウェアの一部またはすべてをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、改変、翻訳もしくは逆アセンブルすることができません。お客様が法人の場合には自己の従業員に本項に規定する禁止事項を遵守せしめるものとします。本項および本契約の規定を遵守できなかった場合は、東芝はお客様に対する何らの催告を要せず直ちに本契約を解除できるものとします。

4.保証

本ソフトウェアは現状有姿で提供され、東芝は本ソフトウェアに関し、その品質、性能、商品性および特定の目的への適合性に対する保証を含め、あらゆる明示または黙示の保証も致しません。

5.責任の限定

東芝は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じたお客様の損害について一切責任を負いません。いかなる場合においても、本ソフトウェアおよび本契約に基づく東芝の責任は、本ソフトウェアに対してお客様が実際に支払った金額があれば当該金額を上限とします。

また、修理や点検の場合、お客様の東芝製PHSに登録された情報内容（アドレス情報など）が変化、消去するおそれがあります。情報内容は、別にメモを取るなど必ずお控えください。情報が変化、消失したことによる損害などの請求につきましては、東芝は一切責任を負いません。

6.準拠法

本契約は、日本国法に準拠するものとし、本契約に関し紛争が生じた場合には、東京地方裁判所を管轄裁判所とするものとします。

7.輸出管理

お客様は、本ソフトウェアに関し、「外国為替及び外国貿易法」及び関連法令ならびに「米国輸出管理法および同規則」（以下、関連法令等という。）を遵守するものとします。お客様は、関係法令等に基づき必要とされる日本国政府または関係国政府等の許可を得ることなく、関係法令等で禁止されているいかなる仕向地、自然人若しくは法人に対しても直接または間接的に本ソフトウェアを輸出、再輸出しないものとし、また第三者をして輸出させてはならないものとします。

8.第三者ライセンサーの権利

お客様は、本ソフトウェアに関する東芝のライセンサーが、自己の権利と名において本契約内容を実現する権利を有することを了承するものとします。

商標関連について

・本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Mobile Client Suiteを搭載しています。ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国またはその他の国における登録商標または商標です。
© 2008 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

・本製品はファイルシステムとして、株式会社ACCESSのAVE-Fileを搭載しています。
Copyright © 2000-2008 ACCESS CO., LTD.

・本製品はTCP/IPプロトコルスタック技術として、株式会社ACCESSのAVE-TCPを搭載しています。
Copyright © 1986-2008 ACCESS CO., LTD.

・ACCESS、NetFront、AVE、AVE-TCPは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。

・日本語変換は、オムロンソフトウェア株式会社のAdvanced Wnnを使用しています。
Advanced Wnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2002-2008 All Rights Reserved.

・本製品は赤外線通信プロトコルスタック技術として、イーグローバレッジ株式会社のIrDA Protocol Stack「DeepCore ® 3.0+」を搭載しています。
IrDA Protocol Stack「DeepCore ® 3.0+」©E-Globaledge Corp. All Right Reserved.

・QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

・Sun ®、Sun Microsystems、サンのロゴマーク、Java™、Java関連の商標およびロゴは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

・JavaScriptは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,inc.の商標または登録商標です。

・MascotCapsule ®は、株式会社エイチアイの商標または登録商標です。

・本電話機はJava Virtual Machine技術として、株式会社ACCESSのJV-Lite2を搭載しています。
Copyright © 2000-2008 ACCESS co.,LTD.

・本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

・本取扱説明書に記載されている会社名、商品名、サービス名は各社の登録商標または商標です。

・Decoe Clip © OMRON　SOFTWARE Co.,　Ltd. 2008 All Rights Reserved.

主な仕様

質量	約108 g（W-SIM未装着時）
サイズ（幅×高さ×厚さ）	約49.0 mm × 98.0 mm ×19.3 mm（本体閉時。突起部を除く。）
送信出力	10 mW（平均）
システム方式	1.9 GHz帯　デジタル方式（TDMA方式）
連続待受時間	約550時間
連続通話時間	約5.5時間

ご注意

●連続通話時間は、静止状態で電波状態が安定した場所で測定した値です。

●連続通話時間や連続待受時間は、使用場所の電波状態や、照明の設定など機能の設定により異なります。

●仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更する場合があります。

リサイクルについて

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、ご不要になった電話機・電池・充電用機器を、ブランド・メーカーを問わずモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

付録

スペック一覧表

■E メール

送信	宛先	To、Cc、Bcc含めて、20件まで （1件分は半角で64文字まで）
	件名	全角で40文字、半角で80文字まで
	本文	●テキストメール 全角で20,000文字、半角で40,000文字まで
		●装飾メール（デコラティブメール） 文字、装飾情報、画像を合わせて100Kバイトまで
	添付ファイル	1メールに100件まで（合計　約700Kバイトまで）
受信	件名	全角で40文字、半角で80文字まで
	本文	●テキストメール 全角で20,000文字、半角で40,000文字まで
		●装飾メール（デコラティブメール） 文字、装飾情報、画像を合わせて100Kバイトまで
	添付ファイル	1メールに120件まで（合計　約700Kバイトまで）
受信メール	保存件数	512件まで（送受信合わせて約4096Kバイトまで）
送信メール	保存件数	未送信、送信合わせて300件まで（このうち、下書き保存Eメールは20件まで）（送受信合わせて約4096Kバイトまで）
アカウント登録		3件まで

■ライトメール

送信	宛先	1件 （半角で32文字まで）
	本文	全角で45文字、半角で90文字まで
受信	本文	全角で61文字、半角で122文字まで
受信メール	保存件数	100件まで
送信メール	保存件数	30件まで（このうち、下書き保存ライトメールは10件まで）

■Web

Web閲覧	表示方法	ケータイモード、Smart-Fitモード、デスクトップモード
	ズーム	25%、50%、75%、90%、100%、110%、125%、150%、200%
ブックマーク	保存件数	200件まで
	URL文字列	全角で200文字、半角で400文字まで
	タイトル文字列	全角で16文字、半角で32文字まで
履歴	保存件数	50件まで
URL入力履歴	保存件数	20件まで
	URL文字列	全角で100文字、半角で200文字まで

■データフォルダ

全データ	保存容量	約16Mバイト

■microSDカード

全データ	保存容量	64Mバイト～2Gバイト

＊ 表に示したサイズは、管理情報等を含むおよその値です。

索　引

数字

アルファベット

あ

か

さ

付録

た

な

は

付録

ま

や

ら

付録